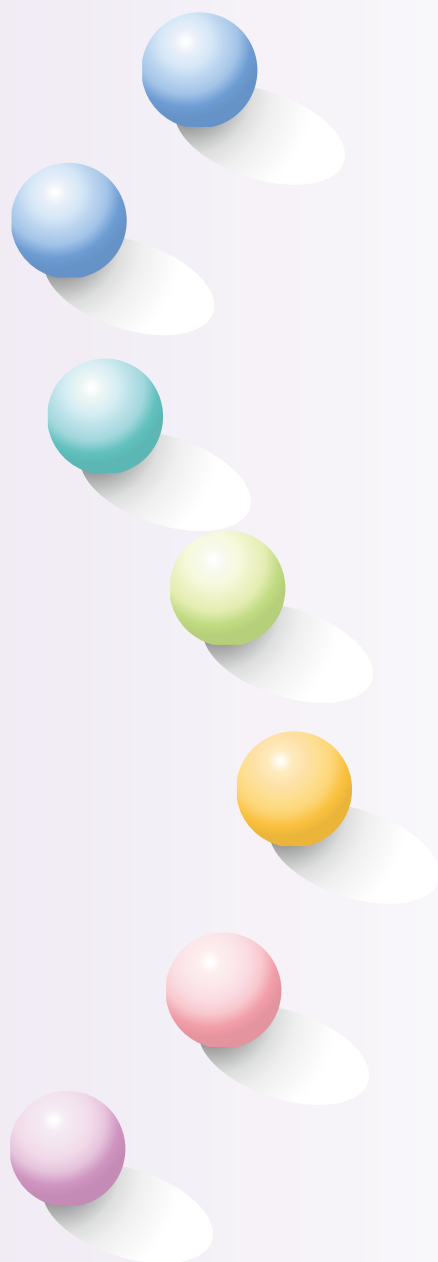


STUDENT'S MANUAL
2012

昭和女子大学 平成24年度
入学者用 学生便覧



開講の詞

夜が明けようとしてゐる。
五年と云ふながい間、世界の空は陰惨な雲に掩はれて、人々は暗
い檻の中に押し込められて、身動きも出来なかつた。けれど、今
や、一道の光明が空の彼方から仄めき出して、新しい文化の夜
が明けようとしてゐる。人々は檻の中から這ひ出し、閉ぢ込めら
れた心を押し開いて、文化の素晴らしい光を迎へようとしてゐる。

夜が明けようとしてゐる。
海の彼方の空にも、わが邦の上にも、新しい思想の光が、なが
い間漂うてゐたくる雲を押し破つて、眩しいばかり輝き出そうと
してゐる。それを迎へて叫ぶ人々の声をきけ。霊の底まで鳴りひ
びく声を、力強いその叫びをきけ。既に目ざめた人々は、文化の
朝を迎へる可く、身にも心にも、仕度が十分調つてゐる。

夜が明けようとしてゐる。
われ等の友よ。その愛らしき眼をとじたまま、逸楽の夢をむさぼ
る時はもう既に去つた。
われ等は、まさに来る文化の朝を迎へるために、身支度をとり急
がねばならぬ。正しき道に歩み出すために、糧を十分にとらねば
ならぬ。そして、目ざめたる婦人として、正しき婦人として、思
慮ある力強い婦人として、文化の道を歩み出すべく、互ひに研ぎ
合はなければならぬ時が来たのである。

日本女子高等学院

大正九年九月十日

開講の詞

夜が明けようとしてゐる。

五年と云ふながい間、世界の空は陰惨な雲に掩はれて、人々は暗
い檻の中に押し込められて、身動きも出来なかつた。けれど、今
や、一道の光明が空の彼方から仄めき出して、新しい文化の夜
が明けようとしてゐる。人々は檻の中から這ひ出し、閉ぢ込めら
れた心を押し開いて、文化の素晴らしい光を迎へようとしてゐる。

夜が明けようとしてゐる。

海の彼方の空にも、わが邦の上にも、新しい思想の光が、なが
い間漂うてゐたくる雲を押し破つて、眩しいばかり輝き出そうと
してゐる。それを迎へて叫ぶ人々の声をきけ。霊の底まで鳴りひ
びく声を、力強いその叫びをきけ。既に目ざめた人々は、文化の
朝を迎へる可く、身にも心にも、仕度が十分調つてゐる。

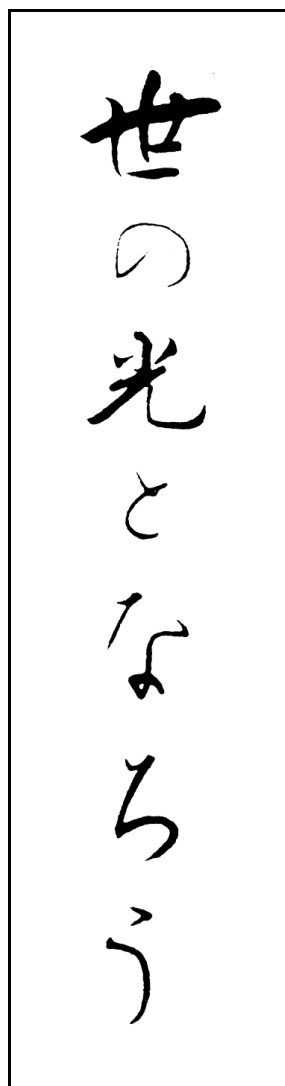
夜が明けようとしてゐる。

われ等の友よ。その愛らしき眼をとじたまま、逸楽の夢をむさぼ
る時はもう既に去つた。

われ等は、まさに来る文化の朝を迎へるために、身支度をとり急
がねばならぬ。正しき道に歩み出すために、糧を十分にとらねば
ならぬ。そして、目ざめたる婦人として、正しき婦人として、思
慮ある力強い婦人として、文化の道を歩み出すべく、互ひに研ぎ
合はなければならぬ時が来たのである。

大正九年九月十日

日本女子高等学院



学園目標

校 訓

清き気品
篤き至誠
高き識見

7	心理学科	102
8	福祉社会学科	106
9	現代教養学科	110
10	初等教育学科	118
11	環境デザイン学科	123
12	健康デザイン学科	131
13	管理栄養学科	134
14	文化創造学科	137
15. ①	国語国文学専攻	142
15. ②	英語英文学専攻	143
15. ③	生活文化学専攻	144
16	大学院	145
16. ①	日本文学専攻 博士前期課程	147
16. ②	日本文学専攻 博士後期課程	148
16. ③	英米文学専攻 博士前期課程	150
16. ④	英米文学専攻 博士後期課程	152
16. ⑤	言語教育・コミュニケーション専攻 博士前期課程	153
16. ⑥	言語教育・コミュニケーション専攻 博士後期課程	155
16. ⑦	生活機構学専攻 博士後期課程	157
16. ⑧	生活文化研究専攻 修士課程	159
16. ⑨	心理学専攻 心理学講座	161
16. ⑩	心理学専攻 臨床心理学講座	162
16. ⑪	福祉社会研究専攻 修士課程	164
16. ⑫	人間教育学専攻 修士課程	166
16. ⑬	環境デザイン研究専攻 修士課程	167
16. ⑭	生活科学研究専攻 修士課程	169

IV 諸資格の取得

	取得資格一覧	172
1	教育職員免許状	174
2	博物館学芸員	197
3	司書・司書教諭	198
4	日本語教員	199
5	社会福祉主事	200
6	考古調査士	201
7	社会調査士	202
8	臨床心理士	203
9	学校心理士・学校心理士補	203
10	臨床発達心理士	204
11	社会福祉士	204
12	精神保健福祉士	205
13	保育士	205
14	建築士等、インテリアプランナー、 JABEE に関する資格	207
15	商業施設士等に関する資格	210
16	衣料管理士	210

17	栄養士・管理栄養士	211
18	健康運動指導士	212
19	食品衛生管理者及び食品衛生監視員資格	212

V 学費

1	大学院	214
2	学部	214
3	短期大学部	215

VI 規程集

1	昭和女子大学大学院学則	218
2	昭和女子大学学則	224
3	昭和女子大学短期大学部学則	232
4	昭和女子大学学位規則	238
5	昭和女子大学短期大学部学位規則	240
6	大学院研究生に関する規程	241
7	女性文化研究所研究生に関する規程	242
8	大学研究生に関する規程	243
9	大学研究生の在籍料免除に関する取扱規程	244
10	学部五修生の大学院修士課程開設科目の履修 及び大学院入学後の既修得単位の認定について	245
11	大学3年次修了者の大学院修士課程 及び博士前期課程の受験資格に関する規程	246
12	昭和女子大学および昭和女子大学短期大学部間の 単位互換に伴う「履修できる授業科目の範囲」(内規)	247
13	昭和女子大学大学院長期履修学生に 関する取扱規程	248
14	昭和女子大学短期大学部長期履修学生に 関する取扱規程	249
15	早期卒業の規程	250
16	転科規程	251
17	再入学選考内規	252
18	認定留学に関する内規	253
19	昭和女子大学留学プログラム参加学生の 帰国取扱いに関する内規	255
20	教職課程履修に関する内規	256
21	生活科学部環境デザイン学科 建築・インテリア デザインコースと生活機構研究科環境デザイン 研究専攻 建築環境系研究コースの6年制課程 に関する規程	258
22	昭和女子大学学友会規約	259
23	学友会クラス委員規約細則	262
24	学生問題協議会規程	264
25	学生団体に関する規約	265
26	クラブ・サークルに関する規約	266
27	個人情報保護に関する取り組みについて (大学部門)	269

平成 24 年度 学生便覧目次

I 昭和女子大学について

1 昭和女子大学の沿革

- 1 大学の沿革 6
- 2 学園の創立と発展に尽くされた先生方 8

2 昭和女子大学の組織

- 1 大学の組織 10
- 2 教育組織、会議体 10
- 3 クラスアドバイザー制 12

3 教育目標・4ポリシー

- 1 昭和女子大学の教育目標・4ポリシー 13
- 2 一般教養 14
- 3 各学科の4ポリシー 15

II 教育課程

1 入学から卒業まで

- 1 卒業要件単位 28
- 2 一般教養科目 29
- 3 外国語科目 29
- 4 専門教育科目 30
- 5 文化講座 30
- 6 学寮研修 30

2 履修登録

- 1 履修計画 35
- 2 シラバス 35
- 3 履修単位数 36
- 4 WEB 履修登録 36
- 5 特別履修 37
- 6 聴講 37
- 7 履修の取りやめ 38
- 8 副専攻制度 38

3 授業

- 1 授業時間帯 39
- 2 出席・欠席・遅刻 39
- 3 公欠と緊急時の取扱い 39
- 4 休講・補講 40
- 5 授業改善アンケート・授業公開 40

4 試験、単位認定、成績

- 1 期末試験と成績評価 41
- 2 受験資格 41
- 3 追試験 42
- 4 再試験 42
- 5 特別試験 42

- 6 卒業論文 42
- 7 英検・TOEIC®・漢検の単位認定 43
- 8 単位互換協定 44

5 学籍と修業年限

- 1 修業年限と在学年限 45
- 2 休学 45
- 3 復学 45
- 4 退学 45
- 5 除籍 46
- 6 進級 46
- 7 褒賞 46
- 8 長期履修 47
- 9 早期卒業 47
- 10 転科 48
- 11 再入学 48

6 海外留学

- 1 昭和ボストン 50
- 2 認定留学 53
- 3 その他の留学 53
- 4 海外研修プログラム 53

7 学内進学制度と科目等履修生制度

- 1 大学院 55
- 2 大学編入学 56
- 3 科目等履修生制度 57

8 課外活動

- 1 学友会 59
- 2 委員会活動 59
- 3 クラブ活動 59

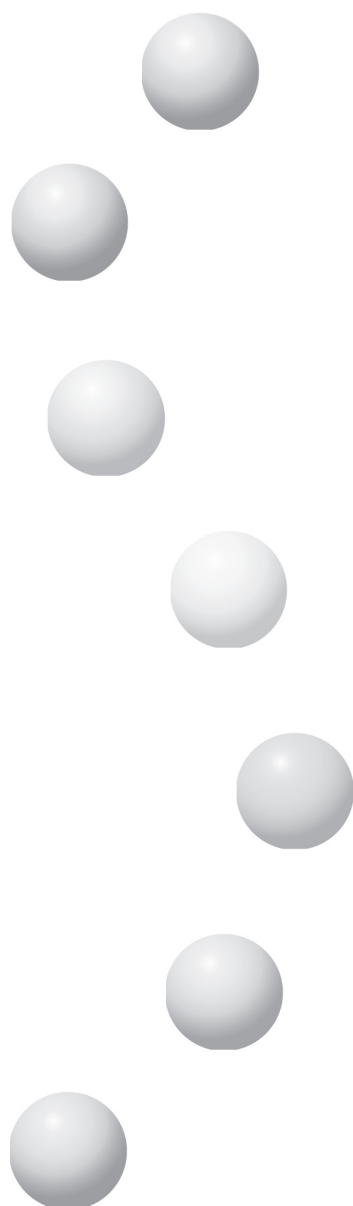
III 開設授業科目一覧

カリキュラム表の見方 62

- 1. ① 一般教養科目 64
一般教養科目として履修できる各学科専門科目 68
- 1. ② 教職に関する専門科目 70
- 1. ③ 図書館に関する科目 71
- 1. ④ 外国語科目（大学） 72
- 1. ⑤ 外国語科目（短大） 76
- 1. ⑥ 留学先で修得した外国語科目の単位認定 77
- 1. ⑦ 外国語科目（留学生） 78
- 2 コミュニティサービスラーニング科目 79
- 3 日本語日本文学科 80
- 4 英語コミュニケーション学科 84
- 5 歴史文化学科 90
- 6 国際学科 94

I

昭和女子大学について



1. 昭和女子大学の沿革

私立学校の特性は、学校を構築した人々の理想や信念に基づく建学の精神と、その人柄や言行などによって形成された伝統や校風を原点とした教育を実践することにあります。昭和女子大学は、単に知識の充実にとどまることなく、「善き個人」であると同時に「善き社会人」としての自覚のもとに、魅力的な女性を育てるための教育を行っています。

POINT

学園目標「世の光となろう」
校訓三則「清き気品 篤き至誠 高き識見」
創立者 人見圓吉
レフ・ニコラエヴィチ・トルストイ

(1) 大学の沿革

■昭和女子大学の前身

昭和女子大学の歴史は、大正9（1920）年に始まります。斬新華麗な詩風を以って知られた詩人である人見圓吉は、トルストイが理想とした“愛と理解と調和”に教育の理想を見出し、緑夫人とともに女子教育の道を歩み始めました。

折しも第一次世界大戦終結の年に当たり、4千万人の人々が大战の影響を受けて、不幸な状況に遭遇していました。創立者の平和への願いが、自己の進路を見失わない女性、すすんで世のため人のために自己の力を役立てようとする女性を育てたいという信念となり、本学の前身「日本女子高等学院」の創立となったのです。

創立者が理想としたロシアの文豪トルストイは、西暦1859年、公職を退いてヤースナヤ・ポリャーナに塾のような学校を建てました。午前中は授業、午後は生徒達と近隣の病めるもの、貧しきもの、老いたものなど、他の者の愛なくしては生活できない人々の家を訪ねて、食を与え、衣を取替え、看病し、掃除し、洗濯するなどの活動に当たりました。人々はこれを感じて迎えました。夕食後に生徒達は、トルストイを中心として語り合い、次の学修の課題を求めて励んだということです。

大正7年、女子教育への高い理想を抱く人々と、婦人としての充実と向上を希求する若い女性とが「文化懇談会」と称した集いをはじめ、教育問題、婦人問題、一般文化問題などについて、日頃抱く考えをお互いに語り合い、疑問とするところを論じ合いました。

中心メンバーは、人見圓吉・緑夫人、松本赴、加治いつ、坂本由五郎の5名で、小石川区高田若葉町の人見宅を本拠とし、例会を開いていました。発足当初は20数人の小さな会合でした。伝え聴いて参加する者が日毎に増え、回を重ねていくにつれて、このような意義のある会合は、もっと広く若い女性にも開放してはどうかという意見が多くなりました。

大正8年4月には従来の「文化懇談会」をいっそう組織化して、「日本婦人協会」を結成しました。女学校の家事作法教師の経験もあり、指導メンバーの最年長者でもあった加治いつを会長に推して、いよいよ組織的に毎月1回の公開講演会と研究会を開くようになりました。

大正9年9月、未だ女性の高等教育や社会的進出が拒み続けられていた時流の中で、創立者の人見圓吉は、先生と生徒が生活を共にして学ぶトルストイの学校にならって、「愛と理解と調和を旨とする新しい女性を育む学校を設立したい」という希望を持った5名の同志と共に、「日本女子高等学院」を創設しました。小石川区西江戸川町（現文京区水道橋4-28）の小石川幼稚園に間借りし、教師5人と受講生8人が真剣に討論しあう、ゼミナール形式の授業が始まったのです。戦争で傷つき、暗雲におおわれた世界を救い、新しい世界を切り拓くには、ぜひとも女性独自の文化を創造していかなければならない、「愛と理解と調和」を旨とする婦人の力によって女性による新たな世界改造をはからなければならない、という情熱が作りあげた学校、それが昭和女子大学の前身である「日本女子高等学院」でした。この建学の精神は、創立当時に記された「開講の詞」に高らかに謳いあげられています。

■創設時代

「日本女子高等学院」は、大正11年1月、各種学校としての認可を東京府から受けました。人見圓吉も緑夫人の協力に支えられながら、詩人としてのペンを置いて、生きた女性の心に、生きた言葉をもって、信ずるところの真・善・美を描いていこうと決心しました。続いて3月には校舎を東中野に移し、「専門部」と並んで「女学部」を付設するにいたりました。学校の経営は赤字続きの細々とした財政ながらも、校舎の中では、常に教師と学生の熱のこもった教育活動が行われ、その校風を慕って入学してくる学生の数も年とともに増えていきました。

大正14年4月には、東京府豊多摩郡野方町上高田39番地（現中野区上高田1-39）に新校舎を建設、この地で現在の昭和女子大学の基礎を育みました。しかし、第二次世界大戦が勃発し、戦災により東京が焦土と化したときに、本校の校舎や寮舎も全焼し、その4ヵ月後に漸く戦争が終了したのです。

■昭和女子大学の設立

敗戦を迎え、国民の意気が沈退してしまったとき、創立者人見圓吉はこう述べています。

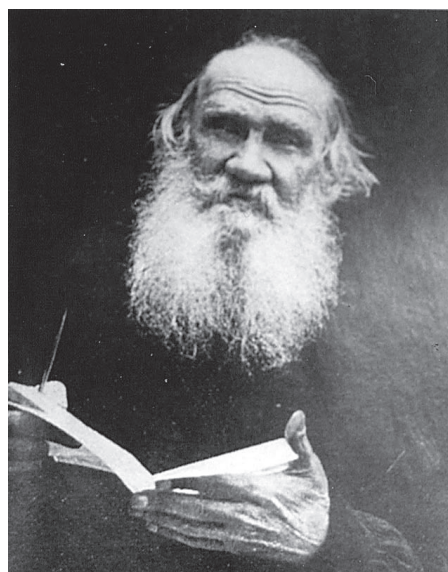
「国既に敗れて何の学問ぞ、何の教育ぞ。理解してくれる人、迎えてくれる人があってこそその学問であり、教育ではないか。今日を限り8千万国民は全部奴隷だ。奴隷に必要なのは労力だけだ。むしろ学問や教育は無用であると考えて、私は絶望の淵に陥った。」

敗戦5日目の朝、苦悶に苦悶を重ねて悄然と丘の上の校舎の焼跡に立っていると、見るかげもなく焼け失せた大都会の空はるか東端から、いつものように太陽がもくもくと昇りはじめ、新鮮な光を放ったあたりが生き生きとして輝いた。その時、－そうだ、学問はまさにこの太陽である。どんな人にも、どんな所にも、太陽が必要なように、学問は敗戦国民にも必要だ。それを伝えるのが教育だ、やろう、やらねばならぬ。－とその瞬間、総身に力が湧き上がってぴちぴちとした元気が出た。青年のように希望がかがやいた。その日から夜に日を継ぎ、精進に精進を重ねて、ぐいぐいとまっしぐらに進んで来た。国家とともに学園の新生の記念日であった。」

この決意を実現するため、旧東部第12部隊（近衛野砲連隊）跡地である現在の世田谷区太子堂に移転したのが、昭和20（1945）年11月9日のことでした。

この地で「日本女子高等学院」は昭和21年に「日本女子専門学校」となり、昭和24年には新学制による大学として「昭和女子大学」に移行し、昭和中学校、昭和高等学校を併設し、翌昭和25年に短期大学部を設立しました。

さらに、昭和26年に昭和幼稚園、昭和28年に昭和小学校を併設し、昭和49年に大学院修士課程、平成元年に博士課程、生涯学習機関としてのオープンカレッジを設置して、完全な一貫教育体系を整えました。また、海外研修機関としてのボストン昭和女子大学を、昭和63年に開設しました。その後学部・学科の新設改編をへて、現在は次の構成になっています。大学院は、文学研究科に日本文学専攻、英米文学専攻、言語教育・コミュニケーション専攻、生活機構研究科に生活機構学専攻、生活文化研究専攻、心理学専攻、福祉社会研究専攻、人間教育学専攻、環境デザイン研究専攻、生活科学研究専攻、女性文化研究所、近代文化研究所、国際文化研究所、生活心理研究所、大学は人間文化学部日本語日本文学科、英語コミュニケーション学科、歴史文化学科、国際学科、人間社会学部に心理学科、福祉社会学科、現代教養学科、初等教育学科、生活科学部に環境デザイン学科、健康デザイン学科、管理栄養学科、短期大学部は文化創造学科と専攻科（平成26年3月廃止予定）が設置されています。



レフ・ニコラエヴィチ・トルストイ（1828～1910）

トルストイは、『戦争と平和』や『アンナ・カレーニナ』『復活』などの小説で世界的文豪として知られていますが、哲学、宗教、芸術、教育の面でも様々な実践を行いました。

教育者として、出身地であるロシア中部のヤースナヤ・ポリャーナに学校を開き、村の子供たちに「愛と理解と調和」に立脚する真の人間教育を施しました。詰め込みではなく、子供たちと寝食を共にして奉仕活動を行い、子供たちと共に考え、一人一人の個性を重んじる教育は、今またロシアで復活し、各地に「トルストイ学校」が創られています。

人見圓吉・緑夫妻はこのような精神に深く共鳴して、1920年に本学の前身である「日本女子高等学院」を創設しました。また、人見楠郎元理事長は、1996年、日本の教育・研究者らと共に「日本トルストイ協会」を設立、会長に推されて本学トルストイ室にその事務局を置き、トルストイの研究・教育思想の普及に努め、トルストイが学校で使った教科書『トルストイのアーズブカ』を日本語に翻訳して、全国の小学校に無償配布するなどの活動を展開しました。本学の創立80周年には大規模なトルストイ展を開き、建学の精神の象徴として高さ2.5メートルにも及ぶトルストイ像

を創立者記念講堂の前に建立しました。本学を中心に組織される「トルストイを訪ねる旅」はこれまで10回を数え、関係する書籍を集めた「トルストイ文庫」は現在998冊になっています。図書館に足を運び「トルストイ文庫」をひもといてみましょう。

■校則三則と学園目標

いかなる困難にあっても常に新たな道を切り拓き、一步一步着実に向上発展することが昭和女子大学の特性であり、その進取の精神と着実性は、学生の気風となっています。

校訓三則「清き気品 篤き至誠 高き識見」に示されているように、本学では「上品で礼儀正しく、誠実で心豊かな、知徳を兼ね備えた女性を育てる」ことを目標にしています。この校訓を基礎とし、大学生としての学問研究に徹し、国際化時代、情報化時代、文化創造の時代に活躍できる人間味にあふれた人材の育成に情熱をそそぎます。「世の光となろう」の一言で示す学園目標は、時代を超えて生き続ける本学園の心として、先輩から受け継がれた大切な生活指標です。

志を立てて本学の一員となった学生の皆さんには、この創立以来の伝統を受けつぎ、自信と勇気と情熱とをもって、社会のより良い明日を建設するために、常に努力をして欲しいと願っています。

(2) 学園の創立と発展に尽くされた先生方

■創立の父 人見圓吉

20歳の時、雑誌「文庫」に2篇の詩が掲載され、詩人としての人生を歩みはじめました。当初は東村というペンネームを用いていましたが、22歳以降は、東明を主に、清浦青鳥、清浦明人、アキトなどの雅号も合わせて用いました。

「読売新聞」に詩・随想・批評・小説などが相次いで掲載されるようになり、それを契機に29歳で同社へ入社、文芸欄の編集を担当するようになりました。

31歳で緑夫人と結婚、33歳の春、東京女子商業学校支援のために無給講師として教壇に立ったことが、教育の世界に足を踏み入れる大きな契機となりました。

その頃に熱心に開催していた「文化懇談会」は、「日本婦人協会」、さらに女子の専門教育の場へと変貌してゆきました。

しかし、第一次世界大戦後の社会情勢をうけ、さらに第二次世界大戦の激動の時代の中で、押し寄せてくる経済的困難は筆舌に尽くせぬものでした。それでも、ひたすら世の役に立つ婦人を育むことを最も重要な任務と心得て、40歳以降は総ての心と時間とエネルギーを注いで、社会に役立つ女性育成のために専念続けました。

この間にも、教育文化の推進を願って自ら編集にあたった研究紀要「学苑」は、昭和9年以来現在まで刊行され続け、多数の研究者を育てあげ、貴重な研究を世に提供し続けてきました。

そして、学生の研究論文を補強して、55歳の10月に刊行した『文学遺跡巡礼』は、その後『近代文学研究叢書』として継続刊行され、平成13年に全77巻『別巻人見東明』を含むが完結しました。その間、菊池寛賞を受賞、ハーバード大学東方研究所から特別研究費の助成などを受けています。



創立者 人見圓吉と緑夫人

71歳の10月から「学苑」誌上に29回連載した「口語詩の発達」「口語詩の設立とその過程」、77歳の5月に「国文学」誌上に発表した「新体詩の誕生」、85歳から5年間51回連載の「明治詩歌集覧」等の研究では、自己の所論を展開すると同時に、詩人として活躍した多くの人々の業績の顕揚に努めました。

また86歳の10月に、「日本近代詩論研究会」の代表者となり、文部省学術局から科学研究費の助成を受けて『日本近代詩論の研究』ならびに『昭和詩論の研究』を出版しました。さらに、従来の研究の総括である『口語詩の史的研究』（昭和50年3月出版）を完成するため、昭和49年2月に逝去する4ヶ月前まで、夕食後には必ず近代文庫事務室の一隅に置かれた小さな机に向かって研究に励んでいました。

■創立の母 緑夫人

創立者人見圓吉夫人。新時代的女子教育機関の創立をうながし、その充実と発展に力を注いだ学園の母。「目覚めたる婦人」「正しき婦人」「思慮ある力強い婦人」をモットーに、自ら教壇に立ちながら、学寮において学生と寝食を共にし、身をもって女性の範を示しました。世の光となる女性の育成を目ざした本学の学風は、この学母の教育方針から生まれたといっても過言ではありません。



人見楠郎 第2代理事長



人見楷子 第3代理事長



平尾光司 第4代理事長

本学の歩み

大正 9 年 9 月 日本女子高等学院創設
(現文京区水道)
初代院長加治いつ

大正 11 年 3 月 中野区東中野に移転

大正 11 年 4 月 附属女学部を付設

大正 15 年 4 月 中野区上高田に新校舎完成

昭和 2 年 4 月 財団法人日本女子高等学院設立。初代理事長人見圓吉。附属女学部を昭和高等女学校に改称

昭和 20 年 4 月 戦災により全校舎焼失

5 月 戦災により寮舎焼失

11 月 世田谷区太子堂(現在地)に移転

昭和 21 年 4 月 財団法人東邦学園を設立し、日本女子専門学校を設置、(日本女子高等学院の課程を引き継ぐ)
初代校長松平俊子就任

昭和 22 年 4 月 昭和中学校を併設

昭和 23 年 4 月 昭和高等女学校を昭和高等学校に改称

昭和 24 年 4 月 日本女子専門学校を昭和女子大学に改組・改称
初代学長金子健二就任

昭和 25 年 4 月 昭和女子大学短期大学部を設置

昭和 26 年 3 月 財団法人東邦学園を学校法人昭和女子大学、財団法人日本女子高等学院を学校法人昭和高等学校に改称

昭和 26 年 4 月 短期大学部第二部を併設
昭和幼稚園を付設

昭和 28 年 4 月 昭和小学校を付設

昭和 31 年 6 月 児童教育研究所を付設

昭和 37 年 1 月 第2代学長玉井幸助就任

昭和 38 年 4 月 学校法人昭和女子大学に学校法人昭和高等学校を併合

昭和 44 年 1 月 第3代学長河端実英就任

昭和 45 年 4 月 近代文化研究所を設置

昭和 49 年 2 月 初代理事長人見圓吉逝去
第2代理事長人見楠郎就任

昭和 49 年 4 月 大学院文学研究科修士課程を設置

昭和 53 年 4 月 文家政学部を文学部と家政学部に分離

昭和 55 年 2 月 創立者記念講堂を開設

昭和 55 年 4 月 第4代学長坂本由五郎就任

昭和 57 年 4 月 第5代学長人見楠郎就任

昭和 61 年 4 月 大学院家政学研究科修士課程を設置
短期大学部に専攻科併置

5 月 女性文化研究所を設置

昭和 63 年 4 月 ボストン昭和女子大学を開設

平成 元 年 4 月 大学院文学研究科に博士課程を設置
大学院生活機構研究科博士課程を設置
オープンカレッジを設置

平成 4 年 4 月 文学部に心理学科・日本文化史学科を設置

5 月 国際文化研究所を設置

平成 5 年 4 月 大学院生活機構研究科に修士課程を設置

平成 6 年 4 月 短期大学部学長福場博保就任
家政学部を生活科学部に改称
研究館・光葉博物館を開設

平成 7 年 4 月 生活心理研究所を設置

平成 10 年 4 月 生活科学部生活美学科を生活環境学科に改称

平成 12 年 11 月 第2代理事長人見楠郎逝去
第3代理事長に人見楷子就任
第6代学長福場博保就任

平成 14 年 4 月 生活科学科食物学専攻を食物健康学専攻に改称
専攻科人間教育学専攻を設置

平成 15 年 4 月 第7代学長平井聖就任
人間社会学部(心理学科・福祉環境学科・現代教養学科)を設置
文学部を人間文化学部、日本文学科を日本語日本文学科、英米文学科を英語コミュニケーション学科、日本文化史学科を歴史文化学科に改称
短期大学部に人間文化学科・同第二部を設置

平成 16 年 4 月 短期大学部学長島田淳子就任

平成 17 年 4 月 大学院文学研究科に言語教育・コミュニケーション専攻、大学院生活機構研究科に心理学専攻を設置

平成 18 年 4 月 大学院生活機構研究科に福祉社会研究専攻を設置、人間社会学部に初等教育学科、短期大学部に文化創造学科、同二部を設置、短期大学部初等教育学科を子ども教育学科に改称

平成 19 年 4 月 第8代学長坂東眞理子就任
大学院生活機構研究科に環境デザイン研究専攻を設置
短期大学部に文化創造学科(昼間主コース・夜間主コース)を設置

平成 20 年 4 月 短期大学部学長坂東眞理子就任
大学院生活機構研究科に人間教育学専攻を設置

平成 21 年 4 月 人間文化学部国際学科、生活科学部に健康デザイン学科を設置
人間社会学部福祉環境学科を福祉社会学科、生活科学部生活環境学科を環境デザイン学科、生活科学科を管理栄養学科に改称

平成 23 年 4 月 第4代理事長に平尾光司就任

学寮の歩み

大正 11 年 4 月 校内寮を開設(東中野)

大正 14 年 4 月 葵寮(校外寮第1号)を開設

昭和 3 年 4 月 若葉寮を開設

昭和 5 年 4 月 校内寮再開(上高田)

昭和 8 年 4 月 桜寮を開設

昭和 14 年 3 月 橘寮を開設

昭和 16 年 9 月 桂寮を開設

昭和 20 年 5 月 戦災により寮舎焼失

昭和 20 年 11 月 校内寮開設(世田谷)

昭和 22 年 4 月 葵寮・富士寮・敷島寮開設

昭和 25 年 9 月 橘寮を再開

昭和 27 年 4 月 桜寮を再開

昭和 28 年 4 月 桂寮を再開

昭和 29 年 4 月 若葉寮を再開(30年焼失)

昭和 31 年 4 月 桂寮を開設

昭和 33 年 4 月 楓寮を開設

5 月 藤寮・茜寮を開設

昭和 35 年 4 月 弥生・芙蓉寮を開設

昭和 43 年 4 月 椿寮を開設

昭和 47 年 4 月 とさわ寮を開設

昭和 52 年 4 月 校外寮「緑声舎(葵・藤・茜・桜・橘・桂・楓寮が合併)」新設

平成元年 4 月 とさわ寮を建て替え、若葉寮として新発足

平成 3 年 4 月 椿寮を再開

昭和 52 年 4 月 研修学寮東明学林を開設

昭和 61 年 3 月 研修学寮望秀海浜学寮を開設

昭和 62 年 7 月 会津キャンプ村を開設

中野区所在

太子堂所在

弦巻所在

2. 昭和女子大学の組織

2

昭和女子大学は、女子最高の教育機関として、また学術文化の研究機関としての使命に鑑み、善を尚び、美を愛し、真を究めて、文化の創造と社会の福祉に貢献することを目的としています。

女性社会において男性と協力して学術文化の向上、社会生活の充実発展に貢献し、また家庭においては、子女を育成し、清かな生命を次代に伝える使命を有していることを忘れてはなりません。

さらに、先輩諸姉が己れのことのみにとらわれることなく、広く社会全般に心を配り、総ての人々の生活が平和で豊かなものになるよう努めることにより、女性としての重要な任務を果たそうと努めてきたその遺風を、今後とも尊

重したいものです。

そのような建学以来の大目標を達成し、かつ重要な使命を遂行する道として、本学においては各専門科目の充実は勿論のこと教養科目を他大学に類を見ないほど豊富に取り揃え、実りのある学生生活の実現に意を注いでいます。

また、これらの目的や使命を実現するための組織や、学生生活の拠点となるクラスについても解説します。

POINT

クラスアドバイザー

クラスルーム

(1) 大学の組織

■学校法人

昭和女子大学は、「学校法人昭和女子大学」が運営管理する教育と研究の機関です。学校法人の管理運営等に関する重要事項は、理事会と評議員会で審議します。理事、監事、評議員は、学長・教職員・卒業生及び学識経験者から選任されます。

学校法人は昭和女子大学、同短期大学部のほか、オープンカレッジ、高等学校、中学校、小学校、幼稚園、ブリティッシュスクールなどを運営しています。

■大学院

大学院を置き、文学研究科日本文学専攻博士前期課程・博士後期課程、文学研究科英米文学専攻博士前期課程・博士後期課程、文学研究科言語教育・コミュニケーション専攻博士前期課程・博士後期課程、生活機構研究科生活文化研究専攻修士課程、生活機構研究科心理学専攻修士課程、生活機構研究科福祉社会研究専攻修士課程、生活機構研究科人間教育学専攻修士課程、生活機構研究科環境デザイン研究専攻修士課程、生活機構研究科生活科学研究専攻修士課程、生活機構研究科生活機構学専攻博士後期課程を設けています。

■大学

人間文化学部日本語日本文学科、人間文化学部英語コミュニケーション学科、人間文化学部歴史文化学科、人間文化学部国際学科、人間社会学部心理学科、人間社会学部福祉社会学科、人間社会学部現代教養学科、人間社会学部初等教育学科、生活科学部環境デザイン学科、生活科学部健康デザイン学科、生活科学部管理栄養学科を置き、修業年限は4か年で、最長在学年は6か年です。

■短期大学部

文化創造学科を置き、修業年限は2か年で、最長在学年は4か年です。

■専攻科

短期大学部を卒業した後に、各専門科目のより深遠な研究の向上を図るため、1年課程の専攻科として国語国文学専攻、英語英文学専攻、生活文化学専攻の3専攻を置いています。

3専攻とも、大学評価・学位授与機構の定める要件を満たす専攻科として認定されています。(平成26年3月廃止予定)

(2) 教育組織、会議体

■教育組織

大学に学長、短期大学部学長、副学長、大学院研究科長及び専攻主任、学部長、短期大学部長、教務部長及び同次長、学生部長及び同次長、キャリア支援部長及び同次長、アドミッション部長及び同次長、学科長、総合教育センター長、研究所長、図書館長及び副館長、博物館長、コミュニティサービスラーニングセンター長、障がい学生サポートセンター長、研究支援機器センター長、学寮長、学生相談室長、基礎教育研究センター長を置いています。

1. 学長は、大学院文学研究科、大学院生活機構研究科、人間文化学部、人間社会学部及び生活科学部の教育研究に関する学務を統括する。

2. 短期大学部学長は、短期大学部の教育研究に関する学務を統括する。
3. 大学院委員会委員長（学長）は、大学院の教育研究に関する学務を統理する。
4. 副学長は、学務の運営に当たり、学長及び短大学長に事故あるとき、又は学長が欠けたときは、その職務を代行する。
5. 大学院研究科長は、当該研究科の科務を統理する。
6. 学部長・短期大学部長は、当該学部の部務を統理する。
7. 教務部長は、教務の企画運営に当たる。
8. 教務部次長は、教務部長を補佐し、部長に事故あるときは、その部務を代行する。
9. 学生部長は、学生指導の企画運営に当たる。
10. 学生部次長は、学生部長を補佐し、部長に事故あるときは、その部務を代行する。
11. キャリア支援部長は、進路及びキャリア支援の企画運営に当たる。
12. キャリア支援部次長は、キャリア支援部長を補佐し、部長に事故あるときは、その部務を代行する。
13. アドミッション部長は、学生募集及び入学者選抜の企画運営に当たる。
14. アドミッション部次長は、アドミッション部長を補佐し、部長に事故あるときは、その部務を代行する。
15. 学科長・専攻主任は、当該学科・専攻の科務を処理する。
本学に、教授、准教授、講師、助教、助手、副手及び事務職員を置く。
 - 1) 教授は、学生の研究と教育を指導し、また、研究に従事する。
 - 2) 准教授は、教授に準ずる職務に従事する。
 - 3) 講師は、教授又は准教授に準ずる職務に従事する。
 - 4) 助教は、教授、准教授及び講師に準ずる職務に従事する。
 - 5) 助手及び副手は、配属学科の授業等の補助的業務及び資料の整理、整備等その他事務処理に従事する。
 - 6) 事務職員は、配属された部署の事務処理に従事する。
16. 大学院生活機構研究科に近代文化研究所、女性文化研究所、国際文化研究所並びに生活心理研究所を付設する。
17. 本学に附属図書館を設け、教育・研究に必要な図書等学術情報の収集、整理、保存及び提供等に関する業務を取り扱う。
18. 本学に附属博物館を設け、博物館資料の収集、保存、調査研究、展示及び教育普及に関する業務を取り扱う。

■大学部局長会

大学部局長会は、学長、短期大学部学長、副学長、大学院研究科長、学部長、短期大学部長、教務部長、学生部長、キャリア支援部長、アドミッション部長で構成する。大学の基本的問題、予算、大学院及び学部並びに短期大学部間の教育・研究、運営上の連絡並びに調整、学生の募集及び入学者選抜、教育課程、学生の履修及び研修、学生の生活及び進路、各種奨学金奨学生候補者の選定及び奨学金制度、研究施設及び設備、教学人事、大学部局長会から理事会への提案事項、理事会が大学部局長会に諮問する事項、教授会及び部科長会から報告される事項並びに大学教育、学生生活上の重要事項などを協議する。

■大学院委員会

大学院委員会は、学長、副学長、研究科長、学部長及び専攻主任で構成する。大学院の学則及び諸規程の制定や各研究科教授会から報告された事項、各研究科に共通する事項などを審議する。

重要決議事項は、大学部局長会と協議する。

■大学院研究科教授会

当該研究科の授業科目を担当する専任教授及び准教授をもって構成し、研究科の教員の選考、教育課程、学生の研究・厚生等、入学・退学・転学・修了・学位授与及び賞罰に関する事項などを協議する。

協議事項は、大学院委員会に報告し審議を経る。

■教授会（学部教授会及び短大教授会）

教授会は、学長、短期大学部学長、副学長、学部長、短期大学部長、教務部長、学生部長、図書館長、博物館長、教授をもって構成し、原則として昭和女子大学人間文化学部、人間社会学部、生活科学部及び昭和女子大学短期大学部合同開催とする。

学科目、講義題目、授業時数、授業担任及び教育課程に関する基本事項、学生の試験及び課程修了の認定並びに卒業に関する基本事項などを協議する。協議の結果は、大学部局長会に上申する。

■学部部科長会

学部部科長会は、学部長、当該学部所属学科長をもって構成し、学部ごとに開催する。

学部の基本問題、所属学科の向上及び発展、所属学科間の教育、研究及び運営上の連絡及び調整、教育課程、学生の履修及び研修、学生の入学・退学・休学・復学・転学・除籍・転科及び賞罰に関する基本事項、研究施設及び設備、学部の教育、研究及び学生生活上の重要事項などを協議する。

協議の結果は、大学部局長会に上申する。

■教育会議

教育会議は、学長、短期大学部学長、副学長、大学院研究科長、図書館長、学部長、教務部長、同次長、学生部長、同次長、キャリア支援部長、同次長、アドミッション部長、同次長、大学院専攻主任、学科長、総合教育センター長、科長、常勤教員、学長室長、教育支援センター長、キャリア支援センター長、アドミッションセンター長、学長室並びに各センターの担当部長、担当次長及び担当次長代理、女性文化研究所代表職員、近代文化研究所代表職員、国際文化研究所代表職員、生活心理研究所代表職員、図書館代表職員、光葉博物館代表職員、学園本部各部長、事務センター長、同副センター長、オープンカレッジ事務部長、創立者記念講堂事務長及び部長代理で構成する。

教学及び学生指導全般に関する事項の連絡調整を旨として協議する。

■教務部委員会

教務部委員会は、教務部長及び同次長、各学科及び総合教育センター、並びに大学院各研究科から選出された委員で構成する。

授業運営、カリキュラムの構成など教務運営に必要な事項を協議する。協議事項は、大学部局長会に報告する。

■学生部委員会

学生部委員会は、学生部長及び同次長、各学科及び大学院各研究科から選出された委員で構成する。

学生の生活支援、クラス運営、全学的行事、課外活動、学生相談室など、学生生活支援上必要な事項を協議する。協議事項は、大学部局長会に報告する。

■キャリア支援部委員会

キャリア支援部委員会は、キャリア支援部長及び同次長、各学科から選出された委員で構成する。

学生及び卒業生の進路、キャリア支援に関する必要な事項を協議する。協議事項は、大学部局長会に報告する。

■アドミッション部委員会

アドミッション部委員会は、アドミッション部長、同次長及び学長が指名した各学科の委員で構成する。

オープンキャンパス・高校訪問等、学生募集に係る企画の実施を協議する。協議事項は、大学部局長会に報告する。

(3) クラスアドバイザー制

学生生活を有意義で充実したものとするため、クラスアドバイザー制を設けています。

■クラス

クラスは、学科ごとに同一学年の学生を適切な人数に分け、教育活動や学生生活の基礎単位として位置付けられている。

1. 充実した学生生活を送るための拠点とする
2. 教員と学生相互間の協調と協力のもとに、学問研究・人格形成を図る場とする
3. 教育研修上の連絡・伝達・調整の場とする

■クラスアドバイザー

各クラスには、クラスアドバイザーの教員を配置し、学生の学修、生活、進路における適切な助言・指導を行う。

■クラスルーム

学科ごとに定める時間にクラスルームを開催する。学生は必ず出席して、クラスルームの円滑な運営に努める。

3. 教育目標・4 ポリシー

(1) 昭和女子大学の教育目標・4 ポリシー

■教育目標

昭和女子大学並びに昭和女子大学短期大学部（以下、「本学」という）は、「世の光となろう」という学園目標に則り、誠実で礼儀正しく、学識と教養に裏づけられた品位ある人間、奉仕の気持ちを持ち、世界や社会の事象に深い関心を抱き、国の内外を問わず様々な分野で、豊かな創造力と探求心をもって指導的な役割を果たすことができる人材の育成を目標としています。

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

本学では、次のような意欲にあふれた学生を求めています。

1. 本学の教育目標と各学科の目的を理解している。
2. 学問研究への努力を大学生活の中心に置き、幅広い教養と高い専門性を身につけることを目指している。
3. 人間形成への努力を重ね、自主性や行動力、創造力、協調性、奉仕の精神を養うことを目指している。
4. 卒業後は進んで社会に貢献しようと考えている。

本学では、昭和女子大学に3学部11学科、昭和女子大学短期大学部に1学科を置き、多様な能力、適性を持った女性に広く門戸を開いています。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）

本学の教育目標を達成するために、次の方針に基づく教育課程を編成しています。

学修・研究

1. 全学生を対象に「一般教養科目」、「外国語科目」、「諸資格関連科目」を設置し、さらに各学科の「専門教育科目」の一部を「一般教養科目」として履修することができます。幅広い知識を修得し、自らの専門に偏ることなく多角的な視点から真理を探求する姿勢を育みます。
2. 各学部・学科に「専門教育科目」を体系的に設置し、専門的な知識・技術や研究方法を教授します。
3. 各学部・学科に初年次教育科目を配置し、学習技術や自主的思考力を修得させます。また、全学生必修とする「実践倫理」、「日本語基礎」では研究姿勢やキャリア形成の基礎を学び、日本語のコミュニケーション力を磨きます。
4. 所属学部・学科の専門分野を主専攻としながら、目的や関心に合わせて複数領域を系統的に学修して副専攻とすることができます。副専攻履修を学生に推奨し、複眼的な視野を持たせます。
5. 米国ボストン校を設置し、全学生にボストン留学を推奨しています。語学プログラムに加え、専攻に関連した体験型プログラムを実施し、海外体験や社会貢献の機会を用意しています。ヨーロッパやアジア圏への留学制度も充実させ、国際感覚に基づいた行動力を育みます。

人格形成

1. 学科単位で毎年一定期間の宿泊研修を実施し、人間的触れ合いを深めて自主性や協調性、奉仕の精神を養います。この集団研修を通じて、社会に貢献できる資質を育みます。
2. 本学と地域が協働して課題に取り組み、学生が専門知識を活かしてコミュニティサービスを行う場を用意しています。学習内容を定着させ、現代的課題に具体的に取り組む姿勢と力を養います。
3. 国内外の研究者や文化人、芸術家による講演やコンサートを、年間を通じて多数開講しています。この「文化講座」は世界の優れた芸術文化に直接触れることにより、自己確立や創造力の育成、精神的、情操的な成長を目指しています。

4. 生涯を見据えたキャリア教育を行います。基礎的スキルを高めながら自己理解を深め、人生を生き抜く意欲と自信を持てるよう指導します。職業理解を深めるため、全学生にインターンシップを奨励します。

学生支援

1. 各学科のガイダンスやクラスアドバイザー、ゼミ担当教員の助言により、個人の目標に合わせて適切な科目を選択し、体系的な学修がすすめられるよう支援します。
2. 各学科のゼミは少人数で運営し、身につけた知識、論理的思考力、表現力を十分に活用し、研究成果として結実できるよう個別指導を行います。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）

次の能力を有していることを重視し、所定の単位を修めた学生に対して卒業を認定します。

1. 体系的に科目を修得し、世界や社会の事象に深い関心を持ち、これを探求する姿勢がある。
2. 物事に対し、多角的な視点とともに本質を見る目を備え、自ら課題を解決していく力を身につけている。
3. 誠実で礼儀正しく、自己の特性を理解するとともに他者のあり方を受け入れていく姿勢をもって、社会的規範を守り自立した活動ができる。
4. 日本や世界の芸術文化に関心を持ち、成人としての人格を備え、論理的な思考力と豊かな表現力を身につけている。

キャリアデザイン・ポリシー（社会的・職業的自立に関する方針）

1. 本学での学修と実践を通して、継続就業や再就業に係る職業意識・職業観を磨き、長い生涯にわたる自分の生き方を設計するキャリアデザイン力を養う。
2. 学科の「キャリアデザイン・ポリシー」に基づき、「専門教育科目」を体系的に履修することによって、その特性を活かした職業・就業分野で社会的に自立できる職業人を育成する。
3. 国際的な視野と豊かな教養、職業上の倫理観を身につけ、自立した人間として21世紀の男女共同参画社会を担う人材を育成する。

(2) 一般教養

カリキュラム・ポリシー

総合教育センター一般教養は、人間や人間に関わる歴史、社会、文化、更にそれらを取り巻く環境、自然などについての知を、学生の一人一人が掘り、それをもとにものの見方、考え方の基盤を築き、どのような場合にも自らを失うことなく、考え、判断し、行動できることを願って、カリキュラムの編成を行っています。

1. 一般教養科目は、＜心と身体＞、＜思索と表現＞、＜くらしと地域＞、＜自然と環境＞、＜社会を識る＞、＜社会で生きる＞の六つの分野に分類され、これらの分野を自由に横断して科目履修できるように構成されています。
2. 一般教養科目は、原則的には初年次から最終年次までの間に、特定の目標をもって系統的に学ぶことも、また時々の興味、関心に応じて自在に学ぶこともできます。
3. ものの見方、考え方の基盤を築くために必要な、哲学、法学、科学史などの諸学の基礎となる科目を重視したカリキュラム編成を行います。
4. 専門学科との意思疎通を図ることにより、専門と教養の知識・知見を相乗的に高められるカリキュラムの設計を行います。
5. 一般教養科目の学びを通して、学びや知識そのものが、人に喜びを与え豊かさをもたらすことを実感できる科目作り、科目編成を心がけます。

キャリアデザイン・ポリシー

キャリア形成に必要な基礎を作り、次のような人や能力を養成します。

1. 人間や歴史、社会、文化、さらにそれらを取り巻く環境、自然についての知を拡げ、それによりものの見方、考え方の基盤を築き、自らの視点に立って判断し、行動できる人を育てる。
2. 自己を客観的に分析し、社会における自らの位置を的確に知る力、生涯設計や進路の選択を行える力（キャリアデザイン力）を養う。
3. 職業や就業に活用できる、言語運用能力、メディアリテラシー、コミュニケーション能力、地球規模で考え行動できる能力、問題の発見と解決を自ら行える能力を養う。

(3) 各学科の 4 ポリシー

■人間文化学部 日本語日本文学科

アドミッション・ポリシー

昭和女子大学の教育目標を理解し、日本の言語・文学に興味を持っている人、豊かな言語感覚を養い、表現する力を身につけようとする人、ものごとにじっくり取り組み、目標に向かって意欲的に学ぼうとする人を求めます。

カリキュラム・ポリシー

日本語日本文学科は、言語文化を多角的な視点から捉え、日本語・日本文学に対する理解を深めるとともに、社会人として活躍できるコミュニケーション能力の育成を目的としています。具体的には、専門的知識に加えて、「読む」「書く」「聞く」「話す」力を身につけ、表現力を磨くことを目指し、以下のカリキュラムを編成しています。

1. 日本の言語文化に幅広く接して、学べるように、日本語学・日本文学・日本語教育の3分野について、多様な講座を開設しています。
2. 初年次から最終年次に向けて、基礎的な内容から高い専門性へと、実力が段階的に伸展するように、カリキュラムを体系的に組み立てています。
3. 1年次から開設する少人数クラスの演習を通して、問題解決能力を育成し、社会人として活躍するための基礎力を養います。
4. ITスキルや実践的な文章表現、またコミュニケーション能力の開発などキャリア支援に関する科目を開設しています。

ディプロマ・ポリシー

所定の単位を修め、次の能力を備えた学生に卒業を認定して学位を授与します。

1. すぐれた日本語運用能力を身につけ、社会の幅広い分野で活躍できる。
2. ことばや文化への学びを通して、広い視野を持ち、論理的で柔軟な思考が展開できる。
3. 言語・文学を中心に日本の文化についての深い理解を持ち、次の世代に継承できる。

キャリアデザイン・ポリシー

自らのキャリア設計を意識しつつ〈日本語の達人〉を目指す人、〈日本語の達人〉としての見識・能力を活かして社会に貢献する人、さらにその見識・能力を次の世代に継承できる人を育成します。

1. 社会活動すべての基本となる、すぐれた日本語運用能力を養う。
2. 日本のことばと文化を知り、ものごとを見る確かな目と、グローバルに活躍できる素地、確かなコミュニケーション能力を養う。
3. ことばや文化の学びを通して得た広い視野のもと、論理的で柔軟な思考を展開できる力を養う。

■人間文化学部 英語コミュニケーション学科

アドミッション・ポリシー

昭和女子大学の教育目標を理解し、世界の動向に関心を持ちながら英語を中心に学修する人、ボストン留学プログラムに積極的に参加し、知識や経験を活かして社会に貢献する意欲を持った人を求めます。

カリキュラム・ポリシー

英語コミュニケーション学科では、国際社会で必要となる基礎力の定着、英語力とコミュニケーション力の育成を目的として、以下のカリキュラムを編成しています。

1. 在学中に1セメスターのボストン留学プログラムを体験します。希望者および一定基準を満たした者は、2または3セメスターの留学プログラムで実践力をさらに磨くことができます。
2. 専門科目では、主専攻科目と学科独自の副専攻科目（英コミ一般教養テーマスタディ）を配置し、ボストン留学と合わせて有機的な学修を奨励することで、深い知識と洞察力を培います。
 - (1)主専攻科目群では、英米文学・文化、英語研究、英語教育、メディアコミュニケーション、ビジネスコミュニケーションの5領域の専門科目を編成し、講座を体系的に配置します。
 - (2)英コミ一般教養テーマスタディでは、社会事情、福祉・ボランティア、ビジネス、西洋と日本の芸術、日本語教育の科目群を編成します。
 - (3)ボストン科目では、習熟度別の少人数クラスと米国のボランティアやコミュニティサービスを取り入れた実践的カリキュラムを編成します。
3. 初年次からゼミ形式の少人数クラスを運営します。1・2年次でコミュニケーションスキル、論理的思考力、問題解決力などの基礎を修得し、3・4年次では専門性を深め、卒業論文・卒業制作を仕上げます。
4. 初年次からキャリア教育を用意し、様々な分野で活躍する社会人を招いたオムニバス講義を設定することで、ロールモデルを示しながら職業観を育みます。
5. Eラーニングを授業の一部に組み込み、全員がコンピュータを持つことで、高度なITスキルを養います。
6. 学内外においてインターンシップやコミュニティサービスの機会を設け、主体性やリーダーシップ、協調性を磨きます。

ディプロマ・ポリシー

所定の単位を修め、次の能力を備えた学生に卒業を認定して学位を授与します。

1. 国際社会に関する深い知識と、職場や地域で求められる英語力とコミュニケーション力を持っている。
2. 世界の多様な価値観の存在を理解し、各国の歴史や文化を尊重できる。
3. 論理的な思考力を備え、的確な判断力と豊かな表現力を有している。
4. 留学経験や地域での活動を通して、他者と積極的に関わり、主体性、実行力、リーダーシップ、協調性を有している。

キャリアデザイン・ポリシー

1. 留学経験を通して、高い英語力と国際的な視野に基づくキャリア意識を有する人材を育成する。
2. 団体留学の経験を通して、自己や他者に対する深い理解力、洞察力を養い、他者と協働して、社会や組織の問題解決に役立つコミュニケーション力を備えた人材を育成する。
3. 英語を活かして活躍する職業人、卒業生、メンター等をロールモデルとして、英語に関連するビジネスフィールドに習熟した人材を育成する。

■人間文化学部 歴史文化学科

アドミッション・ポリシー

昭和女子大学の教育目標を理解し、歴史と文化を意欲的に学ぼうとする強い意志があり、資料やフィールドワークを通じて得た知識と経験を社会に発信し、貢献することを惜しまない人を求めます。

カリキュラム・ポリシー

歴史文化学科では、日本や世界の歴史と文化を体系的に学び、諸国・諸地域の多様な文化を理解し尊重するとともに、社会で求められる実践力の育成を目的として、以下のカリキュラムを編成しています。

1. 歴史・考古、美術・伝統文化、地域と民族の文化、文化財の幅広い4分野について基礎・概論から発展授業の特論へと体系的に学修し、専門ゼミで完結させます。総合的かつ多角的に歴史と文化を理解するために、少人数制のゼミに力を入れ、実習・体験重視の講座を多く開講しています。
2. 専門分野の基礎講義から特論講義を段階的に履修することによって、問題点を見だし、それを解決する方法を習得し、多くの情報を整理・分析できる力を養成します。
3. 遺跡発掘や研修旅行などで、見て、触れて、歩いて学ぶ体験学習法の基礎を身につけ、国内外での発掘等、体験の場を通して多文化への理解を深めます。
4. 教職・学芸員・考古調査士等の専門職に対応し、さらに、文化財修復技術・文献取扱技能・民俗調査技能などを習得します。
5. 取材能力、情報コミュニケーション力、ツーリズム・ホスピタリティなどの実践的なキャリアスキルの習得にも力を入れています。

ディプロマ・ポリシー

所定の単位を修め、次の能力を備えた学生に卒業を認定して学位を授与します。

1. 日本や世界の歴史と文化を理解し、自ら学んだことを活かして社会に貢献できる。
2. 実習や体験により、真摯な態度と地道な努力を継続できる力を備えている。
3. 多種多様な情報を入手し、状況に応じた最適な到達点を見いだす判断力と選択能力を有している。
4. 他者と調和して多様な意見に耳を傾けながら、自らの意志を表現する力を持っている。

キャリアデザイン・ポリシー

1. 多角的な視点から日本や世界の地理・歴史を深く学び、異文化への理解と豊かな感性を備えた教員を育成する。
2. 学芸員・考古調査士等の資格を持ち、歴史・文化の研究にたずさわって、その成果の普及に貢献できる人材を育成する。
3. 地域の歴史と文化を深く理解し、自ら学んだことを活かしながら、社会に貢献する公務員を育成する。
4. 日本と世界の文化を理解し、歴史全般にかかわる専門的な知識を活かした出版・情報関連の仕事にたずさわる人材を育成する。
5. 国内外での歴史・文化にかかわる実習や体験学習を活かし、旅行業界等で働く人材を育成する。

人間文化学部 国際学科

アドミッション・ポリシー

昭和女子大学の教育目標を理解し、将来、国際社会で自立し力を発揮することを目標に、狭い固定観念にとらわれず自由な発想で意欲的に学び、可能性を信じて自らを高める地道な努力を惜しまない人を求めます。

カリキュラム・ポリシー

国際学科では、複数言語修得と国際社会に通用する能力の基礎を育成することを目的に、以下のカリキュラムを編成しています。

1. 複言語科目群では、国際言語の英語に加え、地域言語（仏語、独語、西語、中国語、韓国語から選択）を並行して集中的に学びます。様々な国や地域への留学制度を用意し、原則1セメスターの海外留学を必修とすることで、高い語学力、異文化への深い洞察力を育成します。
2. 国際社会・多文化共生、日本研究、地域研究科目群では、国際社会の仕組み、日本の文化を含めた様々な社会・文化に対する理解を深め、多角的な視野を養います。

3. 国際貢献・グローバルキャリア科目群では、将来のキャリアを視野に入れ、職業人として実社会で必要となる実践的知識とスキルを修得します。
4. 国際ボランティア、インターンシップ、オフキャンパス・スタディなどの体験型プログラムを通し、行動力とリーダーシップを磨きます。

ディプロマ・ポリシー

所定の単位を修め、次の能力を備えた学生に卒業を認定して学位を授与します。

1. 国際社会・日本社会への幅広い知識と深い洞察力を有している。
2. 優れたリテラシーを備え、効果的な発信力を有している。
3. 論理的・自主的な思考力を有している。
4. 卓越したイニシアティブ・行動力を発揮し、積極的に他者と関わる能力を有している。

キャリアデザイン・ポリシー

1. 国際社会、諸地域社会および日本社会に関する幅広い知識と深い洞察力を有し、問題発見・解決に貢献できる人材を育成する。
2. 優れた言語・情報リテラシーを活かしたコミュニケーション力・情報発信力をそなえ、異文化の人々と協働する人材を育成する。
3. 異文化への理解と他者への尊重の心をもって自発的に行動し、多文化が共生できる平和な社会の構築に貢献する人材を育成する。

人間社会学部 心理学科

アドミッション・ポリシー

昭和女子大学の教育目標を理解し、将来、人と関わる活動や仕事を通じて社会に貢献しようと考えている人。そのために、人のこころと行動を科学的に捉える心理学の様々な領域や視点を広く学ぶとともに、諸活動に積極的に参加して人と協調的に関わり、自己の見識や能力を高めようとする意欲ある人を求めます。

カリキュラム・ポリシー

心理学科では、特定分野に偏らない心理学的知識・視点と、対応する技術スキルの習得を目的として、以下のカリキュラムを編成しています。

1. 心理学の主要な分野を網羅する基礎的科目と充実した応用的科目を開講しています。体系的に無理なく学修できるよう、1・2年次に必修の基礎的科目を、2年次以上に選択必修の応用的科目を配置しています。
2. 心理学に関する授業科目は、方法論、発達心理学分野、社会心理学分野、認知心理学分野、臨床心理学分野、演習（ゼミナール）・卒論の6グループに分類され、発達・社会・認知・臨床の各分野から複数分野を並行して履修できるよう、科目を設定しています。
3. 上記2.の授業科目は、講義形式だけでなく、体験的に技術スキルを習得する実験・実習科目や、地域と協働して課題に取り組むコミュニティ・サービスラーニングの科目も開講しています。
4. 卒業論文作成を目標としたゼミナール形式での指導を重視します。3年次以上のゼミは少人数で運営し、各自の関心あるテーマで卒業論文をまとめることができるよう、ゼミ担当教員が研究指導を行います。
5. 卒業後に社会で必要となる能力をバランス良く習得できるよう、各科目を履修することによって身につく知識や能力を示した履修モデルに基づき、大学院への進学を含めた将来の進路選択・キャリア形成を見据えた履修計画を立てるよう指導します。

ディプロマ・ポリシー

所定の単位を修め、次の能力を備えた学生に卒業を認定して学位を授与します。

1. 心理学の科学的で幅広い視点と基本的知識を有している。
2. 人と社会を取り巻く現実の諸問題に関心を持ち、心理学的アプローチにより対処するための基礎的素養を有している。
3. 自ら問いを立て他者と協調して合理的に解決していく総合的な能力を有している。

キャリアデザイン・ポリシー

心理学の多角的な視点と基本的知識をもち、人と社会を取り巻く現実の諸問題に心理学的アプローチにより対処できる、次のような人材を育成します。

1. 発達過程における心理的变化や多様な個人の心理的特徴への理解を踏まえて、さまざまな立場や年齢の人と円滑なコミュニケーションがとれる。
2. 人の認識と行動についての知識と心理学の実験や調査のスキルを用いて、商品やシステムのデザインに有効な情報を提供できる。
3. 社会調査のスキルを用いて、消費者ニーズを統計的に把握し、新商品の企画や合理的な販売戦略についての情報を提供できる。
4. 対人上・組織上の課題に対して、心理テストや心理トレーニングなどの技法を用いた有効な解決法を提案・実行し、社員教育などに貢献できる。
5. 心理支援の必要な人や組織に対して、心理学の知見や方法を活かした援助を行うことができる。

人間社会学部 福祉社会学科

アドミッション・ポリシー

昭和女子大学の教育目標を理解し、大学での学修と地域社会での実践を通して、人と社会を科学的に探究し、人々の幸福な生活の維持向上に寄与し得る人を求めます。

カリキュラム・ポリシー

福祉社会学科では、福祉に関する幅広い知識・技術と倫理観を持ち、福祉社会の構築に資する人材育成を目的に、以下のカリキュラムを編成しています。

1. 社会福祉理論に関する講義科目と、それを実践・応用するための援助演習科目や現場実習科目を用意しています。
2. 福祉社会を担う人材として必要な、教養・人間性・対人関係能力の育成に関する科目を用意しています。
3. 国際化に対応する専門的知識、実践力を養うための研修プログラムを用意しています。
4. 社会福祉に関する研究・課題発見能力、論理的思考力や分析力を育成するために、少人数形式の演習を用意しています。

ディプロマ・ポリシー

所定の単位を修め、次の能力を備えた学生に卒業を認定して学位を授与します。

1. 社会福祉学を基礎とし、人と社会に対して科学する探究力を有している。
2. 福祉社会の構築に貢献する行動力、コミュニケーション能力を有している。
3. 世界的な視野を持ち地域の社会福祉課題への洞察力と解決力を有している。
4. 国際社会・日本社会における人々のウェルビーイングの向上に貢献できる能力を有している。

キャリアデザイン・ポリシー

社会福祉制度・政策、対人援助技術の知識を有し、国際比較を踏まえた分析能力を有する福祉専門職の育成から、福祉マインドをもった企業人および公務員等福祉社会を創りあげる幅広い人材の養成を目標とします。

ソーシャルワークコース

相談援助の知識・技術・倫理観を基盤に保健医療福祉の専門機関・施設、地域福祉の推進団体、行政機関で、福祉的課題を抱える人々への支援やその問題解決、並びに福祉社会づくりに寄与するソーシャルワーカーを育成する。

子ども家庭支援コース

子ども・家庭・地域に対する支援システムを総合的に学び、保育とソーシャルワークの知識・技術を統合して、保育所などの児童福祉施設・機関のスタッフをはじめ子どもの発達に関する臨床相談や障害児支援、地域の子育て支援におけるリーダー的役割を果たす保育士を養成する。

福祉キャリアコース

地域援助技術および組織・事業のマネジメント手法の修得と、福祉社会における公務・民間企業・NGO・NPO等の役割についての理論的・実践的な学修を基礎に、福祉マインドをもって地域・事業の活性化に貢献できる人材を育成する。

人間社会学部 現代教養学科

アドミッション・ポリシー

昭和女子大学の教育目標を理解し、柔軟な思考と知的好奇心に富み、多様な学びから広範な分野の基盤となる教養を身につけ、積極的に社会とかかわろうという人を求めています。

カリキュラム・ポリシー

現代教養学科では、社会科学、人文科学、自然科学の現代的教養を土台に、「分析する力」と「ことばの力」をもって、積極的に社会参加できる人を育成するために、以下のカリキュラムを編成しています。

1. 社会科学の基礎を学ぶとともに、現代社会、経済・マネジメント、国際社会の学際的な3コースで横断的な視点を身につけ、現代的諸問題を総合的に把握、対応できる思考力を養成します。
2. 生涯のキャリアプランを描ける自立・自律した人材育成を目指し、キャリア形成科目群やインターンシップを通じて職業意識の涵養を目指します。
3. 語学（日本語、英語、外国語）、ITスキル、プレゼンテーション能力、社会調査法のスキルを習得し、社会で活動するための基礎力を養成します。
4. 国内外の社会調査研修を通じて、社会に主体的に働きかける力を養成します。

ディプロマ・ポリシー

所定の単位を修め、次の能力を備えた学生に卒業を認定して学位を授与します。

1. 様々なリテラシーの習得を通じ、独自の視点を持ち発信力を有している。
2. 自分の特性や能力を的確に把握し、論理的、自主的な思考の展開ができる。
3. 社会の動向を常に意識し、現代的教養を土台に現代社会を見る視座を有している。
4. キャリアプランを意識しながら、社会環境の変化に柔軟に対応できる応用力を有している。

キャリアデザイン・ポリシー

社会科学諸分野の基礎科目、応用科目およびスキル系科目を通して現代社会について幅広く学び、次のような能力を有する人材を育成します。

1. 日本語、英語、情報技術についてのリテラシーと社会科学諸分野にわたる知識をもっている。
2. グローバルな視野と国際社会の多様性に対応できる力をもっている。
3. 現状分析に必要な情報力と社会の変容に柔軟に対応し、行動できる力をもっている。
4. 複雑な社会現象を把握するためのデータ分析能力と自らの視点をもっている。

人間社会学部 初等教育学科

アドミッション・ポリシー

昭和女子大学の教育目標を理解し、初等教育の実践的知識を身につけて社会に貢献しようという確か

な目的意識と、子どもの成長を支援する職業に就きたいという意欲を持っている人で、目標に向かい地道な努力を続け、何事にも誠実な態度で取り組める、表現力に優れた明るく快活な人を求めます。

カリキュラム・ポリシー

初等教育学科では、子どもの心身の発達と成長を期待し、一人ひとりの個性や能力を引き出し、人格の形成に向けて的確な指導・援助ができる教育者・保育者の育成を目的として、以下のカリキュラムを編成しています。

1. 教育教養科目群により、人間形成の原理と基本的な教育理論、現代社会における教育課題について学び、教育者・保育者に不可欠な教育教養を身につけます。
2. 基礎技能科目群により、学生一人ひとりの基礎的な知識や技能を定着させ、応用発展科目群により、その基礎力をさらに向上させるとともに応用力を身につけます。
3. 体系的に配置されたカリキュラムにより、段階的に小学校・幼稚園の教育職員免許状・保育士の資格取得に必要な科目を修得します。
4. 学園内外の小学校、幼稚園、保育所、子育て支援施設などでの体験学習を通して、乳幼児・児童の実態、教育保育現場の実際に触れ、理解を深めるとともに職業意識を高めます。

ディプロマ・ポリシー

所定の単位を修め、次の能力を備えた学生に卒業を認定して学位を授与します。

1. 小学校・幼稚園の教育内容や、保育所の保育内容に関する的確な知識を持ち、実践する力を有している。
2. 児童・乳幼児の心身の発達に関する基礎的知識と、自己表現力・受容力を獲得し、さまざまな初等教育の場において指導援助できる力を有している。
3. 現代の教育課題を把握し、分析・判断する力と解決しようとする意欲をもち、社会や地域の教育支援にも貢献できる行動力を有している。

キャリアデザイン・ポリシー

心身ともに健全で豊かな感性を持った子どもを育成できる、小学校教諭・幼稚園教諭・保育士を養成します。専門職養成カリキュラムと学内外の教育・保育の現場体験等を通して、教育者・保育者としての資質を高め、行動力・実践力を養成します。

1. 児童一人一人の心身の発達の段階や特性を十分に理解し、カウンセリングマインドに基づいた指導力を養う。各教科等の指導技術を有し、児童の学力向上を図る能力を身に付けた小学校教諭を養成する。
2. 幼児の発達段階を十分に理解し、子どものすこやかな成長を図る環境設定等の能力を養う。幼稚園教育の各領域の確かな保育技術を身に付け、感性豊かな子どもを育む、指導力ある幼稚園教諭を養成する。
3. 乳幼児の発達過程における心理や行動の特性を深く理解して、保育する能力を養う。具体的な保育技術を身に付けるとともに、保護者と連携し、子育てを支援することのできる保育士を養成する。
4. 乳幼児・児童の発達過程全体を関連させて学ぶとともに、教育・保育の現場で活躍する卒業生との交流により、就業への高い意欲をもった人材を養成する。

生活科学部 環境デザイン学科

アドミッション・ポリシー

昭和女子大学の教育目標を理解し、将来、広く実社会においてデザイン力とプレゼンテーション力を生かして活躍することを目標に、個々のアイデンティティを生かした自由な発想で意欲的に学修し、コミュニケーション力を育みチームの一員としても調和しようと努力する人を求めます。

カリキュラム・ポリシー

環境デザイン学科は、あらゆる分野に求められる快適で美しい環境デザインに貢献できる人材育成のために、4つのコースを用意し、以下のカリキュラムを編成しています。

1. 初年次は、多様な環境の理論とデザインに関する基礎科目群を学びながら、コースを選択します。また、プレゼンテーションの基礎となるCGやCADなどのコンピュータ科目、デザインの基礎となる演習・実習科目、個々の状況に合わせて受講する基礎学力フォロー科目など、総合的に基礎力を養います。
2. それぞれのコースに進み、多様な専門講義科目を学び、その応用として充実した演習・実習科目に取り組み、豊かな知識を基にデザイン力とプレゼンテーション力を養います。また、演習等にはチームを編成して取り組む課題がありコミュニケーション力も育まれます。
 - (1)デザインプロデュースコースでは、多様なデザイン業界で企画総合力を発揮できるよう、企画・プレゼンテーション・語学・パソコン等の能力を養い、幅広くデザインする能力を養います。
 - (2)建築・インテリアデザインコースでは、JABEE認定プログラムや大学・大学院一貫の教育課程などを通じて、インテリアから住居・建築・都市といった幅広い分野で活躍できるように、基礎学力、企画力、表現力、デザイン力を養います。
 - (3)プロダクトデザインコースでは、パッケージから広告・編集・製品本体までのプロダクト全体をよりよくデザインできるよう、観る力・考える力・知る力・創る力を養います。
 - (4)服飾デザインマネジメントコースでは、アパレル業界で広い視野をもち活躍できる人材を育成するため、衣服の企画生産から小売り・管理運営まで総合的な知識とスキルを養います。
3. 高学年では、著名デザイナーの特別講義や演習、インターンシップやデザイン事務所や大手企業での学外実務演習、チームを組んでの学内・学外イベントへの出品など、実社会の実態やレベルを体験する機会を多く設け実社会に通用する力を養います。

ディプロマ・ポリシー

所定の単位を修め、次の能力を備えた学生に卒業を認定して学位を授与します。

1. あらゆる分野に役立つ総合的なデザイン力・プレゼンテーション力を有する。
2. それぞれの専門分野に関する十分な知識とスキルを有している。
3. 個々の自由な発想に基づき知識とスキルを応用展開させる能力を有している。
4. チームの一員として仕事を分担し自己表現できるコミュニケーション力を有している。

キャリアデザイン・ポリシー

本学科の4コースでは、私たちの生活を取り巻く環境を、衣服から生活用品、インテリア、建築、都市・地域と幅広くとらえ、デザインするための科学的な根拠に基づく技術と知識、発信力を身につけ、快適で美しい環境のデザインに貢献できる人材を育成します。

デザインプロデュースコース

デザインに関する基礎力と企画力を身につけ、様々なデザイン分野で企画・運営に携わる人材を育成する。

建築・インテリアデザインコース

深い専門知識と幅広い教養を活かし、生活者の視点を持って建築やインテリアの分野で活躍できるデザイナーや専門技術者、地域社会に貢献できる人材を育成する。

プロダクトデザインコース

広範囲なプロダクトの企画から実践までのデザインプロセスを修得し、プレゼンテーション力を身につけて、プロダクトデザイン、グラフィックデザイン分野で活躍できる人材を育成する。

服飾デザインマネジメントコース

デザイン力や幅広い企画力を身につけるとともに、ファッションを科学し、製品を見極める基礎力を有し、ファッションビジネスの分野で活躍できる人材を育成する。

生活科学部 健康デザイン学科**アドミッション・ポリシー**

昭和女子大学の教育目標を理解し、健康と栄養および食品、感覚、運動に強い関心を持ち、将来、専門的な知識と能力を活かして社会に貢献したいという意欲のある人を求めます。

カリキュラム・ポリシー

健康デザイン学科では、栄養士養成を基礎としています。その上で、食品、感覚、運動の各分野に展開できる以下のカリキュラムを編成しています。

1. 初年次教育として化学、生物、微生物、調理、統計情報処理を設定し、講義および実験実習を通して専門知識を学ぶための基礎を養います。また、外国語科目は科学英語の特別カリキュラムにより教育を行っています。
2. 栄養士としての基盤となる能力を培う専門科目では、生物学的な観点から人体の構造や生理を理解し、食品成分とその有効性を中心に学びます。
3. 実習科目や学外実習を配置して、栄養士としての能力を身につけて社会で活躍できる実践力を養います。
4. 食品、感覚、運動の領域科目を展開し、健康を多面的にとらえ、社会的、文化的な生活の質の向上に貢献する能力を養います。
5. 目標として設定したキャリアの実現に向けて、種々の資格取得のためのカリキュラムや研究活動の基礎を学ぶ講座を設定しています。

ディプロマ・ポリシー

所定の単位を修め、次の能力を備えた学生に卒業を認定して学位を授与します。

1. 専門知識を有する人としての態度、道徳やコミュニケーション力を身につけ、真摯な姿勢を有している。
2. 食と栄養に関する専門知識と技術、展開能力を有している。
3. 食科学、感覚、運動の各分野の専門性を深めた基礎・応用能力を修得している。
4. 健康を守り、生活の質の向上に積極的な提案ができる。
5. 社会に貢献し得る能力を有し、常に新しい知識や技術の習得に努めることができる。

キャリアデザイン・ポリシー

栄養士をベースに健康のスペシャリストを育成します。

1. 食品と栄養の基礎的・応用的な知識ならびに法的知識を有し、健康の増進や疾病予防のための食事や食品の製造、品質管理およびそれらに関する情報を発信・提案することができる。
2. 食品の成分や安全性に関わる分析・測定・解析を行う基礎的な能力を有し、情報を発信・提案することができる。
3. 香料と感覚の基礎的・応用的な知識、香料品に関する基礎科学および皮膚科学の知識を有し、人の美しさを内面から支える生活の提案、情報の発信をすることができる。
4. 運動に関する基礎的・応用的な知識ならびに専門的な技能を有し、年齢やライフスタイルを考慮した様々な食と運動についての情報の提供と実践的な指導をすることができる。
5. 中学・高校の教員として、科学的な知識と食・健康の知識を活かした教育・食育・指導ができる。

生活科学部 管理栄養学科**アドミッション・ポリシー**

昭和女子大学の教育目標を理解し、医療、栄養、食品、健康に強い関心を持ち、医療・福祉・栄養行政の分野の専門職を目指して、社会に貢献したいという意欲が強い人を求めます。

カリキュラム・ポリシー

管理栄養学科では、病院・福祉施設等におけるチーム医療や栄養行政の現場で、専門的知識を活かして活躍できる人材の育成を目的として、以下のカリキュラムを編成しています。

1. 化学、生物、微生物、調理、統計情報処理を基礎科目分野として設定し、講義および実験実習を通して専門知識を学ぶための基礎を養います。また、外国語科目は科学英語の特別カリキュラムにより教育を行っています。
2. 社会・環境と健康、人体の構造と機能及び疾病の成り立ち、食べ物と健康を専門基礎科目分野とし、講義および実験実習を通して、専門知識の基礎を養います。
3. 基礎栄養学、応用栄養学、栄養教育論、臨床栄養学、公衆栄養学、給食経営管理論を専門科目分野とし、講義および実験実習で学びます。さらに総合演習を経て、3年次後期の学外実習の臨地実習で専門的知識及び技能の統合を図ります。
4. 実践的知識と技能を学ぶ選択科目を導入し、将来のキャリアを視野に入れ、より高度な専門的能力を養います。
5. 大学院進学や社会の要請する研究開発能力を卒業研究等で養い、総合的な力を身につけた人材を養成します。

ディプロマ・ポリシー

所定の単位を修め、次の能力を備えた学生に卒業を認定して学位を授与します。

1. 専門職として適切な態度、道徳やコミュニケーション力を備え、真摯な姿勢を有している。
2. 管理栄養士国家試験を受験し、合格できる十分な知識と能力を有している。
3. 個人または集団のよりよい健康状態実現を目的として、指導・教育できる専門知識と技術、展開能力を有している。
4. 病院・福祉施設等において、療養のために必要十分な栄養管理・指導ができる能力を有している。
5. 栄養行政における現場で、個人の健康保持増進のために必要な栄養管理・指導ができる能力を有している。

キャリアデザイン・ポリシー

医療・福祉・行政分野で働くプロフェッショナルとしての管理栄養士を育成します。

1. 医療、栄養、食品、健康についての基礎・応用的な知識と関連する法律の知識をもち、健康の増進や疾病予防さらに傷病者の治療や療養、高齢者のQOL（生活の質）の向上を図るために、栄養・食事プランの提案や実践指導を行い、正しい情報を継続的に発信することができる。
2. 栄養・食事指導においてクライアントとの間に信頼関係を築くコミュニケーション能力を身につけて、クライアント自らが問題を解決できるよう支援することができる。
3. 医師や医療関係者と連携する能力を身につけ、チーム医療の一員として栄養管理計画の立案と提案および栄養指導することができる。
4. 子どもの成長発達に合わせた栄養や食育の知識と技能を身につけ、栄養教諭として学校給食の運営、「食に関する指導」の中で食のスペシャリストとして計画の立案と提案および教育することができる。

■短期大学部 文化創造学科

アドミッション・ポリシー

昭和女子大学短期大学部の教育目標を理解し、周囲と調和しながら自らの可能性を追求し、目標に向かって着実に努力し続けることができる人材を求めます。

カリキュラム・ポリシー

文化創造学科では、基礎力の定着をはかりながら、日本語や英語を正しく読み・聴き・理解する力を養い、コンピュータ等による情報収集と整理能力を高め、また、ゼミや創造的科目群により、発信力、

表現力、協調性、計画性、課題解決力等を育てるために、以下のカリキュラムを編成します。

1. 日本や英米の文学作品を読みまた歴史や大衆文化など多文化を学ぶ科目群により、広い視野や思考力を養い、異文化への理解と社会貢献、社会的責任を自覚させます。
2. ボストン校で行われるプログラムに参加する学生については、国際的視野を拡げ英語運用力を磨きます。
3. マスメディアを含む現代社会事情を学ぶ科目により、情報選択力と一般常識を身につけ社会への関心を高め、実践的知識に基づいたキャリア形成と生涯学習への意欲を育てます。
4. 文芸創作、芸術書道、映像制作、デザイン制作、パフォーマンス等の創造的科目により、スキル向上への意欲、豊かな感受性、発信力、チームワーク、行動力、リーダーシップを育てます。
5. 少人数のゼミにより、読み書き、ディスカッション、コンピュータを利用したプレゼンテーションなどを実践し、コミュニケーション能力、問題発見、解決力を育てます。

ディプロマ・ポリシー

所定の単位を修め、次の能力を備えた学生に卒業を認定して学位を授与します。

1. 多様な人々と協働することができるコミュニケーション力を有している。
2. 日本語、英語、パソコンのスキル及びITリテラシーとメディア・リテラシーを有している。
3. 学ぶ意欲を持ち、積極的にキャリア形成を行い、社会貢献ができる。

キャリアデザイン・ポリシー

1. 志望する学部・学科の専門科目、編入対策英語、小論文対策に関する学力を高め、学部編入学できる力を養う。
2. ボストン留学や英米文学・文化に関する科目を通して英語力を高め、旅行業・ホテル業界で活躍できる人材を育てる。
3. 日本について学び、日本語力を高めて、図書館司書・金融業界・医療関係などで就業できる人材を育てる。
4. 現代の社会事情やメディアについて学び、コミュニケーション力を養い、IT関係・販売・アパレル・メディア業界などで就業できる人材を育てる。

夢を実現する7つの力

7つの力とは、仕事や生活で必要になる力で、在学中に身につけておくべき力を具体的に示したものです。これを目標に、持っている力をバランスよく高めていきましょう。

3

教育目標・4ポリシー

1 グローバルに生きる力

- ・日本の伝統や文化を大切にできる。
- ・世界の地理や歴史を知っている。
- ・地球環境や経済の動きに関心を持っている。
- ・いろいろな国の文化に偏見や差別感を持たない。
- ・芸術を鑑賞し、味わい、感動できる。
- ・礼儀正しく振舞い、相手の立場を尊重できる。

2 外国語を使う力

- ・仕事で必要となる英語を読み、書ける。
- ・外国人と英語で話し、聴き取れる。
- ・TOEFLやTOEICなどの試験を受験して得点を伸ばせる。
- ・英語以外の外国語の基礎的な知識がある。

3 ITを使いこなす力

- ・コンピュータの基本的な操作方法を知っている。
- ・仕事で必要なワード、エクセル、パワーポイントを操作できる。
- ・専門学習に必要なソフトウェアを使い、レポートや作品を作成できる。
- ・インターネットを活用して、情報を集められる。
- ・インターネットの便利さと危険性を知っていて、安全に利用できる。

4 コミュニケーションをとる力

- ・笑顔で挨拶し、誰とでも気持ちよくつきあえる。
- ・時と場所に合わせて自分に似合う服装を選べる。
- ・文章やことばを読んで理解し、要点をつかめる。
- ・人の意見を素直に聴き、自分の意見をきちんと伝えられる。
- ・漢字や慣用句を正しく使い、レポートや手紙を書ける。
- ・人前で堂々と話ができる。
- ・文字、イラスト、グラフ、動画、身体表現を使い、わかりやすくアピールできる。

5 問題を発見し目標を設定する力

- ・ものごとをいろいろな角度から見て、原因や問題点を発見できる。
- ・問題をどう解決するか、いろいろな方法を考えて提案できる。
- ・みんなで話し合い、目標を設定できる。
- ・いつまでに何をしなければならないか考え、優先順位を決められる。

6 一歩踏み出して行動する力

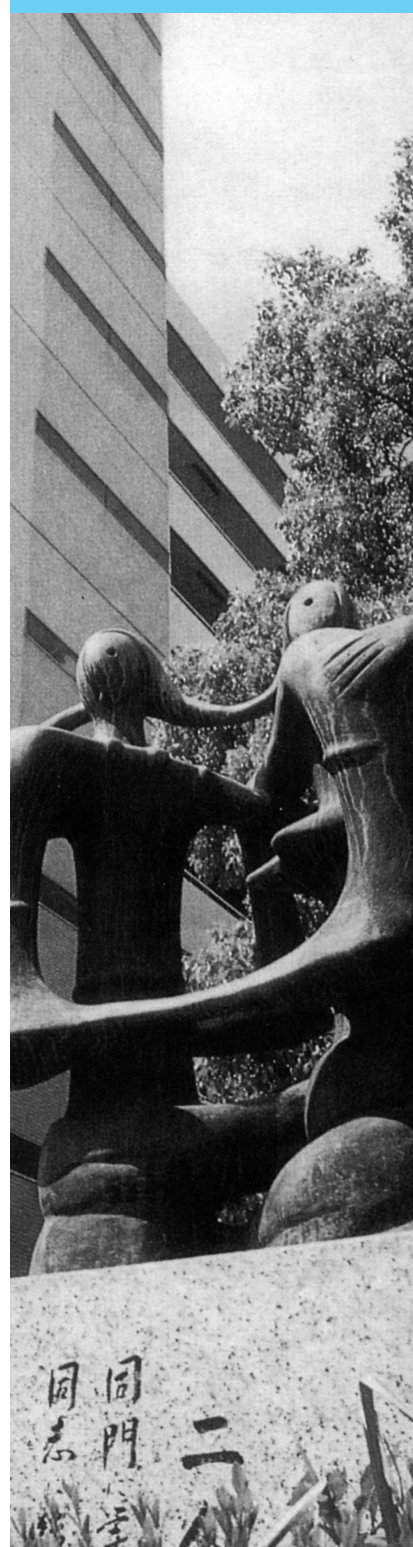
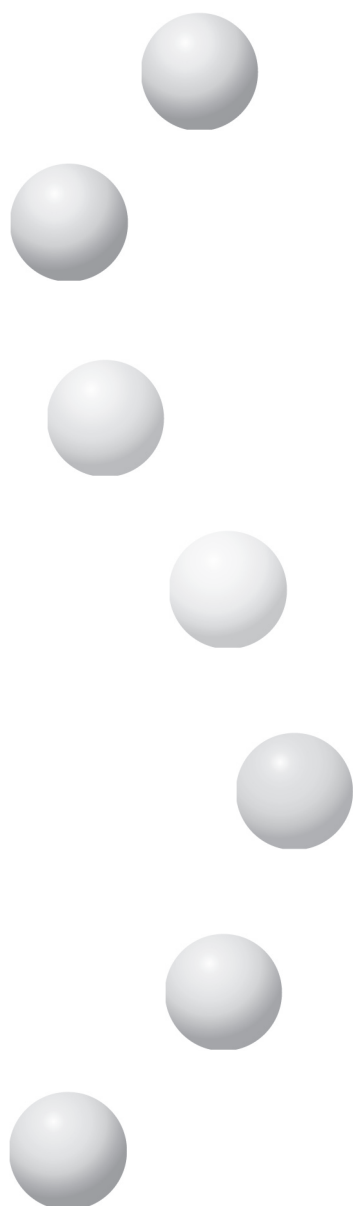
- ・前向きに考え、新しいことに挑戦できる。
- ・積極的に仕事や役割を引き受ける。
- ・苦しいことがあっても、あきらめずにやり遂げようとする。
- ・小さな成功を積み重ね、自信に結びつける。
- ・みんなで力を合わせ、役割を分担してチームワークを発揮できる。

7 自分を大切にする力

- ・健康的な生活習慣を心がけている。
- ・自分の魅力や長所を見つけ、伸ばすことができる。
- ・自分の欠点や短所に気づいている。
- ・落ち込んでしまった時、自分を励ますことができる。
- ・反社会的な行為から、身を守る知恵を持っている。
- ・社会のルールを理解し、自分の行動に責任を持てる。
- ・自分を好きになれる。

II

教育課程



1

文化講座は、国内外一流の学者、文化人、芸術家等を本学に招いて、主に創立者記念講堂で開催する講座です。多感な青春時代に優れた芸術、文化に接することは、情操豊

学寮研修は、大学での人間形成に優れた成果を挙げてきました。本学教育の特色のひとつでもある全寮制度の精神を受け継ぎ実施しています。その学寮研修では、師弟同行の労作奉仕もあり、教員と学生が教室の授業で交流するだけでなく、野外活動、懇談、討論、交歓を通してお互いに磨き合い、**全人教育**の成果を挙げることを目指しています。

POINT 卒業に必要な事項

修業年限＋卒業要件単位＋文化講座＋学寮研修

大学を卒業するために必要な単位は次のとおりです。

	一般教養科目	外国語科目	専門教育科目	※学則第14条に定めるその他の修得要件				文化講座	合計
				一般教養・外国語・専門教育科目のいずれから	外国語・専門教育科目のいずれから	専門教育科目から	外国語科目から		
人間文化学部	36 以上	8 以上	76 以上					8	132 以上
日本語日本文学科				4以上	－	－	－		
英語コミュニケーション学科				－	－	4以上	－		
歴史文化学科				－	－	2以上	2以上		
国際学科				－	－	4以上	－		
人間社会学部									
心理学科				－	4以上	－	－		
福祉社会学科				－	4以上	－	－		
現代教養学科				－	4以上	－	－		
初等教育学科				－	－	4以上	－		
生活科学部									
環境デザイン学科				－	4以上	－	－		
健康デザイン学科				4以上	－	－	－		
管理栄養学科	4以上	－	－	－					

短期大学部を卒業するために必要な単位は次のとおりです。

		一般教養科目	外国語科目	専門教育科目	余裕単位	文化講座	合計
短期大学部		8	4	36	14	4	66
文化創造学科							

(2) 一般教養科目

卒業に必要な一般教養科目の単位数は、大学 36 単位以上、短大 8 単位以上です。そのうち、実践倫理（2 単位）・日本語基礎（2 単位）は必修です。

大学は、女性の生き方と社会（2 単位）、女性とキャリア形成（2 単位）、女性とキャリア開発（2 単位）が 2 単位以上選択必修となります。

初等教育学科・健康デザイン学科・管理栄養学科は、体育実技（1 単位）も必修です。

体育実技は 2 単位まで卒業要件単位として認められます。

大 学	実践倫理 (昭和女子大学の教育と理念) (キャリアデザイン)	日本語基礎	女性の生き方と社会 女性とキャリア形成 女性とキャリア開発	体育実技	左記以外の 一般教養科目 ^②	合計
初 等 教 育 学 科	2	2	2以上	1以上 *最高2まで	29以上	36以上
健 康 デ ザ イ ン 学 科						
管 理 栄 養 学 科						
上 記 以 外 の 学 科				30以上 *体育実技は最高2まで		

② 実践倫理・日本語基礎・女性の生き方と社会・女性とキャリア形成・女性とキャリア開発・体育実技を除いた一般教養科目を指す。

短 大	実践倫理 (昭和女子大学の教育と理念) (キャリアデザイン)	日本語基礎	左記以外の 一般教養科目 ^②	合計
文 化 創 造 学 科	2	2	4以上	8以上

② 実践倫理・日本語基礎を除いた一般教養科目を指す。

※留学生の履修要件

日本事情に関する科目を一般教養科目として履修することができます。

(3) 外国語科目

卒業に必要な外国語科目の単位数は、大学は 8 単位以上、短大は 4 単位以上です。そのうち、大学は 4 単位、短大は 2 単位、同一外国語を修得しなければなりません。この同一外国語で修得する単位を基本単位といいます。これらの外国語の履修要件は学科により異なる場合があるため、次頁の一覧表を確認してください。

※英語コミュニケーション学科の履修要件

外国語科目として英語を履修することはできません。

基本単位（英語以外の外国語）は 6 単位とします。

専門教育科目として修得した単位の中から余剰分の 2 単位を、基本単位以外の外国語科目の単位に充当できます。

※歴史文化学科の履修要件

卒業に必要な外国語科目の単位数は、10 単位以上とします。

※国際学科の履修要件

専門教育科目として修得した単位を、外国語科目の単位として充当します。外国語科目として開設している科目を履修せず、国際学科のカリキュラムにある履修方法に従い専門教育科目を履修します。

※現代教養学科の履修要件

卒業に必要な外国語科目の単位数は、12 単位以上とします。

外国語科目として英語を履修することはできません。

基本単位（英語以外の外国語）は 8 単位とします。

専門教育科目として修得した単位の中から余剰分の 4 単位を、基本単位以外の外国語科目の単位に充当できます。

※健康デザイン学科、管理栄養学科の履修要件

基本単位は 6 単位とし、科学英語（学科専用）を履修することとします。

※留学生の履修要件

母語を外国語科目として履修することはできません。

日本語科目を外国語科目として履修することができます。

大 学	基本単位 (同一外国語)	基本単位以外	合計
英語コミュニケーション学科	6 英語以外	2以上 英語以外・専門教育科目で充当可	8以上
歴 史 文 化 学 科	4	6以上	10以上
国 際 学 科	専門教育科目で充当		
現 代 教 養 学 科	8 英語以外	4以上 英語以外・専門教育科目で充当可	12以上
健 康 デ ザ イ ン 学 科	6 科学英語	2以上	8以上
管 理 栄 養 学 科			
そ の 他 の 学 科	4	4以上	8以上

短 大	基本単位 (同一外国語)	基本単位以外	合計
文 化 創 造 学 科	2	2以上	4以上

(4) 専門教育科目

各学科の履修ガイダンスを受けた上で、『Ⅲ 開設授業科目一覧』に従って履修してください。

(5) 文化講座

学園創立 60 周年の記念事業として開設された文化講座は、学問・文化の専門領域における国内外の一流の学者・文化人・芸術家による、講演会、音楽会などを創立者記念講堂で開催し、これを年間カリキュラムに組み込んだものです。特殊研究講座、女性教養講座、文化研究講座の 3 講座で構成されています。女性教養講座と文化研究講座は、それぞれ 1 単位ずつ、合計 2 単位を毎年必ず修得することになっています。なお、出席登録についてはガイダンス時に配布する「学生マニュアル」を必ず確認してください。

■特殊研究講座

受講方法は、学科の指示に従ってください。

■女性教養講座

学問の分野にこだわらず、広い領域で活躍している著名な人を選び、「女性の心を育む」ことを目的とした講演が行われます。

年間 5 回以上出席し、レポートの評価により 1 単位として認定しています。

■文化研究講座

情操豊かな女性を育成するため、国内外一流の芸術家を招き、質の高い公演が行われます。

年間 5 回以上出席し、レポートの評価により 1 単位として認定しています。

※編入学生、転入学生の履修方法

女性教養講座と文化研究講座は、毎年、それぞれ 1 単位ずつ修得し、入学した学年によって、次にあげる単位数を修得することとなります。

2 年次入学：6 単位 3 年次入学：4 単位 4 年次入学：2 単位

※認定留学中の文化講座の受講については、学科の指示に従ってください。

(6) 学寮研修

本学では創立以来、学生寮と研修学寮での生活を総合して全寮制と呼び人間形成の場として位置づけてきました。今日も当初の目的を達成するため、その伝統を受け継いでいます。

昭和 13 年から郊外の武蔵野や湘南の地に田園学寮を設け、教員と学生が寝食を共にし、「生活教育の充実」に努めてきました。そして、「世の光となろう」という学園目標を具現するために、昭和 52 年 4 月に神奈川県足柄上郡大井町に創立者の雅号「東明」にちなんで名付けた東明学林が開設されました。さらに昭和 61 年 3 月千葉県館山市の海を望む景勝地に「たかき理想を望みつつ励む」意味のこめられた望秀海浜学寮が、昭和 62 年 7 月には会津キャンプ村が開設され、雄大な自然の中で年間を通して学生たちの研修の場として展開されています。

学寮研修の意義と目標

学寮研修の意義

本学では、創立以来「世の光となろう」を目標にして、学問の研究と自己の研鑽に勤しんできました。その実現のためには、日々の生活における学生個々の自覚と精進が必要であることは言うまでもありません。しかしそれとともに集団生活を通して目標の達成を図ることも本学創立以来の伝統です。

学寮研修で、教員と学生が寝食を共にし、相互理解を深めながら、勉学や労作に取り組み実践することによって、社会性を養い人格形成に努めることは、将来、社会に貢献しうる女性としての資質を養う上で重要な教育活動であると位置づけています。

学寮研修の目標

昭和女子大学の建学の精神を理解し、「世の光となろう」という学園目標を実践する。

1. 規律ある集団生活を体験することにより、協調性・責任感・奉仕の精神などの社会性を養う
2. 寝食を共にする中で、教員や友人との人間関係を深め、コミュニケーション能力を高める
3. プログラムを展開する中で、リーダーとしての資質を養うとともにメンバーシップを身につける
4. 豊かな自然環境の中での体験活動を通して、自然を愛する心や感受性を育む

学寮研修に関する取り決め事項

1. 大学1年次から3年次と短大1年次は、毎年3泊4日の学寮研修への参加を必須とする
2. 所定の日程の研修に参加（3泊）できなかった場合は、休暇中に実施する特別学寮研修に必ず参加する
3. 大学卒業年次（4年目五修生含む）・短大卒業年次（2年目五修生含む）には、ゼミまたはクラス等の単位で東明学林・望秀海浜学寮や会津キャンプ村で任意で実施する

学寮研修における留意事項

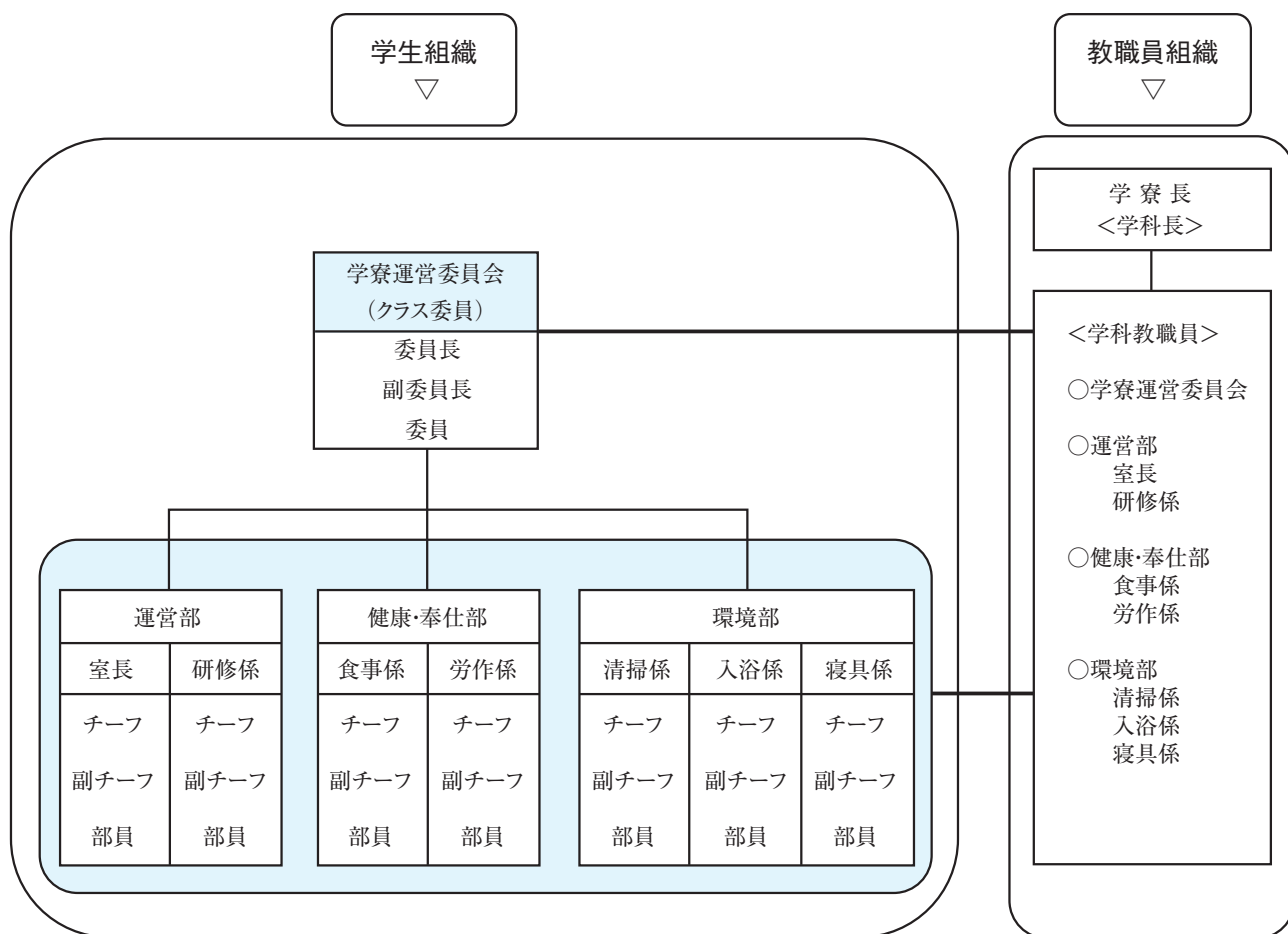
1. 集団生活の中で、ルールを守り、迅速な行動をとる
2. あいさつの励行、時間の厳守、健康管理に努める
3. 公共生活におけるマナー、エチケットを守る
4. 飲酒・喫煙はしない
5. 地域や学寮職員の方々、友人等に対する言動に配慮し、思いやりと感謝の気持ちで接する
6. 見学や参観する場合は、その目的が十分に達成できるように努める
7. 所用のための外出は禁止とする。ただし、必要な場合は、クラスアドバイザーに申し出て許可を得る
8. 病気や事故が生じた場合は、クラスアドバイザーに速やかに連絡する

■学寮研修の組織・運営

学寮研修は本学の教育活動の一環として、学科長（学寮長）及びクラスアドバイザーや他の教職員の指導のもと、学生が主体的に運営します。

1. クラス委員は学寮運営委員となり、学寮運営委員会を組織する。その中から委員長、副委員長を選出する
2. 学寮運営委員長は、学生の代表責任者として全体を統括する。副委員長は、委員長を補佐する
3. 学生は各室ごとに7種の係を分担し、全員が何れかの係に携わり、協力して学寮生活を推進する
なお、係の呼称及び構成・組み合わせは各学科の実状に合わせて変更することができる
4. 係ごとにクラスの代表を決め、その中から全体のチーフと副チーフを決める
5. 学寮中は、学寮運営委員、各係のチーフ・副チーフ、室長が集まるチーフ会議（室長会議）を必要に応じて開催する

<学寮研修組織図>



<各係のおもな仕事内容（例）>

係 名		事 前	学 寮 中
学寮運営委員会		学寮目標の立案 開寮式、導入集会、閉寮式の計画 灯の集いの立案 事前研修の企画・運営 「学寮生活のしおり」の作成	各係の活動の指導と統括 開寮式、導入集会、閉寮式の司会進行 灯の集いの司会進行 チーフ会議の司会進行
運 営 部	室長	各室のメンバー表と名札の作成 バスの座席表の作成	各室の連絡会の司会 集合時の点呼と報告 室員の健康状態の把握 部屋の鍵の管理及び戸締りの確認 バスの乗車・下車の指示と教材等の積み下ろし
	研修係	朝の集いの計画 交歓会・研修会等の企画 車中での企画	朝の集いの司会進行 交歓会・研修会等の運営 車中での司会・運営 灯の集いの設営と後片付け
健 康 ・ 奉 仕 部	食事係	配膳当番を決める 座席割り当て表の作成 先生方の名札の作成 食事の司会者を決める テーブルスピーチの依頼	食事の座席の割り当て 配膳、後片付けの指示 食事のマナーについての注意 学寮食事担当者との連絡
	労作係	労作内容の確認 スポーツ大会等の企画 体育関係備品の確認	労作の準備と後片付け スポーツ大会等の運営 体育関係備品の整備整頓
環 境 部	清掃係	清掃区域と分担表の作成 清掃見回り責任者を決める 清掃用具数の確認	清掃中の見回り 清掃用具の整備整頓 ごみ分別の指導
	入浴係	入浴についての注意事項の作成 入浴順序表の作成 入浴の責任者を決める	入浴時間の連絡や指示 浴室の後始末、用具整頓状態の点検
	寝具係	ベッド使用上の注意事項の作成 戸締り見回り責任者を決める	寝具の配布及び回収 室内の用具・備品の確認 就寝前の見回り 帰寮時の室内の見回り

*各学科の実状に合わせて、各係の呼称及び仕事内容は流動的に変更することができる。

■学寮の生活スケジュール

＜生活スケジュール（例）＞

第 1 日		第 2 日		第 3 日		第 4 日	
		6:30	起床・洗面 清掃	6:30	起床・洗面 清掃	6:30	起床・洗面
		7:20	朝の集い 朝食準備	7:20	朝の集い 朝食準備	7:20	朝の集い 朝食準備
		7:45	朝食	7:45	朝食	7:45	朝食
8:40	大学出発（望秀）	9:00	◆学科プログラム	9:00	◆学科プログラム	9:00	学寮まとめの会 （自己評価・係反省会）
10:00	大学出発（東明）					10:00	室内清掃 全構内清掃
	◆学科プログラム 昼食	11:50	昼食準備	11:50	昼食準備	11:20	昼食
		12:20	昼食	12:20	昼食	12:10	閉寮式
		13:30	労作奉仕	13:30	◆学科プログラム	12:30	学寮出発
15:00	着寮					14:00	大学帰着（東明）
15:30	開寮式 導入集会 避難訓練 各係打ち合わせ	15:30	◆学科プログラム			16:20	大学帰着（望秀）
17:00	夕食準備	17:00	夕食準備	17:00	夕食準備		
17:30	夕食	17:30	夕食	17:30	夕食		
19:00	◆学科プログラム	19:00	灯の集い	19:00	◆学科プログラム		
20:00	入浴	20:00	入浴	20:00	入浴		
22:00	就寝準備	22:00	就寝準備	22:00	就寝準備		
22:20	点呼	22:20	点呼	22:20	点呼		
22:30	就寝	22:30	就寝	22:30	就寝		
23:00	完全消灯	23:00	完全消灯	23:00	完全消灯		

*生活スケジュールは標準的な研修例であり、太枠内の学科プログラムの内容は各学科の独自性を生かしたプログラムとして自由に計画することができる。

2. 履修登録

単位を修得するためには、定められた期間内に、履修登録を行わなければなりません。その手順は以下のとおりです。①各学科で行う履修ガイダンスで教務部委員、クラスアドバイザーの指導を受けます。②興味を持った授業科目について、シラバスを参照して授業内容を確認します。③実際に履修する授業科目を決め、WEB履修登録を行います。

この節には、履修計画を立て履修登録を行う時の注意事項や細かい規定について記載しています。

具体的な履修についての説明に入る前に、本学カリキュラムの特長を説明します。カリキュラム（教育課程）とは、教育目的を達成するために用意された授業科目群です。大学としての教育目的と学科毎の教育目的は、学則第1条に掲げられています。カリキュラムは、大きく3つに分類されます。

Ⅰ 全学共通開設科目（総合教育センター開設）

①一般教養科目

本学の建学の精神を学ぶための科目や将来、学問や文化を担う者として欠かせない基礎的な知識や実力を身につけるとともに、人間としての豊かさを養う科目。「実践倫理」「日本語基礎」の2科目4単位は必修となります。「体育実技」は一部の学科で必修となります。（詳細は「Ⅱ 1 入学から卒業まで」に記載）

②外国語科目

国際化の時代に必要な基盤を確立するための科目で、外国語の理解力と発信力を養う科目。本学では、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ロシア語、中国語、韓国語の8カ国語を開講しています。基礎から学び始め、ゆるやかにレベルをあげられるよう工夫されています。ネイティブの教員による会話を中心としたクラスも用意しています。

Ⅱ 各学科の開設科目

①専門教育科目

学科の教育目的に従って、学問の基礎研究、職業生活または实际生活に必要な能力を養成するために設けられている科目。必修科目、選択必修科目、選択科目に区分されます。

②専門関連科目

学科の学問領域の基礎となる科目、もしくは専攻領域と密接に関連する科目で、履修登録時に専門教育科目として登録するか一般教養科目として登録するか選択できる、本学の特長でもある科目です。学問の境界領域や学際分野が絶えず形成され、変化する中で専門領域の幅を広げ、奥行きを深めるために設定しています。

③一般教養として履修できる他学科専門科目

カリキュラム表に「他学科学生履修可」と記載された科目は、開設学科以外の学生の履修も可能です。修得した単位は、一般教養科目として認定されます。数多く開設されている一般教養科目と合わせ、特定の分野の科目の単位を修得することにより、副専攻的な履修をも可能にしています。

Ⅲ 諸資格関連科目

諸資格（または受験資格）を取得するための科目で、専門教育科目として開設されている科目と卒業要件外科目として開設されている科目があります。

このほかにも、授業で得た知識を地域社会で活かし、実践から学ぶコミュニティサービスラーニングに力を入れています。

POINT 履修登録の概要

履修ガイダンス（学科・個別）→シラバス確認→履修計画作成・履修科目決定→WEB履修登録

POINT カリキュラムの構成

Ⅰ 全学共通開設科目

①一般教養科目 ②外国語科目

Ⅱ 各学科開設科目

①専門教育科目 ②専門関連科目

③一般教養として履修できる他学科専門科目

Ⅲ 諸資格関連科目

(1) 履修計画

学科毎に行う履修ガイダンスでは、教務部委員から指導があります。履修計画は、時間割や学生便覧・シラバスなどを参考にして、各自で立ててください。また、必ずクラスアドバイザーの個別指導を受けてください。本学カリキュラムの特長を十分に活かした履修計画を立てることをお勧めします。

(2) シラバス

履修ガイダンス等を受けた後、興味を持った授業科目について、必ずホームページに掲載されているシラバスで授業内容を確認してください。

シラバスには概ね、次の内容が記載されています。

- ・授業名、授業担当者名
- ・授業概要、到達目標及びテーマ、キーワード
- ・各回の授業内容と準備学習の内容
- ・評価基準と評価の方法
- ・教科書・参考文献
- ・担当者連絡先

授業選択に利用することはもちろんのこと、授業の予習にも活用してください。

■ シラバスへのアクセス方法

学生ポータルサイト UP SHOWA ログイン画面または昭和女子大学 (<http://www.swu.ac.jp>) > 在学生の方 > シラバス からアクセス。

(3) 履修単位数

計画的な学習を促すために1セメスターに履修する最低単位数を、授業外の予習・復習時間を確保し、学習効果を上げるために1セメスターに履修できる上限単位数を定めています。

また、大学生が在学中に履修できる短大開設科目の単位数、短大生が在学中に履修できる大学開設科目の単位数は決められています。その制限を超えて履修することはできません。決められた範囲内で履修計画を立ててください。

1セメスターに履修する最低単位数 : 15 単位

1セメスターに履修できる上限単位数 : 22 単位

* いずれも、文化講座と卒業要件外科目の単位を除いた単位数です。

* この条件に外れて履修する場合は、所属学科の許可が必要です。

大学生が在学中に履修できる短大開設科目の単位数 : 60 単位まで

短大生が在学中に履修できる大学開設科目の単位数 : 30 単位まで (図書館司書関係科目を含む)

(4) WEB 履修登録

履修ガイダンスと個別指導の後、シラバスで授業科目の詳細を確認して、履修を希望する授業科目が決まったら『履修計画表 (本人控)』に書き出してください。履修登録前にもう一度、間違いがないか確認してください。

履修登録は主に在学生ポータルサイト UP SHOWA から行う WEB 履修ですが、科目によっては、別の方法を取るものもありますので注意してください。

以下順を追って説明します。なお、細かな日程は変更になる場合があります。

履修希望の科目は、必ず1回目の授業から出席してください。授業に出席していない場合、WEB 履修登録をしても履修が取り消されることがありますので注意してください。

■ 学科登録科目 (授業開始前のガイダンス期間中)

履修学生が決められている科目や優先して履修できる学生が決められている科目です。対象科目は、ガイダンス期間中に UP SHOWA または学科で発表します。

これらの科目については、授業開設学科から教育支援センターへ履修者のデータが送られてきますので、学生各自が履修登録を行う必要はありません。誤りがないか決められた期間内に確認のみ行ってください。

■ WEB 抽選科目 (授業開始前 5 日間程度)

総合教育センター開設の一般教養科目や外国語科目の一部など多くの履修者が見込まれる科目または人数を限定し少人数で行う科目で、履修希望者が履修定員を上回ることが事前に予想される場合に抽選を行います。決められた期間内に希望する科目に対して抽選登録を行います。先着順ではありません。無作為に抽選を行います。対象科目は、ガイダンス期間中に UP SHOWA で発表します。

当選した科目は自動的に履修登録されます。学生登録科目登録期間開始直後、既に履修状態になっている科目が当選した科目となります。当選した科目は、後から削除することはできません。予備の科目等の抽選登録は避け、当選した場合は必ず履修する科目のみを登録してください。充分に考えてから、抽選登録を行ってください。

■ 学生登録科目 (授業開始約 1 週間後)

1 回目の授業に出席し、授業担当教員から履修を認められた科目のみ期間内に履修登録を行ってください。1 回目の授業に出席せずに履修登録を行った場合、履修が取り消されることがありますので注意してください。

■ 受講調整

1 回目の授業で、想定以上の履修希望者がいた場合に行います。授業担当教員は、受講者選抜を行います。

受講を許可された者は、学籍カードを授業担当教員へ提出してください（授業担当教員によっては、別の方法を取る場合もあります）。受講許可を受けたうえで、学生登録科目登録期間に履修登録をする必要があります。履修登録をしなかった場合は、履修放棄とみなし履修できません。また、受講許可を受けていない学生が履修登録を行っても、履修は削除されます。

(5) 特別履修

授業科目の履修は、カリキュラム表に示してある履修可能範囲内の学科に所属し、かつ、対象学年以上の学生のみ履修が許されています。原則としてそれ以外の学生は履修できません。ただし、特別な理由がある場合に限り、**特別履修願**を提出することにより、履修登録ができます。

特別な理由とは次のような場合を指します。

■理由

1. 卒業年次生で、卒業要件および資格取得に必要な単位数に満たない場合。
2. 英語コミュニケーション学科、国際学科および文化創造学科の学生で、ボストン留学または長期留学のための特別措置が必要と認められた場合。
3. 所属学科教務部委員が必要と認めた場合。
4. 書道、外国語について、担当教員が上級レベルの履修が可能と認めた場合。

■手続き

1. 所属学科教務部委員に上記理由に当たるかどうかの判断を仰ぎ、許可された後、教育支援センターで『特別履修願』を受け取ります。
2. 教育支援センター所定の『特別履修願』に、授業担当教員、特別履修科目開設学科および所属学科の教務部委員、ならびにクラスアドバイザーの承認を得た後、教育支援センター窓口へ提出します。
3. 履修確認期間に、UP SHOWA で該当科目が履修登録されているか確認してください。
4. 前期に特別履修を許可された科目を後期に続けて履修する場合も、再度特別履修の手続きが必要です。

■注意事項

1. 理由1. により特別履修を希望する場合は、まずクラスアドバイザーの指導を受け、所属学科教務部委員の承認を得たうえで、授業担当教員の了承を得る必要があります。
2. 外国語の履修については、それぞれ外国語担当教員の了承を得る必要があります。直接各教授室を訪ね、問い合わせてください。

＜英語＞

大学生が短大生主対象の科目を履修する場合：英語コミュニケーション学科の外国語担当教員

短大生が大学生主対象の科目を履修する場合：文化創造学科の外国語担当教員

＜英語以外の外国語＞

大学生が短大生主対象の科目を履修する場合、又はその逆：総合教育センターの外国語担当教務部委員

(6) 聴講

『聴講』とは、単位修得を前提とせず、知識の修得・資質の向上を目的として受講を希望する場合をいいます。従って、授業には出席できますが単位認定はされません。卒業論文等の関連科目を受講する場合や既修得科目を再度受講する場合は、聴講として手続きしてください。（期末試験の対象外となります。）

特別履修の対象とならない科目もこの制度を利用することができます。

■手続き

1. 聴講希望科目の第一回目の授業時に、聴講希望である旨を担当教員に伝え、聴講許可が出た場合のみ聴講の手続きを行ってください。原則として、WEB 抽選科目は聴講できません。
2. 教育支援センター所定の『聴講願』に、担当教員の承認を得た後、教育支援センター窓口へ提出します。
3. 前期に聴講を許可された科目を後期に続けて聴講する場合も、再度聴講の手続きが必要です。

■注意事項

WEB 履修登録は必要ありません。

(7) 履修の取りやめ

履修登録後やむを得ない理由で、履修を取りやめる場合、定められた期間内に UP SHOWA から履修削除を行ってください。期間以外には履修取りやめの手続きはできません。履修確認期間には必ず UP SHOWA で登録状況を確認してください。エラーが出ている科目・やむを得ない理由で履修が継続できない科目は、この期間内に履修削除を行わないと失格（欠席オーバー）として不利益を被る場合があります。

■ 注意事項

学生登録科目登録期間中に抽選科目の削除はできません。専門科目等を履修するコマに抽選科目の登録を行わないでください。

(8) 副専攻制度

自分が所属する学科の専門科目を主専攻とし、さらに「専門の幅を広げる」「専門＋実学的な分野」「専門＋学術的分野」を体系的に履修できる副専攻を設けている学部があります。詳細は学科オリエンテーションで確認してください。

3. 授業

学期は前期（4月1日から9月30日まで）、後期（10月1日から3月31日まで）の2セメスター制とし、各セメスター原則として15週以上の授業を行います。

授業は教育効果を充分にあげられるように、一般教養科目を除き原則80人を上限と定めています。

ただし、人数が非常に少ない場合は閉講することもあります。

教育成果のさらなる向上、師弟間の親密化、授業効率をはかるために、授業の際の座席は個別に指定します。指導上の見地から教員が定期的に変更する場合がありますが、講義ごとに学生が勝手に移動することはできません。授業

担当教員は、履修者確定後座席表を作成し、出欠調査、平常成績を記録します。

その他この節では、科目ごとに欠席時数が4分の1（週1回授業の場合には1セメスターで4回）を超えると失格となり単位認定がされないなどの「出席・欠席・遅刻」の決まりや公欠、緊急時の取扱などの説明をします。

また、授業をよりよく改善するためにセメスターごとに行っている授業改善アンケートについても触れていきます。

POINT 失格

1セメスター4回を超える欠席は失格（単位不認定）

3

授業

(1) 授業時間帯

授業の時間帯は以下のとおりです。

1 講時	9:00 ~ 10:30
2 講時	10:40 ~ 12:10
3 講時	13:10 ~ 14:40
4 講時	14:50 ~ 16:20
5 講時	16:30 ~ 18:00
6 講時	18:10 ~ 19:40
7 講時	19:45 ~ 21:15

※ひとつの講時を前半と後半に分けることがあります。

(2) 出席・欠席・遅刻

毎時間の出席・欠席・遅刻は、その授業担当教員の責任において出席簿に記録されます。一部、I.C. カードリーダーによる出欠管理を行う授業科目もあります。その場合、学生証をI.C. カードリーダーにかざしてください。

欠席、遅刻は次のように扱います。規定回数を超えて欠席すると失格となり、当該科目の定期試験の受験資格が与えられず単位は認定されません。

- ・10分以内の遅刻は2回をもって1回の欠席とする。
（60分以内の授業は、10分を5分に読み替える。以下同様）
- ・10分を超えた遅刻は欠席として取り扱う。
- ・当該科目の欠席時数が4分の1を超えると失格となり、単位は認定されない。
（週1回授業の場合には1セメスターで欠席が4回を超えた場合）

(3) 公欠と緊急時の取扱い

■公欠

以下のような場合に、願い書を提出すると欠席扱いになりません。

なお、資格関連科目の公欠については資格の監督官庁の定めによることとします。

1. 忌引き（親7日以内、祖父母、兄弟姉妹3日以内）（会葬礼状添付）
2. 教育実習ならびに介護等体験（教職課程に関する内規参照）および校外実習期間
3. 就職活動および進路活動のための欠席で、クラスアドバイザーが認めたもの（原則として、卒業年次は通年で6日以内、学部3年次・短大1年次後期で3日以内）
4. クラブの代表として、関東地区大会規模以上の公式試合（予選を含む）に出場および公演に参加する場合。ただし、原則として1クラブ、年2回を限度とする（サークルは不可）
5. 感染症に罹患し、医師の診断により出校停止となった場合（感染症登校許可証明書添付）
6. ボストン研修のビザ取得にかかわるアメリカ大使館インタビュー
7. インターンシップとして大学が認めたもの
8. その他大学が必要と認めたもの

・提出時期：3日前

※1. 3. 5. の場合は事後に提出しても有効です。その場合、7日以内に提出しなければなりません。

それ以降は原則として認めません。

- ・提出方法：公欠願は2種類の用紙に記入し、クラスアドバイザーと授業担当教員に提出。
※公欠の事由を証明する書類等が必要です。

■緊急時の授業の取扱い

JR 山手線、東京メトロ、東急田園都市線のいずれかが「ストライキ」あるいは「災害」等によって全面運休した場合の授業の取扱いは下表のとおりとする。

運休時間	授業の取扱い
当日午前6時までに運転開始	平常どおり行う
当日午前9時までに運転開始	午前中休講
当日午前9時を過ぎても運転中止	終日休講

上記の原則によるほか、教務部長・学生部長および教育支援センター長の協議に基づき、学長が学生の登校並びに下校に困難と危険が伴うと判断した場合は休講とする。

なお、災害等で鉄道が一時運休し授業出席に支障をきたした場合は、所定の公欠願に記入し、クラスアドバイザー押印のうえ遅延証明書とともに授業担当教員へ提出すること。自宅から大学までの通学途中の地域に、自然災害による警報が発令されている場合等、同様の手続きで公欠を認める場合がある。

■大規模地震対策特別措置法に基づく警戒宣言が発令された場合の授業の取扱いについて

首都圏を中心とする大規模な地震発生が予想され、大規模地震対策特別措置法に基づく「警戒宣言」が発令された場合の授業等の取扱いは以下のとおりとする。

- 「警戒宣言」が発令された場合、直ちに全学休講とする。
大学にいる時に「警戒宣言」が発令された場合は、校内放送あるいは掲示等によって指示を行うのでその指示に従うこと。また、帰宅途中で「警戒宣言」が発令された場合は、直ちに帰宅するなど適切な措置をとること。
- 「警戒宣言」が解除されたときは、緊急時の授業の取扱いの場合に準じる。

(4) 休講・補講

授業担当教員がやむを得ない理由で授業を休む場合、その授業は休講となります。このような場合には事前に UP SHOWA で連絡します。

なお、授業時間になっても授業担当教員が教室に見えない場合は、教育支援センターへ連絡をとり、指示を受けてください。

休講は原則として補講を行います。その場合も主に UP SHOWA で連絡します。

(5) 授業改善アンケート・授業公開

本学では授業最終週に、授業内容の改善を目的としたアンケートを行います（ただし授業によっては最終週以外の週に実施することもあります）。このアンケートは原則として受講学生数10名以上の授業を対象とします。受講した科目の理解度や教員の教え方、施設設備などについて、大学の授業改善のために是非学生みなさんの率直な意見を聞かせてください。アンケートは、公平性を確保するため、教員が教室を退出した後に記入してください。授業担当教員からの事前の指示に従い、アンケート用紙の回収及び教室への提出などにご協力をお願いします。

アンケートの回答や記述内容は、集計結果が出るまで教員の目に触れることはありません。本学の教育環境をより良くするために、学生のみなさんには誠実な回答をお願いします。

大学院のアンケートについては専攻の指示に従ってください。

回答結果は大学や個々の教員が今後よりよい授業を行うための資料とします。授業改善アンケートの集計結果、学科ごとの概評、各教員の「授業改善報告書」は内外のホームページに公開していますのでそちらも確認してください。

また、教員相互が授業を公開し、参観したあとに意見交換を行うなど、より充実した授業にするための取り組みを進めています。

授業の際、他の教員が参観に来ることもありますので、あらかじめ了承願います。

4. 試験、単位認定、成績

履修登録を行い、規定回数以上の授業に出席した授業科目について、試験を受験し合格すると単位が認定されます。この節では、単位認定についての説明をします。

1 単位の授業科目は、「45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とする」と国の法令と本学の学則で定めています。

単位数を計算する場合、45 分の授業を 1 時間相当の学修時間とみなしています。90 分授業の講義科目で、1 セメスターで 2 単位取得できる科目の例を示します。

(必要学修時間) 45 時間 / 1 単位 × 2 = 90 時間

(1 セメスターの授業時間)

2 時間 / 1 回 × 15 回 = 30 時間

2 単位取得するためには、90 時間の学修が必要となっているにもかかわらず、授業では 30 時間分の学修しか行っていません。

90 時間 - 30 時間 = 60 時間

この差の 60 時間分の学修は、授業時間以外の自主的な学修ということになります。この場合、単位取得には授業時間の 2 倍の自主的な学修が必要ということです。

この必要時間分の学修内容を修得できているかどうか、試験によって判定されます。試験についての詳細は、これ以降に説明します。

また、授業科目以外に単位認定されるものもあります。

POINT

1 単位の授業科目は 45 時間の学修内容が必要 (1 単位あたり標準必要授業時間・学則第 13 条)

講義: 15 時間の授業をもって 1 単位

演習: 30 時間の授業をもって 1 単位

実験、実習及び実技:

45 時間の授業をもって 1 単位

(1) 期末試験と成績評価

試験は原則として前期、後期授業の最終週の 1 週間前又は最終週に実施します。複数のクラスと合同で試験を行う場合 (学科合同試験) もあります。学生はその学期に履修している全科目について受験しなければなりません。各科目の評価は平常点 (授業への積極的な参加姿勢等出席状況の評価とレポート、作品、実技、実験等の評価が加味されます)、試験点を合わせて 100 点満点とします。結果は、次のように表し、成績は 1 セメスターごとに保証人に通知します (後期の成績は、次年度登校初日に学生本人に手渡しします)。学生本人は UP SHOWA から成績を確認することもできます。

■ 評価基準

評価	評 点	Grade Point
秀	90点-100点	4.0
優	80点-89点	3.0
良	70点-79点	2.0
可	60点-69点	1.0
不可	59点以下	0.0

その他可否のみを判定する授業は「認定 (合格)」又は「不認定 (不合格)」として評価します。

不受験、失格 (欠席オーバー) と表記された科目の取扱いについて、不受験科目は平常点が、失格科目は 0 点がそれぞれ成績となります。

■ GPA 算出方法

在学中あるいは卒業後の留学時に GPA が必要な場合に備えて GPA 基準を設けています。

対象となるのは「認定・不認定」で評価する科目以外の全科目で、本学以外で修得した科目を単位として認めた科目も含めます。期間は在校生の場合は留学申請書類作成の直前の学期まで、卒業生の場合は在学時の通算とします。

「秀」取得単位数 × 4.0 + 「優」取得単位数 × 3.0 + 「良」取得単位数 × 2.0 + 「可」取得単位数 × 1.0 + 「不可」単位数 × 0.0
総履修登録単位数

(小数点以下第 4 位を四捨五入し、小数点以下第 3 位まで表示)

■ 不正行為について

試験実施中、不正行為があった者についてはその日までの全受験科目を無効とし、以後の受験を停止します。

(2) 受験資格

以下にあげる項目に該当する学生には受験資格が与えられません。

1. 履修登録していない者
2. 授業料等納入金を期日までに納入していない者
3. 受験する授業科目の欠席が4分の1（1 Semester 4回）を超える者
4. 本学発行の学生証を所持していない者
5. 所要時間を半分過ぎた遅刻者
6. その他受験資格に欠格があると認められた者

4

試験、単位認定、成績

(3) 追試験

期末試験を受験しなかった者に対し願い出により追試験を実施します。授業担当教員に追試を願い出る旨承諾を得てから、教育支援センター所定の『追試験願』を提出します。

■申請のうえ許可されれば追試料金が無料となるもの（公欠の取扱いに準拠する）

- ・忌引き（会葬礼状が必要）
- ・電車の遅延（遅延証明が必要）
- ・学外研修（教育実習等）
- ・就職活動（会社の証明が必要。ただし、合同セミナーは対象外とする）
- ・資格試験及び編入試験等（受験票が必要。事前に申し出ること）
- ・その他やむを得ない場合（理由を証明する書類が必要）

以上のほか、理由を問わず受験は可能ですが、追試料金は1科目5,000円とします。この場合、理由を証明する書類は必要ありません。

(4) 再試験

期末試験もしくは追試験で不可となった場合、必修科目など単位取得が必要な科目については、次Semester以降に再履修することが基本です。しかし、カリキュラムの運用上学科が必要と認めた科目は再試験を行います。対象となる科目は、学期当初に、学科から学生に提示されます。再試験に合格した場合、単位認定されますが、点数は単位認定の最低点（60点）となります。

(5) 特別試験

卒業年次生に対する特別試験は、次の規定により実施します。

1. 特別試験対象者は、卒業要件に満たない者のうち大学部局長会で承認を得た者。並びに資格取得単位に満たない者。
2. 特別試験は2科目を限度とする。
3. 特別試験対象科目は不可科目（失格“欠席オーバー”は除く）、不受験科目のいずれかとし、履修年度は問わない。
4. 特別試験の料金は、1科目2,000円とする。
5. 特別試験の結果は合否のいずれかとし、合格の場合は単位認定の最低点（60点）とする。
6. 卒業要件に満たない者のうち特別試験で合格になった場合は、教務部長、学部長、副学長、学長の承認を得て卒業認定する。
7. 3月期卒業の特別試験合格者については3月末日に学位記を授与する。ただし、卒業年月日は3月期卒業式の日とする。
8. 9月期卒業の特別試験合格者については9月末日に学位記を授与する。卒業年月日も同日とする。

(6) 卒業論文

本学では、卒業論文・卒業研究等の単位修得を卒業要件に含めている学科があります。

卒業論文等の題目については、学科等の指示に従って選定してください。その後指導教員の承認を受け、「卒業論文題目及概要届」を各学科が定めた期日までにクラスアドバイザーへ提出してください。なお、一度定めた題目の変更は原則として認められませんので選定の際は十分に検討してください。

履修登録は提出年度の前期に行い、削除（必修でない場合）の手続きは他の科目と同様となります。

論文作成にあたっては、努めて指導教員の指導を多く受け、その都度「卒業論文指導カード」を提出して、確認を受けてください。

■提出について

1. 提出日：冬季休暇終了日の翌日（日・祝日を除く）
2. 受付時間：午前 10 時～午後 4 時
3. 提出方法：学生証携帯のうえ「卒業論文提出届」、「卒業論文指導カード」、「卒業論文等受領確認票」
 その他学科から指定されたものを卒業論文等とともに持参し、提出する。別途学科から日時の指示
 がある場合はそれに従うこと。

なお、前期（9月末）卒業見込学生の論文提出日時は、前期授業終了日の午前 10 時から午後 4 時
 とします。また、提出先については、事前に UP SHOWA で確認してください。

※1 不慮の事故等で期日に持参できない場合は、教育支援センター教務担当宛に送付してください。送
 付については、下記に留意してください。

（ア）郵送

封筒の裏に学部・学科・クラス・氏名・学籍番号を明記し、書留の速達で郵送してください。また、
 郵便局で「引受時刻証明」を購入し、書留受領証と理由を証明する書類とともに、登校の際必ず
 クラスアドバイザーに提出してください。ただし、局受付日時が規定日時以降のものは無効にな
 ります。

（イ）宅配

封筒の裏に学部・学科・クラス・氏名・学籍番号を明記し、宅配取扱店に依頼してください。ま
 た支払い時刻の明記されたレシートを受領（時刻の証明のできないものは無効）し、宅配の本人
 控と理由を証明する書類とともに、登校の際必ずクラスアドバイザーに提出してください。
 ただし、受付日時が規定日時以降のものは無効となります。

* 個人商店で宅配便の受付業務を行っている場合、レシートが発行されない場合があるため、必ず
 時刻の証明できるコンビニエンスストア等に依頼してください。

※2 交通機関の遅延等で提出が遅れる場合は、駅長又は交通機関の発行する遅延証明書を持参しなけ
 ればなりません。

※3 ※1・※2により定められた日時に持参提出できない場合は、必ず期限以前にクラスアドバイザー
 へ電話でその旨を連絡してください。

（7）英検・TOEIC®・漢検の単位認定

■英検および TOEIC®

本学の「外国語科目の英語」では実用的な英語の運用能力を高めることが目標の 1 つになっており、英
 検（実用英語技能検定）の資格と TOEIC®（IP テストを含む）のスコアを外国語科目の基本単位に含む
 こともできます。また入学前に合格した検定等も単位認定することができます。認定される単位数は以下
 のとおりです。（健康デザイン学科、管理栄養学科の学生は基本単位外として認定）

※ただし、英語コミュニケーション学科、国際学科、現代教養学科の学生は除きます。左記学科の学生は、
 専門科目として別の基準で認定されます。詳細は、学科の教育課程のページを参照してください。

取得した級・点数				認定単位数	備 考
英検	2 級	TOEIC®	450 点以上	2 単位	外国語科目の単位として認定
	準 1 級		650 点以上	4 単位	
	1 級		850 点以上	6 単位	

認定される単位は最高 6 単位までとし、下位の単位認定を受けた者がさらに上位の「級」を取得した場
 合には、既修得認定単位との差が加算されます。

英検と TOEIC® の両方をクリアしても単位認定は高いレベルのどちらか一方とします。

■漢検

本学での高いレベルの講義を理解し、常識人として社会に貢献できる人間を育成するため、本学ではかねてから「漢字」修得能力を重視しており、文部科学省認定の日本漢字能力検定（漢検）の資格を一般教養科目の卒業要件単位として、認定しています。認定される単位数は以下のとおりです。

取得した級	認定単位数	備 考
漢検 2 級	2 単位	一般教養科目の単位として認定
漢検準 1 級	3 単位	
漢検 1 級	4 単位	

ただし、認定される単位は最高 4 単位までとし、下位の単位認定を受けた者がさらに上位の「級」を取得した場合には、既修得認定単位との差が加算されます。

■単位認定の申請方法

教育支援センター教務担当窓口で、「英検・TOEIC®・漢検に関する単位認定願」を配布しています。認定願を記入し、クラスアドバイザーの承認を得た後に提出してください。受付は随時行っています。

(8) 単位互換協定

京都地域を中心とした約 50 大学でつくる「大学コンソーシアム京都」と本学は、単位互換に関する協定を締結しています。本学の学生は、協定大学が提供する 400 以上の科目のうち、集中講義科目を履修し単位修得できます。関東にある協定大学は本学と早稲田大学のみですが、興味のある場合は、長期休暇期間を利用し履修してください。詳細は、UP SHOWA で確認してください。

1. 出願期間：3 月下旬～4 月上旬
2. 受付窓口：教育支援センター教務担当
3. 大学コンソーシアム京都ホームページ：<http://www.consortium.or.jp>

5. 学籍と修業年限

学籍とは、本学の学生としての身分を有していることをいいます。学籍は入学によって発生し、卒業、退学、除籍によって失われます。

在学とは、学生が本学の学籍を有し、現に学修している状態をいいます。在学期間とは、その学修している期間をいいます。

修業年限とは、本学の教育課程を修了するために必要な最小の在学期間をいい、これに対して在学年限とは、本学に在学できる最長の在学期間のことをいいます。また、休学期間は在学期間に含めません。

職業を有している等の理由で、予め修業年限の延長を申請する長期履修学生制度（短大のみ）や成績優秀者に対する

早期卒業制度（大学のみ）もあります。その他、この節では、休学・復学・退学など、学籍に関する諸手続きについて説明していきます。

POINT 標準修業年限

大学 4 年、短大 2 年

※特例：長期履修（短大のみ）、早期卒業（大学のみ）

POINT 最長在学年限

大学 6 年、短大 4 年

※特例：長期履修（短大のみ）

POINT 休学期間

在学期間に含まない。

(1) 修業年限と在学年限

標準修業年限は以下のとおりです。

- ・大学：4 年
- ・短大：2 年（長期履修学生は 4 年）

最長在学年限は以下のとおりです。この年限を超えて在学することはできず、卒業要件を充たせない場合は、除籍となります。なお、休学期間は在学期間に含めません。

- ・大学：6 年
- ・短大：4 年（長期履修学生は 6 年）

(2) 休学

疾病その他やむを得ない理由で休学を希望する者は、その理由を詳記し保証人連署で願い出て、学長の許可を得る必要があります。

必要書類：休学願（保証人連署・病気の場合は医師の診断書を添付）

提出期限：休学する 1 週間前

提出先：クラスアドバイザー

休学期間：1 年以内

※やむを得ない事情のある者については、休学の継続を許可することがある。

以上の願い出による休学のほか、疾病その他の理由により修学することが適当でないと認める時は、学長が休学を命ずることがあります。（休学の命令）

■留意事項

- ・休学期間は、在学期間に算入しません。
- ・休学期間中の学費は、在籍登録料として授業料の半額を納入することになっています。
- ・ただし、学期途中で休学を願い出る場合は、その期の学費を納入していないと許可されません。

(3) 復学

休学の理由が解消し復学を希望する者は、保証人連署で願い出て、学長の許可を得る必要があります。

必要書類：復学願（保証人連署・病気回復の場合は医師の診断書を添付）

提出期限：復学する 1 か月前

復学時期：学期の始め

提出先：クラスアドバイザー

■留意事項

- ・学期途中の復学はできません。

(4) 退学

退学したい者は、その理由を詳記し保証人連署で願い出て、学長の許可を得る必要があります。

必要書類：退学願（保証人連署）

提出期限：退学する1週間前

提出先：クラスアドバイザー

■留意事項

- ・学費・寮費などが未納のままで退学することはできません。
- ・退学を願い出るときは、同時に学生証と校章を返却しなければなりません。
- ・願い出によらない退学は、除籍の扱いになります。

(5) 除籍

次のいずれかに該当する者は、大学部局長会の議を経て、学長が除籍します。

- ・最長在学年限をもって卒業できない者
- ・学費の滞納が3か月以上におよび、督促を受けても納入しない者
- ・正当な理由なく、無届で3か月以上連続欠席した者

■留意事項

- ・除籍とは、本学に在籍していた事実から、その人の名前を除くことを指します。従って証明書等を請求しても、いっさい発行できないことになります。また、再入学の対象にもなりません。

(6) 進級

進級については、各学科の内規によって定めています。

- ・大学全体としては、2年次終了までに卒業要件60単位以上の修得を目安としています。60単位に満たない場合は留年することがあります。

(7) 褒賞

学則第45条（短期大学部第38条）、「本学学生で学業優秀又は善行、美事をなした者を賞することがある」の項目に基づいて次の賞を設けています。

■学長賞

次の基準を充たした者の中から人物などを勘案し、各学科から大学部局長会に推薦して決定されます。

- ・各学科在籍100名につき1名
- ・全履修科目の成績平均点が80点以上
- ・卒業論文等の評価「優」以上（卒業論文等を必修として課している学科のみ）
- ・欠席許容時数が出席すべき総時数の2/100を超えない範囲

■恪勤賞

出席良好で、欠席許容時数が出席すべき総時数の3/1000までの者とします。

■その他の賞

一般社団法人日本精神保健福祉士養成校協会協会表彰

福祉社会学科の学業優秀で精神保健福祉士資格取得見込みの学生1名に授与されます。

社団法人空気調和・衛生工学会振興賞学生賞

環境デザイン学科の学業優秀な学生1名に授与されます。

社団法人全国栄養士養成施設協会会長表彰

管理栄養学科、健康デザイン学科それぞれの学業優秀な学生1名に授与されます。

社団法人全国保育士養成協議会会長表彰

福祉社会学科、初等教育学科それぞれの学業優秀で保育士として勤務が決まっている学生に授与されます。

社団法人日本衣料管理協会会長表彰

環境デザイン学科の学業優秀な学生で衣料管理士を活かした勤務が決まっている1名に授与されます。

社団法人日本社会福祉士養成校協会協会表彰

福祉社会学科の学業優秀で社会福祉士資格取得見込みの学生1名に授与されます。

日本インテリア設計士協会インテリア優秀学生賞

環境デザイン学科の「卒業設計」で優秀な成績を修めた学生1名に授与されます。

日本フードスペシャリスト協会会長表彰

健康デザイン学科の学業優秀な学生1名に授与されます。

日本臨床栄養協会サプリメントアドバイザー 資格認定試験成績優秀賞

健康デザイン学科、管理栄養学科それぞれの学業優秀な学生1名に授与されます。

STUDENTS OF THE YEAR

ボランティア等の活動に自主的に取り組み、学内外で活躍した学生に授与されます。

(8) 長期履修

短期大学部の在学学生及び入学予定者で職業を有している等の事情のある者に対して、長期にわたり計画的に教育課程を履修していく制度を設けています。一般学生と長期履修学生の違いは次のとおりです。

	長期履修学生	一般学生
標準修業年限	4年	2年
最長在学年限	6年	4年

申請手続き

- 必要書類：(1) 長期履修学生申請書
(2) 長期履修を希望する理由書
(3) その他本学が必要と認める書類

- 提出期限：(1) 入学予定者は入学手続時
(2) 在学学生 後期から長期履修学生を希望する場合 6月末日
前期から長期履修学生を希望する場合 前年度12月15日

授業料等

- 長期履修学生の1学期分の授業料等の額は、標準修業年限の授業料等の1学期分の半額とする。
- ただし、すでに納入した授業料等の額が、標準修業年限の間に納入する授業料等の額に達した次学期以降については、次の表に定める在籍料および聴講料を納入する。

	金額	備考
在籍料	100,000円	学期ごとに納入
聴講料	@30,000円 × 科目数	履修科目数に乗じて納入

- 長期履修学生がその修業年限を短縮して卒業しようとするときは、長期履修学生の標準修業年限(4年)の間に納入する授業料等額からすでに納入した授業料等の額を差し引いた額を納入しなければならない。
- 在学中に授業料等が改定されたときは、改定時から新授業料を適用する。

修業年限の変更(短縮)

- 長期履修学生が修業年限を短縮して卒業しようとする時は、次にあげる書類を学長に提出しなければならない。

- 必要書類：(1) 修業年限変更申請書
(2) その他本学が必要と認める書類

- 提出期限：前期(9月)卒業希望者 6月末日
後期(3月)卒業希望者 前年度12月15日

※期間の変更は学期単位。

(9) 早期卒業

本学に3年以上在学し、卒業に必要な単位を優秀な成績をもって修得したと認められる者を対象とする制度です(ただし、編入学生他、対象外となる場合もありますので、早期卒業の規程第2条を確認してください)。

■早期卒業の登録

登録時期：2年次終了時

(2年次1月頃各学科から出される公示に従って手続きを進めてください)

登録基準：卒業要件単位 90 単位以上かつ席次が当該学科学年の上位約 5% 以内の者

審査：所属学科、大学部局長会の審査のうえ登録されます。

■学習指導

卒業論文：通常 4 年次で受ける卒業論文等の指導を 3 年次から受けることができます。

中間報告：3 年次前期終了時に学習状況報告書を所属学科学科長に提出しなければなりません。

■早期卒業の認定

早期卒業するためには、次のすべての条件を満たさなければなりません。

必要単位：130 単位以上（卒業要件単位 132 単位から 4 年目文化講座 2 単位を免除）

成績：卒業要件単位の成績（平均点）の席次が当該学科学年の上位約 5% 以内

卒業論文等：評価が優以上（必修の場合）

卒業認定：大学部局長会で審査のうえ、学長が認定します。

卒業の時期：3 年終了時又は 4 年前期終了時

※本学入学前の既修得単位を認定された者に関する特例（主対象：五修生）については、早期卒業の規程第 9 条を確認してください。

(10) 転科

特別な事情がある者に対して、転科を希望する学生の所属学科が認め、転科先の学科に余裕がある場合、選考のうえ転科を認める場合があります。事前にクラスアドバイザーの指導を十分に受けたうえで申請してください。

■申請基準

入学試験時の成績が、転科先の学科の合格最低点以上という基準を満たしていなければ申請の対象となりません。詳しくは転科規程で確認しクラスアドバイザーに相談してください。

■転科時期

学期の始め（選考は転科する前の学期中に終了していなければなりません）

■必要書類

(1) 転科希望の理由を記載した保証人連署の転科願

(2) 転科先の学科での勉学の目的を記述した書類

※その他、転科先の学科が必要とする書類の提出を求められる場合があります。

■選考方法

(1) 面接

(2) 書類審査

※その他、必要に応じて、筆記試験及び実技試験等を行う場合があります。

選考の結果は、大学部局長会の議を経て決定されます。

(11) 再入学

正当な理由で退学をした者が再入学を願い出たときは、学期の始めに限り選考のうえ許可することがあります。除籍となった者は対象になりません。なお、ここには現在の学則及び再入学選考内規に基づいた記載をしますが、実際に再入学を申し出た時の学則、規程が適用されます。

■条件

次のすべての条件に該当していることが必要です。

(1) 該当学科が受け入れ可能であること。

(2) 健康上の理由、経済的理由など正当な理由で退学した者であること。

(3) 再入学時には退学理由となる事由が解消されていること。

■手続き

再入学希望者は、学科の事前相談を受けたうえで、再入学する学期の 2 か月前までに、次の書類を提出しなければなりません。

(1) 退学した理由とその経緯、現在、その理由となる事由が解消されていることを記載した書類。

(2) 再入学の目的を含めた入学後の計画などを記述した書類。

(3) その他、該当学科が必要とする書類。

■ 選考方法

選考は次のとおり行い、退学前の既修得単位数と学力を勘案して、再入学する学年を決めます。

(1) 筆記試験

(2) 面接

(3) 書類審査

選考の結果は、大学部局長会の議を経て決定されます。

6. 海外留学

年間 300 名もの学生が留学している、本学の海外キャンパス、昭和ボストンを中心に、協定校への認定留学など、さまざまなプログラムが用意されています。

(1) 昭和ボストン

本学は創立以来、独創的なビジョンを掲げて教育の実践に努力してきましたが、1988 年 4 月、アメリカ随一の学園都市ボストンに、豊かな語学力と国際的な教養を培い世界に通用する人材を育成する目的で Showa Boston Institute for Language and Culture (昭和ボストン) を開校しました。太平洋を越えて大西洋に及ぶ視野で 21 世紀の世界創造を模索する拠点を構築できたことは「女性文化の帆をはりて海路はるけく漕ぎでたり」の精神を貫き、弛まぬ前進を続けた本学の歴史に画期的な 1 ページを加えたといえます。

ボストン校の授業はすべて現地のアメリカ人教員が担当し、少人数クラスの徹底した指導が行われます。また、授業科目の一つとしてキャンパス外においてボランティア活動に参加したり、歴史や文学の名所へのフィールドトリップを行いアメリカの文化を実際に目で見て学んだりするなど、豊かな生活体験がプログラムに盛り込まれているのが特長です。

特に留学が卒業要件となっている人間文化学部英語コミュニケーション学科や、短大文化創造学科の 3 ヶ月半以上の長い研修を選択した学生は、1999 年から始まった CCP (College Connection Program) を通してボストン市内の 6 大学のコンソーシアムと連繋して昭和の学生が現地の大学生と出会い、彼らのクラスを訪ね、アメリカの大学生活を実体験する機会が得られます。また、その他の学部生対象に春期 15 週間ボストンプログラムや国際学科イメージングプログラムを実施しているほか、全学科対象には、サマーセッションや専門分野の短期留学を展開しています。いずれも授業において一定レベルに達した場合は本学正規の修得単位として認定されます。

課外生活体験としては、地元のアメリカ人がカンパセーションパートナーとして日頃から本学学生と交流を深めたり、フェスティバルに地域の人を招待して茶室や日本庭園でお茶会を開いたりしています。さらに寮では RA (Resident Assistant) として現地大学院生や本学学生と同世代の社会人が同居し、昭和の学生の Big Sister として日常生活や勉学のサポートにあたっています。

POINT 認定留学

本学在学のままで留学できる制度。

MOSS HILL 宣言

モス・ヒルという名のこの丘に
立って、広い世界を見渡し、この
丘でアメリカを学び、この丘で日
本の未来を探り、この丘で東洋と
西洋、日本と世界の新しい融合点
を発見するような人材となり、進
んで人類の向上発展に貢献するよ
うな女性となりなさい。

一九八八年四月三日

ボストン昭和女子大学
学長 人見 楠郎

Standing on this rise, Moss Hill,
we have a view of the wide world.
On this hill,
we will learn about this land, America.
On this hill,
we will strive for the future of Japan.
On this hill,
we will use our human potential
to join East and West, Japan and the world.
Become women who dedicate yourselves gladly
to the progress of humankind.

April 3, 1988

Kusuo Hitomi

President of Showa Women's Institute Boston



■ボストン・サマーセッション

さまざまな場面で海外交流が活発に行われるようになった昨今では、単に英語の習得にとどまらず、英語で自己発信し社会に貢献することが求められるようになりました。こうした時代の流れから1988年に昭和ボストン（インターナショナルキャンパスボストン）を開設、同所を拠点に体験型海外留学を展開したプログラムが、全学生対象の「ボストン・サマーセッション」です。

夏季休暇中に実施されるサマーセッションは、学部・短大全学科の各分野に基づいた7つのプログラムから構成されており、学生は自分の専門もしくは興味に合ったものを選択します。世田谷キャンパスで学んだ専門知識を英語で表現することを学ぶと同時に、身につけた技術を学外見学・実習の場で現地コミュニティの一員として社会に還元することが求められます。

午前にはキャンパス内のアメリカ人教員による少人数クラスの授業で、各分野の専門用語を織り交ぜた、きめ細やかなスピーキング、ライティング、リスニングの指導が行われます。午後はプログラムごとの学外フィールドワークに充てられており、午前の授業で身につけた知識と英語力を駆使して、訪問先の病院、福祉施設、教育機関や企業などで自己表現をしながら実際に活動に携わるなどして英語を自分の専門に活かす技能を体得していきます。

なお、ボストン・サマーセッションの概要は次のとおりです。詳細は、ボストン・サマーセッションのパンフレットを見てください。

1. 実施期間は8月中旬から4週間です。参加学生の募集は毎年4～5月に行われます。
2. 指導教員は昭和ボストンのアメリカ人教員で、いずれも日本人を対象とする英語教育の経験が豊富なベテランぞろいです。
3. 教育効果をあげるため、少人数のクラスで、学生それぞれの語学力に応じた授業をします。
4. 授業の一環としてボストン近郊の旧跡や美術館を見学し、週末にはニューヨーク旅行やナイアガラの滝へのオプションツアーが組まれます。
5. カリキュラムは世田谷キャンパスとの連携が図られ、サマーセッションの研修を修了した学生に対しては外国語科目（英語）2単位、一般教養科目または該当学科専門科目2単位の計4単位が評価のうえ認定されます。帰国後各プログラムで決められた課題を提出します。なお、単位は入学年度ではなく、参加年度の募集要項のとおりです。以下は今年度の単位です。

○一般教養科目（または専門科目）2単位

プログラム名	科目名	単位数	備 考
アメリカ文化	アメリカ文化研究（文化）	2	英コミ・国際の学生を除く
アメリカ食文化	アメリカ文化研究（食文化）	2	
教育	アメリカ文化研究（教育）	2	
ボランティア	アメリカ文化研究（ボランティア）	2	同時開設：福祉「海外ボランティア演習」 ※福祉の学生は教養と専門を選択可能
心理学	アメリカ文化研究（心理学）	2	同時開設：心理「アメリカ心理学事情（ボストンサマーセッション）」 ※心理の学生は専門
ビジネス英語	アメリカ文化研究（ビジネス）	2	同時開設：英コミ「ボストン・ビジネスイングリッシュプログラム」 ※英コミの学生は教養と専門を選択可能
ミュージアム	アメリカ文化研究（ミュージアム）	2	同時開設：歴史「ボストン・ミュージアムプログラム」 ※歴史の学生は専門

○外国語科目（または専門科目）2単位

プログラム名	科目名	単位数	備 考
全プログラム共通	ボストンサマーセッション英語	2	英コミ、国際、健康、管理は卒業要件外 ※現代の学生は専門

■春期 15 週間ボストンプログラム

大学生を対象とした体験型留学プログラムで、参加者は4月上旬から7月下旬までボストン・キャンパスで学びます。午前中はボストン・キャンパス内でアメリカ教員による少人数クラスの英語の授業を受け、午後は病院、福祉施設、教育機関などでの活動を通じて英語を使い、アメリカ社会を体験します。

対 象：大学生を対象とし（英語コミュニケーション学科、国際学科、及び短大の学生を除く）、2年次以降に履修することを原則とします。

選 考：履修にあたり面接を行って選考します（英語力の評価、及び長期の集団生活に適しているかの人物判断などを所属学科と協力の上、行います）。また、4年間で卒業が見込まれることを条件とします。

期 間：4月上旬から7月下旬

申込先：国際交流センター（参加学生の募集は7月から始めます）

単 位：16単位

科 目 名	認定単位 (英語コミュニケーション学科、国際学科を除く)
ボストン Listening/Speaking	2 単位 (外国語英語)※1
ボストン Reading/Vocabulary	2 単位 (外国語英語)※1
ボストン Writing/Grammar	2 単位 (外国語英語)※1
ボストン Extensive Reading	1 単位 (外国語英語)※1
ボストン Pronunciation	1 単位 (外国語英語)※1
ボストン Current American Topics	2 単位 ※2 (一般教養または外国語英語)
ボストン Field Trips	2 単位 (一般教養)
ボストン Community Service	4 単位 (一般教養)

※1 現代教養学科の場合は、専門科目として認定されます。

※2 現代教養学科の場合は、一般教養科目または専門科目として認定されます。

■春季休暇中ボストンプログラム

春季休暇を利用したボストンキャンパスで学ぶ専門分野の短期プログラムは、春季休暇中に以下のとおり実施します。プログラムの実施はいずれも後期授業終了後の2月～3月の2週間です。

アメリカ栄養士研修

対象：健康デザイン学科、管理栄養学科の2, 3, 4, 5年

概要：病院や福祉施設等の集団給食施設における栄養士業務の見学、訪問先大学で研究者と意見交換

科 目 名	単位数
アメリカ栄養士体験コース	2

日本語教育実習

対象：日本語教育を学んでいる学生

概要：アメリカの日本語教育現場を体験

科 目 名	単位数	備 考
日本語教育実習（海外'YY）	1	（'YY）には年度（西暦）が表記される。

春季アメリカ教育研修

対象：初等教育学科学生

概要：アメリカの教育現場を体験

科 目 名	単位数
アメリカ初等教育演習	2

(2) 認定留学

認定留学とは、他の教育機関等での研修期間中も本学を休学とせず、本学の修業年限に算入する留学のことです。留学先で修得した単位は、留学終了後、手続きを経て本学で修得したものととして認定します。

■協定校への認定留学

本学では、海外の大学との間で単位互換を前提として、交流協定を締結しています。プログラムの内容は、1年間の交換留学から2週間の短期研修まで、協定校ごとに異なります。交換留学の場合、「認定留学に関する内規」に基づき事前に学長の許可を受けて留学します。「認定留学」は2期を限度に留学期間も修業年限に参入します。

<協定校>

上海交通大学（中国）
ソウル女子大学（韓国）
漢陽女子大学（韓国）
西江大学（韓国）
ベトナム国家大学ハノイ（ベトナム）
プノンペン王立大学（カンボジア）
University College Capital（デンマーク）
クイーンズランド大学（オーストラリア）

■SAF 認定留学

米国非営利団体である SAF(The Study Abroad Foundation) と提携した認定留学プログラムです。英語圏6力国(アメリカ・カナダ・イギリス・アイルランド・オーストラリア・ニュージーランド)および非英語圏(ドイツ・フランス・スペイン・スイス)に留学することができ、自分の語学力により「授業履修プログラム(ブリッジプログラムを含む)」または「語学力強化プログラム」を選ぶことができます。

■上記以外の教育機関への認定留学

協定校や SAF 以外の留学先でも、本学の認めた教育機関・団体に留学する場合は認定留学が認められます。認定留学を希望する学生は、心身共に健康で明確な目的を持ち、かつ、留学先が指定する要件を満たす必要があります。認定留学の期間は、1期または2期となります。ただし、五修生については、本学に正式に入学した後の学期のうち4期までとします。費用は、本学への学費のほか、留学先の学費も必要です。

(3) その他の留学

認定留学の条件に合わない場合や履修計画によっては、留学期間を休学扱いとして留学することができます。この場合、留学期間は修業年限に含まれません。費用は、本学への授業料半額と留学先の学費が必要です。学則に基づき、留学先での修得単位を本学で修得したものと認定できる場合があります。クラスアドバイザーに相談のうえ申請してください。

(4) 海外研修プログラム

本学には昭和ボストン、協定校への留学以外にも多彩な海外研修プログラムが用意されています。

■春季ヨーロッパ研修

春季休暇中に実施される当研修は、ウィーンの職業訓練校で行われるお菓子作りの講習に参加します。この研修に参加するには、明確な目的意識と、訪問地についての知識・理解が必要です。従って、参加する学生は、全員事前研修を行い、現地で充実した時間を過ごせるよう、企画運営されています。帰国後は、学報、秋桜祭等でその成果を発表し、他の在学生に対する啓蒙に努めています。

対 象／全学科

単 位／2単位（一般教養科目：ヨーロッパ食文化）

期 間／2月下旬から13日間

訪問国／オーストリア・ドイツ・フランス

申込先／国際交流センター

■ イタリア食文化研修

イタリア北部の街ドモドッソラで、北部・中部・南部のイタリア料理について学びます。

対 象／全学科

期 間／2月下旬から13日間

訪問国／イタリア

申込先／国際交流センター

■ ソウル女子大学 語学集中講座

夏季休暇中に実施される、協定校のソウル女子大学にて行われる3週間の韓国語集中講座です。

大学の外国語教育院韓国語教育部にて韓国語と韓国文化に関心のある人を対象にしているプログラムで、各自にあったクラス編成により、大学内で寮生活をしながら週5日の授業と週1日の文化体験（校外学習、韓国料理実習など）を行います。帰国後、本学韓国語教員による面接試問等により単位を認定します。

対 象／全学科

単 位／2単位（外国語科目：海外留学語学演習（韓国語））

期 間／8月初旬から3週間

申込先／国際交流センター

7. 学内進学制度と科目等履修生制度

本学には、大学の卒業生（卒業見込みの者を含む）を対象に、さらに精深な学術理論とその専攻分野における研究能力または高度の専門的職業に必要な能力を養うことを目的とする大学院課程があります。

また、短大の卒業生（卒業見込みの者を含む）には、大学へ編入学の道が開かれています。

それぞれ、在学生を対象とした学内推薦制度があります。

また本学に開設する授業科目のうち、1 ないし数授業科

目を履修する科目等履修生制度があり、本学卒業後、資格取得等に活用することができます。本学卒業生の履修料は、正規金額の半額となっています。

POINT 学内推薦成績基準の概要

大学院文学研究科：上位 1/2

大学院生活機構研究科：上位 1/3

大学編入学：上位 1/3

(1) 大学院

■学内推薦

1. 趣旨

本学の大学院博士前期課程・修士課程の入学を熱心に希望する卒業年次生に対し、在籍学科長の推薦によって出願を受け付け、大学院において研究実績及び研究計画等（心理学専攻には簡単な論述が加わる）について審査のうえ、入学を許可する。

2. 推薦基準

当該年度卒業見込みの者で、次の（1）～（3）のいずれかに該当する者。

- （1） 前年度までの通算成績が、在籍学科同年次の学生の中で、文学研究科においては上位 2 分の 1 以内、生活機構研究科においては上位 3 分の 1 以内。
- （2） 前年度の在籍学科の成績が、同年次の学生の中で、文学研究科においては上位 2 分の 1 以内、生活機構研究科においては上位 3 分の 1 以内。
- （3） 早期卒業登録者

*ただし、編入学生については、（1）は適用しない。

3. 日程（詳細は 4 月上旬に掲示発表）

学生エントリー期間：5 月上旬頃

面接試問：5 月下旬頃

内定合格発表：6 月上旬頃

*心理学専攻の論述試験は面接と同日に行う。

■一般入試

1. 出願資格

- （1） 博士前期課程・修士課程の受験資格は次のいずれかに該当する者。
 - ・学校教育法第 83 条に定める大学を卒業した者あるいは見込みの者。
 - ・学校教育法施行規則第 155 条第 1 項により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者。
 - ・大学に 3 年以上在学した者であって、本大学院の定める単位を優秀な成績で修得したと認められる者。
 - ・学校教育法施行規則第 160 条により大学に 3 年以上在学した者に準ずる者であって、本大学院の定める単位を優秀な成績で修得したと認められる者。
- （2） 博士後期課程の受験資格は次のいずれかに該当する者。
 - ・修士の学位又は専門職学位を有する者（取得見込みの者も含む）。
 - ・学校教育法施行規則第 156 条に定める修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者。

2. 募集人員（2012 年度入学者）

文学研究科

日本文学専攻	（博士前期課程）	5 名
英米文学専攻	（博士前期課程）	5 名
言語教育・コミュニケーション専攻	（博士前期課程）	10 名
日本文学専攻	（博士後期課程）	3 名

英米文学専攻	(博士後期課程)	3名
言語教育・コミュニケーション専攻	(博士後期課程)	3名

生活機構研究科

生活文化研究専攻	(修士課程)	10名
心理学専攻 心理学講座	(修士課程)	8名
心理学専攻 臨床心理学講座	(修士課程)	12名
福祉社会研究専攻	(修士課程)	5名
人間教育学専攻	(修士課程)	10名
環境デザイン研究専攻	(修士課程)	5名
生活科学研究専攻	(修士課程)	5名
生活機構学専攻	(博士後期課程)	5名

3. 試験区分

- (1) 7月期
- (2) 2月期

(2) 大学編入学

■学内推薦

1. 2年次・3年次編入学（健康デザイン学科・管理栄養学科の募集はなし）

(1) 趣旨

本学の教育方針をよく理解し、大学編入学を熱心に希望する本学短大2年次の学生に対し、在籍学科長の推薦によって審査のうえ、大学編入学を許可する。

(2) 推薦基準

出願条件：当該年度卒業見込みの者で、次の条件を全て満たす者。

- ①人物的に優れ、出席・健康共に良好で在籍学科長が責任をもって推薦する者。
- ②短大2年次の学生は1年次の成績順位が在籍者の上位3分の1以内。

(3) 日程（詳細は4月上旬に掲示発表）

学生エントリー期間：5月上旬頃
面接試問：5月下旬頃
内定合格発表：6月上旬頃

■一般入試

1. 受験資格

次のいずれかを満たす女子で、編入を希望する者。

- ・短期大学の卒業者（卒業見込みの者を含む）
- ・高等専門学校卒業者（卒業見込みの者を含む）
- ・専修学校の専門課程（修業年限が2年以上で、かつ総授業時間数が1700時間以上の課程であること）の修了者（修了見込みの者を含む）。

2. 日程

出願期間：9月中旬頃
試験日：10月上旬頃
合格発表：10月中旬頃

■編入学後の履修について

編入学後、短大で修得した単位の一部は大学で修得したものとして認定することができます。編入学後の修得単位数については、各学科の内規に従ってください。教職を希望する者は、出身短大の学科により、認定できる単位が異なるので、編入学後に必ず、教育支援センター教務担当で履修指導を受けてください。参考までに、学則の条文を掲載します。

第43条 転入学、学士入学若しくは編入学又は転科した者については、すでに他の専修学校専門課程、短期大学又は大学等において修得した単位並びに在学年数の全部又は一部を、本学における授業科目の単位並びに在学年数として認定又は換算することができる。

■編入学が許可される学科

◆2 年次編入 ○3 年次編入

	人間文化学部				人間社会学部				生活科学部		
	日本語日本文学科 *1	英語コミュニケーション学科 *2	歴史文化学科 *3	国際学科 *1	心理学科 *4	福祉社会学科 *5	現代教養学科 *6	初等教育学科 *7	環境デザイン学科 *1*8	健康デザイン学科 *9	管理栄養学科 *9
文化創造学科	○	◆	○	○	◆	○	○	◆	◆○	○	○

- *1 別途指示する一定の条件を満たす者。個々の履修状況により、2 年間で卒業できない場合もある。
- *2 ボストン研修を修了している者は、3 年次編入となる。
- *3 専門科目として認定される科目につき 20 単位以上修得もしくは修得予定であること。
- *4 心理学科が心理学に深く関連していると認定した科目を 2 年前期終了までに 4 単位以上修得していること。
- *5 個々の履修状況により 2 年次編入になることもある。保育士資格・社会福祉士の受験資格を取得する場合は 2 年次編入になる。精神保健福祉士の受験資格を取得する場合は 3 年を要することがある。これらは今後の法改正に影響を受けるため、受験の際に編入学試験要項等で必ず確認すること。
- *6 個々の履修状況により 2 年次編入になることもある。
- *7 「小学校教諭 1 種免許状」または「幼稚園教諭 1 種免許状」のいずれか一方を取得できる。保育士資格の取得はできない。
- *8 希望するコース・資格により、2 年次編入になる。
- *9 個々の履修状況により 2 年間で卒業できない場合もある。
- ※その他不明な点については、志望学科に問い合わせること。

(3) 科目等履修生制度

本学の開設する授業科目のうち、1 ないし数授業科目を選択履修することを許可された者を科目等履修生といいます。科目等履修生に関する取り決めを、次のようにします。

■出願資格

大学・短大科目等履修生

大学卒業以上の者

大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

大学・短大科目等履修生

高等学校卒業以上の女子

ただし、資格取得のための科目は原則として本学（学部・短大）卒業生に限る。

■出願期間

前期 3 月下旬

後期 9 月下旬

※出願期間は年度により異なるため事前に昭和女子大学ホームページで確認してください。

■履修期間

前期：4 月～9 月

後期：10 月～3 月

■履修範囲

当該科目の受講学生に余裕のある場合にのみ受け入れるものとし、授業担当教員と科目を開設する当該学科長または専攻主任の承認を必要とします。各学期に履修できる上限単位数は、22 単位です。

■単位認定

履修した科目のうち、単位の修得を必要とする場合は、前期末・後期末の試験を受験し、評価のうえ単位の認定をします。

■出席・欠席

毎時間の出席・欠席・遅刻は、その授業の担当教員の責任において出席簿に記録されます。当該科目の欠席時数が4分の1（週1回授業の場合には1セメスターで4回）を超えると失格となり、試験の受験資格が与えられず、単位は認定されません。

10分を超えた遅刻は欠席として取り扱われます。10分以内の遅刻は2回をもって1回の欠席とします。（60分以内の授業の場合は10分を5分に読み替えます）

公欠

以下の場合に、願い書を提出すると欠席扱いにはなりません。

- ① 忌引（親7日以内、祖父母、兄弟姉妹3日以内）
- ② 教育実習並びに介護等体験
- ③ その他大学が必要と認めたもの。

公欠願は2種類の用紙に記入し、教育支援センターと授業担当教員へ提出することが必要です。（用紙は教育支援センター窓口にあります。）

公欠願は3日前までに提出。ただし、①の場合は教育支援センターの証明で事後に提出しても有効です。事後の場合は7日以内に提出することとし、それ以降は原則として認めません。

■履修料

各学期1科目につき	登録料	10,000 円
	聴講料	20,000 円

※実習費は別途徴収します。

※本学の卒業生の場合、上記履修料は半額となります。

※週2回の授業（ダブル科目）の料金は、2科目分となります。（ダブル科目の確認は、カリキュラム表又はシラバスでできます。）

■問い合わせ・出願受付

教育支援センター教務担当窓口

8. 課外活動

本学では、学友会の委員会活動やクラブ活動を重視し、教育の一環と位置づけています。学科、学年の枠を超えた学生同士のつながりから得る経験は大きく、人間形成のうえから重要です。

クラブ活動は、健全な趣味や豊かな情操を育て、友情を深めるための自主的な活動で研究、教養、趣味、運動など

幅広い分野の団体があります。

POINT 学友会

学友会＝全学生が会員

各種委員会

POINT クラブ活動

研究、教養、趣味、運動など幅広い分野の団体

(1) 学友会

学友会は全学生が構成員となり、建学の精神に則り学生と大学が協力しながら学生相互の研学・修徳・親和をはかり、学園生活の向上発展を目的としています。学友会には、執行委員（会長、副会長、書記など）と各種委員会があり、自主的な活動を行っています。

学友会クラス学生総会（クラス代議制）

開催時期：4月、7月、10月、12月、1月

(2) 委員会活動

学友会の活動は、各種委員会活動を中心に行われます。委員会は本学の学生生活の拠点であるクラスを基盤に構成されるクラス委員会の中にある各委員会とクラブ活動や秋桜祭といった目的別の委員会に分けられます。

■ クラス委員会

● 総務委員会

1. 学生の日常生活指導の検討、学生生活全般の向上、推進に努める。
2. 各学科の代表で構成し、任期は1年とし、重任することができる。
3. 委員会の正・副委員長は、クラス委員会の正・副議長となり、クラス委員会の運営、進行に当たる。
4. 総務委員は、代表委員会の委員として任務に当たる。

● 学報委員会

1. 月刊「昭和学報」の企画、取材、原稿収集、編集などを担当し、学報の発行に従事する。
2. 各学科の代表と、学報作成に関心のある有志の学生で構成される。任期は1年とし、重任することができる。

● ボランティア委員会

1. 誰もが人間らしく豊かに暮らしていける学園生活を目指し、自らが身近なところでできる活動を推進する。
2. 各学科の代表と、ボランティアに関心のある有志の学生で構成される。任期は1年とし、重任することができる。

● エコロジー委員会

1. 学生一人一人が地球環境の保全に何ができるかを考え、学園の環境保全活動と連携し活動する。
2. 各学科の代表と、環境保全に関心のある有志で構成される。任期は1年とし、重任することができる。

■ 秋桜祭実行委員会

1. 学園祭を企画、運営する。

■ クラブ連合委員会

1. 体育系・文化系クラブサークルで構成される。

各委員会には有志が参加でき、また必要に応じて新たな委員会を設置することができます。

(3) クラブ活動

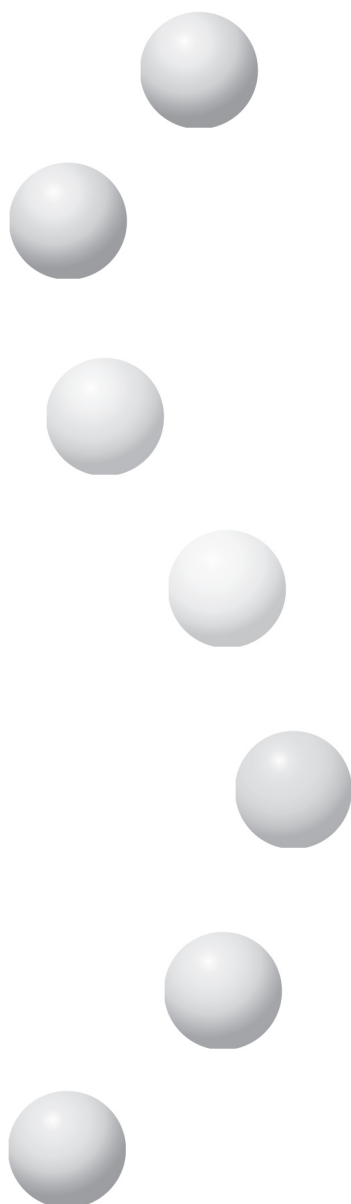
クラブ活動は本学の教育の一環として位置づけられています。

クラブ・サークルは、学科・学年の区別なく、志や目的を同じくした本学学生が自主的に活動する任意加入団体です。クラブ活動では健全な趣味や豊かな情操を育て、友情を深め、ともに共通の目的のために磨きあってください。単なる余暇の集まりにとどめることなく、自己啓発のための積極的な活動を望みます。

本学学生が他大学のクラブ・サークルと活動、もしくは共演する場合は顧問および教育支援センター学生担当に相談のうえ、所定の手続きをしてください。

III

開設授業科目一覧



開設授業科目

カリキュラム表の見方

カリキュラム表の見方

a			b									c	d	備考			
授 業 科 目		整 理 番 号	学 部				短 期 大 学 部			開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等						
			1年次	2年次	3年次	4年次	1年次	2年次	専攻科								
			単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位								
			前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期								
日 本 語 基 礎	実践倫理(昭和女子大学の教育と理念)	201001	1					1				1	オムニバス形式				
	実践倫理(キャリアデザイン)	201002		1					1			1	オムニバス形式				
	日 本 語 基 礎	201003	1	1					1	1		1	オムニバス形式				
心 身 体	こ こ ろ の 科 学	201004	②	②	②	②			②	②	②	②	1	★	心理の学生を除く		
	社 会 心 理	201005			②	②	②	②			②	②	②	2	★同	心理の学生を除く(文化) 文化の学生は専門科目として履修すること	
	家 庭 生 活 の 心 理	201006				②		②				②	②	2			
	子どもの不適応と非行	201007				②		②				②		2			
	幼 児 の 心 理	201008	②	②	②	②	②	②			②	②	②	1			
	生 理 と 心 理	201009			②	②				②		②		2		心理の学生を除く	
	家 庭 の 医 学	201010	②	②	②	②	②	②			②	②	②	1			
	栄 養 科 学	201011	②	②	②	②	②			②	②	②	②	1		健康・管理の学生を除く	
	食 を 科 学 す る	201012	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②	1		
	食 料 科 学	201013	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②	1		

一般教養科目 カリキュラム表

a			整 理 番 号	b				c	d	備 考	
授 業 科 目				学 年				開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等		
				1年次	2年次	3年次	4年次				
				単位	単位	単位	単位				
				前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期				
学部 共通科目	人間社会学総論	心 理 学 概 説 I	223001	②	②			1・2	同	開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②○印は他学科学生履修可 ③◎学印は学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦#印は一般教養にならない	
		心 理 学 概 説 II	223002		②	②		1・2	同		心理分野※
		社 会 心 理 学	223003		②	②		1・2	同		
		社 会 福 祉 I (社 会 福 祉 哲 学)	223004	②	②			1・2	同		福祉社会分野※
		社 会 福 祉 II (社 会 福 祉 の 歴 史)	223005	②	②			1・2	同		
		教 育 学 概 説 I	223006	②	②			1・2	同		初等教育分野※
		教 育 学 概 説 II	223007		②	②		1・2	同		
学科	現代教養入門	現 代 教 養 入 門 I	223008	1				1		5クラス	
		現 代 教 養 入 門 II	223009		1			1		5クラス	
		社 会 を み る 目 I	223010	2				1	同	2クラス (心理・福祉・初教)	
		223011		②				1	同	(心理・福祉・初教)	

専門教育科目 カリキュラム表 (例：現代教養学科)

a 開設授業科目の表示について

授業科目に付してあるⅠ、Ⅱ、Ⅲ等の数字やアルファベットA、B、C等は、次のような性格を表わします。

1. 数字：Ⅰ＝初級・基礎段階、Ⅱ＝中級・発展段階、Ⅲ＝上級・応用段階など、グレード（難易度）を表わします。
2. アルファベット：各々の段階内における科目別の種類、または担当教員が異なることを表わします。

b 開設単位について

1. 単位の無印は必修科目
2. 単位の○印は選択科目
3. 前期、または後期に記載してあるものはその期のみ開設される授業科目
4. 前期、後期ともに記載してあるものは、それぞれに異なる内容を取り扱う授業科目（ただし、履修可能範囲に★印のあるものは同一内容）

c 開講中心年次について

その欄に指定してある学年を中心に授業が行われることを意味します。従って、中心年次が下になるほど基礎的な、しかも平易な科目が多いはずで、一般に授業は、易しいものから難しいものへ、基礎から応用へと段階的に進めていきます。この場合、いきなり1年次生が、4年次生を中心として開設された科目を履修することは無理でしょう。しかし、特別の事情から、学生が上級の中心年次に指定されている科目を履修する必要がある場合や、上級の段階の能力を有することが明確なときは、特別履修願を提出することにより履修が許可されます。上級学生が下の年次に指定されている科目を履修することは可能ですが、余程の事情がない限りは、2年も3年も下の段階の科目を選ぶことは好ましいことではありません。

d 履修可能範囲等について

1. 無印は当該学科学学生のみ履修可能（一般教養科目・外国語科目などの全学共通開設科目は除く）
2. 他学科の学生が履修できる科目については、次の記号で示してあります。
 - 1) ◎印は特別の指定がない限り大学、短大いずれの学科でも履修できる科目で、自学科に同時に開設されていない場合一般教養科目（卒業要件）の単位となります。ただし、#印が付してある場合は、一般教養科目（卒業要件）の単位なりません。また、◎学印は同学部内の学科の学生のみが履修できる科目です。
 - 2) □印は同系統学科間（下表を参照）のみ履修できる科目で、専門教育科目として認定され、卒業要件の単位（選択科目）となります。
同系統とみなされるのは次の通りです。

人間文化学部 日本語日本文学科⇔短期大学部専攻科国語国文学専攻
人間文化学部 英語コミュニケーション学科⇔短期大学部専攻科英語英文学専攻
生活科学部 環境デザイン学科⇔短期大学部専攻科生活文化学専攻

- 3) 同印は同時開設科目（曜日・講時・教員が同一の科目）を示します。備考欄には開設学科略称が示されています。また、開設学科で科目名が異なる場合は科目名も示されています。
3. ★印は前期、後期とも同一内容の授業科目です。両方履修することはできません。
4. 上記以外の記載内容については、各学科カリキュラム表の備考欄や欄外の指示に従ってください。

単位換算について

大学（昭和女子大学）と短期大学部（昭和女子大学短期大学部）で相互に修得した単位は、学則第14条に基づいて、大学で60単位、短大で30単位までの範囲で卒業要件の単位として認定されます。詳しくは規定を確認してください。

1. ① 一般教養科目

① 一般教養科目

授 業 科 目		整 理 番 号	学 部				短 期 大 学 部			開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考 開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③○字印は学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦#印は一般教養にならない						
			1年次	2年次	3年次	4年次	1年次	2年次	専攻科									
			単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位									
			前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期									
日 本 語 基 礎	実践倫理(昭和女子大学の教育と理念)	201001	1					1			1		オムニバス形式					
	実践倫理(キャリアデザイン)	201002		1					1			1	オムニバス形式					
	日 本 語 基 礎	201003	1	1					1	1			1	オムニバス形式				
心 身 体	こ こ ろ の 科 学	201004	②	②	②	②			②	②	②	②		1	★	心理の学生を除く		
	社 会 心 理	201005			②	②	②	②			②	②	②	②	2	★同	心理の学生を除く(文化) 文化の学生は専門科目として履修すること	
	家 庭 生 活 の 心 理	201006				②		②				②		②	2			
	子どもの不適応と非行	201007				②		②				②		②	2			
	幼 児 の 心 理	201008	②	②	②	②	②			②	②	②	②		1			
	生 理 と 心 理	201009		②		②				②		②			2		心理の学生を除く	
	家 庭 の 医 学	201010	②	②	②	②	②			②	②	②	②		1			
	栄 養 科 学	201011	②	②	②	②	②			②	②	②	②		1		健康・管理の学生を除く	
	食 を 科 学 す る	201012	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②		1		
	食 生 活 と 調 理	201013	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②		1		
	ス ポ ー ツ を 考 え る	201014	②	②	②	②	②			②	②	②	②		1			
	身 体 と 運 動 の 科 学	201015	②	②	②	②	②			②	②	②	②		1			
体 育 実 技	201016	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	—		
思 索 と 表 現	倫 理 学	201017			②	②	②	②				②	②	②	②	2		
	哲 学 概 論	201018	②	②	②	②	②	②		②	②	②	②			1	同	(心理・現代) 心理・現代の学生は専門科目として履修すること
	現 代 哲 学	201019		②		②		②			②		②			1		
	日 本 精 神 史	201020	②	②	②	②	②	②		②	②	②	②			1	★	
	宗 教 文 化 論	201021	②	②	②	②	②	②		②	②	②	②			1		
	数 理 能 力 基 礎	201022			②	②	②	②			②	②	②	②		学3短2	★	
	数学A(数 字 の 基 礎)	201023	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	数学B(統 計 学 の 基 礎)	201024			②	②	②	②				②	②	②	②	2		
	数学C(形とパターンの数学)	201025	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	日 本 史 概 説	201026	②		②					②		②				1		
	日 本 史 A (前 近 代)	201027		②		②					②		②			1		歴史の学生を除く
	日 本 史 B (近 現 代)	201028		②		②					②		②			1		歴史の学生を除く
	考 古 学 (日 本 の 遺 跡)	201029	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	西 洋 史	201030	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1	★	
	日 本 文 学 A	201031		②		②					②		②			2		
	日 本 文 学 B	201032	②		②		②			②		②				1		
	日 本 文 学 C	201033	②	②	②	②	②	②		②	②	②	②			1		
	日 本 文 学 D	201034	②	②	②	②	②	②		②	②	②	②			1		
	日 本 文 学 E	201035			②	②	②	②				②	②	②	②	2	★	
	民 俗 と 芸 能	201036	②	②	②	②	②			②	②	②	②	②	②	1		
日 本 の 話 芸	201037	②		②		②			②		②		②		2			
日 本 美 術 通 史	201038	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1・2			
書 道 (毛 筆)	201039	①	①	①	①	①			①	①	①	①			1		人数制限あり	
英 米 文 学 概 論	201040	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1			

人数制限あり

授 業 科 目		整 理 番 号	学 部								短 期 大 学 部						開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考	
			1年次		2年次		3年次		4年次		1年次		2年次		専 攻 科					
			単 位		単 位		単 位		単 位		単 位		単 位		単 位					
			前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期				
思 索 と 表 現	ド イ ツ 文 学 概 論	201041	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②	②	②	2		日 文 の 学 生 を 除 く	
	フ ラ ン ス 文 学 概 論	201042		②		②		②				②		②		②	2			
	ドイツ文学に描かれた女性達(ゲーテを中心に)	201043	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1	★		
	アメリカ文学の女性像	201044	②		②		②				②		②				2			
	児 童 文 学 (外 国)	201045	②	②	②	②					②	②	②	②			1			
	比 較 文 学 ・ 比 較 文 化	201046	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1	★		
	中国文学入門(漢詩講読)	201047			②	②	②	②					②	②	②		2			
	「聴く」ための音楽概論	201048		②		②						②		②			1			
	西 洋 音 楽 史	201049	②		②						②		②				1		人 数 制 限 あ り 人 数 制 限 あ り 受講条件: 国際以外の学生は、各語学の「入門(A・B)」および「初級(A・B)」の単位を修得済み学生のみ対象。 国際の学生は、各語学の「集中371」および「集中474-1」の単位を修得済み学生のみ対象。	
	映 画 史	201050	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1			
	国 語 表 現 法 A	201051	②		②						②		②				1			
	国 語 表 現 法 B	201052	②	②	②	②					②	②	②	②			1	★		
	音 声 学 入 門	201053		②		②		②				②		②			1			
	実 用 言 語 学	201054	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1			
	ド イ ツ の 昔 話	201055			②	②	②	②	②	②			②	②	②	②	2			
	フランス語圏の世界遺産	201056			②	②	②	②	②	②			②	②	②	②	2			
	現 代 中 国	201057			②		②		②				②		②		2			
	現 代 韓 国 I T 文 化	201058			②		②		②				②		②		2			
く ら し と 地 域	都 市 論	201059	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		歴 文 の 学 生 を 除 く 福祉の学生は「コミュニティとまちづくり(福祉)」との重複履修は不可	
	住 居 学	201060		②		②		②				②		②			1			
	住 ま い の 歴 史	201061	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1	★		
	住 ま い の 家 族 学	201062		②		②						②		②			1			
	ア ジ ア の 住 居 史	201063	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1			
	景 観 と 町 並 み 保 存	201064	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1			
	世 界 遺 産 の 建 築 学	201065				②		②						②		②	2			
	西 洋 館 の 文 化 史	201066		②		②		②				②		②			2			
	コミュニティとまちづくり	201067	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1	★		
	建 築 と 福 祉	201068	②		②		②				②		②				1			
	福 祉 住 環 境 論	201069	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1	★		
	社 会 福 祉 概 論	201070	②		②		②				②		②				1			
	社 会 学	201071	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②	②	②	1	★		
	現 代 社 会 学	201072	②		②						②		②				2			
	家 族 社 会 論	201073		②		②						②		②			1			
	イ ギ リ ス 文 化 論	201074	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1			
	フ ラ ン ス 文 化 論	201075		②		②		②				②		②			1			
	ド イ ツ 文 化 論	201076	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1			
	ロ シ ア 文 化 論	201077	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1	★		
	ア メ リ カ 文 化 論	201078		②		②		②				②		②			1			
中 国 文 化 論	201079	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1				
漢 字 の 誕 生 と 変 遷	201080	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1				

開設単位:
 ①無印は必修科目
 ②○印は選択科目
 履修可能範囲:
 ①無印は本学科学学生のみ
 ②○印は他学科学学生履修可
 ③◎印は学部内他学科学学生履修可
 ④□印は同系列学生履修可
 ⑤同印は同時開設科目
 ⑥★印前・後期同一内容
 ⑦#印は一般教養にならない

日文の学生を除く

人数制限あり

人数制限あり

受講条件:
 国際以外の学生は、各語学の「入門(A-B)」および「初級(A-B)」の単位を修得済み学生のみ対象。
 国際の学生は、各語学の「集中I」および「集中II」の単位を修得済み学生のみ対象。

歴史の学生を除く

福祉の学生は「コミュニティとまちづくり(福祉)」との重複履修は不可

環境の学生を除く

1

① 一般教養科目

授 業 科 目		整 理 番 号	学 部				短 期 大 学 部			開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考						
			1年次	2年次	3年次	4年次	1年次	2年次	専攻科									
			単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位									
			前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期									
くらしと地域	東 南 ア ジ ア 文 化 論	201081	②	②	②	②			②	②	②	②		1		留学生に限定オムニバス形式		
	イ ン ド 文 化 論	201082	②	②	②	②	②			②	②	②	②		1			
	民 族 と 文 化	201083	②	②	②	②				②	②	②	②		1			
	日 本 事 情	201084	②		②		②			②		②			1			
自然環境と環境	科 学 史	201085	②	②	②	②	②			②	②	②	②		1		心理の学生を除く	
	環 境 論	201086	②	②	②	②	②			②	②	②	②		1			
	人 間 と 環 境	201087	②	②	②	②	②			②	②	②	②		1			
	森 林 と 環 境	201088		②		②		②		②		②		②	2			
	比 較 行 動 学	201089			②	②	②	②				②	②	②	②	2		
	エ ネ ル ギ ー 資 源	201090			②	②	②	②				②	②	②	②	2		
	天 文 学	201091	②	②	②	②	②			②	②	②	②		1			
	生 活 用 品 の 科 学	201092	②		②					②		②			1			
	基 礎 化 学	201093		②		②		②		②		②		②	1			環境・健康・管理の学生を除く
	化 粧 の 科 学	201094	②	②	②	②	②			②	②	②	②		1			
生 活 と 色 彩	201095	②		②		②			②		②			1				
社会を識る	政 治 学	201096	②	②	②	②	②			②	②	②	②		1		学部学生主対象	
	国 と 社 会 の 仕 組 み	201097	②	②	②	②	②			②	②	②	②		1			
	入 門 経 済 学	201098	②	②	②	②	②			②	②	②	②		1	★同		
	経 済 学 概 論	201099	②		②		②			②		②			1	同		
	西 洋 経 済 史	201100		②		②					②		②		1			
	日 本 経 済 史	201101	②	②	②	②	②			②	②	②	②		3			
	時 事 経 済 論	201102			②	②	②	②	②			②	②	②	②	2		
	生 活 経 済 論	201103	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②		1		
	社会的企業と国際貢献	201104				②		②					②		②	2		
	法学概論（国際法を含む）	201105	②		②		②		②		②		②		②	3・4		
	法 学 A （ 憲 法 ）	201106	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②		1		
	法 学 B （ 憲 法 ）	201107	②		②		②			②		②				1・2		
	法 学 ・ 憲 法 論 講 義 I	201108	②		②		②			②		②				1		
	法 学 ・ 憲 法 論 講 義 II	201109		②		②		②			②		②			1		
	ジェンダー法学	201110	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②		1		
	メ デ ィ ア 論 A	201111	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②		1		
	メ デ ィ ア 論 B	201112	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②		1		
	メ デ ィ ア 論 C	201113	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②		1		
メ デ ィ ア 論 D	201114	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②		1			
社会で生きる	情 報 社 会 論	201115	②		②					②		②				1		現代の学生を除く
	情 報 処 理	201116			②	②	②	②				②	②	②	②	2		
	実践倫理（キャリアデザイン）	201117		1						1						1		
	女 性 の 生 き 方 と 社 会	201118			②	②	②					②	②			2	★	
	女 性 と キャ リ ア 形 成	201119			②	②	②					②	②			2	★	
	女 性 と キャ リ ア 開 発	201120			②	②	②					②	②			2	★	
																	学部の学生は2単位以上選択必修	

開設単位:
① 無印は必修科目
② ○印は選択科目
履修可能範囲:
① 無印は本学科学学生のみ
② ◎印は他学科学学生履修可
③ ◎印は学部内他学科学学生履修可
④ □印は同系列学生履修可
⑤ 同印は同時開設科目
⑥ ★印前・後期同一内容
⑦ #印は一般教養にならない

（文化）
文化の学生は専門科目として履修すること
（歴史）
歴史の学生は専門科目として履修すること

学部学生主対象

歴史・心理・現代の学生を除く
教職課程履修者のみ対象

教職課程履修者のみ対象

現代の学生を除く

授 業 科 目		整 理 番 号	学 部				短 期 大 学 部			開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考	
			1年次	2年次	3年次	4年次	1年次	2年次	専攻科				
			単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位				
			前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期				
社 会 で 生 き る	企 業 と 社 会 の ル ー ル	201121			②	②			②	②	学3 短2		オムニバス形式
	現代社会事情概説(女性記者の視点から)	201122		②	②	②			②	②	2・3	同	毎日新聞社との提携講座 オムニバス形式 (文化)文化の学生は専門科目として履修すること
	現 代 女 性 の 社 会 参 加	201123		②	②	②			②	②	2・3	同	読売新聞社との提携講座 オムニバス形式 (文化)文化の学生は専門科目として履修すること
	自己表現とコミュニケーション	201124		②	②	②		②	②	②	学3 短2	★	人数制限あり
	小 論 文 の 書 き 方 B	201125		②	②	②		②	②	②	学3 短2	★	人数制限あり
	イ ン タ ー ン シ ッ プ	201126	②	②	②	②		②	②	②	学2・3 短1		キャリア支援センターで担当
	N G O 概 論	201127		②	②	②			②	②	2		
	ボ ラ ン テ ィ ア 論	201128	②	②	②		②	②			1	同	(国際・文化)福祉の学生を除く 国際・文化の学生は専門科目として履修すること
	コミュニティ・サービスラーニング(ボランティア論)	201129		②	②	②		②	②	②	—	同	(国際・文化)国際文化の学生は専門科目として履修すること ※受講条件:「ボランティア論」または「福祉(福祉社会とボランティア)」の単位を修得済みのこと
海 外 留 学 学	アメリカ文化研究(文化)	201130	②	②	②	②		②	②	②	—		ボストンサマーセッション参加学生 対象(英コミ・国際の学生は対象外)
	アメリカ文化研究(食文化)	201131	②	②	②	②		②	②	②	—		ボストンサマーセッション参加学生 対象
	アメリカ文化研究(教育)	201132	②	②	②	②		②	②	②	—		ボストンサマーセッション参加学生 対象
	アメリカ文化研究(ボランティア)	201133	②	②	②	②		②	②	②	—	同	ボストンサマーセッション参加学生対象 ※福祉の学生は教養と専門を選択可能 (福祉)海外ボランティア実習
	アメリカ文化研究(心理学)	201134	②	②	②	②		②	②	②	—	同	ボストンサマーセッション参加学生対象 ※心理の学生は専門となる (心理)アメリカ心理学実習(ボストンサマーセッション)
	アメリカ文化研究(ビジネス)	201135	②	②	②	②		②	②	②	—	同	ボストンサマーセッション参加学生対象 ※英コミの学生は教養と専門を選択可能 (英コミ)ボストンビジネスイングリッシュプログラム
	アメリカ文化研究(ミュージアム)	201136	②	②	②	②		②	②	②	—	同	ボストンサマーセッション参加学生対象 ※歴史の学生は専門となる (歴史)ボストンミュージアムプログラム
	ボストンCurrent American Topics	201137		②	②	②					—	同	春期15週間ボストンプログラム参加学生対 象(英コミ・国際の学生は対象外) ※教養の科目を選択可能、ただし、現代の学生は教養または専門とな
	ボストンField Trips	201138		②	②	②					—		春期15週間ボストンプログラム参加学生 対象(英コミ・国際の学生は対象外)
	ボストンCommunity Service	201139		④	④	④					—		春期15週間ボストンプログラム参加学生 対象(英コミ・国際の学生は対象外)
	ヨ ー ロ ッ パ 食 文 化	201140	②	②	②	②		②	②	②	—		春季ヨーロッパ研修参加学生対象

履修については各学科の指導を受ける。

健康デザイン学科の学生で保健体育の教職免許を取得する学生は、体育実技は専門科目となるので履修については注意すること。

一般教養科目として履修できる各学科専門科目

※他学科学生が履修すると、一般教養科目として単位認定されます。(ただし、同時開設学科の学生を除く)

※科目によって、開設学科学生が優先され、他学科生の人数制限のある場合があります。履修を希望する場合は、必ず該当学科の担当教員に相談してください。

※科目の詳細については、各学科のカリキュラム表及びシラバスを参照してください。

※年度により、対象科目が変更となる可能性があるため、毎年度UP SHOWAで確認してください。

日本語日本文学科

漢文の基礎	日本語学Ⅰ（日本語史）	児童文学Ⅰ（現代の児童文学）	中国文学Ⅱ（怪異文学）	日本語教育実習Ⅰ（教壇'YY）
古典と昔語り	パソコン日本語学入門A	中国文学Ⅰ（詩文）	日本語教育概論Ⅰ	日本語教育実習Ⅱ（教壇'YY）
歌ことば歌ごころ	パソコン日本語学入門B	中国文学Ⅰ（史伝・思想）	言語政策論Ⅰ	日本語教育実習（個別'YY）
俳句（作句の試み）	古典文学ⅠA（古事記）	日本語学Ⅱ（現代の語彙・表記）	言語政策論Ⅱ	日本語教育実習（海外'YY）
ことばと社会	古典文学ⅠA（万葉集）	日本語学Ⅱ（文学作品にみる文法）	異文化間コミュニケーションⅠ	日本語教育言語分析法研究
有職故実	古典文学ⅠA（更級日記）	古典文学Ⅱ（古代和歌・説話）	異文化間コミュニケーションⅡ	日本語文法論
史料解説	古典文学ⅠA（源氏物語）	古典文学Ⅱ（枕草子）	社会言語学	日本語表現法
近代詩歌	古典文学ⅠA（古今集）	古典文学Ⅱ（伊勢物語）	第二言語教育概説	日英対照研究
外からみた日本文学	古典文学ⅠB（宇治拾遺物語）	古典文学Ⅱ（室町小歌）	第二言語習得論	日韓対照研究
日本漢文	古典文学ⅠB（江戸の旅）	古典文学Ⅱ（隠者文学）	日本語教育概論Ⅱ	日中対照研究
日本の演劇	古典文学ⅠB（江戸の恋）	古典文学Ⅱ（江戸の芝居）	日本語教育学ⅠA（音声）	書道史
言語学	近代文学Ⅰ（夏目漱石）	古典文学Ⅱ（江戸の怪談）	日本語教育学ⅠB（書写）	日本の書芸
書誌学	近代文学Ⅰ（梶井基次郎）	近代文学Ⅱ（川端康成）	日本語教育学ⅠC（文法）	スピーチトレーニング各論（プレゼンテーション）
日本民俗学	近代文学Ⅰ（子どもの風景）	近代文学Ⅱ（比較文学）	日本語教育学ⅡA（聴解・会話）	スピーチトレーニング各論（朗読）
日本思想史	近代文学Ⅰ（遠藤周作）	近代文学Ⅱ（現代小説）	日本語教育学ⅡB（作文・読解）	文章トレーニング各論（ビジネス文章）
日本語学Ⅰ（現代語文法）	近代文学Ⅰ（名作を読む）	児童文学Ⅱ（童謡・少年詩）	日本語教育学ⅡC（教材・教具）	
日本語学Ⅰ（音声と音韻）	児童文学Ⅰ（子どもと文学）	児童文学Ⅱ（外国）	コースデザイン・評価論	
日本語学Ⅰ（土佐日記の語法）	児童文学Ⅰ（近代の児童文学）	中国文学Ⅱ（唐詩選）	日本語教育指導方法論	

英語コミュニケーション学科

英語で地域貢献	Interviewing A	Radio Production A	Study Abroad Preparation	
海外インターシップ	Interviewing B	Radio Production B		

歴史文化学科

アジア考古学	西洋美術史特論－スペイン美術－	日本近世史	仏教文化史	日本生活文化史概論
北アジア文化特論	西洋服飾史	日本近世史特論	文献取扱技能基礎	演劇文化論
美術館論Ⅰ－地域と美術館－	禅と日本文化	日本建築史	フランス文化概説	民俗学概論
考古学実習A	地域調査法－フィールドサウヴェイ入門－	日本考古学特論A－縄文－	ヨーロッパ近代文化－パリを中心に－	民俗学特論
考古学実習B	地域文化概論	日本考古学特論B－弥生・古墳－	文化財の材料－にせ物発見－	日本芸能史
古代エジプト史	近代と地域文化	日本古代史	文化財保存修復学A	日本芸能史基礎
古代オリエント文化史	地誌通論A－日本地誌－	日本古代史特論	文化財保存修復学B	日本芸能史特論
古文書解説	地誌通論B－世界地誌－	日本思想史	文化財保存修復学基礎	日本考古学概論
茶道史・茶道演習	地理学特論－地理学の諸問題－	日本中世史	文化人類学概論	日本美術史概説
自然地理学概論	伝統文化の現場	日本服飾史	有職故実	日本美術史基礎
実験考古学	東洋史概説	ヒエログリフ・テキスト解説	ヨーロッパ建築史	日本美術史特論A
宗教学概論	東洋美術史概説	ヒエログリフ入門	歴史文化特論－寺社縁起の世界－	日本美術史特論B
人文地理学概論	日本近現代史	比較女性史論	ポストン・ミュージアムプログラム	
西洋史概説－近世から現代－	日本近現代史料解説	東シナ海文化交流史	史料解説	
西洋美術史概論	日本近現代史特論	服飾史資料基礎	地域と生活文化	

国際学科

フランス語中級コアb	中国語中級実践b	世界の開発と環境	日本のサブカルチャー論	日英逐次通訳研究Ⅰ
ドイツ語中級コアb	韓国語中級イメージーションa	多文化共生論	日本社会概論（英語）	日英逐次通訳研究Ⅱ
スペイン語中級コアb	韓国語中級イメージーションb	国際社会論Ⅰ（ことばと社会）	日本経済とビジネス（英語）	中国の社会と言語（中国語）
フランス語中上級コアb	韓国語中級実践a	国際社会論Ⅱ（グローバルガティ－）	日本近現代史（英語）	アメリカの政治と社会
ドイツ語中上級コアb	韓国語中級実践b	国際社会論Ⅲ（世界の宗教）	外からみた日本（英語）	アメリカ現代史
スペイン語中上級コアb	中国語上級コアb	異文化コミュニケーション（英語）	NGO活動と国際貢献	
中国語中級イメージーションa	韓国語上級コアb	開発と環境（英語）	開発援助と経済	
中国語中級イメージーションb	比較社会論	開発援助（英語）	NPOマネジメント入門	
中国語中級実践a	比較文化論	日本社会概論Ⅱ（多文化社会としての日本）	社会的起業論	

心理学科

教育心理学	青年心理学	比較行動学（心理）	災害の社会心理学	学習心理学
児童心理学	対人関係論	マスコミュニケーションの社会心理学	集団の社会心理学	

福祉社会学科

福祉社会とボランティア	海外ボランティア演習	労働とジェンダー	国際福祉論	福祉NPO
コミュニティ・サービスマニエラ（福祉社会とボランティア）	女性に対する支援と福祉施策	雇用・労働と社会政策	福祉ジェンダー統計論	コミュニティ・ビジネス論
日本の福祉と社会				

現代教養学科

アート・マネージメントⅠ,Ⅱ	現代都市論	情報収集と編集	マーケティングの経済学	ジェンダーと社会
環境の社会学	国際理解入門	労働社会学	市場社会の仕組み（ミクロ経済学）	環境の経済学
国際関係史	地域研究（北アジア）	現代金融ビジネス入門Ⅰ,Ⅱ	地域社会の活性化（農村）	
現代企業論（組織と戦略）	哲学入門	映像と社会	地域社会のデザイン（都市）	
現代社会論	東アジア言語社会研究	文学と社会	日本経済と経済学（マクロ経済学）	
現代都市事情	情報収集と伝達	現代の経営と経営学	環境と国際社会	

初等教育学科

教育哲学	教育経営	人権教育	特別支援教育	児童文学
教育史	メディア教育	環境教育	現代保育論	救急法演習
教育社会学	多文化共生教育	地域社会教育	比較教育	病児保育研究

環境デザイン学科

アパレル企画論	消費者経済学	生体環境論	被服学概論	服飾史Ⅱ
家族関係論	食物学概論（栄養学を含む）	設計製図－教職－	被服構成学	保育学（実習を含む）
建築史（日本）	生活科学概論	デザイン画描法	服飾史Ⅰ	

健康デザイン学科

住居学A	被服学A	被服学B		
------	------	------	--	--

文化創造学科

生活概論	東南アジア紀行	王朝文学	創作表現B（脚本）	映像論及び制作Ⅱ
社会福祉入門	近代文化論	日本近代小説	創作表現E（短歌）	映像論及び制作Ⅲ
IT概論	中国の文化と文学	日本語学概論	創作表現G（パフォーマンス）Ⅰ	映像論及び制作Ⅳ
日本文化史	アメリカ文化事情	ヨーロッパ旅行文化	創作表現G（パフォーマンス）Ⅱ	住生活概論
江戸時代の紀行	文化遺産保護	エコ&グリーン・ツーリズム	創作表現G（パフォーマンス）Ⅲ	カラーデザイン
旅と歌枕	日本古典文学史	ディズニーの文化論	創作表現G（パフォーマンス）Ⅳ	SPI対策講座Ⅰ（非言語）
日本住居史	日本近代文学史	創作表現A（小説）	映像論及び制作Ⅰ	SPI対策講座Ⅱ（言語）

1

② 教職に関する専門科目

1. ② 教職に関する専門科目

授 業 科 目	整 理 番 号	学 年				開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次			
		単位	単位	単位	単位			
		前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期			
教 職 概 論	204001	② ②	② ②	② ②		1	★#	開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学学生のみ ②◎印は他学科学学生履修可 ③◎学印は学部内他学科学学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦#印は一般教養にならない
教 育 原 理	204002	② ②	② ②	② ②		1	★	
教 育 心 理 学	204003		② ②	② ②		2	★	
教 育 行 政 学	204004		② ②	② ②		2	★#	
教 育 法 規	204005		② ②	② ②		2	★#	
教 育 制 度 論	204006		② ②	② ②		2	★#	
教 育 課 程 論	204007		② ②	② ②		3	★#	
国 語 科 教 育 法	204008		② ②	② ②		3	同#	
国語科教育法(国語教育教材研究)	204009		② ②	② ②	② ②	2	同#	
社 会 科 教 育 法	204010		② ②	② ②		3	#	
社会科教育法(教材研究)	204011		② ②	② ②	② ②	3	同#	
地 理 歴 史 科 教 育 法	204012		② ②	② ②		3	同#	
公 民 科 教 育 法	204013		② ②	② ②		3	#	
理 科 教 育 法	204014		② ②	② ②		3	同#	
理科教育法(教材研究)	204015		② ②	② ②	② ②	3	同#	
書 道 科 教 育 法	204016		② ②	② ②		3	#	
保 健 体 育 科 教 育 法	204017		② ②	② ②		3	同#	
保健体育科教育法(教材研究)	204018		② ②	② ②	② ②	3	同#	
保 健 科 教 育 法	204019		② ②	② ②		3	同#	
保健科教育法(教材研究)	204020		② ②	② ②	② ②	3	同#	
家 庭 科 教 育 法	204021		② ②	② ②		3	同#	
家庭科教育法(教材研究)	204022		② ②	② ②	② ②	3	同#	
福 祉 科 教 育 法	204023		② ②	② ②		3	同#	
英 語 科 教 育 法	204024		④ ④	④ ④		3	同#	
道 徳 教 育 の 研 究	204025		② ②	② ②		3	★#	
特 別 活 動 の 研 究	204026	② ②	② ②	② ②		2	★#	
教 育 方 法 論	204027		② ②	② ②		2	★#	
生徒指導・進路指導の研究	204028		② ②	② ②		2	★#	
生徒指導の研究	204029		②	②		2	#	
教 育 相 談 の 研 究	204030		② ②	② ②		2	★#	
教 職 実 践 演 習 (中 ・ 高)	204031				②	4	#	
教 職 実 践 演 習 (栄 養 教 諭)	204032				②	4	#	
教 育 実 習 の 指 導	204033			① ①		3	★#	
教 育 実 習	204034				④	4	#	
教 職 課 程 特 講 A	204035			② ②	②	3	#	栄養教諭免許履修者対象 実習の前年に履修が原則
教 職 課 程 特 講 B	204036			② ②	②	3	#	
教 職 課 程 特 講 C	204037			② ②	②	3	#	
介 護 等 体 験 の 指 導	204038		①	①		2	#	

1. ③ 図書館に関する科目

授 業 科 目			整 理 番 号	学 部				短 期 大 学 部				開講中心 年次		履修可能範囲等	備 考				
				1年次	2年次	3年次	4年次	1年次	2年次	開設単位: ① 無印は必修科目 ② ○印は選択科目 履修可能範囲: ① 無印は本学科学生のみ ② ◎印は他学科学生履修可 ③ ◎印は学部内他学科学生履修可 ④ □印は同系列学生履修可 ⑤ 同印は同時開設科目 ⑥ ★印前・後期同一内容 ⑦ #印は一般教養にならない									
				単位	単位	単位	単位	単位	単位										
				前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	学 部	短 大								
司 書 必 修 科 目	基 礎 科 目	生 涯 学 習 概 論	205001	②	②	②	②		②	②		2	1	★#					
		図 書 館 概 論	205002	②	②	②	②		②	②		2	1	★#					
		図 書 館 情 報 技 術 論	205003	②	②	②	②			②	②	②	2	1		★#			
		図 書 館 制 度 ・ 経 営 論	205004				②	②	②	②	②	②	3	2		★#			
		図 書 館 サ ー ビ ス 概 論	205005	②	②	②	②		②	②			2	1		★#			
		情 報 サ ー ビ ス 論	205006		②	②	②	②		②	②		2	1		★#			
		児 童 サ ー ビ ス 論	205007		②	②	②	②		②	②	②	②	2		1	★#		
		情報サービス演習A(レファレンスサービス)	205008				①	①	①	①	①		①	①		①	3	2	★#
		情報サービス演習B(情報検索)	205009				①	①	①	①	①		①	①		①	3	2	★#
	図 書 館 情 報 資 源 関 係 科 目	図 書 館 情 報 資 源 概 論	205010				②	②	②	②		②	②			2	1	★#	
		情 報 資 源 組 織 論	205011		②	②	②	②		②	②			2		1	★#		
		情報資源組織演習A(目録)	205012				①	①	①	①	①		①	①		①	3	2	★#
		情報資源組織演習B(分類)	205013				①	①	①	①	①		①	①		①	3	2	★#
司 書 選 択 科 目	図 書 館 サ ー ビ ス 特 論	205014				①		①		①		①		3	2	#	※ 2科目2単位選択必修		
	図 書 館 情 報 資 源 特 論 A	205015					①		①		①		①	3	2	#			
	図 書 館 情 報 資 源 特 論 B	205016					①		①		①		①	3	2	#			
	図 書 ・ 図 書 館 史	205017					①		①		①		①	3	2	#			
	図 書 館 施 設 論	205018					①		①		①		①	3	2	#			
司 書 教 諭 科 目	学校経営と学校図書館	205019	②		②		②		②		②		3	2	#				
	学習指導と学校図書館	205020	②		②		②		②		②		3	2	#				
	学校図書館メディアの構成	205021		②		②		②		②		②	3	2	#				
	読書と豊かな人間性	205022		②		②		②		②		②	3	2	#				
	情報メディアの活用	205023		②		②		②		②		②	3	2	#				

注：①司書、司書教諭の資格取得をめざす学生は、「Ⅳ 諸資格の取得」の「3. 司書・司書教諭」の項を、必ず参照してください。

②短大の学生は、在学中に司書教諭の資格を取得することはできません。ただし、編入等の理由により、司書教諭科目の履修を希望する場合は、必ず図書館学課程担当教員に相談してください。

※図書館情報資源特論は、A・Bどちらか一方しか単位修得できません。

1

④ 外国語科目 (大学)

1. ④ 外国語科目 (大学)

授 業 科 目	整 理 番 号	学 部				短 期 大 学 部			開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次	1年次	2年次	専攻科			
		単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位			
		前 後	前 後	前 後	前 後	前 後	前 後	前 後			
英語U-AIA(ベーシック・イングリッシュIA)	202001	①							1		学科別 (2×2)U-AIAとU-AIBはペア
英語U-AIB(ベーシック・イングリッシュIB)	202002	①							1		
英語U-AIIA(ベーシック・イングリッシュIIA)	202003		①						1		学科別 (2×2)U-AIIAとU-AIIBはペア
英語U-AIIB(ベーシック・イングリッシュIIB)	202004		①						1		
英語U-BI(基礎力アップ英語I)	202005		①	①	①				2		
英語U-BII(基礎力アップ英語II)	202006			①	①	①			2		
英語U-C(ベーシックリーディング)	202007		① ①	① ①	① ①				2	★	
英語U-D(トラベル英語)	202008		① ①	① ①	① ①				2	★	
英語U-E(ベーシックビジネス英語)	202009		① ①	① ①	① ①				2	★	
英語U-F(やさしいニュース英語)	202010		① ①	① ①	① ①				2	★	
英語U-H(資格試験対策英語)	202011		① ①	① ①	① ①				2	★	
英語U-HS(資格試験対策英語・中・上級)	202012		①	①	①				2		
英語U-J(異文化理解)	202013		① ①	① ①	① ①				2	★	
英語U-K(文学)	202014		① ①	① ①	① ①				2	★	
英語U-L(はじめてのプレゼンテーション)	202015		① ①	① ①	① ①				2	★	
英語U-MIA(科学英語IA)	202016		①	①	①				2		健康・管理 対象 (2×2)U-MIAとU-MIBはペア
英語U-MIB(科学英語IB)	202017		①	①	①				2		
英語U-MIIA(英語で学ぶ美容と健康)	202018			①	①	①			2		
英語U-MIIB(科学系のやさしいプレゼンテーション)	202019			①	①	①			2		
英語U-N(専門英語:学科別)	202020		① ①	① ①	① ①				2	★	
英語U-O(文法トレーニング)	202021		① ①	① ①	① ①				2	★	
英語U-P(児童文学)	202022		① ①	① ①	① ①				2	★	
英語U-T(ポップ・カルチャー英語)	202023		① ①	① ①	① ①				2	★	
英語U-XIA(アドバンスイングリッシュIA)	202024	①	①	①	①				—		
英語U-XIIA(アドバンスイングリッシュIIA)	202025		①	①	①				—		
ドイツ語(入門A・B)	202026	②					②		1		[2×2] ※②
ドイツ語(初級A・B)	202027		②					②	1		[2×2] ※②
ドイツ語(入門A・B) sクラス	202028		②					②	1		[2×2] ※② 再履修クラス
ドイツ語(初級A・B) sクラス	202029		②					②	2		[2×2] ※② 再履修クラス
ドイツ語(ウィーン物語A)	202030		①	①	①			① ①	2		
ドイツ語(ウィーン物語B)	202031			①	①			① ①	2		
ドイツ語(ウィーン物語C)	202032		①	①	①			① ①	2		
ドイツ語(ウィーン物語D)	202033			①	①			① ①	2		
ドイツ語(やさしい会話A)	202034		①	①	①			① ①	2		
ドイツ語(やさしい会話B)	202035		①	①	①			① ①	2		
ドイツ語(やさしい会話C)	202036		①	①	①			① ①	2		
ドイツ語(旅行のドイツ語A)	202037		①	①	①			① ①	2		
ドイツ語(旅行のドイツ語B)	202038		①	①	①			① ①	2		
ドイツ語(ヒットソングで学ぶドイツ語)	202039		①	①	①			① ①	2		
ドイツ語(書いて覚えるドイツ語A)	202040		①	①	①			① ①	2		

※ 同じアルファベット記号の科目は重複履修不可

※② 週2回のダブル科目なのでペアを確認して受講のこと。Sクラスは後期からスタートする。

授 業 科 目	整 理 番 号	学 部				短 期 大 学 部			開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次	1年次	2年次	専攻科			
		単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位			
		前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期			
外 国 語	ドイツ語(書いて覚えるドイツ語B)		①	①	①		①	①	2		
	フランス語(入門A・B)	②				②			1		(2×2) ※②
	フランス語(初級A・B)	②				②			1		(2×2) ※②
	フランス語(入門A・B) sクラス	②				②			1		(2×2) ※② 再履修クラス
	フランス語(初級A・B) sクラス		②				②		2		(2×2) ※② 再履修クラス
	フランス語(絵本を読もうA)		①	①	①		①	①	2		
	フランス語(絵本を読もうB)		①	①	①		①	①	2		
	フランス語(絵本を読もうC)		①	①	①		①	①	2		
	フランス語(検定試験対策A)		①	①	①		①	①	2		
	フランス語(検定試験対策B)		①	①	①		①	①	2		
	フランス語(検定試験対策C)		①	①	①		①	①	2		
	フランス語(検定試験対策D)		①	①	①		①	①	2		
	フランス語(検定試験対策E)		①	①	①		①	①	2		
	フランス語(検定試験対策F)		①	①	①		①	①	2		
	フランス語(話してみようA)		①	①	①		①	①	2		
	フランス語(話してみようB)		①	①	①		①	①	2		
	フランス語(話してみようC)		①	①	①		①	①	2		
	フランス語(話してみようD)		①	①	①		①	①	2		
	フランス語(話してみようE)		①	①	①		①	①	2		
	フランス語(話してみようF)		①	①	①		①	①	2		
	フランス語(物語を読もうA)		①	①	①		①	①	2		
	フランス語(物語を読もうB)		①	①	①		①	①	2		
	フランス語(物語を読もうC)		①	①	①		①	①	2		
	フランス語(物語を読もうD)		①	①	①		①	①	2		
	フランス語(物語を読もうE)		①	①	①		①	①	2		
	フランス語(物語を読もうF)		①	①	①		①	①	2		
	スペイン語(入門A・B)	②				②			1		(2×2) ※②
	スペイン語(初級A・B)	②				②			1		(2×2) ※②
	スペイン語(入門A・B) sクラス	②				②			1		(2×2) ※② 再履修クラス
	スペイン語(初級A・B) sクラス		②				②		2		(2×2) ※② 再履修クラス
	スペイン語(短編を読むA)		①	①	①		①	①	2		
	スペイン語(短編を読むB)		①	①	①		①	①	2		
	スペイン語(やさしい会話A)		①	①	①		①	①	2		
	スペイン語(やさしい会話B)		①	①	①		①	①	2		
	スペイン語(映画で学ぶスペイン語A)		①	①	①		①	①	2		
	スペイン語(映画で学ぶスペイン語B)		①	①	①		①	①	2		
	スペイン語(スペイン文化入門)		①	①	①		①	①	2		
	スペイン語(スペイン語学入門)		①	①	①		①	①	2		
	スペイン語(ラテンアメリカ史入門A)		①	①	①		①	①	2		
	スペイン語(ラテンアメリカ史入門B)		①	①	①		①	①	2		

※ 同じアルファベット記号の科目は重複履修不可

※② 週2回のダブル科目なのでペアを確認して受講のこと。Sクラスは後期からスタートする。

開設単位:
 ①無印は必修科目
 ②○印は選択科目
 履修可能範囲:
 ①無印は本学科学学生のみ
 ②○印は他学科学学生履修可
 ③◎印は学部内他学科学学生履修可
 ④□印は同系列学生履修可
 ⑤同印は同時開設科目
 ⑥★印前・後期同一内容
 ⑦#印は一般教養にならない

1

④ 外国語科目（大学）

授 業 科 目	整 理 番 号	学 部				短 期 大 学 部			開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次	1年次	2年次	専攻科			
		単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位			
		前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期			
外 国 語	イタリア語（入門A・B）	202081	②				②		1		[2×2] ※②
	イタリア語（初級A・B）	202082		②			②		1		[2×2] ※②
	イタリア語（楽しい会話A）	202083		①	①	①		①	①	2	
	イタリア語（楽しい会話B）	202084			①	①		①	①	2	
	イタリア語（楽しい会話C）	202085		①	①	①		①	①	2	
	イタリア語（楽しい会話D）	202086			①	①	①		①	①	2
	イタリア語（楽しい会話E）	202087		①	①	①		①	①	2	
	イタリア語（楽しい会話F）	202088			①	①	①		①	①	2
	イタリア語（イタリア語で読もうA）	202089		①	①	①		①	①	2	
	イタリア語（イタリア語で読もうB）	202090			①	①	①		①	①	2
	イタリア語（イタリア語で読もうC）	202091		①	①	①		①	①	2	
	イタリア語（イタリア語で読もうD）	202092			①	①	①		①	①	2
	イタリア語（イタリア語で読もうE）	202093		①	①	①		①	①	2	
	イタリア語（イタリア語で読もうF）	202094			①	①	①		①	①	2
	イタリア語（講読A）	202095		①	①	①		①	①	2	
	イタリア語（講読B）	202096			①	①	①		①	①	2
	イタリア語（講読C）	202097		①	①	①		①	①	2	
	イタリア語（講読D）	202098			①	①	①		①	①	2
	イタリア語（講読E）	202099		①	①	①		①	①	2	
	イタリア語（講読F）	202100			①	①	①		①	①	2
	イタリア語（イタリアのこぼれ文化A）	202101		①	①	①		①	①	2	
	イタリア語（イタリアのこぼれ文化B）	202102			①	①	①		①	①	2
	イタリア語（イタリアのこぼれ文化C）	202103		①	①	①		①	①	2	
	イタリア語（イタリアのこぼれ文化D）	202104			①	①	①		①	①	2
	イタリア語（イタリアのこぼれ文化E）	202105		①	①	①		①	①	2	
	イタリア語（イタリアのこぼれ文化F）	202106			①	①	①		①	①	2
	ロシア語（入門A・B）	202107	②				②		1		[2×2] ※②
	ロシア語（初級A・B）	202108		②				②	1		[2×2] ※②
	ロシア語（やさしい実践会話A）	202109		①	①	①		①	①	2	
	ロシア語（やさしい実践会話B）	202110			①	①	①		①	①	2
	ロシア語（やさしい実践会話C）	202111		①	①	①		①	①	2	
	ロシア語（やさしい実践会話D）	202112			①	①	①		①	①	2
	ロシア語（やさしい実践会話E）	202113		①	①	①		①	①	2	
	ロシア語（やさしい実践会話F）	202114			①	①	①		①	①	2
	ロシア語（やさしい実践会話G）	202115		①	①	①		①	①	2	
	ロシア語（やさしい実践会話H）	202116			①	①	①		①	①	2
	中国語（入門A・B）	202117	②				②		1		[2×2] ※②
	中国語（初級A・B）	202118		②				②	1		[2×2] ※②
	中国語（入門A・B） sクラス	202119		②				②	1		[2×2] ※② 再履修クラス
	中国語（初級A・B） sクラス	202120			②				②	2	[2×2] ※② 再履修クラス

※ 同じアルファベット記号の科目は重複履修不可

※② 週2回のダブル科目なのでペアを確認して受講のこと。Sクラスは後期からスタートする。

授 業 科 目		整 理 番 号	学 部				短 期 大 学 部			開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考
			1年次	2年次	3年次	4年次	1年次	2年次	専攻科			
			単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位			
			前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期			
外国語	中国語（検定試験準備A）	202121		①	①	①		①	①	2		開設単位： ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲： ①無印は本学科学学生のみ ②○印は他学科学学生履修可 ③◎印は学部内他学科学学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦#印は一般教養にならない
	中国語（検定試験準備B）	202122		①	①	①		①	①	2		
	中国語（コミュニケーションA）	202123		①	①	①		①	①	2		
	中国語（コミュニケーションB）	202124		①	①	①		①	①	2		
	中国語（楽しい会話A）	202125		①	①	①		①	①	2		
	中国語（楽しい会話B）	202126		①	①	①		①	①	2		
	中国語（文法A）	202127		①	①	①		①	①	2		
	中国語（文法B）	202128		①	①	①		①	①	2		
	中国語（講読A）	202129		①	①	①		①	①	2		
	中国語（講読B）	202130		①	①	①		①	①	2		
	中国語（時事A）	202131		①	①	①		①	①	2		
	中国語（時事B）	202132		①	①	①		①	①	2		
	中国語（暮らしの会話A）	202133		①	①	①		①	①	2		
	中国語（暮らしの会話B）	202134		①	①	①		①	①	2		
	中国語（話す中国語）	202135		①	①	①		①	①	2		
	中国語（検定試験対策）	202136		①	①	①		①	①	2		
	韓国語（入門A・B）	202137	②				②			1	(2×2) ※②	
	韓国語（初級A・B）	202138	②				②			1	(2×2) ※②	
	韓国語(入門A・B) sクラス	202139	②				②			1	(2×2) ※② 再履修クラス	
	韓国語(初級A・B) sクラス	202140		②				②		2	(2×2) ※② 再履修クラス	
	韓国語（文法）	202141		①	①	①		①	①	2		
	韓国語（作文）	202142		①	①	①		①	①	2		
	韓国語（韓流で学ぶ）	202143		①	①	①		①	①	2		
	韓国語（会話）	202144		①	①	①		①	①	2		
	韓国語(ハングル検定試験対策)	202145		①	①	①		①	①	2		
	韓国語(韓国語能力試験対策)	202146		①	①	①		①	①	2		
	韓国語（時事韓国語）	202147		①	①	①		①	①	2		
	韓国語（表現）	202148		①	①	①		①	①	2		
	韓国語（聴解）	202149		①	①	①		①	①	2		

※ 同じアルファベット記号の科目は重複履修不可

※② 週2回のダブル科目なのでペアを確認して受講のこと。Sクラスは後期からスタートする。

1

⑤ 外国語科目（短大）

1. ⑤ 外国語科目（短大）

授 業 科 目		整 理 番 号	学 部				短 期 大 学 部			開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考
			1年次	2年次	3年次	4年次	1年次	2年次	専攻科			
			単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位			
			前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期		
外 国 語	英語J-XI（総合英語Ⅰ）	202150						①			1	開設単位： ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲： ①無印は本学科学学生のみ ②○印は他学科学学生履修可 ③◎印は学部内他学科学学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前後期同一内容 ⑦#印は一般教養にならない
	英語J-ZI（英語講読Ⅰ）	202151						①			1	
	英語J-XII（総合英語Ⅱ）	202152						①			1	
	英語J-ZII（英語講読Ⅱ）	202153						①			1	
	英語J-XIII（コミュニケーション英語Ⅲ）	202154							①		2	
	英語J-ZIII（英語リーディングⅢ）	202155							①		2	
	英語J-XIV（コミュニケーション英語Ⅳ）	202156								①	2	
	英語J-ZIV（英語リーディングⅣ）	202157								①	2	

※ 同じアルファベット記号の科目は重複履修不可

⑥ 外国語科目（留学先で修得した外国語科目の単位認定）

[illegible]

1

⑦ 外国語科目 (留学生)

1. ⑦ 外国語科目 (留学生)

授 業 科 目			整 理 番 号	学 部				短 期 大 学 部			開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考		
				1年次	2年次	3年次	4年次	1年次	2年次	専 攻 科					
				単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位					
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期				後 期	
外国語	日 本 語 I A		202173	①		①		①		①		①		—	
	日 本 語 I B		202174	①		①		①		①		①		—	
	日 本 語 I C		202175	①		①		①		①		①		—	
	日 本 語 I D		202176		①		①		①		①		①	—	
	日 本 語 I E		202177		①		①		①		①		①	—	
	日 本 語 II A		202178	①		①		①		①		①		—	
	日 本 語 II B		202179		①		①		①		①		①	—	
	日 本 語 II C		202180		①		①		①		①		①	—	
	日 本 語 II D		202181		①		①		①		①		①	—	
	日 本 語 III A		202182	①		①		①		①		①		—	
	日 本 語 III B		202183	①		①		①		①		①		—	
	日 本 語 III C		202184		①		①		①		①		①	—	
	日 本 語 III D		202185		①		①		①		①		①	—	
	日 本 語 総 合 A		202186	①		①		①		①		①		—	
	日 本 語 総 合 B		202187	①		①		①		①		①		—	
	日 本 語 総 合 C		202188		①		①		①		①		①	—	
	日 本 語 総 合 D		202189		①		①		①		①		①	—	
	基 礎 か ら の 日 本 語		202190	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	—

開設単位:
① 無印は必修科目
② ○印は選択科目
履修可能範囲:
① 無印は本学科学学生のみ
② ◎印は他学科学学生履修可
③ ◎印は学部内他学科学学生履修可
④ □印は同系列学生履修可
⑤ 同印は同時開設科目
⑥ ★印前・後期同一内容
⑦ #印は一般教養にならない

2. コミュニティサービスラーニング科目

授業中に学んだ専門知識を活かして社会貢献やボランティア活動を行いながら学びを深めていくコミュニティサービスラーニングを積極的に行っています。

該当科目は以下です。履修条件等は開設学科のカリキュラム表で確認してください。

コミュニティサービスラーニングについては、コミュニティサービスラーニングセンターで支援しています。

開 設	科 目 名	単 位 数
一般教養科目	コミュニティ・サービスラーニング(ボランティア論)	2
日本語日本文学科	取材とライティング	1
英語コミュニケーション学科	Radio Production A/B	2
	英語で地域貢献	2
	海外ボランティア	2
	Community Service(ボストンキャンパス科目)	4
	GE Elective B(ボストンキャンパス科目)	4
歴史文化学科	美術館論Ⅰー地域と美術館ー	2
	考古学基礎	2
	取材とライティング	1
国際学科	コミュニティ・サービスラーニング(ボランティア論)	2
	国際ボランティア(単位認定)	2
	NPO/NGOインターンシップ(単位認定)	2
	Community Service(ボストンイマージョンプログラムⅠ)	4
	GE Elective B(ボストンイマージョンプログラムⅡ)	4
心理学科	心理支援コミュニティ・サービスラーニング	2
福祉社会学科	コミュニティ・サービスラーニング(福祉社会とボランティア)	2
環境デザイン学科	DP総合演習A	1
	DP総合演習B	1
	DP総合演習C	1
	DP総合演習D	1
文化創造学科	コミュニティ・サービスラーニング(ボランティア論)	2

3. 日本語日本文学科

授 業 科 目			整 理 番 号	学 年								開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考	
				1年次		2年次		3年次		4年次					
				単位		単位		単位		単位					
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期				
基幹科目	日 本 文 学 入 門 A	211001	2	2							1	★	☆ 12単位必修 ☆印 文化創造学科学生履修可		
	日 本 文 学 入 門 B	211002	2	2							1	★			
	日 本 語 学 概 論 A	211003			2	2					2	★			
	日 本 語 学 概 論 B	211004			2	2					2	★			
	中 国 文 学 概 論	211005					2	2			3				
基礎・スキル科目	基 礎 演 習	211006	2	2							1	★	「情報機器の操作」対象科目 「情報機器の操作」対象科目 (歴文) 4単位以上選択必修		
	日本文学研究とコンピュータ	211007		②		②					1				
	日本語研究とコンピュータ	211008	②		②						1				
	実 践 的 文 章 論	211009	②	②	②	②					1	★同			
	古 典 の と び ら	211010	②		②						1				
	文 字 か ら 入 る 古 典	211011		②		②					1				
	文 語 文 法 の 基 礎	211012	②	②	②	②					1				
	漢 文 の 基 礎	211013	②	②	②	②					1	○			
総合科目	古 典 と 昔 語 り	211014				②		②			2	○	専 隔年開講 4単位以上選択必修 (歴文) (歴文)専		
	歌 ことば歌ごころ	211015				②		②			2	○			
	俳 句 (作 句 の 試 み)	211016	②	②	②	②	②	②	②	②	2	○			
	こ と ば と 社 会	211017			②	②	②	②			2	○			
	有 職 故 実	211018	②	②	②	②					1	○同			
	史 料 解 読	211019			②	②	②	②			2	○学同			
	近 代 詩 歌	211020	②	②	②	②	②	②			2	○			
	外 か ら み た 日 本 文 学	211021			②	②	②	②	②	②	3	○同	(国際)専 専 専 専 専 専 (歴文)専		
	日 本 漢 文	211022			②		②		②		3	○			
	日 本 の 演 劇	211023			②	②	②	②	②	②	3	○			
	言 語 学	211024			②	②	②	②	②	②	3	○			
	書 誌 学	211025					②	②	②	②	3	○			
	日 本 民 俗 学	211026					②	②	②	②	3	○			
	日 本 思 想 史	211027			②	②	②	②	②	②	3	○同			
専門Ⅰ群科目	日 本 語 学	日 本 語 学Ⅰ(現 代 語 文 法)	211028	②	②	②	②					1	○	4単位以上選択必修 (専国)国語学特殊講義B A、B、どちらか一方のみ履修可 「情報機器の操作」対象科目	
		日 本 語 学Ⅰ(音 声 と 音 韻)	211029	②	②	②	②					2	○		
		日 本 語 学Ⅰ(土 佐 日 記 の 語 法)	211030	②	②	②	②	②	②			2	○同		
		日 本 語 学Ⅰ(日 本 語 史)	211031	②	②	②	②	②	②			1.2	○		
		パソコン日本語学入門 A	211032	②	②	②	②					2	○		
		パソコン日本語学入門 B	211033	②	②	②	②					2	○		
	古 典 文 学	古 典 文 学ⅠA (古 事 記)	211034	②	②	②	②					1	○	古典文学ⅠAから4単位以上選択必修 隔年開講 隔年開講	
		古 典 文 学ⅠA (万 葉 集)	211035	②	②	②	②					1	○		
		古 典 文 学ⅠA (更 級 日 記)	211036	②	②	②	②					1	○		
		古 典 文 学ⅠA (源 氏 物 語)	211037			②	②	②	②			2	○		
		古 典 文 学ⅠA (古 今 集)	211038			②	②	②	②			2	○		
		古 典 文 学ⅠB (平 家 物 語)	211039	②	②	②	②					1			
古 典 文 学ⅠB (宇 治 拾 遺 物 語)	211040	②	②	②	②					1	○				

授 業 科 目			整 理 番 号	学 年								開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考	
				1年次		2年次		3年次		4年次					
				単位		単位		単位		単位					
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			前 期	後 期
専 門 I 群 科 目	古典文学	古典文学IB (おとぎ草子)	211041	②	②	②	②					2		隔年開講 古典文学IBから4単位以上選択必修	
		古典文学IB (江戸の旅)	211042	②	②	②	②					1	◎		
		古典文学IB (江戸の恋)	211043	②	②	②	②					1	◎		
	近代文学	近代文学I(夏目漱石)	211044	②	②	②	②					1	◎	隔年開講	
		近代文学I(梶井基次郎)	211045	②	②	②	②					1	◎		
		近代文学I(子どもの風景)	211046	②	②	②	②					1	◎	隔年開講 4単位以上選択必修	
		近代文学I(遠藤周作)	211047	②	②	②	②					2	◎		
	児童文学	近代文学I(名作を読む)	211048	②	②	②	②	②	②			2	◎	(文化)中国の文化と文学	
		児童文学I(子どもと文学)	211049	②	②	②	②	②	②			1	◎		
		児童文学I(近代の児童文学)	211050	②	②	②	②	②	②			2	◎		
中国文学	児童文学I(現代の児童文学)	211051	②	②	②	②	②	②			2	◎			
	中国文学I(詩文)	211052	②	②	②	②					1.2	◎同			
		中国文学I(史伝・思想)	211053		②		②		②			2.3	◎		
専 門 II 群 科 目	日本語学	日本語学Ⅱ(現代の語彙・表記)	211054			②	②	②	②	②	②	3	◎	(専国)国語学特殊講義A	
		日本語学Ⅱ(データ収集と分析)	211055						②		②	3			
		日本語学Ⅱ(文学作品にみる文法)	211056					②	②	②	②	3	◎同		
	文学上代	古典文学Ⅱ(古代和歌・説話)	211057					②	②	②	②	3	◎	8単位以上選択必修 (但し、卒業論文を書く分野を4単位以上含む) ※児童文学、中国文学、日本語教育の卒業論文を書く者は除く 隔年開講	
	中古文学	古典文学Ⅱ(枕草子)	211058						②	②	②	②	3		◎
		古典文学Ⅱ(伊勢物語)	211059						②	②	②	②	4		◎
	中世文学	古典文学Ⅱ(室町小歌)	211060					②	②	②	②	3	◎	(専国)国文学特殊講義E 隔年開講	
		古典文学Ⅱ(隠者文学)	211061			②	②	②	②	②	②	②	3		◎同
	近世文学	古典文学Ⅱ(江戸の芝居)	211062			②	②	②	②	②	②	②	3	◎	隔年開講
		古典文学Ⅱ(江戸の怪談)	211063			②	②	②	②	②	②	②	3	◎	
		近代文学	近代文学Ⅱ(芥川龍之介)	211064			②	②	②	②	②	②	②	3	
	近代文学Ⅱ(川端康成)		211065			②	②	②	②	②	②	②	3	◎	
	近代文学Ⅱ(比較文学)		211066			②	②	②	②	②	②	②	3	◎同	
	近代文学Ⅱ(現代小説)		211067			②	②	②	②	②	②	②	3	◎同	
	児童文学	児童文学Ⅱ(童謡・少年詩)	211068			②	②	②	②	②	②	②	3	◎	児童文学、中国文学の卒業論文を書く者はその分野を4単位以上選択必修、更に専門Ⅱ群から4単位以上選択必修
		児童文学Ⅱ(外国)	211069					②	②	②	②	②	4	◎	
	中国文学	中国文学Ⅱ(唐詩選)	211070			②		②		②		②	2.3	◎	
中国文学Ⅱ(怪異文学)		211071			②		②		②		②	3.4	◎		
日 本 語 教 育	文化・地域・社会	日本語教育概論Ⅰ	211072	②		②						1	◎同	(国際・文化)	
		言語政策論Ⅰ	211073			②		②		②		3	◎同	(国際)	
		言語政策論Ⅱ	211074			②		②		②		3	◎同	(国際)	
	言語と社会	異文化間コミュニケーションⅠ	211075	②		②		②				1	◎同	(国際)	
		異文化間コミュニケーションⅡ	211076		②		②		②			1	◎同	(国際)	
		社会言語学	211077		②		②		②		②	2	◎同	(国際)	
	言語と心理	第二言語教育概説	211078	②		②		②				2	◎同	(国際・文化)	
		第二言語習得論	211079		②		②		②			2	◎同	(国際・文化)	
	言語と教育	日本語教育概論Ⅱ	211080		②		②					1	◎同	(国際・文化)	
日本語教育学ⅠA(音声)		211081	②		②		②				2	◎同	(国際)		

授 業 科 目			整 理 番 号	学 年								開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②○印は他学科学生履修可 ③◎印は学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦#印は一般教養にならない		
				単位	単位	単位	単位	単位	単位							
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期					
日 本 語 教 育	言 語 と 教 育	日 本 語 教 育 学ⅠB(書 写)	211082			②		②				2	◎同	(国際・文化)	隔年開講	
		日 本 語 教 育 学ⅠC(文 法)	211083	②	②	②	②	②	②				2	◎同		(国際・文化)
		日本語教育学ⅠA(聴解・会話)	211084				②		②		②		3	◎同		(国際)
		日本語教育学ⅠB(作文・読解)	211085			②	②	②	②				3	◎同		(国際)
		日本語教育学ⅠC(教材・教具)	211086				②		②				2	◎同		(国際)
		コースデザイン・評価論	211087				②		②		②		3	◎同		(国際)
		日本語教育指導方法論	211088			②		②					2	◎同		(国際・文化)
		日本語教育実習Ⅰ(教壇 'YY)	211089				①	①	①	①	①	①	3	◎同		(国際)
		日本語教育実習Ⅱ(教壇 'YY)	211090				①	①	①	①	①	①	3	◎同		(国際)
		日本語教育実習(個別 'YY)	211091				①	①	①	①	①	①	3	◎同		(国際)
		日本語教育実習(海外 'YY)	211092				①	①	①	①	①	①	3	◎同		(国際)
	言 語	日本語教育言語分析法研究	211093	②		②		②		②		2	◎同	(国際・文化)	日本語教育の卒業論文を書く者は、8単位以上選択必修 日本語教育実習4科目('YY)には、年度(西暦)が表記される。 複数回履修可。	
		日 本 語 文 法 論	211094	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎同	(国際・文化)		
		日 本 語 表 現 法	211095		②		②		②			2	◎同	(国際・文化)		
		日 英 対 照 研 究	211096				②		②		②	3	◎同	(国際・文化)		
		日 韓 対 照 研 究	211097				②		②		②	3	◎同	(国際)		
		日 中 対 照 研 究	211098				②		②		②	3	◎同	(国際)		
書 道	書 道	書 道 史	211099	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎	(文化創造)創作表現C(毛筆書道Ⅰ) (文化創造)創作表現D(毛筆書道Ⅱ) 中学校の国語免許状取得の者はⅠ・Ⅱ、 高等学校の書道免許状取得の者はⅠ～Ⅵを順次履修。 高等学校の国語免許状取得の者はⅠ・Ⅱの順次履修を推奨。 原則として同一科目を通年で履修。		
		日 本 の 書 芸	211100	②	②	②	②	②	②	②	②	3	◎			
		書 道 実 習 Ⅰ	211101	①	①	①	①					1	同			
		書 道 実 習 Ⅱ	211102	①	①	①	①					2	同			
		書 道 実 習 Ⅲ	211103					①	①	①	①	3				
		書 道 実 習 Ⅳ	211104					①	①	①	①	4				
		書 道 実 習 Ⅴ	211105					①	①	①	①	4				
		書 道 実 習 Ⅵ	211106					①	①	①	①	4				
国 語 教 育	国 語 科 教 育 法	国 語 科 教 育 法	211107			②	②	②	②			3	同	(教職)教職資格取得を目指す者のみ履修を認める。		
		国語科教育法(国語教育教材研究)	211108			②	②	②	②	②	②	2	同	(教職)		
		表現法(原理と指導法)	211109	②	②	②	②	②	②			2				
就 職 支 援	ス ピ ー チ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 基 礎	スピーチコミュニケーション基礎	211110	①								1	同	(歴史)		
		スピーチトレーニング各論(プレゼンテーション)	211111				①		①			2・3	◎学同	(国際)		
		スピーチトレーニング各論(朗読)	211112				①		①			2・3	◎学同	(国際)		
		文章トレーニング各論(ビジネス文章)	211113			①		①				2・3	◎学同	(国際)		
		取材とライティング	211114			①	①	①	①			2・3	同	(歴史)		
		コンピュータ基礎A	211115	①	①							1	★同	(歴史) 副専攻履修者を優先する。 一般教養科目の単位となる。		
		コンピュータ基礎B	211116	①								1	同	(歴史) 副専攻履修者を優先する。 一般教養科目の単位となる。		
演 習 Ⅰ	日 本 文 学 演 習 Ⅰ A	日 本 文 学 演 習 Ⅰ A a	211117			①	①					2	★	演習ⅠAから1単位以上 選択必修		
		日 本 文 学 演 習 Ⅰ A b	211118			①	①					2	★			
		日 本 文 学 演 習 Ⅰ A c	211119			①	①					2	★			
		日 本 文 学 演 習 Ⅰ A d	211120			①	①					2	★			
		日 本 文 学 演 習 Ⅰ A e	211121			①	①					2	★			
		日 本 文 学 演 習 Ⅰ A f	211122			①	①					2	★			

授 業 科 目			整 理 番 号	学 年								開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考 開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③◎学印は学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦#印は一般教養にならない
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				単位		単位		単位		単位				
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
演 習 I	日 本 語 学 演 習 I B a		211123			①	①					2	★	演習IBから1単位以上 選択必修
	日 本 文 学 演 習 I B b		211124			①	①					2	★	
	日 本 文 学 演 習 I B c		211125			①	①					2	★	
	日 本 文 学 演 習 I B d		211126			①	①					2	★	
	日 本 文 学 演 習 I B e		211127			①	①					2	★	
	中 国 文 学 演 習 I B f		211128			①	①					2	★	
	日 本 語 教 育 演 習 I B g		211129			①	①					2	★	
演 習 II	日 本 語 学	日 本 語 学 演 習 II A (古典語研究)	211130					①	①			3		2単位以上選択必修
		日 本 語 学 演 習 II B (現代語研究)	211131					①	①			3		
	上 代	日 本 文 学 演 習 II C (万葉集・記紀)	211132					①	①			3		
	中	日 本 文 学 演 習 II D (堤中納言物語)	211133					①	①			3		
	古	日 本 文 学 演 習 II E (源氏物語)	211134					①	①			3		
	中	日 本 文 学 演 習 II F (とはずがたり)	211135					①	①			3		
	世	日 本 文 学 演 習 II G (中世芸能文学)	211136					①	①			3		
	近 世	日 本 文 学 演 習 II H (町人の小説)	211137					①	①			3		
	近 代	日 本 文 学 演 習 II I (明治大正の小説)	211138					①	①			3		
		日 本 文 学 演 習 II J (芥川龍之介)	211139					①	①			3		
		日 本 文 学 演 習 II K (昭和の小説)	211140					①	①			3		
		日 本 文 学 演 習 II L (小説読解の試み)	211141					①	①			3		
	児 童	日 本 文 学 演 習 II M (児童文学の作家と作品)	211142					①	①			3		
	中 国	中 国 文 学 演 習 II N (唐 詩)	211143					①	①			3		
日 本 語 教 育	日 本 語 教 育 演 習 II O	211144					①	①			3			
	日 本 語 教 育 演 習 II P	211145					①	①			3			
演 習 III	日 本 語 学	日 本 語 学 演 習 III A	211146							①	①	4		2単位以上選択必修
		日 本 語 学 演 習 III B	211147							①	①	4		
	上 代	日 本 文 学 演 習 III C	211148							①	①	4		
	中	日 本 文 学 演 習 III D	211149							①	①	4		
	古	日 本 文 学 演 習 III E	211150							①	①	4		
	中	日 本 文 学 演 習 III F	211151							①	①	4		
	世	日 本 文 学 演 習 III G	211152							①	①	4		
	近 世	日 本 文 学 演 習 III H	211153							①	①	4		
	近 代	日 本 文 学 演 習 III I	211154							①	①	4		
		日 本 文 学 演 習 III J	211155							①	①	4		
		日 本 文 学 演 習 III K	211156							①	①	4		
		日 本 文 学 演 習 III L	211157							①	①	4		
	児 童	日 本 文 学 演 習 III M	211158							①	①	4		
	中 国	中 国 文 学 演 習 III N	211159							①	①	4		
日 本 語 教 育	日 本 語 教 育 演 習 III O	211160							①	①	4			
	日 本 語 教 育 演 習 III P	211161							①	①	4			
卒 業 論 文			211162							8	4		8単位必修	

4. 英語コミュニケーション学科

授 業 科 目			整 理 番 号	学 年								開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考 開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③◎学印は学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦#印は一般教養にならない
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				単位		単位		単位		単位				
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
基 礎 科 目	ス キ ル 科 目	Speaking and Listening I A	212001	1						1		{1×2}		
		Speaking and Listening I B	212002	1						1		{1×2}		
		Speaking and Listening II A	212003		1					1		{1×2}		
		Speaking and Listening II B	212004		1					1		{1×2}		
		Speaking and Listening III A	212005			1				2				
		Speaking and Listening III B	212006			1				2				
		Reading I	212007	2						1		{2×2}		
		Reading II	212008		2					1		{2×2}		
		Reading III	212009			2				2		{2×2}		
		Grammar and Writing I	212010	1						1				
		Grammar and Writing II	212011		1					1				
		Grammar and Writing III	212012			1				2				
		Society Today I	212013				1			3				
		Society Today II	212014					1		3				
		Culture Today I	212015				1			3				
		Culture Today II	212016					1		3				
		資格検定 I	212017					①		①	3			
		資格検定 II	212018						①		①	3		
		Computer Skills I	212019	1							1			
		Computer Skills II	212020			①				①	3	◎学		
	準 備 科 目	米国事情	212021	2	2					1		{ 1年次前期はBLIP学生のみ履修		
		ニューイングランド研究	212022	2		2				2				
		Study Abroad Preparation	212023	②	②	②				2	◎同		{ (国際)一般教養科目として履修	
	概 論 科 目	英 文 学	英コミ概論	212024	1						1		{ (現代) (現代) (現代) (現代) 1年次後期は 3科目(6単位)を選択必修 2年次前期は 2科目(4単位)を選択必修	
			英米文学・文化概論 A	212025		②					1	同		
		英米文学・文化概論 B	212026			②				2	同			
		英 語 研 究	英語研究概論 A	212027		②					1	同		
			英語研究概論 B	212028			②				2	同		
		英 語 教 育	英語教育概論 A	212029		②					1			
			英語教育概論 B	212030			②				2			
		メ ディ ア コ ミ ュ ニ ケ	メディアコミュニケーション概論 A	212031		②					1			
			メディアコミュニケーション概論 B	212032			②				2			
		ビ ジ ネ ス コ ミ ュ ニ ケ	ビジネスコミュニケーション概論 A	212033		②					1			
	ビジネスコミュニケーション概論 B		212034			②				2				
	特 別 演 習 科 目	基礎ゼミ I	212035	1						1				
		基礎ゼミ II	212036		1					1				
		2 年 ゼ ミ	212037			1				2				
		3 年 ゼ ミ	212038				1	1		3				
		4 年 ゼ ミ	212039						1	1	4			
卒 業 論 文 ・ 卒 業 制 作			212040						6	4				

授 業 科 目			整 理 番 号	学 年								開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				単位		単位		単位		単位				
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
主 専 攻 科 目 群	英 米 文 学 ・ 文 化	イギリス散文 A	212041					②		②		3	同	(国際「19世紀イギリス小説(ヴィクトリア朝の肖像)」) (現代)(専英「イギリス文学研究Ⅱ」)
		イギリス散文 B	212042						②		②	3	同	(国際「19世紀イギリス小説(ヴィクトリア朝の肖像)」) (現代)(専英「イギリス文学研究Ⅱ」)
		アメリカ散文 A	212043					②		②		3	同	(国際「20世紀アメリカ小説C」)(現代) (専英「アメリカ文学研究Ⅱ」)
		アメリカ散文 B	212044						②		②	3	同	(国際「20世紀アメリカ小説D」)(現代) (専英「アメリカ文学研究Ⅱ」)
		英米詩	212045						②		②	3	同	(現代)
		パフォーマンス・スタディーズ	212046						②		②	3		
		ファンタジー・児童文学	212047					②		②		3	同	(現代)(専英「英米児童文学」)
		ジェンダーと英米文学	212048					②		②		3		
		マイノリティー文学	212049						②		②	3	同	(専英「イギリス文学研究Ⅰ」)
		ニューイングランド文学・文化	212050					②		②		3	同	(現代)(専英「アメリカ文学研究Ⅰ」)
		比較文学・文化	212051						②		②	3	同	(現代)
		イギリス文化研究	212052						②		②	3	同	(現代)
		アメリカ文化研究	212053					②		②		3	同	(現代)
		聖書研究	212054					②		②		3		
		英米文学研究 A	212055					②	②	②	②	3		
		英米文学研究 B	212056					②	②	②	②	3		
		英米文学研究 C	212057					②	②	②	②	3		
		日英翻訳研究(フィクション)Ⅰ	212058					②		②		3	同	(国際)
		日英翻訳研究(フィクション)Ⅱ	212059						②		②	3	同	(国際)
		アメリカの社会と文化	212060						②		②	3	同	(国際)
		アメリカの社会と宗教	212061						②		②	3	同	(国際)
		アメリカの社会と移民(英語)	212062					②		②		3	同	(国際)
		アメリカの政治と社会(英語)	212063					②		②		3	同	(国際)
		アメリカ現代史(英語)	212064						②		②	3	同	(国際)
	英 語 研 究	英語の歴史	212065					②		②		3	同	(現代)
		英語音声学	212066					②		②		3	同	(現代)
		形態論	212067						②		②	3	同	(国際「ことばの成り立ちと仕組み」)(専英) (日本語教育関連科目)
		文法研究	212068					②		②		3	同	(現代)(専英)
		意味論	212069						②		②	3	同	(現代)(専英) (日本語教育関連科目)
		語用論	212070					②		②		3		(日本語教育関連科目)
		社会言語学	212071					②		②		3	同	(国際「社会言語学(言葉と場面)」) (現代)(日本語教育関連科目)
		心理言語学	212072					②		②		3		(日本語教育関連科目)
		コーパス言語学	212073						②		②	3		
		英語語源学	212074					②		②		3		
英語学研究 A		212075					②	②	②	②	3			
英語学研究 B		212076					②	②	②	②	3			
英語学研究 C		212077					②	②	②	②	3			
英語学研究 D		212078					②	②	②	②	3			
世界の英語(英語)		212079					②		②		3	同	(国際)	
英 語 教 育	英語科教育法	212080			④	④	④	④			3	同	[2×2](教職)	

開設単位:
 ①無印は必修科目
 ②○印は選択科目
 履修可能範囲:
 ①無印は本学科学学生のみ
 ②○印は他学科学学生履修可
 ③◎印は学部内他学科学学生履修可
 ④□印は同系列学生履修可
 ⑤同印は同時開設科目
 ⑥★印前・後期同一内容
 ⑦#印は一般教養にならない

授 業 科 目			整 理 番 号	学 年								開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考 開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学学生のみ ②◎印は他学科学学生履修可 ③◎学印は学部内他学科科学学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦井印は一般教養にならない		
				1年次		2年次		3年次		4年次						
				単位		単位		単位		単位						
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期					
主 専 攻 科 目 群	英 語 教 育	第二言語習得	212081				②		②		3	同	(現代)			
		英語授業のプランニング	212082				②		②		3					
		教材研究	212083					②		②		3				
		クラスルームイングリッシュ	212084				②		②		3					
		マイクロティーチング演習	212085					②		②		3				
		児童英語教育概論	212086				②					3				
		児童英語活動の研究	212087					②				3				
		児童英語教育演習	212088						②	②		4	★			
		ことばと教育	212089					②		②		3	同	(国際)		
	メディアコミュニケーション	Media Communication	212090					②		②		3				
		Media Literacy	212091						②		②		3			
		Publication Media	212092					②		②		3				
		Broadcast Media	212093					②		②		3				
		Film Criticism	212094						②		②		3	同	(現代)	
		Language of Advertising	212095						②		②		3	同	(現代)	
		Popular Music	212096						②		②		3			
		Radio Production A	212097					②		②		3	◎			
		Radio Production B	212098						②		②		3	◎		
		Interviewing A	212099					②		②		3	◎			
		Interviewing B	212100						②		②		3	◎		
		Public Speaking A	212101					②		②		3				
		Public Speaking B	212102						②		②		3			
		Journalistic Writing	212103						②		②		3			
		Digital Media	212104						②		②		3			
		Computer Literacy A	212105					②		②		3				
		Computer Literacy B	212106						②		②		3			
		ITと社会の変容	212107			②		②	②	②	②		3	◎学同★	(国際)	
		メディアリテラシー概論	212108						②		②		3	◎学同	(国際)	
		情報技術と倫理	212109			②		②		②			3	◎学同	(国際)	
	ビジネスコミュニケーション	Business Communication A	212110					②		②		3	同	(国際)		
Business Communication B		212111						②		②		3	同	(国際)		
Business Presentation A		212112					②		②		3					
Business Presentation B		212113						②		②		3				
Business Writing		212114					②		②		3					
Technical Writing		212115						②		②		3				
Business across Cultures		212116					②		②		3	同	(専英)			
Hospitality English		212117						②		②		3				
秘書英語		212118					②		②		3					
通訳実践トレーニング		212119						②		②		3	同	(国際)		
日英逐次通訳研究I		212120					②		②		3	同	(国際)			

開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学印は学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前・後期同一内容
⑦井印は一般教養にならない

授 業 科 目			整 理 番 号	学 年								開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考	
				1年次		2年次		3年次		4年次					
				単 位		単 位		単 位		単 位					
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期				
主 専 攻 科 目 群	ビジネスコミュニケーション	日英逐次通訳研究Ⅱ	212121				②		②	3	同	(国際)			
		日英翻訳研究(ノンフィクション)	212122				②		②	3	同	(国際)			
		キャリアプランニング	212123				②		②	3					
		英語で地域貢献	212124	②	②	②	②	②	3	◎	一般教養科目として履修				
		ボストン・ビジネスイングリッシュプログラム	212125	②	②	②	②	②	2		一般教養科目として履修				
		海外ボランティア	212126		②	②	②	②	2		一般教養科目として履修				
		海外インターンシップ	212127		②	②	②	②	3	◎					
		Introduction to American Business	212128		②				2						
		ツーリズム論	212129				②		②	3					
		ホスピタリティ・マネージメント	212130				②		②	3					
		顧客コミュニケーション	212131				②		②	3					
		異文化コミュニケーション(英語)	212132				②		②	3	同	(国際)			
		日本経済とビジネス(英語)	212133				②		②	3	同	(国際)			
		開発と環境(英語)	212134				②		②	3	同	(国際)			
		開発援助(英語)	212135				②		②	3	同	(国際)			
		NPOの組織と活動(英語)	212136				②		②	3	同	(国際)			
ポ ス ト ン キ ャ ン パ ス 科 目	UNIVERSITY	ジャンプスタート													
		Intensive Speaking and Listening	212137			1				2					
		Intensive Reading	212138			1				2					
		Intensive Writing	212139			1				2					
		レギュラープログラム	Speaking and Listening BI	212140			2				2				
		Reading BI	212141			2				2					
		Grammar and Writing BI	212142			2				2					
		TOEIC Preparation BI	212143			1				2					
		New England Studies	212144			2				2					
		Discussion of American Issues	212145			2				2					
		GE Elective A	212146			④				2		一般教養科目として2科目(8単位)を選択履修 A：社会事情(Social Issues) B：福祉・ボランティア(Volunteering) C：ビジネス(Business) D：西洋と日本の芸術(Art in the West and Japan) E：日本語教育(Teaching Japanese) F：その他(Others)			
		GE Elective B	212147			④				2					
		GE Elective C	212148			④				2					
		GE Elective D	212149			④				2					
		GE Elective E	212150			④				2					
	GE Elective F	212151			④				2						
F S P	スプリングセメスター	Speaking and Listening	212152		2					2					
		Reading	212153		2					2					
		Grammar and Writing	212154		2					2					
		Extensive Reading	212155		1					2					
		Pronunciation	212156		1					2					
		Current American Topics	212157		2					2					
		Field Trips	212158		2					2					
		Community Service	212159		4					2		一般教養科目として履修			
		Language	212160		2					2		外国語科目として履修			

一般教養科目として2科目(8単位)を選択履修
 A: 社会事情(Social Issues)
 B: 福祉・ボランティア(Volunteering)
 C: ビジネス(Business)
 D: 西洋と日本の芸術(Art in the West and Japan)
 E: 日本語教育(Teaching Japanese)
 F: その他(Others)

授 業 科 目				整 理 番 号	学 年								開講中心年次	履修可能範囲等	備 考
					1年次		2年次		3年次		4年次				
					単位		単位		単位		単位				
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
ボ ス ト ン キ ャ ン パ ス 科 目	F S P	ジャンプスタート	Intensive Speaking and Listening	212161				1					2	開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③◎学印は学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦#印は一般教養にならない 一般教養科目として2科目(8単位)を 選択履修 A: 社会事情(Social Issues) B: 福祉・ボランティア(Volunteering) C: ビジネス(Business) D: 西洋と日本の芸術(Art in the West and Japan) E: 日本語教育(Teaching Japanese) F: その他(Others)	
			Intensive Reading	212162				1					2		
			Intensive Writing	212163				1					2		
		レギュラープログラム	Speaking and Listening BI	212164				2					2		
			Reading BI	212165				2					2		
			Grammar and Writing BI	212166				2					2		
			TOEIC Preparation BI	212167				1					2		
			New England Studies	212168				2					2		
			Discussion of American Issues	212169				2					2		
			GE Elective A	212170				④					2		
			GE Elective B	212171				④					2		
			GE Elective C	212172				④					2		
			GE Elective D	212173				④					2		
			GE Elective E	212174				④					2		
			GE Elective F	212175				④					2		
	B L I P	ファーストセメスター	ジャンプスタート	Intensive Speaking and Listening	212176		1						1	開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③◎学印は学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦#印は一般教養にならない 一般教養科目として履修 一般教養科目として1科目(4単位)を 選択履修 A: 社会事情(Social Issues) B: 福祉・ボランティア(Volunteering) C: ビジネス(Business) D: 西洋と日本の芸術(Art in the West and Japan) E: 日本語教育(Teaching Japanese) F: その他(Others) 外国語科目として履修	
				Intensive Reading	212177		1								1
				Intensive Writing	212178		1								1
			レギュラープログラム	Speaking and Listening BI	212179		2								1
				Reading BI	212180		2								1
				Grammar and Writing BI	212181		2								1
				BLIP Skills	212182		1								1
				New England Studies	212183		2								1
				Social Issues in America	212184		4								1
				GE Elective A	212185		④								1
				GE Elective B	212186		④								1
				GE Elective C	212187		④								1
				GE Elective D	212188		④								1
				GE Elective E	212189		④								1
				GE Elective F	212190		④								1
		Language I	212191		2							1			
セカンドセメスター	レギュラープログラム	Intensive Speaking and Listening I	212192			1						2	どちらか1科目選択必修		
		Intensive Reading I	212193			1						2			
		Intensive Writing I	212194			1						2			
		Speaking and Listening BII	212195			2						2			
		Reading BII	212196			2						2			
		Grammar and Writing BII	212197			2						2			
		TOEIC Preparation BII	212198			1						2			
		Off-campus College Course I	212199			①						2			
		Off-campus College Course A	212200			④						2			

一般教養科目として2科目(8単位)を選択履修

A: 社会事情(Social Issues)
B: 福祉・ボランティア(Volunteering)
C: ビジネス(Business)
D: 西洋と日本の芸術(Art in the West and Japan)
E: 日本語教育(Teaching Japanese)
F: その他(Others)

一般教養科目として履修

一般教養科目として1科目(4単位)を選択履修

A: 社会事情(Social Issues)
B: 福祉・ボランティア(Volunteering)
C: ビジネス(Business)
D: 西洋と日本の芸術(Art in the West and Japan)
E: 日本語教育(Teaching Japanese)
F: その他(Others)

外国語科目として履修

どちらか1科目選択必修

授 業 科 目				整 理 番 号	学 年								開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考
					1年次		2年次		3年次		4年次				
					単位		単位		単位		単位				
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
ポ ス ト ン キ ャ ン パ ス 科 目	セ カ ン ド セ メ ス タ ー	レ ギ ウ ラ ー プ ロ グ ラ ム	Global Studies I	212201			2					2		一般教養科目として履修	
			GE Literature and Culture	212202			4						2		
			GE Media Communication	212203			4						2		
			Language II	212204			2						2		外国語科目として履修
	B L I P	イ ン テ ン シ ブ Ⅱ	Intensive Speaking and Listening Ⅱ	212205				1					2		どちらか1科目選択必修
			Intensive Reading Ⅱ	212206				1					2		
			Intensive Writing Ⅱ	212207				1					2		
		レ ギ ウ ラ ー プ ロ グ ラ ム	Speaking and Listening BⅢ	212208				2					2		
			Reading BⅢ	212209				2					2		
			Grammar and Writing BⅢ	212210				2					2		
			TOEIC Preparation BⅢ	212211				1					2		
			Off-campus College Course Ⅱ	212212				①					2		
			Off-campus College Course B	212213				④					2		
			Global Studies Ⅱ	212214				2					2		
			BLIP Project	212215				2					2		
			GE Linguistics	212216				4					2		
			GE Business Communication	212217				4					2		一般教養科目として履修

* ポストンプログラム終了後、希望者はインターセッション（Advanced English：2単位）に参加することができる。

* FSP参加者はスプリングセメスター終了後、ランゲージスクール（General English：2単位）/海外ボランティア/サマーセッションのいずれかに参加する。

* GE Elective E（Teaching Japanese）は日本語教育関連科目とする。

○英検および TOEIC® の単位認定について

英検	TOEIC®	認定単位数
—	650 点以上	1 単位
準 1 級	730 点以上	2 単位
1 級	850 点以上	4 単位

注1 専門教育科目の卒業要件単位として認定する。

注2 TOEIC®は昭和女子大学入学後取得したスコアを認定する。

注3 TOEIC®はIPテスト（団体特別受験制度）スコアも認定する。

注4 認定の上限は4単位。下位の単位認定を受けたものがさらに上位の「級」または「スコア」を取得した場合には、既得認定単位との差が加算される。

注5 英検とTOEIC®の両方をクリアしても単位認定は高いレベルのどちらか一方とする。

5. 歴史文化学科

授 業 科 目		整 理 番 号	学 年								開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考
			1年次		2年次		3年次		4年次				開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③○学印は学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦#印は一般教養にならない
			単位	単位	単位	単位	単位	単位					
			前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
必修	歴 史 文 化 基 礎	213001	2							1		(心理・現代)教職履修者のみ可	
	歴 史 学 概 論	213002	2							1	同		
	文 化 論	213003		2						1			
	日 本 史 通 論	213004			2					2	同		
	ジ ェ ン ダ ー 論	213005				2				2			
	歴 史 文 化 と 社 会	213006					2			3			
	世 界 史 通 論	213007						2		3	同		
	文 化 財 論	213008							2	4			
	歴 史 文 化 論	213009								2	4		
歴史・考古学	史 料 解 読	213010	②	②	②	②				1	◎学同	(日文) ※T1	
	古 文 書 解 読	213011			②	②	②	②	②	②	3	◎	
	近 代 女 性 史 文 献 講 読	213012	②		②					1		隔年開講 ※T2	
	日 本 近 現 代 史 料 解 読	213013	②	②	②	②				2	◎	※T3	
	日 本 古 代 史	213014	②	②	②	②	②	②		1	◎	隔年開講	
	日 本 古 代 史 特 論	213015	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎	隔年開講
	日 本 中 世 史	213016	②	②	②	②	②	②		2	◎同	(心理・現代)	
	日 本 近 世 史	213017	②	②	②	②	②	②		1	◎同	(心理・現代)隔年開講	
	日 本 近 世 史 特 論	213018	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎	隔年開講
	日 本 近 現 代 史	213019	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎同	(国際・心理・現代)
	日 本 近 現 代 史 特 論	213020	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎同	(国際)
	日 本 女 性 史	213021	②	②	②	②	②	②		2	同	(心理・現代)	
	比 較 女 性 史 論	213022		②		②		②		②	2	◎同	(心理・現代)隔年開講
	日 本 思 想 史	213023			②	②	②	②	②	②	2	◎同	(日文)
	有 職 故 実	213024	②	②	②	②	②	②		2	◎同	(日文)	
	ヒ エ ロ グ リ フ 入 門	213025	②	②	②	②				1	◎	※T4	
	ヒエログリフ・テキスト解読	213026			②		②		②		2	◎	
	古 代 エ ジ プ ト 史	213027	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎	
	古 代 オ リ エ ン ト 文 化 史	213028	②	②	②	②	②	②	②	②	3	◎同	(心理・現代)隔年開講
	西洋史概説－近世から現代－	213029	②	②	②	②	②	②		1	◎		
	キ リ ス ト 教 文 化 史	213030	②	②	②	②	②	②	②	②	3	同	(心理・現代)教職履修者のみ可 隔年開講
	東 洋 史 概 説	213031	②	②	②	②	②	②		1	◎同	(心理・現代)	
	東 シ ナ 海 文 化 交 流 史	213032	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎同	(国際)
	考 古 学 概 論	213033	②	②	②	②	②	②		2	◎学	※S1,2考	
考 古 学 基 礎	213034	②	②	②	②				1		※T5		
実 験 考 古 学	213035		②		②		②		②	2	◎	隔年開講 ※2考	
考 古 学 実 習 A	213036	①		①		①		①		2	◎学	※2考	
考 古 学 実 習 B	213037		①		①		①		①	2	◎	※2考	
日本考古学特論A－縄文－	213038			②	②	②	②	②	②	3	◎学	※2考	
日本考古学特論B－弥生・古墳－	213039			②		②		②		2	◎	※2考	
ア ジ ア 考 古 学	213040	②	②	②	②				2	◎			
ア ジ ア 考 古 学 特 論	213041			②	②	②	②	②	②	3		隔年開講	

開設単位:
 ①無印は必修科目
 ②○印は選択科目
 履修可能範囲:
 ①無印は本学科学学生のみ
 ②◎印は他学科学学生履修可
 ③◎学印は学部内他学科学学生履修可
 ④□印は同系列学生履修可
 ⑤同印は同時開設科目
 ⑥★印前・後期同一内容
 ⑦#印は一般教養にならない

(心理・現代) 教職履修者のみ可

(心理・現代) 教職履修者のみ可

※K

(心理・現代) 教職履修者のみ可

(日文) ※T1

隔年開講 ※T2

※T3

隔年開講

隔年開講

(心理・現代)

(心理・現代) 隔年開講

隔年開講

(国際・心理・現代)

(国際)

(心理・現代)

(心理・現代) 隔年開講

(日文)

(日文)

※T4

◎

◎

(心理・現代) 隔年開講

(心理・現代) 教職履修者のみ可 隔年開講

(心理・現代)

(国際)

※S1,2考

※T5

隔年開講 ※2考

※2考

※2考

※2考

※2考

隔年開講

授 業 科 目		整 理 番 号	学 年								開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考	
			1年次		2年次		3年次		4年次					
			単位		単位		単位		単位					
			前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期				
美 術 ・ 伝 統 文 化	日 本 美 術 史 概 説	213042	②	②	②	②					2	◎学同	(文化) ※S2	
	日 本 美 術 史 基 礎	213043	②	②	②	②					1	◎学	※T6	
	日 本 美 術 史 特 論 A	213044				②		②		②	2	◎学	隔年開講	
	日 本 美 術 史 特 論 B	213045				②		②		②	2	◎学	隔年開講	
	東 洋 美 術 史 概 説	213046			②	②	②	②	②	②	2	◎		
	西 洋 美 術 史 基 礎	213047	②	②	②	②	②	②			1		※T7	
	西 洋 美 術 史 概 論	213048	②	②	②	②	②	②			1	◎	※S3	
	西洋美術史特論－スペイン美術－	213049			②	②	②	②	②	②	3	◎	※2	
	美術館論Ⅰ－地域と美術館－	213050	②		②		②		②		2	◎		
	日 本 建 築 史	213051	②	②	②	②	②	②			1	◎		
	ヨ ー ロ ッ パ 建 築 史	213052	②		②		②				2	◎		
	日 本 芸 能 史	213053	②	②	②	②	②	②	②	②	1	◎学同	(文化)	
	日本芸能史基礎－調査法－	213054		②		②		②		②	1	◎学	※T8	
	日 本 芸 能 史 特 論	213055			②	②	②	②	②	②	3	◎学	隔年開講	
	演 劇 文 化 論	213056			②	②	②	②	②	②	3	◎学	隔年開講	
	日 本 服 飾 史	213057	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎学		
	服飾史資料基礎	213058	②	②	②	②	②	②	②	②	1	◎	※T9	
	西 洋 服 飾 史	213059	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎		
	地 域 と 民 族 の 文 化	染 織 工 芸 論	213060	②	②	②	②	②	②	②	②	2		
文 献 取 扱 技 能 基 礎		213061	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎	※T10	
仏 教 文 化 史		213062	②	②	②	②	②	②	②	②	1	◎		
歴史文化特論－寺社縁起の世界－		213063	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎		
禅 と 日 本 文 化		213064	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎同	(心理・現代)	
伝 統 文 化 の 現 場		213065	②	②	②	②	②	②	②	②	3	◎学		
茶 道 史 ・ 茶 道 演 習		213066	②	①	②	①	②	①	②	①	3	◎		
日 本 生 活 文 化 史 概 論		213067	②	②	②	②	②	②	②	②	1	◎学	※S4	
民 俗 学 概 論		213068	②	②	②	②					1	◎学同	(国際) ※S5	
民 俗 調 査 法		213069	②		②		②		②		1	◎学	※T11	
民 俗 学 特 論		213070			②	②	②	②	②	②	3	◎学	※1	
地 域 と 生 活 文 化		213071	②		②		②		②		2	◎学	隔年開講 ※1	
人 文 地 理 学 概 論		213072	②	②	②	②	②	②			1	◎同	(心理・現代) ※S6	
自 然 地 理 学 概 論	213073	②	②	②	②	②	②			1	◎同	(心理・現代)		
地域調査法－フィールドサーヴェイ入門－	213074	②	②	②	②	②	②	②	②	1	◎	隔年開講 ※T12		
地理学特論－地理学の諸問題－	213075			②	②	②	②	②	②	2	◎			
地 誌 通 論 A－日本地誌－	213076	②		②		②				2	◎同	(心理・現代)		
地 誌 通 論 B－世界地誌－	213077		②		②		②			2	◎同	(心理・現代)		
地 域 文 化 概 論	213078	②	②	②	②	②	②	②	②	1	◎	隔年開講		
近 代 と 地 域 文 化	213079			②	②	②	②	②	②	2	◎			
文 化 人 類 学 概 論	213080	②	②	②	②					1	◎同	(国際・心理・現代) ※S7		
北 ア ジ ア 文 化 特 論	213081	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎同	(現代)「地域研究(北アジア)」(前) 「東アジア言語社会研究」(後)		

授 業 科 目		整 理 番 号	学 年								開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考	
			1年次		2年次		3年次		4年次					
			単位		単位		単位		単位					
			前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期				
地 域 と 民 族 の 文 化	フ ラ ン ス 文 化 概 説	213082	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎	隔年開講 ※3 (心理・現代) (教養) (国際・心理・現代) (国際・心理・現代)隔年開講 (心理・現代)隔年開講	
	ヨーロッパ近代文化ーパリを中心にー	213083	②	②	②	②	②	②	②	②	3	◎		
	宗 教 学 概 論	213084	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎		
	倫 理 学 概 論	213085	②	②	②	②	②	②	②	②	3	同		
	経 済 学 概 論	213086	②		②		②				1	同		
	社 会 学 概 論	213087				②		②		②	3			
	法 学 概 論 (国 際 法 を 含 む)	213088	②		②		②		②		3	同		
	現 代 政 治 論	213089			②		②		②		2	同		
現 代 政 治 と 政 治 学	213090		②		②		②			2	同			
文 化 財 ・ 博 物 館 学	文化財の材料ーにせ物発見ー	213091	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎	※T13	
	博 物 館 資 料 保 存 論	213092			②		②				2	◎#	※T14	
	文 化 財 保 存 修 復 学 基 礎	213093	②	②	②	②					1	◎		
	文 化 財 保 存 修 復 学 A	213094			②		②		②		2	◎		
	文 化 財 保 存 修 復 学 B	213095				②		②		②	2	◎		
	文 化 財 保 存 修 復 学 実 習	213096			①	①	①	①	①	①	2		※2考	
	文 化 財 保 護 行 政 論	213097		②		②		②		②	3			
	博 物 館 概 論	213098	②		②		②				1	◎#		
	博 物 館 資 料 論	213099		②		②		②			1	◎#		
	博 物 館 経 営 論	213100				②		②			2	◎#	短期集中	
	博 物 館 展 示 論	213101			②		②				2	◎#		
	博 物 館 教 育 論	213102		②	②	②	②	②			1	◎★#		
	生 涯 学 習 概 論	213103		②		②		②			2	◎#		
	博 物 館 情 報 ・ メ デ ィ ア 論	213104	②	②	②	②	②	②			3	◎★#	夏期集中講義	
	博 物 館 実 習 I	213105					①				3	◎#		
博 物 館 実 習 II	213106						①			3	◎#			
博 物 館 実 習 III	213107							①		4	◎#			
館 務 実 習	213108								①	4	◎#			
ボストン・ミュージアムプログラム	213109	②		②		②		②		2	◎			
就 職 支 援	実 践 的 文 章 論	213110	②	②	②	②					1	同★	(日文) ※K	
	取 材 と ラ イ テ ィ ン グ	213111			①	①	①	①			2・3	同	(日文) ※K	
	スピーチコミュニケーション基礎	213112	①								1	同	(日文) ※K	
	コ ン ピ ュ ー タ 基 礎 A	213113	①	①							1	同★	(日文) ※4	
	コ ン ピ ュ ー タ 基 礎 B	213114	①								1	同	(日文) ※4	
	地 理 歴 史 科 教 育 法	213115			②	②	②	②			3	同	(教職)	
	社会科教育法(教材研究)	213116			②	②	②	②	②	②	3	同	(教職)	

開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学学生のみ
②◎印は他学科学学生履修可
③◎学印は学部内他学科学学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前・後期同一内容
⑦#印は一般教養にならない

授 業 科 目		整 理 番 号	学 年				開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考	
			1年次	2年次	3年次	4年次				
			単位	単位	単位	単位				
			前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期		
演 習	日 本 史 演 習 A	213117			①	①			3	開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学学生のみ ②◎印は他学科学学生履修可 ③◎学印は学部内他学科学学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦#印は一般教養にならない この中から2単位以上選択必修 (現代)「言語社会論演習Ⅰ」(前) 「言語社会論演習Ⅱ」(後) この中から2単位以上選択必修 (現代)「言語社会論演習Ⅲ」(前) 「言語社会論演習Ⅳ」(後)
	日 本 史 演 習 B	213118			①	①			3	
	比 較 女 性 史 論 演 習	213119			①	①			3	
	オ リ エ ン ト 史 演 習	213120			①	①			3	
	東 ア ジ ア 文 化 史 演 習	213121			①	①			3	
	日 本 考 古 学 演 習 A	213122			①	①			3	
	日 本 考 古 学 演 習 B	213123			①	①			3	
	ア ジ ア 考 古 学 演 習	213124			①	①			3	
	日 本 美 術 史 演 習	213125			①	①			3	
	西 洋 美 術 史 演 習	213126			①	①			3	
	民 俗 ・ 芸 能 演 習	213127			①	①			3	
	服 飾 文 化 史 演 習	213128			①	①			3	
	仏 教 文 化 史 演 習	213129			①	①			3	
	地 域 文 化 演 習	213130			①	①			3	
	東 ア ジ ア 言 語 社 会 演 習	213131			①	①			3	
	フ ラ ン ス 文 化 演 習	213132			①	①			3	
	文 化 財 保 存 学 演 習	213133			①	①			3	
	文 化 財 保 存 修 復 学 演 習	213134			①	①			3	
	歴 史 文 化 演 習 A	213135					①	①	4	
	歴 史 文 化 演 習 B	213136					①	①	4	
	歴 史 文 化 演 習 C	213137					①	①	4	
	歴 史 文 化 演 習 D	213138					①	①	4	
	歴 史 文 化 演 習 E	213139					①	①	4	
	歴 史 文 化 演 習 F	213140					①	①	4	
	歴 史 文 化 演 習 G	213141					①	①	4	
	歴 史 文 化 演 習 H	213142					①	①	4	
	歴 史 文 化 演 習 I	213143					①	①	4	
	歴 史 文 化 演 習 J	213144					①	①	4	
	歴 史 文 化 演 習 K	213145					①	①	4	
	歴 史 文 化 演 習 L	213146					①	①	4	
	歴 史 文 化 演 習 M	213147					①	①	4	
	歴 史 文 化 演 習 O	213148					①	①	4	
	歴 史 文 化 演 習 P	213149					①	①	4	
	歴 史 文 化 演 習 Q	213150					①	①	4	
	歴 史 文 化 演 習 R	213151					①	①	4	
	歴 史 文 化 演 習 S	213152					①	①	4	
卒 業 論 文		213153					8		4	

※S1～S7の中から4単位以上選択必修
 ※T1～T14の中から4単位以上選択必修
 ※Kは一般教養科目の単位
 ※2考は2級考古調査士関連科目

※1履修条件:民俗学概論を履修していること
 ※2履修条件:西洋美術史概論を履修していること
 ※3履修条件:フランス文化概説を履修していること
 ※4副専攻履修者優先

6. 国際学科

授 業 科 目			整 理 番 号	学 年								開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考 開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学学生のみ ②◎印は他学科学学生履修可 ③◎学印は学部内他学科学学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦#印は一般教養にならない
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				単位		単位		単位		単位				
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
基礎科目	基礎ゼミ		214001	1	1							1		
	インディペンダント・スタディーズⅠ		214002	①								1		
	インディペンダント・スタディーズⅡ		214003		①							1		
	インディペンダント・スタディーズⅢ		214004			①						2		
複 言 語 外 国 語	国 際 言 語 (英 語)	Comprehensive English for International CommunicationⅠ	214005	2								1		{2×2}
		Critical ReadingⅠ	214006	1								1		
		Sounds of English	214007	1								1		
		Comprehensive English for International CommunicationⅡ	214008		2							1		{2×2}
		Critical ReadingⅡ	214009		①							1		
		Grammar in Communication	214010		①							1		
		Comprehensive English for International CommunicationⅢ	214011			②						2		{2×2}
		Comprehensive English for International CommunicationⅣ	214012				②	②				2・3		{2×2}
		Comprehensive English for International CommunicationⅤ	214013					②				3		{2×2}
		Presentation on International IssuesⅠ	214014					①		①		3・4		
		Presentation on International IssuesⅡ	214015						①		①	3・4		
		Training in GrammarⅠ	214016	①		①						1・2		
		Training in GrammarⅡ	214017		①		①					1・2		
		Literary ReadingⅠ	214018	①		①						1・2		
		Literary ReadingⅡ	214019		①		①					1・2		
		Discussion on International IssuesⅠ	214020					①		①		3		
		Discussion on International IssuesⅡ	214021						①		①	3		
		Fluency in SpeakingⅠ	214022	①		①						1・2		
		Fluency in SpeakingⅡ	214023		①		①					1・2		
		Intermediate Authentic ListeningⅠ	214024			①		①				2	同	{現代：Listening A}
		Intermediate Authentic ListeningⅡ	214025				①		①			2	同	{現代：Listening C}
		Intermediate Authentic ListeningⅢ	214026					①		①		3	同	{現代：Listening B}
		Intermediate Authentic ListeningⅣ	214027						①		①	3	同	{現代：Listening D}
		Intermediate Intensive ReadingⅠ	214028			①		①				2	同	{現代：Reading A}
		Intermediate Intensive ReadingⅡ	214029				①		①			2	同	{現代：Reading D}
		Intermediate Intensive ReadingⅢ	214030					①		①		3	同	{現代：Reading B}
		Intermediate Intensive ReadingⅣ	214031						①		①	3	同	{現代：Reading E}
		Intermediate Public Speaking in Current TopicsⅠ	214032			①		①				2	同	{現代：Oral Communication B}
		Intermediate Public Speaking in Current TopicsⅡ	214033				①		①			2	同	{現代：Oral Communication C}
		Intermediate Discussion on Current TopicsⅢ	214034					①		①		3	同	{現代：Writing C}
		Intermediate Discussion on Current TopicsⅣ	214035						①		①	3	同	{現代：Writing D}
		Intermediate Extensive ReadingⅠ	214036			①		①				2	同	{現代：Reading C}
		Intermediate Extensive ReadingⅡ	214037				①		①			2	同	{現代：Reading F}
		Intermediate Extensive ReadingⅢ	214038					①		①		3	同	{現代：Mass Media English A}
		Intermediate Extensive ReadingⅣ	214039						①		①	3	同	{現代：Mass Media English B}
		Intermediate Grammar WorkshopⅠ	214040			①		①				2	同	{現代：TOEIC Preparation A}

授 業 科 目				整 理 番 号	学 年								開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考
					1年次		2年次		3年次		4年次				
					単位		単位		単位		単位				
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
複 外 国 語	国 際 言 語 （ 英 語 ）	Intermediate Grammar Workshop Ⅱ	214041			①		①			2	同	（現代：TOEIC Preparation D）		
		Intermediate Grammar Workshop Ⅲ	214042					①		①	3	同	（現代：Writing A）		
		Intermediate Grammar Workshop Ⅳ	214043						①		①	3	同	（現代：Writing F）	
		Intermediate Oral Expression Ⅰ	214044		①		①				2	同	（現代：Oral Communication A）		
		Intermediate Oral Expression Ⅱ	214045			①		①			2	同	（現代：Oral Communication D）		
		Intermediate TOEIC Preparation Ⅰ	214046		①		①				2	同	（現代：TOEIC Preparation B）		
		Intermediate TOEIC Preparation Ⅱ	214047			①		①			2	同	（現代：TOEIC Preparation E）		
		Intermediate TOEIC Preparation Ⅲ	214048					①		①	3	同	（現代：TOEIC Preparation C）		
		Intermediate TOEIC Preparation Ⅳ	214049						①		①	3	同	（現代：TOEIC Preparation F）	
		Advanced Authentic Listening Ⅰ	214050		①		①				2				
		Advanced Authentic Listening Ⅱ	214051			①		①			2				
		Advanced Discussion on Current Topics Ⅰ	214052		①		①				2				
		Advanced Discussion on Current Topics Ⅱ	214053			①		①			2				
		Advanced Extensive Reading Ⅰ	214054		①		①				2				
		Advanced Extensive Reading Ⅱ	214055			①		①			2				
		Advanced Extensive Reading Ⅲ	214056					①		①	3				
		Advanced Extensive Reading Ⅳ	214057						①		①	3			
		Advanced Writing on Current Topics Ⅰ	214058		①		①				2	同	（現代：Writing B）		
		Advanced Writing on Current Topics Ⅱ	214059			①		①			2	同	（現代：Writing E）		
	ボストンイマージョンプログラムⅠ	Listening/Speaking	214060		②						2		[2×2]		
		Reading/Vocabulary	214061		②						2		[2×2]		
		Writing/Grammar	214062		②						2		[2×2]		
		Extensive Reading	214063		①						2				
		Pronunciation	214064		①						2				
		American Current Topics	214065		②						2		[2×2]		
		Field Trips	214066		②						2		[2×2]		
		Community Service	214067		④						2		[2×2]		
		ボストンイマージョンプログラムⅡ	Intensive Speaking and Listening	214068		①						2			
			Intensive Reading	214069		①						2			
			Intensive Writing	214070		①						2			
			Speaking and Listening B Ⅰ	214071		②						2		[2×2]	
			Reading B Ⅰ	214072		②						2		[2×2]	
Grammar and Writing B Ⅰ	214073			②						2		[2×2]			
TOEIC Preparation B Ⅰ	214074			①						2					
New England Studies	214075			②						2		[2×2]			
Discussion of American Issues	214076			②						2		[2×2]			
GE Elective A	214077			④						2		[2×2]			
GE Elective B	214078		④						2		[2×2]				
GE Elective C	214079		④						2		[2×2]				
GE Elective D	214080		④						2		[2×2]				

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲：
①無印は本学科学学生のみ
②◎印は他学科学学生履修可
③◎学印は学部内他学科学学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前・後期同一内容
⑦#印は一般教養にならない

（現代：Writing B）
（現代：Writing E）
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]
[2×2]

授 業 科 目				整 理 番 号	学 年				開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考
					1年次	2年次	3年次	4年次			
					単位	単位	単位	単位			
					前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期			
6 国際言語科	複 外 地 域 語 言 語 学	国際言語英語	GE Elective E	214081		④			2		[2×2] E:日本語教育 (Teaching Japanese) F:その他(Others)
			GE Elective F	214082		④			2		
		ヨーロッパ言語	フ ラ ン ス 語 集 中 コ ア	214083	②				1		[2×2]
			フランス語集中イメージョン	214084	②				1		[2×2]
			ド イ ツ 語 集 中 コ ア	214085	②				1		[2×2]
			ドイツ語集中イメージョン	214086	②				1		[2×2]
			ス ペ イ ン 語 集 中 コ ア	214087	②				1		[2×2]
			スペイン語集中イメージョン	214088	②				1		[2×2]
			フ ラ ン ス 語 中 級 コ ア a	214089		①			2		
			フ ラ ン ス 語 中 級 コ ア b	214090		①			2	◎	
			ド イ ツ 語 中 級 コ ア a	214091		①			2		
			ド イ ツ 語 中 級 コ ア b	214092		①			2	◎	
			ス ペ イ ン 語 中 級 コ ア a	214093		①			2		
			ス ペ イ ン 語 中 級 コ ア b	214094		①			2	◎	
			フ ラ ン ス 語 中 上 級 コ ア a	214095			①		3		
			フ ラ ン ス 語 中 上 級 コ ア b	214096			①		3	◎	
			ド イ ツ 語 中 上 級 コ ア a	214097			①		3		
			ド イ ツ 語 中 上 級 コ ア b	214098			①		3	◎	
			ス ペ イ ン 語 中 上 級 コ ア a	214099			①		3		
			ス ペ イ ン 語 中 上 級 コ ア b	214100			①		3	◎	
		ボストン	French Immersion	214101		②			2		[2×2]
			German Immersion	214102		②			2		[2×2]
			Spanish Immersion	214103		②			2		[2×2]
		海外語学演習	海 外 語 学 演 習 (英 語) I~X	214104	② ②	② ②	② ②	② ②	2・3		
			海 外 語 学 演 習 (フ ラ ン ス 語) I~X	214105	② ②	② ②	② ②	② ②	2・3		
			海 外 語 学 演 習 (ド イ ツ 語) I~X	214106	② ②	② ②	② ②	② ②	2・3		
			海 外 語 学 演 習 (ス ペ イ ン 語) I~X	214107	② ②	② ②	② ②	② ②	2・3		
		アジア言語	中 国 語 集 中 コ ア	214108	②				1		[2×2]
			中国語集中イメージョン	214109	②				1		[2×2]
			中国語集中実践	214110	②				1		[2×2]
			韓 国 語 集 中 コ ア	214111	②				1		[2×2]
			韓国語集中イメージョン	214112	②				1		[2×2]
			韓国語集中実践	214113	②				1		[2×2]
			中 国 語 中 級 コ ア a	214114		①			2		
			中国語中級コア b	214115		①			2		
			中国語中級イメージョン a	214116		①			2	◎	
			中国語中級イメージョン b	214117		①			2	◎	
			中国語中級実践 a	214118		①			2	◎	
			中国語中級実践 b	214119		①			2	◎	
			韓 国 語 中 級 コ ア a	214120		①			2		
			韓国語中級コア b	214121		①			2		

授 業 科 目				整 理 番 号	学 年								開 講 中心 年次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考	
					1年次		2年次		3年次		4年次				開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学学生のみ ②◎印は他学科学学生履修可 ③○学印は学部内他学科学学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦#印は一般教養にならない	
					単位		単位		単位		単位					
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期				
複 言 語	外 国 語	地 域 言 語	ア ジ ア 言 語	韓 国 語 中 級 イ マ ー ジ ョ ン a	214122			①					2	◎	1 年前期もしくは後期の いずれかに履修する	
				韓 国 語 中 級 イ マ ー ジ ョ ン b	214123			①					2	◎		
				韓 国 語 中 級 実 践 a	214124			①					2	◎		
				韓 国 語 中 級 実 践 b	214125			①					2	◎		
				中 国 語 上 級 コ ア a	214126					①			3			
				中 国 語 上 級 コ ア b	214127					①			3	◎		
				時 事 中 国 語	214128						①		4			
				中 国 語 特 論	214129						①		3			
				韓 国 語 上 級 コ ア a	214130					①			3			
				韓 国 語 上 級 コ ア b	214131					①			3	◎		
	海 外 語 学 演 習	海 外 語 学 演 習 (中 国 語) I ~ X	214132	②	②	②	②	②	②	②	②	2・3				
		海 外 語 学 演 習 (韓 国 語) I ~ X	214133	②	②	②	②	②	②	②	②	2・3				
	日 本 語		文 章 ト レ ニ ン グ 基 礎	214134	1	1						1	★			
			ス ピ ー チ ト レ ニ ン グ 基 礎	214135	1	1						1	★			
			文章トレーニング各論 (ビジネス文章)	214136			①		①			2・3	◎学同			(日文)
			スピーチトレーニング各論 (プレゼンテーション)	214137				①		①		2・3	◎学同			(日文)
			スピーチトレーニング各論 (朗読)	214138				①		①		2・3	◎学同			(日文)
国 際 社 会 ・ 多 文 化 共 生			言 語 文 化 総 論	214139	2							1		[2×2]		
			国 際 社 会 入 門	214140	2							1				
			異 文 化 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	214141	2							1		日本語教育関連科目		
			比 較 社 会 論	214142	②							1	◎			
			比 較 文 化 論	214143		②						1	◎			
			世 界 の 開 発 と 環 境	214144		②						1	◎			
			新 聞 で 知 る 日 本 と 世 界	214145	②		②					1	同	(現代)		
			文 化 人 類 学 概 論	214146	②	②	②	②				1	◎同	(歴史 ・ 心理 ・ 現代)		
			多 文 化 共 生 論	214147				②				2	◎			
			国 際 社 会 論 I (こ と ば と 社 会)	214148				②				2	◎	日本語教育関連科目		
			国際社会論Ⅱ (グローバル ・ ソサエティー)	214149				②				2	◎			
			国 際 社 会 論 Ⅲ (世 界 の 宗 教)	214150	②		②					2	◎			
			現 代 日 本 の 国 際 関 係	214151			②		②			2	同	(現代)		
			国 際 機 関 の 歴 史	214152				②		②		3	◎			
			国 際 社 会 と 法	214153	②		②		②		②	3	同	(歴史 ・ 心理 ・ 現代 ・ 法学概論 (国際法を含む))		
	外 国 語 で 学 ぶ	異文化コミュニケーション (英 語)	214154			②		②			3	◎同	(英コミ)			
		開 発 と 環 境 (英 語)	214155					②			3	◎同	(英コミ)			
開 発 援 助 (英 語)		214156				②		②		3	◎同	(英コミ)				
NPO の 組 織 と 活 動 (英 語)		214157						②		3	◎同	(英コミ)				
世 界 の 英 語 (英 語)		214158					②			3	◎同	(英コミ)				
日 本 研 究		日本社会概論Ⅰ (外 から 見た 日本)	214159		②						1					
		日本社会概論Ⅱ (多文化社会としての日本)	214160	②							1	◎				
		民 俗 学 概 論	214161	②	②	②	②				1	同	(歴史)			
		日 本 の 社 会 と ビ ジ ネ ス	214162		②		②				1	同	(現代) オムニバス			

授 業 科 目		整 理 番 号	学 年				開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考
			1年次	2年次	3年次	4年次			
			単位	単位	単位	単位			
			前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
日本研究	現 代 政 治 論	214163		②	②	②	2・3	同	(現代) 隔年開講
	日 本 の サ プ カ ル チ ャ ー 論	214164	②				1	◎	
	日 本 近 現 代 史	214165	② ②	② ②	② ②	② ②	2	◎同	
	日 本 近 現 代 史 特 論	214166	② ②	② ②	② ②	② ②	2	◎同	
	外 か ら み た 日 本 文 学	214167		② ②	② ②	② ②	3	◎同	
	日 本 社 会 概 論 (英 語)	214168			②		3	◎	
	日 本 経 済 と ビ ジ ネ ス (英 語)	214169			②		3	◎同	
	日 本 近 現 代 史 (英 語)	214170		② ②	② ②	②	3	◎	
	日 本 の 女 性 と 労 働 (英 語)	214171		②	②		3	◎	
	外 か ら み た 日 本 (英 語)	214172		②	②		3	◎	
地域研究	アメリカ・ヨーロッパ	ア メ リ カ の 政 治 と 社 会	② ②				1・2	◎	(英コミ)
		ア メ リ カ 現 代 史	② ②				1・2	◎	
		ア メ リ カ の 社 会 と 文 化		②	②		2・3	◎学同	
		ア メ リ カ の 社 会 と 宗 教		②	②		2・3	◎学同	
		ラ テ ン ア メ リ カ の 政 治 と 社 会		②	②		2・3	◎学	
		ラ テ ン ア メ リ カ 現 代 史		②	②		2・3		
		E U の 政 治 と 経 済		②	②		2・3		
		ヨ ー ロ ッ パ の 外 国 語 教 育		②	②		2・3		
		イ ギ リ ス の 社 会 と 文 化		②	②		2・3	◎学	
		フ ラ ン ス の 社 会 と 文 化		②	②		2・3	◎学	
	外国語で学ぶ	ア メ リ カ 現 代 史 (英 語)		②	②		3	同	(英コミ)
		ア メ リ カ の 政 治 と 社 会 (英 語)			②		3	同	(英コミ)
		ア メ リ カ の 社 会 と 移 民 (英 語)			②		3	同	(英コミ)
		フ ラ ン ス の 社 会 と 文 化 (フ ラ ン ス 語)			②		3	◎学	
		ド イ ツ の 社 会 と 文 化 (ド イ ツ 語)			②		3	◎学	
		ラ テ ン ア メ リ カ の 社 会 と 文 化 (ス ペ イ ン 語)			②		3	◎学	
	アジア	中 国 現 代 史		②	②		2・3		(歴史)
		中 国 の 国 家 と 民 族		②	②		2・3		
		中 国 の 開 発 と 環 境		②	②		2・3		
		韓 国 の 社 会 と 文 化		②	②		2・3	◎学	
		韓 国 の 社 会 と ビ ジ ネ ス		②	②		2・3	◎学	
		東 南 ア ジ ア の 政 治 と 経 済		②	②		2・3		
		東 南 ア ジ ア の 社 会 と 文 化		②	②		2・3	◎学	
		東 シ ナ 海 文 化 交 流 史	② ②	② ②	② ②	② ②	2	◎同	
	外国語で学ぶ	中 国 の 現 代 社 会 (中 国 語)			②		3	◎学	
		中 国 の 社 会 と 言 語 (中 国 語)			②		3	◎	
		中 国 現 代 史 (中 国 語)			②		3		
		韓 国 の 社 会 と 文 化 (韓 国 語)			②		3	◎学	
		現 代 東 ア ジ ア の 政 治 と 社 会 (英 語)		②	②		3	◎学	
国際貢献	国 際 協 力 入 門	214202		2			1		
地域貢献	N G O 活 動 と 国 際 貢 献	214203		②			2	◎	

開設単位:
 ① 無印は必修科目
 ② 〇印は選択科目
 履修可能範囲:
 ① 無印は本学科学生のみ
 ② 〇印は他学科学生履修可
 ③ ◎学印は学部内他学科学生履修可
 ④ □印は同系列学生履修可
 ⑤ 同印は同時開設科目
 ⑥ ★印は前後期同一内容
 ⑦ #印は一般教養にならない

授 業 科 目		整 理 番 号	学 年								開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考		
			1年次		2年次		3年次		4年次				開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学学生のみ ②○印は他学科学学生履修可 ③◎印は学部内他学科学学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦#印は一般教養にならない		
			単位		単位		単位		単位						
			前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期					
国際貢献・地域貢献	開 発 援 助 と 経 済	214204				②					2	◎	(教養) (教養) 受講条件:「ボランティア論」の単位を修得済みのこと。 (福祉) (福祉) 受講条件:「ボランティア論」の単位を修得済みであることが望ましい。		
	NPO マ ネ ジ メ ン ト 入 門	214205				②					2	◎			
	ボ ラ ン テ ィ ア 論	214206	②			②		②			1	同			
	コミュニティ・サービスラーニング(ボランティア論)	214207		②		②		②		②	—	同			
	国 際 福 祉 論	214208						②		②	3・4	◎同			
	福 祉 N P O	214209						②		②	3・4	◎同			
	国 際 ボ ラ ン テ ィ ア (単 位 認 定)	214210				②	②	②	②	②	②	2・3・4			
	NPO/NGO インターンシップ(単位認定)	214211				②	②	②	②	②	②	2・3・4			
グローバルキャリア(国際学科専用教養科目)	ビジネス	現 代 企 業 論 (組 織 と 戦 略)	214212				②		②			2	◎同	(現代)	
		企 業 と 広 報	214213	②			②					1	◎同	(現代)	
		グ ロー バ ル マ ー ケ テ ィ ン グ I	214214				②		②			2・3	◎学		
		グ ロー バ ル マ ー ケ テ ィ ン グ II	214215					②	②			2・3	◎学		
		社 会 的 起 業 論	214216							②		3	◎		
		ツ ー リ ズ ム 論	214217						②	②		3	◎学★		
		ホスピタリティ・マネジメント	214218						②	②		3	◎学★		
		顧 客 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	214219						②		②	3	◎学		
		Study Abroad Preparation	214220		②							1	◎同	(英コミ)	
		世 界 ビ ジ ネ ス 事 情	214221							②		3	◎学		
		Business Communication A	214222						②		②	3	同	(英コミ)	
		Business Communication B	214223							②		②	3	同	(英コミ)
		日 英 逐 次 通 訳 研 究 I	214224						②			3	◎同	(英コミ)	
		日 英 逐 次 通 訳 研 究 II	214225							②		3	◎同	(英コミ)	
		日英翻訳研究(フィクション)I	214226						②		②	1・2	同	(英コミ)	
		日英翻訳研究(フィクション)II	214227							②		②	1・2	同	(英コミ)
		日英翻訳研究(ノンフィクション)	214228							②			3	同	(英コミ)
		通 訳 実 践 ト レ ー ニ ン グ	214229							②		②	3	同	(英コミ)
		国内・海外企業インターンシップ(単位認定)	214230				②	②	②	②	②	②	2・3・4		
	情報	メディアコミュニケーションI(文書作成、データ管理)	214231	1								1			
		メディアコミュニケーションII(情報検索、メール作成、SNS)	214232		1							1			
		メディアコミュニケーションIII(効果的なプレゼンテーション)	214233				①					2	◎学		
		メディアコミュニケーションIV(Web制作)	214234					①				2	◎学		
		メ デ ィ ア コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン V	214235						①	①		3	◎学		
		イ メ ー ジ 編 集 I (CG/ 写 真 加 工)	214236				①		①			3	◎学同	(文化:コンピュータスキル B Photoshop Illustrator)	
		イ メ ー ジ 編 集 II (CG/ 写 真 加 工)	214237					①		①		3	◎学同	(文化:コンピュータスキル B Photoshop Illustrator)	
		W E B デ ザ イ ン A	214238				①		①			3	◎学同	(文化:コンピュータスキル C WEB)	
		W E B デ ザ イ ン B	214239					①		①		3	◎学同	(文化:コンピュータスキル C WEB)	
D T P 編 集 I	214240				①		①			3	◎学同	(文化:コンピュータスキル F デジタル編集)			
D T P 編 集 II	214241					①		①		3	◎学同	(文化:コンピュータスキル F デジタル編集)			
I T と 社 会 の 変 容	214242				②	②	②	②		3	◎学同★	(英コミ)			
メ デ ィ ア リ テ ラ シ ー 概 論	214243							②		②	3	◎学同	(英コミ)		
情 報 技 術 と 倫 理	214244						②		②	3	◎学同	(英コミ)			

授 業 科 目			整 理 番 号	学 年								開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考	
				1年次	2年次	3年次	4年次								
				単位	単位	単位	単位								
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期				
グ ロー バ ル キ ャ リ ア （ 国 際 学 科 専 用 教 養 科 目 ）	文化 地域社会	日 本 語 教 育 概 論 I	214245	②		②					1	◎同	(日文・文化)		
		言 語 政 策 論 I	214246			②		②		②		3	◎同	(日文)	
		言 語 政 策 論 II	214247			②		②		②		3	◎同	(日文)	
		言語と社会	異文化間コミュニケーションI	214248	②		②		②				1	◎同	(日文)
			異文化間コミュニケーションII	214249		②		②		②			1	◎同	(日文)
			社 会 言 語 学	214250		②		②		②		②	2	◎同	(日文)
		言語と心理	第 二 言 語 教 育 概 説	214251	②		②		②				2	◎同	(日文・文化)
	第 二 言 語 習 得 論		214252		②		②		②			2	◎同	(日文・文化)	
	日本語教育	言語と教育	日 本 語 教 育 概 論 II	214253		②		②					1	◎同	(日文・文化)
			日 本 語 教 育 学 I A (音 声)	214254	②		②		②				2	◎同	(日文・文化)
			日 本 語 教 育 学 I B (書 写)	214255			②		②				2	◎同	(日文・文化)
			日 本 語 教 育 学 I C (文 法)	214256	②	②	②	②	②	②			2	◎同	(日文・文化)
			日 本 語 教 育 学 II A (聴 解・会 話)	214257				②		②		②	3	◎同	(日文) 隔年開講
			日 本 語 教 育 学 II B (作 文・読 解)	214258			②	②	②	②			3	◎同	(日文)
			日 本 語 教 育 学 II C (教 材・教 具)	214259				②		②			2	◎同	(日文)
		コ ー ス デ ザ イ ン・評 価 論	214260				②		②		②	3	◎同	(日文) 隔年開講	
		日 本 語 教 育 指 導 方 法 論	214261			②		②				2	◎同	(日文・文化)	
		日 本 語 教 育 実 習 I (教 壇 'YY)	214262					①	①	①	①	3	◎同	(日文)	
		日 本 語 教 育 実 習 II (教 壇 'YY)	214263					①	①	①	①	3	◎同	(日文)	
		日 本 語 教 育 実 習 (個 別 'YY)	214264			①	①	①	①	①	①	3	◎同	(日文)	
		日 本 語 教 育 実 習 (海 外 'YY)	214265			①	①	①	①	①	①	3	◎同	(日文)	
		言語	日 本 語 教 育 言 語 分 析 法 研 究	214266	②		②		②		②		2	◎同	(日文・文化)
	日 本 語 文 法 論		214267	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎同	(日文・文化)	
	日 本 語 表 現 法		214268		②		②		②			2	◎同	(日文・文化)	
	日 英 対 照 研 究		214269				②		②		②	3	◎同	(日文・文化)	
	日 韓 対 照 研 究		214270				②		②		②	3	◎同	(日文)	
	日 中 対 照 研 究		214271				②		②		②	3	◎同	(日文)	
	卒業演習		比 較 文 化 演 習 A I ～ Ⅲ	214272					①	①	①	3・4		3 単位以上 選択必修	
比 較 文 化 演 習 B I ～ Ⅲ			214273					①	①	①	3・4				
比 較 社 会 演 習 I ～ Ⅲ			214274					①	①	①	3・4				
国 際 協 力 演 習 I ～ Ⅲ			214275					①	①	①	3・4				
NPOマ ネ ジ メ ン ト 演 習 I ～ Ⅲ			214276					①	①	①	3・4				
地 域 演 習 A (ア メ リ カ) I ～ Ⅲ			214277					①	①	①	3・4				
地 域 演 習 B (ア メ リ カ) I ～ Ⅲ			214278					①	①	①	3・4				
地 域 演 習 C (ヨ ー ロ ッ パ) I ～ Ⅲ			214279					①	①	①	3・4				
地 域 演 習 D (ヨ ー ロ ッ パ) I ～ Ⅲ			214280					①	①	①	3・4				
地 域 演 習 E (中 国) I ～ Ⅲ			214281					①	①	①	3・4				
地 域 演 習 F (韓 国) I ～ Ⅲ			214282					①	①	①	3・4				
日 本 社 会 演 習 I ～ Ⅲ			214283					①	①	①	3・4				
言語コミュニケーション演習I～Ⅲ			214284					①	①	①	3・4				
卒 業 論 文 ・ 卒 業 プ ロ ジ ェ ク ト		214285							6	4					

備考

開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学印は学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前・後期同一内容
⑦#印は一般教養にならない

日本語教育実習4科目
(YY)には、年度(西
暦)が表記される。
複数回履修可。

授 業 科 目			整 理 番 号	学 年				開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考
				1年次	2年次	3年次	4年次			
				単位	単位	単位	単位			
資格関連	社会調査士	社会科学と社会調査	214286		②	②		2	同	(人間社会学部) 社会調査士 A
		社会調査の理論と方法	214287		②	②		2・3	同	(人間社会学部) 社会調査士 B
		情報機器の操作とデータ分析	214288	②				1	同	(人間社会学部) 社会調査士 C
		社会経済統計Ⅰ	214289		② ②	② ②	②	3	同	(人間社会学部) 社会調査士 D
		社会経済統計Ⅱ	214290		②	② ②	② ②	3・4	同	(人間社会学部) 社会調査士 E
		フィールドワークと質的分析	214291		②	②		2・3	同	(人間社会学部) 社会調査士 F
		社会調査実習Ⅰ	214292			② ②	②	3・4	同	(人間社会学部) 社会調査士 G
		社会調査実習Ⅱ	214293			②	② ②	3・4	同	(人間社会学部) 社会調査士 G
	教職科目(英語)	ことばの成り立ちと仕組み	214294			②	②	3	同	(英コミ: 形態論)
		社会言語学(言葉と場面)	214295			②	②	3	同	(英コミ: 社会言語学)
		ことばと教育	214296		②	②	②	3	同	(英コミ)
		20世紀アメリカ小説C	214297		②	②	②	3	同	(英コミ: アメリカ散文 A)
		20世紀アメリカ小説D	214298		②	②	②	3	同	(英コミ: アメリカ散文 B)
		19世紀イギリス小説(ヴィクトリア朝の肖像)	214299		② ②	② ②	② ②	3	同	(英コミ: イギリス散文 A・イギリス散文 B)

1. 「グローバルキャリア(国際学科専用教養科目)」は学科専用の一般教養科目。但し、必修科目については専門科目となる。

2. 認定留学について

上海交通大学留学プログラム、ソウル女子大学留学プログラム、および大学が認定する留学プログラムにおいて修得した単位は、留学期間 1 セメスター 15 単位、2 セメスター 30 単位を上限として卒業要件単位として認める。

3. 日本語関連科目について

国際学科開設選択科目の中で「日本語教育関連科目」の表示がある科目は日本語教育専攻に必要な科目として読み替えること(ダブルカウント)ができる。なお、詳細については日本語日本文学科に問い合わせること。

○語学単位認定について

本学科では下記の資格と TOEIC®(IP テストを含む)のスコアを専門科目の卒業要件単位として認定しています。認定される単位数は以下の通りとします。

単位	英語		フランス語	ドイツ語		スペイン語	韓国語		中国語
	TOEIC®	実用英語技能検定	実用フランス語技能検定	ドイツ語技能検定	ドイツ語統一試験	スペイン語技能検定試験	「ハングル」能力検定試験	韓国語能力試験	中国語検定
1単位	650点以上	—	3級	3級	ZD	4級	—	—	3級
2単位	730点以上	準1級	2級	2級	—	3級	2級	5級	2級
4単位	850点以上	1級	準1級	準1級	ZMP	2級	1級	6級	準1級

注1: 認定される単位は最高4単位までとし、下位の認定を受けたものがさらに上位の「級」または「スコア」を取得した場合には既得認定単位との差が加算される。

注2: 同一言語で2つの検定を取得した場合は、高いレベルのどちらか一方の単位を認定する。

○社会調査士について(国際学科の場合)

社会調査士は、下記の表にある科目の単位を取得し大学を卒業することによって、資格を取得できます。ただし、EとFはどちらかひとつを選択してください。なお、履修にあたっては、A・B科目を履修した後にG科目を、C・D科目を履修した後にE科目を履修してください。Fは履修順序に関係なく履修することができます。

	科目名	備 考
A	社会科学と社会調査	社会調査の基本的事項に関する科目
B	社会調査の理論と方法	調査設計と実施方法に関する科目
C	情報機器の操作とデータ分析	基本的な資料とデータの分析に関する科目
D	社会経済統計Ⅰ	社会調査に必要な統計学に関する科目
E	社会経済統計Ⅱ	量的データ解析の方法に関する科目
F	フィールドワークと質的分析	質的な分析の方法に関する科目
G	社会調査実習Ⅰ	社会調査の実習を中心とする科目
	社会調査実習Ⅱ	

7. 心理学科

授 業 科 目			整理番号	学 年								開講中心年次	履修可能範囲等	備 考	
				1年次		2年次		3年次		4年次					
				単位		単位		単位		単位					
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期				
学部共通科目	人間社会学総論	社 会 を み る 目Ⅰ	221001	②		②		②			1・2	同	現代教養分野※ 福祉社会分野※ 初等教育分野※ (現代・福祉・初教) ※少なくとも2分野から 各2単位、合計4単位 以上選択必修		
		社 会 を み る 目Ⅱ	221002		②		②		②		1・2	同			
		経 済 を み る 目Ⅰ	221003	②		②		②			1・2	同			
		経 済 を み る 目Ⅱ	221004		②		②		②		1・2	同			
		社 会 福 祉Ⅰ	221005	②		②		②			1・2	同			
		社 会 福 祉Ⅱ	221006	②		②		②			1・2	同			
		教 育 学 概 説Ⅰ	221007	②		②		②			1・2	同			
		教 育 学 概 説Ⅱ	221008		②		②		②		1・2	同			
総論		心 理 学 概 説Ⅰ	221009	2						1	同	(現代・福祉・初教)			
		心 理 学 概 説Ⅱ	221010		2					1	同	(現代・福祉・初教)			
		発 達 心 理 学	221011	2						1					
		社 会 心 理 学	221012		2					1					
		臨 床 心 理 学	221013			2				2					
研究法		心 理 基 礎 実 験	221014	2						1		[4]			
		心 理 統 計 法	221015		2					1		社会調査士D			
		デ ー タ 解 析 実 習Ⅰ	221016			2				2		社会調査士C			
		デ ー タ 解 析 実 習Ⅱ	221017				2			2		社会調査士E			
		心 理 学 研 究 法	221018			2				2					
		心 理 臨 床 面 接 実 習	221019					②	②	3		[4]			
		心 理 実 験 法 実 習	221020					②	②	3		[4]			
		質 問 紙 調 査 法 実 習	221021					②	②	②	②	3	★社会調査士G [4]		
		心 理 査 定 法 実 習	221022					②		②	3	[4]			
各論		アメリカ心理学事情(ボストンサマーセッション)	221023	②		②		②		②	—		前・後期を通年でとること *注1 20単位以上選択必修 隔年開講 隔年開講 (福祉:前期のみ「精神疾患とその治療」)		
		心理支援コミュニティ・サービスマーケティング	221024	②		②		②		②	2				
		児 童 心 理 学	221025		②		②		②		②	1		◎	
		青 年 心 理 学	221026		②		②		②		②	1		◎	
		乳 幼 児 心 理 学	221027		②		②		②		②	1			
		学 習 心 理 学	221028				②		②		②	2		◎	
		家 族 葛 藤 の 心 理 学	221029				②		②		②	2			
		家 族 心 理 学	221030				②		②		②	2			
		感 情 心 理 学	221031				②		②		②	2			
		教 育 心 理 学	221032				②		②		②	2		◎	
		広 告 と 消 費 の 心 理 学	221033				②		②		②	2			
		災 害 の 社 会 心 理 学	221034				②		②		②	2		◎	
		産 業 組 織 心 理 学	221035				②		②		②	2			
		思 考 心 理 学	221036				②		②		②	2			
		集 団 の 社 会 心 理 学	221037				②		②		②	2		◎	
		人 格 心 理 学	221038				②		②		②	2			
		精 神 医 学	221039				②	②	②	②	②	②		2	同
	生 理 心 理 学	221040				②		②		②	2				

授 業 科 目		整理番号	学 年								開講 中心 年次	履修 可能 範囲等	備 考	
			1年次		2年次		3年次		4年次					
			単位		単位		単位		単位					
			前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期				
各 論	対 人 関 係 論	221041				②		②		②	2	◎		
	認 知 心 理 学	221042				②		②		②	2			
	発 達 臨 床 心 理 学	221043				②		②		②	2			
	比 較 行 動 学（心 理）	221044				②		②		②	2	◎		
	非 行 臨 床 心 理 学	221045				②		②		②	2			
	マスコミュニケーションの社会心理学	221046				②		②		②	2	◎		
	臨 床 心 理 面 接	221047							②		②	3		
	臨 床 心 理 地 域 援 助	221048							②		②	3		
	観 光 心 理 学	221049						②		②		3		
	健 康 心 理 学	221050						②		②		3		
	心 理 ア セ ス メ ン ト	221051						②		②		3		
	心 理 学 外 書 講 読	221052						②		②		3		
	精 神 分 析 理 論	221053							②		②	3		
	犯 罪 心 理 学	221054							②		②	3		
演 習	心 理 学 入 門 演 習	221055				2					2		2単位必修	
	心 理 学 基 礎 演 習	221056						2	2		3		4単位必修	
	臨 床 心 理 学 演 習 A	221057								②	②	4	4単位以上選択必修	
	臨 床 心 理 学 演 習 B	221058								②	②	4		
	臨 床 心 理 学 演 習 C	221059								②	②	4		
	臨 床 心 理 学 演 習 D	221060								②	②	4		
	臨 床 心 理 学 演 習 E	221061								②	②	4		
	社 会 心 理 学 演 習 A	221062								②	②	4		
	社 会 心 理 学 演 習 B	221063								②	②	4		
	社 会 心 理 学 演 習 C	221064								②	②	4		
	社 会 心 理 学 演 習 D	221065								②	②	4		
	発 達 心 理 学 演 習 A	221066								②	②	4		
	発 達 心 理 学 演 習 B	221067								②	②	4		
	発 達 心 理 学 演 習 C	221068								②	②	4		
	発 達 心 理 学 演 習 D	221069								②	②	4		
	認 知 心 理 学 演 習 A	221070								②	②	4		
	認 知 心 理 学 演 習 B	221071								②	②	4		
卒 業 論 文		221072								8	4			
教 科 専 門 科 目 *注2	法 学 概 論 (国 際 法 を 含 む)	221073	②		②		②		②		3	同	(歴文・国際・現代)	
	現 代 政 治 論	221074			②		②		②		3	同	(歴文・現代・国際) 隔年開講	
	現 代 社 会 と 社 会 学	221075		②		②		②		②	2	同	(現代)	
	現 代 社 会 論	221076						②		②	3	同◎	(現代)	
	哲 学 概 論	221077	②	②	②	②	②	②			1	同	(教養・現代)	
	倫 理 学 概 論	221078	②	②	②	②	②	②	②	②	3	同	(歴文・現代)	
	歴 史 学 概 論	221079	②		②		②				1	同	(歴文・現代)【教職履修者のみ履修可】	
	日 本 史 通 論	221080			②		②		②		2	同	(歴文・現代)【教職履修者のみ履修可】	

授 業 科 目		整理番号	学 年								開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考
			1年次		2年次		3年次		4年次				開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②○印は他学科学生履修可 ③◎学印は学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦#印は一般教養にならない
			単位		単位		単位		単位				
			前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
教科専門科目 *注2	世 界 史 通 論	221081			②		②		②	3	同	(歴史・現代)【教職履修者のみ履修可】	
	日 本 中 世 史	221082	②	②	②	②	②	②		2	同◎	(歴史・現代)	
	日 本 近 世 史	221083	②	②	②	②	②	②		1	同◎	(歴史・現代) 隔年開講	
	日 本 近 現 代 史	221084	②	②	②	②	②	②	②	2	同◎	(歴史・現代・国際)	
	古 代 オ リ エ ント 文 化 史	221085	②	②	②	②	②	②	②	3	同◎	(歴史・現代) 隔年開講	
	東 洋 史 概 説	221086	②	②	②	②	②	②		1	同◎	(歴史・現代)	
	人 文 地 理 学 概 論	221087	②	②	②	②	②	②		1	同◎	(歴史・現代)	
	自 然 地 理 学 概 論	221088	②	②	②	②	②	②		1	同◎	(歴史・現代)	
	地 誌 通 論A－日 本 地 誌－	221089	②		②		②			2	同◎	(歴史・現代)	
	地 誌 通 論B－世 界 地 誌－	221090		②		②		②		2	同◎	(歴史・現代)	
	日 本 女 性 史	221091	②	②	②	②	②	②		2	同	(歴史・現代)	
	比 較 女 性 史 論	221092		②		②		②		②	2	同◎	(歴史・現代) 隔年開講
	文 化 人 類 学 概 論	221093	②	②	②	②				1	同◎	(歴史・現代・国際)	
	キ リ ス ト 教 文 化 史	221094	②	②	②	②	②	②	②	②	3	同	(歴史・現代)隔年開講【教職履修者のみ履修可】
禅 と 日 本 文 化	221095	②	②	②	②	②	②	②	②	2	同◎	(歴史・現代)	
社会調査士	社 会 科 学 と 社 会 調 査	221096			②		②		②	2・3	同	社会調査士A (現代・福祉・初教・国際)	
	社 会 調 査 の 理 論 と 方 法	221097			②		②		②	2・3		社会調査士B	
	フ ィ ー ル ド ワ ー ク と 質 的 分 析	221098			②		②		②	2・3	同	社会調査士F (現代・福祉・初教・国際)	

*注1 必修および選択必修の最低単位数以外にさらに 10 単位の履修が必要。

教育職員免許状が社会調査士資格の取得を目指さない者は、10 単位分を各論から履修することが望ましい。

*注2 心理学の教科専門科目に記載されている科目は、他学科の授業科目一覧表中で、◎がついていても一般教養科目として履修することができないため充分に注意すること。

○社会調査士について（心理学科）

社会調査士は、下記の表にある科目の単位を修得し大学を卒業することによって、資格を取得できます。EとFは選択制ですのでどちらかを取得すればよいことになっています。なお、履修にあたっては、C・D科目を履修した後にE科目を履修してください。また、G科目の履修にあたっては、A・B科目を履修済みであることが望ましく、少なくとも同時に履修中であるようにしてください。Fは履修順序に関係なく履修することができます。

	科目名	開講年次・学期	備考
A	社会科学と社会調査	2・3年 前期	社会調査の基本的事項に関する科目
B	社会調査の理論と方法	2・3年 前期	調査設計と実施方法に関する科目
C	データ解析実習Ⅰ	2年 前期	基本的な資料とデータの分析に関する科目
D	心理統計法	1年 後期	社会調査に必要な統計学に関する科目
E	データ解析実習Ⅱ	2年 後期	量的データ解析の方法に関する科目
F	フィールドワークと質的分析	2・3年 後期	質的な分析の方法に関する科目
G	質問紙調査法実習	3・4年 前・後期	社会調査の実習を中心とする科目

○認定心理士資格取得に必要な科目

認定心理士の資格認定に必要な単位は「基礎科目」と「選択科目」の2種に「その他の科目」を加えた3種類に分類されています。このうち、「基礎科目」は3領域の合計で最低12単位以上、「選択科目」は5領域の合計で最低16単位以上、および「その他」の心理学関係の単位を加えた総計36単位以上の単位が必要と決められています。

aからiまでのカテゴリごとに、心理学科で開設している該当科目を以下に示しました。**太字科目**は必修科目、その他の科目は選択必修科目です。

①基礎科目 下記3領域について、a、bは各4単位、cは3単位以上を含む基礎科目合計12単位以上であること

- a. 心理学概論 …………… **心理学概説Ⅰ**、**心理学概説Ⅱ**
- b. 心理学研究法 …………… **心理統計法**、**データ解析実習Ⅰ**、**データ解析実習Ⅱ**、**心理学研究法**
- c. 心理学実験・実習 …………… **心理基礎実験**、**心理実験法実習**、**心理査定法実習**、**心理臨床面接実習**

②選択科目 下記5領域中3領域で各4単位以上を含み、合計16単位以上であること

- d. 知覚心理学・学習心理学 …… **認知心理学**、**学習心理学**、**思考心理学**、**感情心理学**
- e. 生理心理学・比較心理学 …… **生理心理学**、**比較行動学**
- f. 教育心理学・発達心理学 …… **発達心理学**、**教育心理学**、**児童心理学**、**青年心理学**、**発達臨床心理学**、**乳幼児心理学**
- g. 臨床心理学・人格心理学 …… **臨床心理学**、**人格心理学**、**非行臨床心理学**、**健康心理学**、**犯罪心理学**、**心理アセスメント**、**精神医学**、**臨床心理面接**、**臨床心理地域援助**、**精神分析理論**、**心理支援コミュニティ・サービスラーニング**
- h. 社会心理学・産業心理学 …… **社会心理学**、**産業組織心理学**、**広告と消費の心理学**、**集団の社会心理学**、**対人関係論**、**マスコミュニケーションの社会心理学**、**家族葛藤の心理学**、**家族心理学**、**質問紙調査法実習**、**観光心理学**、**災害の社会心理学**

③その他の科目（最大4単位認定：①と②の合計単位数が36単位以上の場合には必ずしも必要ではない）

- i. 心理学関連科目、卒業論文・卒業研究 …… **心理学外書講読**、**卒業論文**

④総単位 総計36単位以上

（社団法人日本心理学会 HP 参照）

8. 福祉社会学科

授 業 科 目			整理番号	学 年				開講 中心 年次	履修可能範囲等	コース別 履修方法	備 考	
				1年次	2年次	3年次	4年次					
				単位	単位	単位	単位					
				前・後 期 期	前・後 期 期	前・後 期 期	前・後 期 期					
学部共通科目	人間社会学総論	社 会 を み る 目Ⅰ	222001	②	②			1・2	同		現代 教養 分野	(現代・心理・初教) ※少なくとも2分野から 2単位、合計4単位 以上選択必修
		社 会 を み る 目Ⅱ	222002	②	②			1・2	同			
		経 済 を み る 目Ⅰ	222003	②	②			1・2	同			
		経 済 を み る 目Ⅱ	222004	②	②			1・2	同			
		心 理 学 概 説Ⅰ	222005	②	②			1・2	同			
		心 理 学 概 説Ⅱ	222006	②	②			1・2	同			
		社 会 心 理 学	222007	②	②			1・2	同			
		教 育 学 概 説Ⅰ	222008	②	②			1・2	同			
教 育 学 概 説Ⅱ	222009	②	②			1・2	同		初等 教育 分野			
学科共通科目	福 祉 社 会 総 論	222010	2					1			※(教養)「ボランティア論」と重複しての履修不可 学科推奨科目 一般教養科目としても履修可(注)参照 ※受講条件：「福祉社会とボランティア」または (教養)「ボランティア論」の単位を取得済みのこと	
	福祉社会とボランティア	222011	2	②				1	◎(後期) ★			
	コミュニティサービシング(福祉社会とボランティア)	222012		②				1	◎			
	社 会 福 祉Ⅰ	222013	②	②				1・2	同			(現代・心理・初教)
	社 会 福 祉Ⅱ	222014	②	②				1・2	同			(現代・心理・初教)
	現 代 社 会 と 福 祉	222015	2	2				1	同(前期)			(初教「社会福祉原論」)
	地 域 福 祉 の 理 論 と 方 法	222016	②					1	同			(初教「地域福祉論」)
	社 会 保 障	222017	②	②				1				
	低所得者に対する支援と生活保護制度	222018			②				2			
	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	222019		②					1			
	高齢者に対する支援と介護保険制度	222020	②	②					1			
	障害者に対する支援と障害者自立支援制度	222021	②						1			
	女性に対する支援と福祉施策	222022	②	②					1・2	◎		
	心理学理論と心理的支援	222023		②					1			
	社会理論と社会システム	222024		②					1			
	人体の構造と機能及び疾病	222025		②					1			
	加 齢 と 障 害 の 理 解	222026			②				2			一般教養科目としても履修可(注)参照
	養 護 原 理	222027	②						1			
	教 育 原 理(保 育 士)	222028		②					1			
	保 育 内 容 - 言 葉	222029	①	①					1	★		
	保 育 内 容 - 健 康	222030	①	①					1	★		
	保 育 内 容 - 表 現	222031	①	①					1	★		
	子 ど も と 環 境	222032	②	②					1	★		
	対人コミュニケーション	222033	②	②					1	★		
	保育内容総論(保育士)	222034	②	②					1	★		
	保 育 課 程 論	222035		②					1			
音 楽 実 技	222036	①	①					1	同		(初教)	
情報機器の操作とデータ分析	222037		②					1	同		教職資格・社会調査士資格の取得を目指す者優先(国際)	
社 会 調 査 の 基 礎	222038			②	②			2・3				
日 本 の 福 祉 と 社 会	222039		②					1	◎		一般教養科目としても履修可(注)参照	
福 祉 科 教 育 法	222040			②	②	②	②	3	同		(教職) 教職資格の取得を目指す者のみ	

授 業 科 目		整理番号	学 年				開講中心年次	履修可能範囲等	コース別履修方法		備考
			1年次	2年次	3年次	4年次					
			単位	単位	単位	単位					
			前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
学科共通科目	社会福祉総合講座	222041			①	①	①	①	4		開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②○印は他学科学生履修可 ③◎印は学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦#印は一般教養にならない
	海外ボランティア演習	222042	②	②	②	②	—	◎			
	国際福祉演習Ⅰ	222043	①	①	①	①	①	①	—	★	
	国際福祉演習Ⅱ	222044	①	①	①	①	①	①	—	★	
	国際福祉実習Ⅰ	222045	②	②	②	②	②	②	—	★	
	国際福祉実習Ⅱ	222046	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	—	★	
	基礎演習	222047	1					1			
	専門演習Ⅰ	222048			1	1		3			
	専門演習Ⅱ	222049					1	1	4		
	卒業論文	222050					4	4			
コース別専門科目	福祉行政と福祉計画	222051		②				2			(初教「地域施設マネジメント」) 4単位選択必修
	福祉サービスの組織と経営	222052		②				2	同	◆	
	保健医療サービス	222053		②				2		◆	
	就労支援サービス	222054			②			2		◇	
	権利擁護と成年後見制度	222055			②			2		◇	
	更生保護制度	222056		②				2		◇	
	相談援助の基盤と専門職	222057	②	②				1		◆◆	
	相談援助の理論と方法	222058		②	②			2		◆◆	
	相談援助演習Ⅰ	222059		①	①			2			
	相談援助演習Ⅱ	222060				①	①	3			
	相談援助演習Ⅲ	222061					①	4			
	相談援助実習指導Ⅰ	222062			①			2			
	相談援助実習指導Ⅱ	222063				①	①	3			
	相談援助実習	222064				④		3			
	精神保健福祉論	222065				②	②	3		◆	(心理「精神医学」)精神保健福祉士資格取得希望者のみ
	精神疾患とその治療	222066		②				2	同		
	精神保健の課題と支援	222067		②				2			
	精神科リハビリテーション学	222068				②		3			
	精神保健福祉援助技術総論	222069				②		3			
	精神保健福祉援助技術各論	222070					②	3			
	精神保健福祉援助演習	222071				①	①	3			
	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	222072					①	3			
	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	222073						①	①	4	
	精神保健福祉援助実習	222074						④	4		
	臨床ソーシャルワーク論	222075				②		3		◆	精神保健福祉士資格取得希望者のみ
	ソーシャルワーク特別実習	222076						②	4		
	福祉社会と社会政策	222077					②	3		◆	
	福祉マネジメント論	222078		②				2		◆	
福祉キャリアコース専門科目	福祉キャリア論	222079			②			2		◆	精神保健福祉士資格取得希望者のみ
	福祉キャリア演習	222080				②		3		◆	

授 業 科 目		整理番号	学 年				開講 中心 年次	履修 可能 範囲等	コース別 履修方法	備 考	
			1年次	2年次	3年次	4年次					
			単位	単位	単位	単位					
			前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
福祉キャリアコース専門科目	C S R と 福 祉	222081				②		3			開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学学生のみ ②○印は他学科学学生履修可 ③◎印は学部内他学科学学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦#印は一般教養にならない
	コミュニティ・ビジネス論	222082			②			2	◎		
	コミュニティとまちづくり	222083			②			2			
	福 祉 N P O	222084				②	②	3・4	◎同		
	福祉サービスの組織と経営(再掲)	222085		②				2	同		
	福祉行財政と福祉計画(再掲)	222086		②				2			
	行 政 と 地 方 自 治	222087		②	②			2・3	同		
	公 共 政 策 と 文 化	222088			②	②		2・3	同		
	バリアフリーデザイン	222089			②	②		2・3			
	コミュニティとスポーツ	222090				②		3			
	労 働 と ジ ェ ン ダ ー	222091				②	②	3・4	◎同		
	生 活 福 祉 経 営 論	222092		②	②			2・3	同		
	福 祉 社 会 と 地 域	222093				②	②	3・4			
	雇用・労働と社会政策	222094				②	②	3・4	◎同		
	国 際 福 祉 論	222095				②	②	3・4	◎同		
	社 会 経 済 統 計 I	222096		②	②	②	②	2・3・4	同★		
	福 祉 ジ ェ ン ダ ー 統 計 論	222097				②	②	3・4	◎		
	就労支援サービス(再掲)	222098			②			2			
	福 祉 イン タ ー ン シ ッ プ	222099				②	②	3・4			
別 専 門 科 目	保 育 原 論	222100		②				2		◆	※(教養)「コミュニティとまちづくり」と重複しての履修不可 (国際) ※「福祉社会とボランティア」または(教養)「ボランティア論」 を履修済みであることが望ましい。 (初教「地域施設マネジメント」) (現代) (現代) (現代「職業とジェンダー」) (環境・健康「家庭経営学」) (現代「現代社会と労働」) (国際) (現代・国際)
	保 育 者 論	222101			②			2		◆	
	家 族 援 助 論	222102		②				2		◆	
	相談援助の理論と方法(再掲)	222103		②	②			2		◆	
	相 談 援 助 演 習 II (再 掲)	222104				①	①	3			
	養 護 内 容	222105		①	①			2	★		
	乳 児 保 育	222106		②	②			2	★		
	障 害 児 保 育 演 習	222107			②			2			
	保 育 の 心 理 学 I	222108		②				1			
	保 育 の 心 理 学 II	222109		①				2			
	小 児 栄 養	222110		②				2			
	小 児 保 健 I	222111		②	②			2			
	小 児 保 健 II	222112				①		3			
	保 育 相 談 支 援	222113				①		3			
	幼 児 体 育	222114		①	①			2		◆◆	
子ども家庭支援コース専門科目	ア ー ト 基 礎	222115	①	①				1			
	保 育 実 習 I (実 習 指 導)	222116			②			3			履修登録は2年次後期・3年次前期に行い、 成績は3年次前期に評価する
	保 育 実 習 I (保 育 所)	222117				②		3			
	保 育 実 習 I (施 設)	222118				②		3			
	総 合 演 習 (保 育 士)	222119		①	①			2			
	児 童 ・ 家 庭 ソ ー シ ャ ル ワ ー ク	222120				②		3	同	◆	
											(初教)

授 業 科 目			学 年				開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	コース別 履修方法		備 考
			1年次	2年次	3年次	4年次					
			単位	単位	単位	単位					
			前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
コース別専門科目 子ども家庭支援コース専門科目	保育ソーシャルワーク	222121				②		3		◆	開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学学生のみ ②○印は他学科学学生履修可 ③◎印は学部内他学科学学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦#印は一般教養にならない (現代「職業とジェンダー」) (初教) (国際) (初教「地域施設マネジメント」) 2単位選択必修 (国際) ※「福祉社会とボランティア」または(教養) 「ボランティア論」を履修済みであることが望ましい。 2単位選択必修
	労働とジェンダー(再掲)	222122				②	②	3・4	◎同		
	就労支援サービス(再掲)	222123				②		2			
	音楽実技	222124	①	①				1	同		
	保育実習指導Ⅱ	222125					①	4			
	保育実習Ⅱ	222126					②	4			
	保育実習指導Ⅲ	222127					①	4			
	保育実習Ⅲ	222128					②	4			
	国際福祉論(再掲)	222129				②	②	3・4	◎同	◆	
	福祉サービスの組織と経営(再掲)	222130			②			2	同	◇	
	福祉NPO(再掲)	222131				②	②	3・4	◎同	◇	
	野外活動論及び実習	222132	②					1		◇	
社会調査士科目	レクリエーション理論	222133		②				1		◇	
	レクリエーション援助法	222134		②				2		◇	
	社会科学と社会調査	222135			②	②		2・3	同		(現代・心理・初教・国際)
	社会調査の基礎(再掲)	222136			②	②		2・3			
	情報機器の操作とデータ分析(再掲)	222137		②				1	同		(国際)
	社会経済統計Ⅰ(再掲)	222138			②	②	②	2・3・4	同★		(現代・国際) } 人数制限あり
	社会経済統計Ⅱ	222139			②	②	②	2・3・4	同★		(現代・初教・国際) }
	フィールドワークと質的分析	222140			②	②		2・3	同		(現代・心理・初教・国際)
	社会調査実習Ⅰ	222141				②	②	3・4	同★		(現代・初教) 人数制限あり I・Ⅱは連続して履修のこと
	社会調査実習Ⅱ	222142					②	3・4	同★		(現代・初教)

(注)「コミュニティ・サービスマーケティング(福祉社会とボランティア)」「加齢と障害の理解」「日本の福祉と社会」「海外ボランティア演習」は専門科目または一般教養科目として履修可能。履修登録時に専門科目か一般教養科目かを選ぶこと。

- 福祉社会学科の学生は、卒業要件を満たすために、下記の要件に従い合計で80単位以上を履修しなければならない。
 - 学部共通科目から、合計4単位以上履修すること。ただし、「現代教養分野」、「心理分野」、「初等教育分野」の中から2つの分野を選択し、1つの分野から最低2単位を履修すること。
 - 学科共通科目から、必修科目の単位を含め合計29単位以上履修すること。
 - 選択したコース別専門科目の中から、コース別必修科目(◆印)および選択必修科目(◇印)を含め20単位以上履修すること。
 - 学部共通科目4単位、学科共通科目29単位、コース別専門科目20単位を除く他の単位は、学部共通科目、学科共通科目、コース別専門科目、社会調査士科目で満たすこと。ただし、外国語科目4単位を含めてもよい。
 - 2年次4月に「ソーシャルワークコース」、「福祉キャリアコース」、「子ども家庭支援コース」のうちいずれか1つを選択し、登録する(必須)。
- 卒業論文作成にあたっては、原則として所属コースの卒業論文指導教員が開講する「専門演習Ⅰ」及び「専門演習Ⅱ」を履修すること。
卒業論文提出の締切日は卒業年次の11月最終週の水曜日17時までとする。早期卒業者の卒業論文締切日は別途定める。
- 社会福祉士受験資格、精神保健福祉士受験資格、保育士資格、教育職員免許状(福祉)、社会調査士、社会福祉主事、幼稚園教諭一種免許状の各資格取得については、諸資格の記載を参照のこと。
- 社会福祉士受験資格、精神保健福祉士受験資格、保育士の資格取得を希望する学生は、1年次4月に行われる社会福祉実習室のガイダンスに参加し、登録すること。
また、資格取得を取りやめる場合は、理由を付して直ちに社会福祉実習室に登録の取り消しを願い出ること。
社会福祉士受験資格、精神保健福祉士受験資格、保育士の資格取得を希望する学生は、それぞれの実習の履修条件をクリアする必要がある。履修条件については別途内規を定める。
- 幼稚園教諭一種免許状の取得は、子ども家庭支援コース所属の学生に限定し、保育士及び幼稚園教諭一種免許状を取得する目的・意志が明確な者10名以内とする。1年次4月に行われる社会福祉実習室および初等教育学科ガイダンスに参加し、登録すること。
- 資格関連科目については、開講年次に履修しない場合は、4年間で資格取得が不可能になることがある。

9. 現代教養学科

授 業 科 目			整 理 番 号	学 年				開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考
				1年次	2年次	3年次	4年次			
				単位	単位	単位	単位			
				前 後	前 後	前 後	前 後			
				期 期	期 期	期 期	期 期			
学部共通科目	人間社会学総論	心理学概説Ⅰ	223001	②	②			1・2	同	開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学学生のみ ②○印は他学科学学生履修可 ③◎印は学部内他学科学学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦#印は一般教養にならない
		心理学概説Ⅱ	223002		②	②		1・2	同	
		社会心理学	223003		②	②		1・2	同	
		社会福祉Ⅰ(社会福祉哲学)	223004	②	②			1・2	同	
		社会福祉Ⅱ(社会福祉の歴史)	223005	②	②			1・2	同	
		教育学概説Ⅰ	223006	②	②			1・2	同	
		教育学概説Ⅱ	223007		②	②		1・2	同	
学科入門科目群		現代教養入門Ⅰ	223008	1				1		5クラス
		現代教養入門Ⅱ	223009		1			1		5クラス
		社会をみる目Ⅰ	223010	2				1	同	2クラス(心理・福祉・初教)
		社会をみる目Ⅱ	223011		②			1	同	(心理・福祉・初教)
		経済をみる目Ⅰ	223012	2				1	同	2クラス(心理・福祉・初教)
		経済をみる目Ⅱ	223013		2			1	同	2クラス(心理・福祉・初教)
		環境をみる目	223014	2	2			1	★	2クラス(前期1クラス・後期1クラス)
		世界をみる目	223015		2			1		2クラス
		文化をみる目	223016		2			1		2クラス
関心領域科目群	メディア情報	情報とコミュニケーション	223017	②	②			1		(国際・文化) (国際) (文化) 隔年開講
		情報とマーケティング	223018		②	②		1		
	広報	企業と広報	223019	②	②			1	同	
		消費者の行動	223020	②	②			1		
		日本の社会とビジネス	223021		②	②		1	同	
	マーケティング企業と	マーケティングの経済学	223022	②	②			1	◎	
		市場社会の仕組み(ミクロ経済学)	223023		②	②		1	◎	
		マーケティング・リサーチ入門	223024		②	②		1		
		社会貢献と企業メセナ	223025	②	②			1		
	国際事情	新聞で知る日本と世界	223026	②	②			1	同	
		国際理解入門	223027	②	②			1	◎同	
		くらしと地球環境	223028		②	②	②	1		
		食とグローバル社会	223029		②	②		1		
	環境	環境の社会学	223030	②	②			1	◎	
		環境生態学	223031	②	②	②		1		
		環境と国際社会	223032	②	②	②		2		
	地域社会	現代都市事情	223033	②	②			1	◎	
		地域社会の活性化(農村)	223034	②	②			1	◎	
		地域社会のデザイン(都市)	223035		②	②		1	◎	
	ことばと表現	ことばと社会	223036	②	②			1		
		ことばと心	223037		②	②		1		
学科基盤科目		現代社会と社会学	223038		②	②		2	同	(心理) 社会・公民必修
		日本経済と経済学(マクロ経済学)	223039		②	②		2	◎	
		現代の経営と経営学	223040			②	②	2	◎	
		現代経済(世界と日本)	223041			②	②	2		

授 業 科 目		整 理 番 号	学 年				開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考		
			1年次	2年次	3年次	4年次					
			単位	単位	単位	単位					
			前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期					
学 科 基 盤 科 目	現 代 政 治 と 政 治 学	223042			②	②		2		隔年開講	
	グ ロー バ ル 社 会 の 政 治 経 済 学	223043			②	②		2		隔年開講	
	哲 学 入 門	223044			②	②		2	◎	(教養・心理) 社会・公民選択必修	
	哲 学 概 論	223045			②	②		2	同井		
	市 民 社 会 の 法 (法 を 考 え る)	223046			②	②		2	同	(文化「法学」)	
	国 際 社 会 の 法	223047			②	②		2		隔年開講	
	国 際 関 係 史	223048			②	②		2	◎		
	人 口 動 態 と 社 会	223049			②	②		2			
	法 学 概 論 (国 際 法 を 含 む)	223050	②		②	②	②	3	同	(歴史・心理)	
	ジ ェ ン ダ ー と 社 会	223051			②	②		2		隔年開講	
	古 典 で 学 ぶ 社 会 科 学	223052			②	②		2		隔年開講	
	国 際 協 力 論	223053			②	②		2			
	消 費 と 経 済	223054			②	②		2	同	(健康「家庭経済学 A」)	
	マ ー ケ テ ィ ン グ 論	223055			②	②		2	同	(文化)	
	ビ ジ ネ ス ・ マ ネ ジ メ ン ト	223056			②	②		2・3			
	現 代 企 業 論 (組 織 と 戦 略)	223057			②	②		2	◎同	(国際)	
	ア ー ト ・ マ ネ ー ジ メ ン ト I	223058			②	②		2	◎		
	ア ー ト ・ マ ネ ー ジ メ ン ト II	223059			②	②		2	◎		
	文 学 と 社 会	223060			②	②		2	◎		
	映 像 と 社 会	223061			②	②		2	◎		
	環 境 の 経 済 学	223062			②	②		2	◎		
環 境 問 題 の マ ネ ジ メ ン ト	223063			②	②		2				
公 共 政 策 と 文 化	223064			②	②		2	同	(福祉) 隔年開講		
現 代 都 市 論	223065			②	②		2	◎			
文 化 と 社 会 表 現	223066			②	②		2		隔年開講		
現 代 日 本 の 国 際 関 係	223067			②	②		2	同	(国際)		
日 本 と 世 界	223068			②	②		2		隔年開講		
社 会 科 学 の 数 学	223069			②	②		2				
現 代 金 融 ビ ジ ネ ス 入 門 I	223070			②	②	②	2	◎			
現 代 金 融 ビ ジ ネ ス 入 門 II	223071			②	②	②	2	◎			
学 科 専 門 科 目	現 代 社 会	マ ス コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論	223072			②	②	②	2・3		(心理)
		労 働 社 会 学	223073			②	②	②	3	◎	
		現 代 社 会 論	223074				②	②	3	◎同	(福祉) 隔年開講
		行 政 と 地 方 自 治	223075				②	②	3	同	(心理・歴史・国際) 隔年開講
		現 代 政 治 論	223076			②	②	②	3	同	(福祉「労働とジェンダー」) セミナー
		職 業 と ジ ェ ン ダ ー	223077				②	②	3	同	(福祉「雇用・労働と社会政策」) セミナー
		現 代 社 会 と 労 働	223078				②	②	3	同	セミナー
		マ ス メ デ ィ ア と 現 代 社 会	223079			②	②	②	3		セミナー 隔年開講
		社 会 問 題 概 観	223080				②	②	3		セミナー
		消 費 と 環 境	223081			②	②	②	3		セミナー

授 業 科 目			整 理 番 号	学 年								開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考
				1年次	2年次	3年次	4年次	開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③◎学印は学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦#印は一般教養にならない						
				単位	単位	単位	単位							
				前 期	後 期	前 期	後 期		前 期	後 期				
学 科 専 門 科 目	経済・ビジネス	生 活 経 営 研 究	223082			②	②	②	3		セミナー			
		ア ン ペ イ ド・ワ ー ク 論	223083				②	②	3		隔年開講			
		経 済 学 研 究	223084			②	②	②	3					
		経 営 学 研 究	223085				②	②	3					
		国 際 開 発 研 究 I	223086				②	②	3		セミナー			
		国 際 開 発 研 究 II	223087					②	②	3		セミナー		
		国 際 協 力 政 策	223088				②	②	3					
	国際社会	国 際 関 係 外 書 講 読	223089				②	②	3					
		国 際 関 係 研 究	223090			②		②	3		セミナー 隔年開講			
		地 域 研 究 (欧 州)	223091				②	②	3		セミナー			
		東 ア ジ ア 言 語 社 会 研 究	223092			②		②	3		セミナー(歴史「北アジア文化特論(後期)」)			
		地 域 研 究 (北 ア ジ ア)	223093				②	②	3		セミナー(歴史「北アジア文化特論(前期)」)			
		都 市 情 報 論	223094			②		②	3	◎同	セミナー			
		地 域 研 究 (環 地 中 海)	223095				②	②	3	◎同	セミナー			
		エ コ ロ ジ ー 研 究	223096			②		②	3		セミナー			
卒業論文・演習	現代社会	現 代 社 会 論 演 習 I	223097				①		3					
		現 代 社 会 論 演 習 II	223098					①	3					
		現 代 社 会 論 演 習 III	223099						①	4				
		現 代 社 会 論 演 習 IV	223100						①	4				
		地 域 環 境 デ ザ イ ン 論 演 習 I	223101				①			3				
		地 域 環 境 デ ザ イ ン 論 演 習 II	223102					①		3				
		地 域 環 境 デ ザ イ ン 論 演 習 III	223103						①	4				
		地 域 環 境 デ ザ イ ン 論 演 習 IV	223104						①	4				
		メ デ ィ ア 表 象 論 演 習 I	223105				①			3				
		メ デ ィ ア 表 象 論 演 習 II	223106					①		3				
		メ デ ィ ア 表 象 論 演 習 III	223107						①	4				
		メ デ ィ ア 表 象 論 演 習 IV	223108						①	4				
	経済・マネジメント	ファミリー・リソース・マネジメント演習I	223109				①			3				
		ファミリー・リソース・マネジメント演習II	223110					①		3				
		ファミリー・リソース・マネジメント演習III	223111						①	4				
		ファミリー・リソース・マネジメント演習IV	223112						①	4				
		現 代 経 済 論 演 習 I	223113				①			3				
		現 代 経 済 論 演 習 II	223114					①		3				
		現 代 経 済 論 演 習 III	223115						①	4				
		現 代 経 済 論 演 習 IV	223116						①	4				
		現 代 経 営 論 演 習 I	223117				①			3				
現 代 経 営 論 演 習 II	223118					①		3						
現 代 経 営 論 演 習 III	223119						①	4						
現 代 経 営 論 演 習 IV	223120						①	4						
国 際 経 済 論 演 習 I	223121				①			3						

授 業 科 目			整 理 番 号	学 年				開講中心年次	履修可能範囲等	備 考
				1年次	2年次	3年次	4年次			
				単位	単位	単位	単位			
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
卒業論文・演習	経済マネジメント	国 際 経 済 論 演 習Ⅱ	223122				①		3	
		国 際 経 済 論 演 習Ⅲ	223123					①	4	
		国 際 経 済 論 演 習Ⅳ	223124						①	4
	国 際 社 会	応 用 言 語 学 演 習Ⅰ	223125			①			3	
		応 用 言 語 学 演 習Ⅱ	223126				①		3	
		応 用 言 語 学 演 習Ⅲ	223127					①	4	
		応 用 言 語 学 演 習Ⅳ	223128						①	4
		国 際 関 係 論 演 習Ⅰ	223129			①			3	
		国 際 関 係 論 演 習Ⅱ	223130				①		3	
		国 際 関 係 論 演 習Ⅲ	223131					①	4	
		国 際 関 係 論 演 習Ⅳ	223132						①	4
		言 語 社 会 論 演 習Ⅰ	223133			①			3	同 (歴史「東アジア言語社会演習 (前期)」)
		言 語 社 会 論 演 習Ⅱ	223134				①		3	同 (歴史「東アジア言語社会演習 (後期)」)
		言 語 社 会 論 演 習Ⅲ	223135					①	4	同 (歴史「歴史文化演習 P (前期)」)
		言 語 社 会 論 演 習Ⅳ	223136						①	4 同 (歴史「歴史文化演習 P (後期)」)
		現 代 都 市 論 演 習Ⅰ	223137			①			3	
		現 代 都 市 論 演 習Ⅱ	223138				①		3	
		現 代 都 市 論 演 習Ⅲ	223139					①	4	
		現 代 都 市 論 演 習Ⅳ	223140						①	4
		エ コ ロ ジ ー 論 演 習Ⅰ	223141			①			3	
		エ コ ロ ジ ー 論 演 習Ⅱ	223142				①		3	
		エ コ ロ ジ ー 論 演 習Ⅲ	223143					①	4	
		エ コ ロ ジ ー 論 演 習Ⅳ	223144						①	4
	卒 業 論 文		223145					8	4	
英 語 科 目 群	必 修	Current Topics I	223146	2					1	[2×2] 5クラス
		Current Topics II	223147		2				1	[2×2] 5クラス
		Current Topics for Reading I	223148	2					1	[2×2] 5クラス
		Current Topics for Reading II	223149		2				1	[2×2] 5クラス
	内 容 別 英 語	Reading A	223150		①	①	①		2・3・4	人数制限あり (国際)
		Reading B	223151		①	①	①		2・3・4	人数制限あり (国際)
		Reading C	223152		①	①	①		2・3・4	人数制限あり (国際)
		Reading D	223153			①	①	①	2・3・4	人数制限あり (国際)
		Reading E	223154			①	①	①	2・3・4	人数制限あり (国際)
		Reading F	223155			①	①	①	2・3・4	人数制限あり (国際)
		Listening A	223156		①	①	①		2・3・4	人数制限あり (国際)
		Listening B	223157		①	①	①		2・3・4	人数制限あり (国際)
		Listening C	223158			①	①	①	2・3・4	人数制限あり (国際)
		Listening D	223159			①	①	①	2・3・4	人数制限あり (国際)
		Writing A	223160		①	①	①		2・3・4	人数制限あり (国際)
		Writing B	223161		①	①	①		2・3・4	人数制限あり (国際)

授 業 科 目			整 理 番 号	学 年				開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考 開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学学生のみ ②◎印は他学科学学生履修可 ③◎学印は学部内他学科学学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦#印は一般教養にならない		
				1年次	2年次	3年次	4年次					
				単位	単位	単位	単位					
				前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期					
英 語 科 目 群	内 容 別 英 語	Writing C	223162		①	①	①	2・3・4		人数制限あり（国際）		
		Writing D	223163			①	①	①	2・3・4	人数制限あり（国際）		
		Writing E	223164			①	①	①	2・3・4	人数制限あり（国際）		
		Writing F	223165			①	①	①	2・3・4	人数制限あり（国際）		
		Oral Communication A	223166		①	①	①	2・3・4		人数制限あり（国際）		
		Oral Communication B	223167		①	①	①	2・3・4		人数制限あり（国際）		
		Oral Communication C	223168			①	①	①	2・3・4		人数制限あり（国際）	
		Oral Communication D	223169			①	①	①	2・3・4		人数制限あり（国際）	
		TOEIC Preparation A	223170			①	①	①	2・3・4		人数制限あり（国際）	
		TOEIC Preparation B	223171			①	①	①	2・3・4		人数制限あり（国際）	
		TOEIC Preparation C	223172			①	①	①	2・3・4		人数制限あり（国際）	
		TOEIC Preparation D	223173			①	①	①	2・3・4		人数制限あり（国際）	
		TOEIC Preparation E	223174			①	①	①	2・3・4		人数制限あり（国際）	
		TOEIC Preparation F	223175			①	①	①	2・3・4		人数制限あり（国際）	
		Mass Media English A	223176			①	①	①	2・3・4		人数制限あり（国際）	
		Mass Media English B	223177			①	①	①	2・3・4		人数制限あり（国際）	
		ボストンサマーセッション英語	223178	②	②	②	②	－		ボストンサマーセッション参加学生対象		
		ボストン Listening/Speaking	223179			②	②	②	－		春期15週間ボストンプログラム参加学生対象	
		ボストン Reading/Vocabulary	223180			②	②	②	－		春期15週間ボストンプログラム参加学生対象	
		ボストン Writing/Grammar	223181			②	②	②	－		春期15週間ボストンプログラム参加学生対象	
		ボストン Extensive Reading	223182			①	①	①	－		春期15週間ボストンプログラム参加学生対象	
		ボストン Pronunciation	223183			①	①	①	－		春期15週間ボストンプログラム参加学生対象	
ボストン Current American Topics	223184			②	②	②	－	同	春期15週間ボストンプログラム参加学生対象(教養)			
日 本 語 発 信 ・ 表 現 科 目 群	必 修	日 本 語 表 現 (話 し 方 / 基 礎)	223185	2	2			1	★	前期3クラス、後期2クラス		
		日 本 語 表 現 (書 き 方 / 基 礎)	223186	2	2			1	★	前期2クラス、後期3クラス		
	選 択 必 修	日 本 語 表 現 (書 き 方 / 応 用)	223187			②	②	②	2		隔年開講	
		日 本 語 表 現 (書 き 方 / 実 用)	223188			②	②	②	2			
		日本語表現 (話し方 / プレゼンテーション)	223189		②	②	②	②	②	2	★	「日本語表現(話し方/基礎)」を前の期までに履修済みのこと。偶数年度は前期、奇数年度は後期開講
	選 択	日本語表現 (話し方 / ナレーション)	223190		②	②	②	②	②	2	★	「日本語表現(話し方 / 基礎)」を前の期までに履修済みのこと
		日 本 語 表 現 (話 し 方 / 上 級)	223191				②		②	2		「日本語表現(話し方 / プレゼンテーション)」を履修した者 隔年開講
情 報 分 析 科 目 群	必 修	コ ン ピ ュ ー タ 基 礎	223193	1					1		5クラス	
		情 報 論	223194		2				1			
		情 報 収 集 と 検 索	223195			2	2			2	★	
	選 択	情 報 収 集 と 編 集	223196				②	②		2	◎	人数制限あり 隔年開講
		情 報 収 集 と 伝 達	223197				②	②		2	◎	人数制限あり
		統 計 分 析 基 礎	223198				②	②	②	2	★	人数制限あり 社会調査士C
社 会 調 査 士 科 目 群	社 会 科 学 と 社 会 調 査	223199				②	②		2・3	同	(心理、福祉、初教、国際) 社会調査士 A	
	社 会 調 査 の 理 論 と 方 法	223200				②	②		2・3	同	(初教、国際) 社会調査士 B	
	社 会 経 済 統 計 I	223201					②	②	②	3	同★	(福祉、国際) 社会調査士 D

授 業 科 目		整 理 番 号	学 年								開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考	
			1年次	2年次	3年次	4年次	開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学学生のみ ②○印は他学科学学生履修可 ③◎学印は学部内他学科学学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦#印は一般教養にならない							
			単位	単位	単位	単位								
			前 期	後 期	前 期	後 期		前 期	後 期	前 期			後 期	
社会調査士 科目群	社 会 経 済 統 計 Ⅱ	223202				②	②	②	3・4	同★	(福祉・初教・国際)人数制限あり 社会調査士 E (心理・福祉・初教・国際) 社会調査士 F 人数制限あり(福祉・初教・国際) 社会調査士 G 社会調査実習Ⅰ,Ⅱは連続して履修のこと			
	フィールドワークと質的分析	223203			②	②			2・3	同				
	社 会 調 査 実 習 Ⅰ	223204				②	②	②	3・4	同				
	社 会 調 査 実 習 Ⅱ	223205				②	②	②	3・4	同				
展開科目群 キャリア	職 業 と キ ャ リ ア を み る 目	223206		②		②			2					
	国 内 イ ン タ ー ン シ ッ プ	223207				②			2・3					
	海 外 イ ン タ ー ン シ ッ プ	223208				②			2・3					
社会調査研修	東 京 社 会 調 査 研 修	223209			②	②			2・3					
	国 内 社 会 調 査 研 修	223210			②	②			2・3					
	国 際 社 会 調 査 研 修	223211			②	②			2・3					
図書情報 情報館	図 書 館 サ ー ビ ス 概 論	223212		②	②	②	②	②	2	同★	図書館司書資格を目指す者のみ履修を認めます。資格が取れなかった場合には、卒業要件の単位になりません。			
	情 報 サ ー ビ ス 論	223213		②	②	②	②	②	2	同★				
	情報サービス演習A(レファレンスサービス)	223214			①	①	①	①	①	①		3	同★	
	情報サービス演習B(情報検索)	223215			①	①	①	①	①	①		3	同★	
	情 報 検 索 演 習	223216			①	①	①	①	①	①		3	同★	
教科専門科目	公民・社会共通	倫 理 学 概 論	223217	②	②	②	②	②	②	②	3	同	(歴史・心理) 社会・公民選択必修	
	中学社会	歴 史 学 概 論	223218	②		②		②				1	同	(歴史・心理)
		日 本 史 通 論	223219			②		②		②		3	同	(歴史・心理) 社会必修
		世 界 史 通 論	223220				②		②		②	3	同	(歴史・心理) 社会必修
		日 本 中 世 史	223221	②	②	②	②	②	②			2	同	(歴史・心理)
		日 本 近 世 史	223222	②	②	②	②	②	②			2	同	(歴史・心理) 隔年開講
		日 本 近 現 代 史	223223	②	②	②	②	②	②			2	同	(歴史・心理・国際)
		東 洋 史 概 説	223224	②	②	②	②	②	②			1	同	(歴史・心理)
		人 文 地 理 学 概 論	223225	②	②	②	②	②	②			1	同	(歴史・心理) 社会必修
		自 然 地 理 学 概 論	223226	②	②	②	②	②	②			1	同	(歴史・心理) 社会必修
		地 誌 通 論 A-日 本 地 誌 一	223227	②		②		②				2	同	(歴史・心理) 社会必修 AとB合わせて履修すること
		地 誌 通 論 B-世 界 地 誌 一	223228		②		②		②			2	同	
		日 本 女 性 史	223229	②	②	②	②	②	②			2	同	(歴史・心理)
		比 較 女 性 史 論	223230		②		②		②		②	3	同	(歴史・心理) 隔年開講
		文 化 人 類 学 概 論	223231	②	②	②	②					1	同	(歴史・心理・国際)
		キ リ ス ト 教 文 化 史	223232	②	②	②	②	②	②	②	②	3	同	(歴史・心理) 隔年開講
		禅 と 日 本 文 化	223233	②	②	②	②	②	②	②	②	2	同	(歴史・心理)
	中学・高校英語	英 語 研 究 概 論 A	223234			②		②				2	同	(英コミ) 教職課程履修者に限る
		英 語 研 究 概 論 B	223235			②		②				2	同	(英コミ) 教職課程履修者に限る
		英 語 の 歴 史	223236					②		②		3	同	(英コミ)
英 語 音 声 学		223237					②		②		3	同	(英コミ)	
形 態 論		223238						②		②	3	同	(英コミ・国際)	
文 法 研 究		223239					②		②		3	同	(英コミ)	
意 味 論		223240						②		②	3	同	(英コミ)	
社 会 言 語 学		223241					②		②		3	同	(英コミ・国際)	

授 業 科 目			整 理 番 号	学 年				開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考
				1年次	2年次	3年次	4年次			開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③◎学印は学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦#印は一般教養にならない
				単位	単位	単位	単位			
				前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期			
教科専門科目	中学・高校英語	第 二 言 語 習 得	223242			②	②	3	同	(英コミ)
		英 米 文 学・文 化 概 論 A	223243		②	②		2	同	(英コミ) 教職課程履修者に限る
		英 米 文 学・文 化 概 論 B	223244		②	②		2	同	(英コミ) 教職課程履修者に限る
		イ ギ リ ス 散 文 A	223245			②	②	3	同	(英コミ・国際)
		イ ギ リ ス 散 文 B	223246			②	②	3	同	(英コミ・国際)
		ア メ リ カ 散 文 A	223247			②	②	3	同	(英コミ・国際)
		ア メ リ カ 散 文 B	223248			②	②	3	同	(英コミ・国際)
		英 米 詩	223249			②	②	3	同	(英コミ)
		フ ァ ン タ ジ ー・児 童 文 学	223250			②	②	3	同	(英コミ)
		ニューイングランド文学・文化	223251			②	②	3	同	(英コミ・専英)
		イ ギ リ ス 文 化 研 究	223252			②	②	3	同	(英コミ)
		ア メ リ カ 文 化 研 究	223253			②	②	3	同	(英コミ)
		F i l m C r i t i c i s m	223254			②	②	3	同	(英コミ)
		比 較 文 学・文 化	223255			②	②	3	同	(英コミ)
		Language of Advertising	223256			②	②	3	同	(英コミ)

○教科専門科目について
教科専門科目は全て専門科目の単位になります。
また、教職を希望していない学生は履修できません。

○英検および TOEIC® について

本学科では実用英語技能検定(英検)および TOEIC® の資格を単位として認定しています。資格取得者に認定される単位は以下の通りとします。

認定される資格	単 位
英検 準 1 級 / TOEIC® 650 点以上	2単位(専門)
英検 1 級 / TOEIC® 850 点以上	3単位(専門)

注：英検と TOEIC® の両方の単位を取っても単位の認定は 1 回のみとします。(3 単位まで)
単位認定の申請手続きについては「英検・TOEIC®・漢検の単位認定」の項の「単位認定の申請方法」を参照してください。

○社会調査士について（現代教養学科の場合）

社会調査士は、下記の表にある科目の単位を修得し大学を卒業することによって、資格を取得できます。なお、履修にあたっては、A・B科目を履修した後にG科目を、C・D科目を履修した後にE科目を履修してください。Fは履修順序に関係なく履修することができます。A～G全て履修してください。

	科目名	備 考
A	社会科学と社会調査	社会調査の基本的事項に関する科目
B	社会調査の理論と方法	調査設計と実施方法に関する科目
C	統計分析基礎	基本的な資料とデータの分析に関する科目
D	社会経済統計Ⅰ	社会調査に必要な統計学に関する科目
E	社会経済統計Ⅱ	量的データ解析の方法に関する科目
F	フィールドワークと質的分析	質的な分析の方法に関する科目
G	社会調査実習Ⅰ	社会調査の実習を中心とする科目
	社会調査実習Ⅱ	

履修方法

専門教育科目は、学部共通科目・必修科目・選択必修科目・選択科目を、計76単位以上履修してください。

現代教養学科の専門教育科目は、**人間社会学総論**、**学科入門科目群**、**関心領域科目群**、**学科基盤科目群**、**学科専門科目群**、**卒業論文演習**、**英語科目群**、**日本語発信・表現科目群**、**社会調査士・情報分析科目群**、**キャリア展開科目群**、**演習科目群**で構成されています。

* 群、領域の区分の仕方や名称は入学年度により異なります。必ず入学年度のカリキュラム表に基づいてください。

履修条件

科目の履修に関しては、学科の指導に従うこと。

人間社会学総論（学部共通科目）

心理分野、福祉社会分野、初等教育分野のうち、少なくとも2分野から各2単位、合計4単位以上選択必修。

学科入門科目群

14単位必修。

関心領域科目群（1年次中心）、**学科基盤科目群**（2年次中心）、**学科専門科目群**（2・3年次中心）

各科目群から、科目間の関連を考えて、バランスよく履修すること。

卒業論文演習

所属するゼミの教員の演習を選び、4単位を履修した上で、卒業論文（8単位）を提出する。

英語科目群

- ・現代教養学科では、英語は専門教育科目に含まれる。
- ・専門必修8単位の他、内容別英語から4単位以上を履修する。
- ・その他の言語（総合教育センター開設）
英語を除く言語は「外国語」として履修する（12単位必修）。12単位を超えて履修した場合は、専門科目の単位として計算できる（2年次以上の内容別科目に限る）。

日本語発信・表現科目群

必修科目4単位の他、選択必修科目から2単位以上を履修する。

社会調査士・情報分析科目群

情報・コンピュータ関連の科目は必修5単位の他、選択科目からも積極的に履修することを推奨する。

10. 初等教育学科

授 業 科 目			整 理 番 号	学 年				開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	学 部 ・ 学 科 履 修 条 件	備 考	
				1年次	2年次	3年次	4年次					
				単 位	単 位	単 位	単 位					
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
学部共通科目	心理分野	心 理 学 概 説 I	224001	②	②					1・2	同	開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②○印は他学科学生履修可 ③◎学印は学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦#印は一般教養にならない
		心 理 学 概 説 II	224002		②	②				1・2	同	
		社 会 心 理 学	224003		②	②				1・2	同	
	福祉分野	社 会 福 祉 I	224004	②	②					1・2	同	
		社 会 福 祉 II	224005	②	②					1・2	同	
	現代分野	社 会 を み る 目 I	224006	②	②					1・2	同	
		社 会 を み る 目 II	224007		②	②				1・2	同	
		経 済 を み る 目 I	224008	②	②					1・2	同	
		経 済 を み る 目 II	224009		②	②				1・2	同	
学科共通科目	人間形成・教育教養	教 育 学 概 説 I	224010	②	②	②	②			1	同	(各コース履修条件として)選択必修8単位(一般教養科目となる) (文化・メディアリテラシーⅡ(児童)) 専門関連科目 ◎ (隔年開講) ◎ (隔年開講)
		教 育 学 概 説 II	224011		②	②	②	②		1	同	
		教 育 哲 学	224012		②	②	②	②		1	◎	
		教 育 史	224013	②	②	②	②			1	◎	
		教 育 社 会 学	224014		②	②	②	②		1	同	
		教 育 経 営	224015	②	②	②	②			1	◎	
	現代社会における教育教養	メ デ ィ ア 教 育	224016	②	②	②	②			1	同◎	
		多 文 化 共 生 教 育	224017		②	②	②	②		1	◎	
		人 権 教 育	224018	②	②	②	②			1	◎	
		環 境 教 育	224019		②	②	②	②		1	◎	
		地 域 社 会 教 育	224020	②	②	②	②			1	◎	
		特 別 支 援 教 育	224021	②	②	②	②			1	◎	
		現 代 保 育 論	224022		②	②	②	②		1	◎	
		比 較 教 育	224023		②	②	②	②		1	◎	
	教育技能・教育臨床	言 語 表 現 基 礎	224024	①	①					1		(各コース履修条件として)選択必修3単位 (福祉) [1]
		音 楽 理 論	224025	①						1		
		音 楽 実 技	224026	①	①					1	同	
		身 体 表 現 基 礎	224027	①						1		
		数 学 基 礎	224028		①					1		
		科 学 基 礎	224029		①					1		
		社 会 基 礎	224030		①					1		
		教 育 実 践 研 究	224031		①					2		
		救 急 法 演 習	224032			①				2	◎	
		児 童 文 学	224033				①			3	◎	
		伝 統 と 言 語 文 化	224034				①			3		
		小 学 校 英 語 活 動 指 導 法	224035				①	①		3		
		学 校 心 理 学	224036				①			3		
		問 題 行 動 研 究	224037						①	4		
		対 人 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	224038		①					2		
		保 育 環 境 ・ 行 政 論	224039					①		4		
		保 育 実 践 研 究	224040					①		4		
	研修	ア メ リ カ 初 等 教 育 演 習	224041		②	②	②	②		1		選択
		教 育 現 場 体 験	224042				②	②		3		
	演習	教 育 学 基 礎 演 習 I	224043	1	1					1		必修7単位
		教 育 学 基 礎 演 習 II	224044			1				2		
		教 育 学 演 習 I	224045				1	1		3		
		教 育 学 演 習 II	224046					1	1	4		
	研究	卒 業 研 究	224047					6		4		必修

授 業 科 目			整理番号	学 年				開講中心年次	履修可能範囲等	学部・学科 履修条件	備 考
				1年次	2年次	3年次	4年次				
				単位 前期 後期	単位 前期 後期	単位 前期 後期	単位 前期 後期				
小学校・幼稚園免許科目	教科に関する科目	国 語 (書 写 を 含 む)	224048		②			2			開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②○印は他学科学生履修可 ③◎学印は学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦井印は一般教養にならない
		社 会	224049		②			2			
		算 数	224050		②			2			
		理 科	224051		②			2			
		生 活	224052		②			2			
		音 楽	224053		②			2			
		図 画 工 作	224054		②			2			
		家 庭	224055		②			2			
		体 育	224056		②			2			
	第2欄 教職の意義に関する科目	教 職 概 論	224057	②				1			幼稚園教諭免許のための科目とはならない
	第3欄 教育の基礎理論に関する科目	教 育 原 理	224058	②				1			
		保 育 原 理	224059	②				1			
		教 育 心 理 学 I	224060		②			1			
		発 達 心 理 学	224061	②				1			
		乳 幼 児 心 理 学	224062		②			2			
		特 別 支 援 教 育 論	224063			②		3			
		教 育 法 規	224064			②		3			
		教 育 行 政 学	224065			②		3			保育士資格必修科目を兼ねる 保育士資格必修科目を兼ねる 保育士資格必修科目を兼ねる
		学 級 経 営 研 究	224066			②		3			
	第4欄 小学校 教育課程及び指導法に関する科目	小 学 校 教 育 課 程 論	224067			②		3			
		国 語 科 教 育 法	224068			②		3			
		国 語 科 教 育 法 演 習	224069				①	3			
		社 会 科 教 育 法	224070			②		3			
		社 会 科 教 育 法 演 習	224071				①	3			
		算 数 科 教 育 法	224072			②		3			
		算 数 科 教 育 法 演 習	224073				①	3			
		理 科 教 育 法	224074			②		3			
		理 科 教 育 法 演 習	224075				①	3			
		生 活 科 教 育 法	224076		②			2			
		生 活 科 教 育 法 演 習	224077				①	4			
		音 楽 科 教 育 法	224078		②			2			
		音 楽 科 教 育 法 演 習	224079				①	4			
		図 工 科 教 育 法	224080		②			2			
		図 工 科 教 育 法 演 習	224081				①	4			
		家 庭 科 教 育 法	224082		②			2			
		家 庭 科 教 育 法 演 習	224083				①	4			
		体 育 科 教 育 法	224084		②			2			
		体 育 科 教 育 法 演 習	224085				①	4			
		道 徳 教 育 研 究	224086		②			2			選択60単位
		道 徳 教 育 演 習	224087				①	4			
		特 別 活 動 研 究	224088		②			2			
		特 別 活 動 演 習	224089				①	4			

授 業 科 目					整理番号	学 年				開講中心年次	履修可能範囲等	学部・学科 履修条件	備 考			
						1年次	2年次	3年次	4年次				開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②○印は他学科学生履修可 ③◎学印は学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦#印は一般教養にならない			
						単位	単位	単位	単位							
						前 期	後 期	前 期	後 期					前 期	後 期	前 期
小学校・幼稚園免許科目	第4欄	教育課程及び指導法に関する科目	幼稚園	保 育 ・ 教 育 課 程 論	224090			②				2		保育士資格必修科目を兼ねる		
				人 間 関 係 指 導 法	224091		②						1		保育士資格必修科目を兼ねる	
				人 間 関 係 指 導 法 演 習	224092				①					3		
				環 境 指 導 法	224093		②							1		保育士資格必修科目を兼ねる
				環 境 指 導 法 演 習	224094				①					3		
				健 康 指 導 法	224095			②						2		保育士資格必修科目を兼ねる
				健 康 指 導 法 演 習	224096					①				3		
				言 葉 指 導 法	224097			②						2		保育士資格必修科目を兼ねる
				言 葉 指 導 法 演 習	224098						①			3		
				表 現 指 導 法	224099				②					2		保育士資格必修科目を兼ねる
				表 現 指 導 法 演 習	224100					①				3		
				保 育 内 容 総 論	224101		②							1		保育士資格必修科目を兼ねる
	共通	教 育 の 方 法 と 技 術	224102				②					2		選択60単位		
		教 育 評 価	224103					②				3				
		教 育 統 計 基 礎	224104		②							1			社会調査士D	
	生徒指導、教育相談 及び進路指導等に関する科目	生 徒 ・ 進 路 指 導 の 研 究	224105						②			3				
		幼 児 理 解 の 研 究	224106			②						2				
		教 育 相 談 の 研 究	224107					②				3				
	第5欄	教育実習	教 育 実 習 I	224108				①				2				
			教 育 実 習 の 指 導 I	224109						①			3			
			教 育 実 習 の 指 導 II	224110							①		4			
			教 育 実 習 II A	224111							④		4			
			教 育 実 習 II B	224112								②		4		
	第6欄	教職実践演習	教 職 実 践 演 習 (幼 ・ 小)	224113								②	4			
			保 育・教 職 実 践 演 習 (幼 稚 園)	224114									②	4		
	施行規則66条の6			情 報 機 器 の 操 作	224115	②							1			
	特例法			介 護 等 体 験 の 指 導	224116		①							1		[1]

授 業 科 目			整理番号	学 年				開講中心年次	履修可能範囲等	学部・学科 履修条件	備 考				
				1年次	2年次	3年次	4年次								
				単位	単位	単位	単位								
				前・後期	前・後期	前・後期	前・後期								
保育士資格科目	専門必修科目	保育の本質・目的に関する項目	社 会 福 祉 原 論	224117	②					1		(福祉：現代社会と福祉)			
			社 会 福 祉 援 助 技 術	224118	②					1					
			児 童 福 祉 論	224119	②					1					
			養 護 原 理	224120	②					1					
			保 育 者 論	224121	②					1					
	専門必修科目	保育の対象の理解に関する項目	小 児 保 健 I	224122	②	②					1		前・後期とも履修する		
			小 児 保 健 II	224123	①						1				
			教 育 心 理 学 II	224124			②				2				
			小 児 栄 養	224125			②				2				
			児 童・家 庭 ソ ー シ ャ ル ワ ーク	224126			②				2	同			
	専門必修科目	保育の内容・方法に関する項目	乳 児 保 育	224127	②						1		(福祉)		
			幼 児 期 の 特 別 支 援	224128				②				2			
			養 護 内 容	224129			①					2			
			保 育 相 談 支 援	224130				①				3			
	専門必修科目	保育の表現技法	音 楽 基 礎	224131		①					1				
			造 形 基 礎	224132	①							1			
			幼 児 体 育	224133					①			2			
			児 童 文 化	224134					①			2			
	専門必修科目	保育実習	保 育 実 習 の 指 導 I A	224135				①				2		選択60単位	
			保 育 実 習 I A (保 育 所)	224136				②					2		
			保 育 実 習 の 指 導 I B	224137					①				3		
			保 育 実 習 I B (施 設)	224138					②				3		
	選択必修科目	保育の本質・目的に関する項目	地 域 福 祉 論	224139					②			3	同	(福祉：地域福祉の理論と方法) (福祉：福祉サービスの組織と経営)	
			地 域 施 設 マ ネ ジ メ ン ト 論	224140					②				3		同
			児 童 館 の 機 能 と 運 営	224141							②		4		
			児 童 の 健 全 育 成 と 福 祉	224142					②				3		
		保育の内容・方法に関する項目	病 児 保 育 研 究	224143						②			3	◎	
			在 宅 保 育 研 究	224144								②	4		
レ ク リ エ ー シ ョ ン 理 論			224145			②						2			
レ ク リ エ ー シ ョ ン 援 助 法			224146				②					2			
保育の表現技法		幼 児 の 音 楽	224147			②	②					2			
		幼 児 の 造 形	224148				②					2			
保育実習		保 育 実 習 の 指 導 II	224149							①		4			
		保 育 実 習 II (保 育 所)	224150							②		4			
		保 育 実 習 の 指 導 III	224151							①		4			
		保 育 実 習 III (施 設)	224152							②		4			

授 業 科 目		整理番号	学 年				開講中心年次	履修可能範囲等	学部・学科 履修条件	備 考
			1年次	2年次	3年次	4年次				
			単位	単位	単位	単位				
			前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期		
社会調査士	情報機器の操作とデータ分析	224153		②					1	
	社会科学と社会調査	224154			②				2・3	同
	社会調査の理論と方法	224155			②				2・3	同
	社会経済統計Ⅱ	224156			②	②			2・3	同
	フィールドワークと質的分析	224157			②	②			2・3	同
	社会調査実習Ⅰ	224158				②	②		3・4	同
	社会調査実習Ⅱ	224159				②	②		3・4	同

○社会調査士について（初等教育学科の場合）

社会調査士は、下記の表にある科目の単位を取得し大学を卒業することによって、資格を取得できます。ただし、EとFはどちらかひとつを選択してください。

なお、履修にあたっては、A・B科目を履修した後にG科目を、C・D科目を履修した後にE科目を履修してください。Fは履修順序に関係なく履修することができます。

G(社会調査実習)は、科目内容の都合上、Ⅰを履修し終えた直後の期に必ずⅡを履修して下さい。

D(教育統計基礎)は児童教育コース開設ですが、社会調査士資格取得希望の場合に限り幼児教育コース学生の履修を認めます。

	科目名	開講年次・学期	備 考
A	社会科学と社会調査	2・3年 前期	社会調査の基本的事項に関する科目
B	社会調査の理論と方法	2・3年 前期	調査設計と実施方法に関する科目
C	情報機器の操作とデータ分析	1年 後期	基本的な資料とデータの分析に関する科目
D	教育統計基礎	1年 後期	社会調査に必要な統計学に関する科目
E	社会経済統計Ⅱ	2・3年 後期	量的データ解析の方法に関する科目
F	フィールドワークと質的分析	2・3年 後期	質的な分析の方法に関する科目
G	社会調査実習Ⅰ	3・4年 前期	社会調査の実習を中心とする科目
	社会調査実習Ⅱ	3・4年 後期	

11. 環境デザイン学科

授 業 科 目		整 理 号	学 年								開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	デザイン プロデュースコース	建築インテリア デザインコース		プロダクトデザイン コース	服飾デザイン マネジメントコース	備 考
			1年次		2年次		3年次		4年次									
			単位		単位		単位		単位									
			前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期								
1 年次専門講義科目	生 活 科 学 概 論	231001	②	②	②	②					1	◎	△A	△A	△A	△A	△A	家政学の内容を含む [家]
	被 服 学 概 論	231002	②	②	②	②					1	◎	△A	△A	△A	△A	△A	[家]
	住 居 学 概 論	231003	②	②	②	②					1		△A	△A	△A	△A	△A	[家]
	食物学概論（栄養学を含む）	231004	②	②	②	②					1	◎	△A	△A	△A	△A	△A	[家]教職資格希望者優先
	西 洋 美 術 史	231005	②	②	②	②					1		△A	△A	△A	△A	△A	
	美 学	231006	②		②						1		△A	△A	△A	△A	△A	
	ユニバーサルデザイン	231007	②		②						1・2		△A	△A	△A	△A	△A	
	基 礎 科 学 A (数 学)	231008	②								1		△S	△S	△S	△S	△S	
	基 礎 科 学 B (力 学)	231009		②							1		△S	△S	△S	△S	△S	
	基礎科学 C（数学・物理学）	231010	②								1		△S	△S	△S	△S	△S	
	基 礎 科 学 D (化 学)	231011	②	②							1	★	△S	△S	△S	△S	△S	
	基礎科学 E（有機化学）	231012	②		②						1		△S	△S	△S	△S	△S	
	基礎科学 F（科学一般）	231013		②							1		△S	△S	△S	△S	△S	
	住 生 活 史	231014		②		②		②		②	1		◇		◇	◇		
	造 形 美 学	231015	②								1		△A	△A	△A	△A	△A	
	デ ザ イ ン 概 論Ⅰ	231016	②	②	②	②					1	専	△A	△A	△A	△A	△A	[家]
	現代ファッション論	231017		②		②		②			1	専	◇				◇	
	色 彩 学	231018	②		②						1・2		◇	◇	◇	◇	◇	
	環 境 の 科 学	231019	②								1			△E	◇			
	図 学	231020		②							1					◇		
2 年次専門講義科目	プロデューサー概論	231021			②		②		②	2・3	同	◇						（専生）
	デ ザ イ ン 概 論Ⅱ	231022			②	②				2	専	◇						
	統計学（実験計画法基礎）	231023				②		②		②	2		◇			◇	◇	
	発 想 と イ メ ー ジ	231024			②						2		◇			◇	◇	
	生 体 環 境 論	231025		②		②		②		②	2	◎同	◇			◇	◇	（専生）
	保育学（実習を含む）	231026		②		②		②		②	2	◎同						[家]（健康）
	家 庭 経 営 学	231027			②		②		②		2							[家]
	消 費 者 経 済 学	231028			②		②		②		2	◎				◇	◇	
	建 築 史（日 本）	231029			②		②		②		2	◎	◇	◆	◇			[家]
	建 築 史（西 洋）	231030				②		②		②	2		◇	◆	◇			[家]
	住 生 活 学	231031			②	②	②	②	②	②	2		◇	◇	◇	◇		[家]
	キ ャ チ ン デ ザ イ ン	231032				②		②		②	2	同	◇	◇	◇	◇		（文化）
	住 居 計 画	231033			②	②					2		◇	◆	◇			[家]
	イ ン テ リ ア 計 画	231034			②	②	②	②			2		◇	◇	◇	◇		[家]
	建 築 構 造Ⅰ	231035			②		②		②		2		◇	◆	◇			[家]
	構 造 力 学Ⅰ及 び 演 習	231036			②	①	②	①	②	①	2		◇	◆	◇	◇		
	家 具 デ ザ イ ン	231037			②						2	同	◇	◇	◇	◇		（文化）
	インテリアデザイン概説 A	231038			②		②				2・3		◇		◆	◇		
	インテリアデザイン概説 B	231039				②		②			2・3		◇		◆	◇		
	材 料 学 A	231040				②		②		②	2・3	専	◇	△B	◇	◇		[家]

授 業 科 目		整 理 番 号	学 年								開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	デザイン プロデュースコース	建築・インテリア デザインコース		プロダクトデザインコース	服飾デザイン マネジメントコース	備 考
			1年次		2年次		3年次		4年次									
			単位		単位		単位		単位									
			前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期								
2 年 次 専 門 講 義 科 目	材 料 学 B	231041				②		②			2・3		◇		◇	◇	◇	[家]
	材 料 学 C	231042				②		②			2・3	専	◇	△B	◇	◇	◇	[家]
	建 築 デ ザ イ ン 論	231043			②	②	②	②	②	②	2・3	同	◇	◇	◇	◇		(専生)
	環 境 工 学	231044			②	②	②	②	②	②	2・3		◇	◆	◇			
	建 築 材 料 学	231045			②		②				2		◇	◆	◇			[家]
	ファッションデザインマネジメント	231046			②		②		②		2・3						◇	
	服 飾 史 I	231047			②		②		②		2	◎	◇			◇	◇	[家]
	服 飾 史 II	231048				②		②		②	2	◎	◇			◇	◇	[家]
	被 服 材 料 学	231049			②		②				2	専	◇			◇	◇	[家]
	素 材 と 製 品 の 科 学	231050			②		②				2	専	◇			◇	◇	
	織 維 製 品 試 験 法	231051				②		②			2・3						◇	
	ブランディング戦略	231052				②		②			2・3		◇			◇	◇	
	被 服 構 成 学	231053			②						2	◎	◇			◇	◇	[家]
	ア パ レ ル 企 画 論	231054				②		②			2	◎	◇			◇	◇	[家]
	被 服 整 理 学	231055				②		②		②	2						◇	[家]
	テキスタイルデザイン論	231056				②					2		◇		◇	◇	◇	
	被 服 衛 生 学	231057			②		②		②		2					◇	◇	[家]
	マ ー ケ テ ィ ン グ 論	231058				②		②		②	2	同	◇			◇	◇	(専生)
	工 業 デ ザ イ ン 論	231059			②	②					2		◇	◇	◇	◇	◇	
	デ ザ イ ン プ ロ セ ス	231060			②						2		◇			◇		
	デザインエレメント	231061				②					2		◇			◇		
	人 間 工 学	231062			②						2		◇	◇	◇	◇	◇	
	デ ザ イ ン 技 法	231063			②	②					2		◇			◇		
	デ ザ イ ン の 考 察	231064			②		②				2					◇		
	ヒューマンセンタードデザイン	231065				②					2		◇			◇		
	デ ザ イ ン 企 画 I	231066			②	②	②	②	②	②	2	専	◆			◇		
	地域資産の活用と企画	231067				②		②		②	2		◇					
	工 芸 デ ザ イ ン 論	231068				②					2	同	◇		◇	◇	◇	(文化)
	コミュニケーションデザイン	231069					②		②		3・4		◇			◇		隔年開講
3 年 次 専 門 講 義 科 目	家 庭 科 教 育 法	231070			②	②	②	②			3	同	◇		◇	◇	◇	(教職)(健康)
	家庭科教育法(教材研究)	231071			②	②	②	②			3	同						「家庭科教育法」を優先して履修のこと(教職)(健康)
	家 族 関 係 論	231072			②		②		②		2・3	◎同	◇	◇	◇	◇	◇	[家](健康)
	情 報 論 同 演 習	231073						②		②	3・4		◇		◇	◇	◇	[家]
	西洋家具とインテリアの歴史	231074			②		②				2・3		◇		◇	◇		
	環 境 心 理 学	231075					②	②			3	同	◇	◇	◇			[家](健康「住居学B」)(専生)
	環 境 計 画	231076					②		②		3	専	◇	◇	◇			
	家庭機械及び家庭電気	231077						②		②	3	同						[家](健康)
	居 住 福 祉 論	231078						②		②	3		◇	◇	◇			
	建 築 法 規	231079					②		②		3		◇	◆	◇			
	構 造 力 学Ⅱ及び演習	231080					②	①	②	①	3		◇	◇	◇			

備 考

開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学学生のみ
②◎印は他学科学学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印は前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦#印は一般教養にならない

授 業 科 目		整 理 号	学 年								開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	デザイン プロデュースコース	建築・インテリア デザインコース		プロダクトデザインコース	服飾デザイン マネジメントコース	備 考	
			1年次		2年次		3年次		4年次					建築グループ	建築インテリアグループ				
			単位		単位		単位		単位										
			前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期									
3 年 次 専 門 講 義 科 目	建 築 構 造Ⅱ	231081					②		②		3		◇	◆	◇			(専生) (専生)	
	建 築 構 造Ⅲ	231082							②		②		3		◇	◆	◇		
	構 造 設 計	231083					②	②				3		◇	◇	◇			
	建 築 計 画Ⅰ	231084					②		②		3	同	◇	◆	◇				
	建 築 計 画Ⅱ	231085						②		②		3	同	◇	◆	◇			
	構 法・施 工 A	231086					②		②		3	専	◇	△C	◇				
	構 法・施 工 B	231087					②		②		3	専	◇	△C	◇				
	生活プロダクツ概説	231088				②		②				2・3		◇	◇	◇	◇		◇
	空 間 企 画 論	231089					②					3	専	◇	△F	◇			
	都 市 計 画	231090							②			3		◇	◆	◇			
	積 算	231091							②			3		◇	△F	◇			
	構 造 デ ザ イ ン 論	231092					②					3		◇	◇	◇			
	建 築 設 備	231093					②	②	②	②	3・4		◇	◆	◇			[家]	
	都 市 デ ザ イ ン 論	231094					②		②		3・4	同	◇	◇	◇			(専生)	
	近 代 建 築 史	231095					②		②		3・4	同		◇	◇			(専生)	
	染 色 理 論	231096					②				3	専	◇				◇	◇	[家]
	織 維 加 工 学	231097						②		②		3	同	◇			◇	◇	[家](専生)
	ファッション商品論	231098						②		②		3	専	◇			◇	◇	
	プロダクトデザイン論	231099				②		②		②		3	専	◇			◇		
	服 飾 デ ザ イ ン	231100					②		②		3		◇					◇	[家]
被 服 造 形 科 学	231101					②		②		3	同						◇	[家](専生)	
ベーシックプレゼンテーション	231102						②				3		◇			◇			
デザインマネジメント	231103						②				3		◇		◇	◇	◇		
プロダクトマテリアル	231104						②				3					◇			
デ ザ イ ン 企 画Ⅱ	231105					②		②		3	専	◆				◇			
デ ザ イ ン 構 想 論	231106						②		②		3	専	◇				◇		
4 年 次 専 門 講 義 科 目	デザイン計画特講A	231107					②	②	②	②	3・4	同	△Q	◇	◇	◇	◇	(環6制)H25・28年度開講(専生)	
	デザイン計画特講B	231108					②	②	②	②	3・4		△Q	◇	◇	◇	◇	(環6制)H26・29年度開講	
	デザイン計画特講C	231109					②	②	②	②	3・4	同	△Q	◇	◇	◇	◇	(環6制)H24・27年度開講(専生)	
	消 費 生 活 論	231110					②		②		3・4	専					◇		
	消 費 科 学	231111								②		4					◇		
	造 園	231112								②		4		◇	◇	◇	◇		
情 報 論・C A D	C G 概 論	231113			②		②				2・3		◇			◇			
	C G I A	231114		①							1		◇			◇			
	C G I B	231115			①						2								
	C G I C	231116			①						2						◇		
	C GⅡ (D T P)	231117				①					2		◇			◇			
	C GⅡ (3 D)	231118				②		②			2・3		◇			◇		[4]	
	C A DⅠ	231119		①							1		◇	△E	◇				
	C A DⅡ	231120			①						2		◇	△E	◇				

授 業 科 目		整 理 号	学 年								開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	デザイン プロデュースコース	建築・インテリア デザインコース		プロダクトデザインコース	服飾デザイン マネジメントコース	備 考
			1年次		2年次		3年次		4年次									
			単位		単位		単位		単位									
			前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期								
情報論・C A D	映 像 デ ザ イ ン 演 習 I	231121				①					2	専	◇					〔4〕 (専生)
	映 像 デ ザ イ ン 演 習 II	231122						②			3	専	◇					
	マ ル チ メ デ ィ ア 演 習	231123				①					2							
	フ ァ ッ シ ョ ン コ ン プ ュ ー タ 演 習	231124				①			①		①	2・3		◇			◇	
	デ ー タ 分 析 基 礎	231125				①						2	同		△E	◇		
デザイン関係演習科目	デ ッ サ ン I	231126	①								1		◇		◇	◇	◇	〔4〕 〔4〕[家] 〔4〕 〔4〕 〔4〕 〔4〕 〔4〕 〔4〕 〔4〕 〔4〕 〔4〕 〔4〕[家] 〔家〕、建築・インテリアデザインコース不可 〔4〕[家] (健康「被服学及び実習」)、 服飾コース不可 〔4〕 〔4

開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学学生のみ
②○印は他学科学学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦#印は一般教養にならない

授 業 科 目		整 理 号	学 年								開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	デザイン プロデュースコース	建築・インテリア デザインコース		プロダクト・デザインコース	服飾デザイン マネジメントコース	備考
			1年次		2年次		3年次		4年次					建築グループ	建築 インテリアグループ			
			単位		単位		単位		単位									
			前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期								
デザイン関係 演習科目	造形デザイン演習ⅠⅠ（モード）	231161			②						2		◇		◇		◇	〔4〕〔家〕、注参照
	造形デザイン演習ⅠⅠ（テキスタイル）	231162			②						2		◇		◇		◇	〔4〕
	造形デザイン演習ⅠⅠ（クラフト）	231163			②						2		◇		◇		◇	〔4〕
	造形デザイン演習ⅠⅡ（モード）	231164				②					2		◇		◇		◇	〔4〕〔家〕、注参照
	造形デザイン演習ⅠⅡ（テキスタイル）	231165				②					2		◇		◇		◇	〔4〕
	造形デザイン演習ⅠⅡ（クラフト）	231166				②					2		◇		◇		◇	〔4〕
	造形デザイン演習ⅡⅠ（モード）	231167					②				3		◇		◇		◇	〔4〕〔家〕、注参照
	造形デザイン演習ⅡⅠ（テキスタイル）	231168					②				3		◇		◇		◇	〔4〕
	造形デザイン演習ⅡⅠ（クラフト）	231169					②				3		◇		◇		◇	〔4〕
	造形デザイン演習ⅡⅡ（モード）	231170						②			3		◇		◇		◇	〔4〕〔家〕、注参照
	造形デザイン演習ⅡⅡ（テキスタイル）	231171						②			3		◇		◇		◇	〔4〕
	造形デザイン演習ⅡⅡ（クラフト）	231172						②			3		◇		◇		◇	〔4〕
	造 形 デ ザ イ ン 演 習Ⅲ	231173								②	4							〔4〕〔家〕
	服 飾 DM 総 合 演 習Ⅰ	231174				①					2						◇	注参照
	服 飾 DM 総 合 演 習ⅡⅠ	231175					①				3						◇	注参照
	服 飾 DM 総 合 演 習ⅡⅡ	231176						①			3						◇	注参照
	消 費 者 調 査 法	231177			①		①				2・3						◇	
	デ ザ イ ン 実 務 演 習ⅠⅠ	231178			②		②		②		2・3		◇	◇				
	デ ザ イ ン 実 務 演 習ⅠⅡ	231179				②		②		②	2・3		◇	◇				
	D P 総 合 演 習 A	231180	①	①	①	①	①	①	①	①	-		◇					H26年度開講、注参照
	D P 総 合 演 習 B	231181	①	①	①	①	①	①	①	①	-		◇					H27年度開講、注参照
	D P 総 合 演 習 C	231182	①	①	①	①	①	①	①	①	-		◇					H24年度開講、注参照
	D P 総 合 演 習 D	231183	①	①	①	①	①	①	①	①	-		◇					H25年度開講、注参照
	海 外 デ ザ イ ン 演 習	231184		①		①		①		①	-			◇				研修旅行
実験実習科目	造 形 材 料 学 実 験	231185				②		②		②	2						◇	〔4〕〔家〕
	調 理 実 習	231186				②		②		②	3							〔4〕〔家〕
	衣 料 鑑 別 実 験	231187					②				3						◇	〔4〕〔家〕
	被 服 整 理 学 実 験	231188					①				3						◇	〔家〕
	染 色 加 工 実 験	231189						①			3					◇	◇	〔家〕
	建 築 学 実 験 A	231190						②			3			△D	◇			〔4〕
	建 築 学 実 験 B	231191						②			3			△D	◇			〔4〕
	建 築 学 実 験 D	231192						②			3			△D	◇			〔4〕
	測 量	231193						②	②	②	3・4	★		△D	◇			〔4〕
	衣 料 管 理 実 習	231194							①		4						◇	校外実習、衣料管理士希望者のみ
卒業研究関連 演習科目	デ ザ イ ン 構 想 演 習	231195							①	①	4		△K		△K	△K	△K	
	モ ー ド デ ザ イ ン 演 習	231196							①	①	4		△K		△K	△K	△K	
	被 服 人 間 工 学 演 習	231197							①	①	4		△K		△K	△K	△K	
	染 色 ・ 整 理 学 演 習	231198							①	①	4		△K		△K	△K	△K	
	服 飾 造 形 演 習	231199							①	①	4		△K		△K	△K	△K	
	被 服 造 形 科 学 演 習	231200							①	①	4		△K		△K	△K	△K	

授 業 科 目	整 理 番 号	学 年				開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	デザイン プロデュースコース	建築・インテリア デザインコース	建築グループ	建築インテリア グループ	プロダクトデザイン コース	服飾デザイン マネジメントコース	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次									
		単位	単位	単位	単位									
		前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
卒業研究関連演習科目	織 維 材 料 学 演 習	231201						①	①	4		△K		△K △K △K
	住 居・建 築 史 演 習	231202						①	①	4		△K	△K	△K △K △K
	都 市 環 境 学 演 習	231203						①	①	4		△K	△K	△K △K △K
	建 築 デ ザ イ ン 演 習	231204						①	①	4		△K	△K	△K △K △K
	地 域 施 設 計 画 演 習	231205						①	①	4		△K	△K	△K △K △K
	機 能 図 形 情 報 学 演 習	231206						①	①	4		△K	△K	△K △K △K
	空 間 デ ザ イ ン 演 習	231207						①	①	4		△K	△K	△K △K △K
	設 計 プ ロ セ ス 演 習	231208						①	①	4		△K	△K	△K △K △K
	環 境 心 理 学 演 習	231209						①	①	4		△K	△K	△K △K △K
	材 料・環 境 科 学 演 習	231210						①	①	4		△K	△K	△K △K △K
	建 築 歴 史 演 習	231211						①	①	4		△K	△K	△K △K △K
	建 築 構 造 学 演 習	231212						①	①	4		△K	△K	△K △K △K
	環 境 計 画 演 習	231213						①	①	4		△K	△K	△K △K △K
	ラ イ フ デ ザ イ ン 演 習	231214						①	①	4		△K		△K △K △K
	シ ス テ ム デ ザ イ ン 演 習	231215						①	①	4		△K		△K △K △K
	感 性 デ ザ イ ン 演 習	231216						①	①	4		△K		△K △K △K
	ヒ ュ マ ン デ ザ イ ン 演 習	231217						①	①	4		△K		△K △K △K
	環 境 デ ザ イ ン 学 演 習	231218						①	①	4		△K	△K	△K △K △K
	デ ザ イ ン プ ロ デ ュース演習	231219						①	①	4		△K		
	地 域 空 間 プ ロ デ ュース演習	231220						①	①	4		△K		
	保 存 活 用 プ ロ デ ュース演習	231221						①	①	4		△K		
	生 活 造 形 プ ロ デ ュース演習	231222						①	①	4		△K		
	服 飾 プ ロ デ ュース演習	231223						①	①	4		△K		
	環 境 企 画 演 習	231224						①	①	4		△K		
	卒 業 論 文	231225						⑥		4		□	□	□ □ □ □
	卒 業 制 作	231226						⑥		4		□	□	□ □ □ □
	卒 業 設 計	231227						⑥		4		□	□	□ □ □ □

各コース・グループの学生は、卒業要件を満たすために専門科目の中から76単位以上を選択して履修しなければならないが、選択にあたって各々のコース・グループの◆印の必修科目と選択必修科目の合計で74単位以上の専門科目を履修しなければならない。ただし、建築・インテリアデザインコース建築グループの履修条件はJABEE条件表を参照のこと。

選択必修条件は、◇印の選択必修科目のほかに、コース・グループごとに以下の単位を選択し履修すること。

【全コース対象】

- ・備考欄の〔4〕は1回の授業につき4時間(45分/1時間で計算)連続して行うものである。
- ・備考欄の〔家〕は教育職員免許(家庭)教科に関する専門科目。
- ・備考欄の〔〕内は同時開設している学科名及び科目名を表す。
- ・教職科目については、生活科学部健康デザイン学科開設専門科目で互換できることがある。所属学科教務担当の指示に従うこと。
- ・学芸員資格については、人間文化学部歴史文化学科の指示に従うこと。
- ・履修可能範囲の専印は短大専攻科履修可。
- ・△A印専門科目の中から12単位(但し12単位数を超えて履修した分に関しては74単位に含めない)、△K印専門科目の中から2単位、□印専門科目の中から6単位。以上計20単位を74単位の中に含んで履修する。
- ・△S印専門科目の「基礎科学A～F」の中から4単位以上履修すること。△S印専門科目は教養科目として登録すること。建築・インテリアデザインコースは「基礎科学B(力学)」を履修すること。但し建築グループは必修。
- ・「基礎科学A～F」の履修・クラス分けに関しては、年度始めのガイダンスに従うこと。
- ・「製図基礎」「立体基礎」「造形基礎」「造形プロデュース基礎」を履修するためには「デザイン基礎」の知識が取得されていることを履修条件とする。
- ・「設計製図」「プロダクトデザイン演習」「造形デザイン演習」「デザイン企画演習」等のデザイン系の演習科目を履修するためには、「デッサン」「意匠学」「色彩学」「色彩学演習」に関する十分な知識が必要であり、2年次以降はそれらのいずれかの知識があるものとして取り扱う。
- ・「設計製図Ⅰ」を履修するためには「製図基礎」の知識が、「プロダクトデザイン演習Ⅰ」を履修するためには「立体基礎」の知識が、「造形デザイン演習Ⅰ」を履修するためには「造形基礎」の知識が、「デザイン企画演習Ⅰ」を履修するためには「造形プロデュース基礎」の知識が取得されている(又は相当の学力が取得されている)ことを履修条件とする。
- ・「デザイン実務演習」の履修に当たっては、環境デザイン学科教務担当の指示に従うこと。
- ・教育職員免許、建築士、インテリアプランナー、JABEE、商業施設士、衣料管理士については諸資格の記載を参照。
- ・各コースの欄の◆印は必修、◇印は選択必修。

【デザインプロデュースコース】

- ・△Q 印専門科目の中から 4 単位以上履修すること。
- ・「春期 15 週間ボストン留学プログラム(便覧 p52 参照)」または、「ボストン・サマーセッション(便覧 p51 参照)」を履修することを推奨する。「春期 15 週間ボストン留学プログラム」については 2 年前期の履修を推奨する。いずれも、大学所定のプログラムの他に、留学前の後期にデザインプロデュースコースで行われる留学ガイダンスを受けること。
- ・「卒業制作」を履修する場合には、「デザイン企画演習Ⅰ」前後期 4 単位、「デザイン企画演習Ⅱ」前後期 4 単位、「デザイン企画演習Ⅲ」前期 2 単位の計 10 単位を履修すること。
- ・「DP 総合演習 A」「DP 総合演習 B」「DP 総合演習 C」「DP 総合演習 D」から 1 単位以上履修すること。

【建築・インテリアデザインコース】

- ・「卒業設計」、または「卒業制作」を履修する場合には以下の条件を卒業までに満たす必要がある。
 - a. 「設計製図Ⅰ」もしくは「プロダクトデザイン演習Ⅰ」、「造形デザイン演習Ⅰ」の中から前後期 4 単位、「設計製図Ⅱ」もしくは「プロダクトデザイン演習Ⅱ」、「造形デザイン演習Ⅱ」の中から前後期 4 単位の計 8 単位を履修。
 - b. 「設計製図Ⅲ」あるいは「プロダクトデザイン演習Ⅲ」、「造形デザイン演習Ⅲ」のいずれかを 2 単位履修。
- ・JABEE 認定を希望する学生は建築・インテリアデザインコース建築グループに所属し、このグループ欄の条件に従うこと。(ただし詳細は別表(技術者認定プログラム条件表)に従うこと)
- △B～△F：JABEE 条件である。技術者認定プログラム条件表参照。

【プロダクトデザインコース】

- ・「プロダクトデザイン演習Ⅰ」及び「プロダクトデザイン演習Ⅱ」の履修においては各学期ごとに「プロダクトデザイン演習(A)」を含み計 2 科目以上履修すること。
- ・「卒業制作」を履修する場合は、以下の条件を卒業までに満たす必要がある。
 - a. 「プロダクトデザイン演習Ⅲ」を 2 単位履修。
 - b. 「プロダクトデザイン特別演習」を 1 単位履修。

【服飾デザインマネジメントコース】

- ・「造形デザイン演習Ⅰ」及び「造形デザイン演習Ⅱ」の履修においては各学期ごとに「造形デザイン演習(モード)」を含み計 2 科目以上履修すること。
- ・「服飾 DM 総合演習Ⅰ・Ⅱ」を履修すること。ただし、編入生に関しては編入学以降の適用とする。
- ・「卒業制作」を履修する場合には以下の条件を卒業までに満たす必要がある。
 - a. 「造形デザイン演習Ⅰ」前後期 4 単位、「造形デザイン演習Ⅱ」前後期 4 単位の計 8 単位を履修。
 - b. 「造形デザイン演習Ⅲ」を 2 単位履修。

環境デザイン学科・環境デザイン研究専攻6年制カリキュラム

授 業 科 目			整 理 番 号	学 年						開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	建 築 イン テ リ ア デ ザ イ ン コ ー ス	実 務 関 連	備 考 開設単位: ① 無印は必修科目 ② ○印は選択科目 履修可能範囲: ① 無印は本学科学生のみのみ ② ◎印は他学科学生履修可 ③ □印は同系列学生履修可 ④ 同印は同時開設科目 ⑤ ★印前・後期同一内容 ⑥ ×印は本年度開講せず ⑦ #印は一般教養にならない
				4年次		5年次		6年次						
				単位		単位		単位						
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期					
4 ～ 6 年 次 専 門 講 義 科 目	大 学 院 環 境 デ ザ イ ン 研 究 専 攻 開 設 科 目 (再 掲)	デ ザ イ ン 計 画 特 講 A	231224			②	②	②	②	5・6		●		H25・28年度開講
		デ ザ イ ン 計 画 特 講 B	231225			②	②	②	②	5・6		●		H23・26年度開講
		デ ザ イ ン 計 画 特 講 C	231226			②	②	②	②	5・6		●		H24・27年度開講
	大 学 院 環 境 デ ザ イ ン 研 究 専 攻 開 設 科 目 (再 掲)	建 築 計 画 研 究 I A	231227	②	②	②	②	②	②	5・6		●	▲	
		建 築 計 画 研 究 I B	231228	②	②	②	②	②	②	5・6		●	▲	
		建 築 計 画 研 究 I C	231229	②	②	②	②	②	②	5・6		●	▲	
		居 住 様 式 研 究 I	231230	②	②	②	②	②	②	5・6		●	▲	
		環 境 計 画 研 究 I	231231	②	②	②	②	②	②	5・6		●	▲	
		建 築 構 法 材 料 研 究 I	231232	②	②	②	②	②	②	5・6		●	▲	
		材 料 基 礎 研 究 I	231233	②	②	②	②	②	②	5・6		●		
		材 料 科 学 研 究 I	231234	②	②	②	②	②	②	5・6		●	▲	
		環 境 基 礎 学 I	231235	②	②	②	②	②	②	5・6		●		
		建 築 史 研 究 I	231236	②	②	②	②	②	②	5・6		●	▲	
		建 築 デ ザ イ ン 研 究 I A	231237	②	②	②	②	②	②	5・6		●	▲	
		建 築 デ ザ イ ン 研 究 I B	231238	②	②	②	②	②	②	5・6		●	▲	
		建 築 デ ザ イ ン 研 究 I C	231239	②	②	②	②	②	②	5・6		●	▲	
		ラ ン ド ス ケ ー プ デ ザ イ ン 研 究 I	231240	②	②	②	②	②	②	5・6		●		
		構 造 設 計 特 論	231241	②	②	②	②	②	②	5・6		●	▲	
		建 築 生 産 計 画 論	231242	②	②	②	②	②	②	5・6		●	▲	
		そ の 他 科 目	設 計 製 図 I V (イン タ ー ン シ ッ プ)	231243			④		④		5・6		●	▲b
設 計 製 図 I V (イン タ ー ン シ ッ プ)	231244					④		④	5・6		●	▲b	[8]	
設 計 演 習	231245				②	②	②	②	5・6	同	●	▲a	(環境「設計製図Ⅱ」)	
デ ザ イ ン 実 務 演 習 I - 1 (イン タ ー ン シ ッ プ)	231246				④	④	④	④	5・6		●	▲b		
デ ザ イ ン 実 務 演 習 I - 2 (イン タ ー ン シ ッ プ)	231247				④	④	④	④	5・6		●	▲b		
デ ザ イ ン 実 務 演 習 I - 3 (イン タ ー ン シ ッ プ)	231248				②	②	②	②	5・6		●	▲b		
環 境 科 学 演 習 I - 1	231249				①	①			5		◇			
環 境 科 学 演 習 I - 2	231250						①	①	6		◇			
環 境 科 学 実 験 I - 1	231251				①	①			5		◇			
環 境 科 学 実 験 I - 2	231252						①	①	6		◇			
そ の 他 科 目	環 境 科 学 特 別 研 究 I (論 文)	231253			④	④	④	④	6		□			
	環 境 科 学 特 別 研 究 I (設 計)	231254			④	④	④	④	6		□	▲a		
	環 境 科 学 特 別 研 究 I (制 作)	231255			④	④	④	④	6		□			

6年制課程の学生は4年制の履修条件を満たし、かつ以下の履修条件を満足するよう履修しなければならない。

- ・専攻する研究コースの講義科目から4単位を選択必修し、演習または実験のいずれかを2年間で4単位選択必修する(ただし、履修期間を短縮する場合は、不足単位数を別の科目で充当すること)。
- ・コースの欄の□印専門科目の中から8単位履修すること。
- ・上記以外でコースの欄●印科目で14単位以上履修すること。

備考欄の[8]は1回の授業につき8時間(45分/1時間で計算)連続して行うものである。

「設計演習」は学部「設計製図Ⅱ」(非常勤教員担当)を代替えとできる。(履修にあたっては教務部委員に相談のこと)

建築士受験資格の実務年限2年を認定するための履修方法:▲bを14単位以上+▲aを8単位まで+▲を8単位まで 合計で30単位以上を履修すること。

建築士受験資格の実務年限1年を認定するための履修方法:▲bを4単位以上+▲aを8単位まで+▲を8単位まで 合計で15単位以上を履修すること。

4年次に大学院の科目として認定される単位数の上限は10単位までとする。

教員職員免許状 高(専修)、中(専修)に必要な単位については、大学院 環境デザイン研究専攻のカリキュラム表を確認すること。

上記の大学院 環境デザイン研究専攻開設科目は、学部(4年制)の卒業要件に含まない。

大学院入学後(5・6年次)の修了要件については、大学院 環境デザイン研究専攻のカリキュラム表を確認すること。

12. 健康デザイン学科

授 業 科 目		整 理 番 号	学 年				開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考
			1年次	2年次	3年次	4年次			
			単位	単位	単位	単位			
			前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期			開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③◎学印は学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦#印は一般教養にならない
基礎科目 (専門関連科目)	健康デザイン概論	234001	2	2	2	2	1		
	化学 A	234002	②	②	②	②	1		§
	化学 B	234003		②	②	②	1		§
	生物学	234004	②	②	②	②	1		§
	微生物学	234005		②	②	②	1		■
	化学実験	234006		①	①	①	1		§[4]
	生物学実験	234007	①	①	①	①	1		§[4]
	微生物学実験	234008		①	①	①	2		[4]
	統計・情報処理演習	234009	②	②	②	②	1		▲△■◇▼§[4]
	基礎調理学及び実習	234010	②	②	②	②	1		●[4]
社会生活 と健康	社会福祉概論	234011		②	②	②	2		☆
	衛生・公衆衛生学	234012		②	②	②	2		☆■▼
人体の構造と機能	人体の構造と機能A	234013		②	②	②	1		☆■
	人体の構造と機能B	234014		②	②	②	2		☆■
	生化学	234015		②	②	②	1		☆§
	病理・疾病	234016		②	②	②	2		☆◆
	生化学・解剖生理学実験	234017		②	②	②	2		☆§[6]
食品と衛生	食品学	234018		②	②	②	1		☆△
	食品と加工	234019			②	②	3		☆◇■▼
	食品衛生学	234020		②	②	②	2		☆◇■▼
	食品科学実験	234021			②	②	3		☆◇[6]
	食品マーケティング論	234022				②	4		◇
栄養と健康	栄養と健康	234023		②	②	②	1		☆◇△◆
	応用栄養学	234024		②	②	②	2		☆■◆
	臨床栄養学総論	234025		②	②	②	2		☆
	臨床栄養学各論	234026			②	②	3		☆
	栄養学実習	234027		②	②	②	2		☆[6]◆
	臨床栄養学実習	234028			②	②	3		☆[6]
栄養の指導	栄養指導論総論	234029		②	②	②	2		☆
	栄養指導論各論	234030		②	②	②	2		☆
	公衆栄養学	234031			②	②	3		☆
	栄養指導論実習	234032			②	②	3		☆[6]
給食の運営	調理科学	234033		②	②	②	1		◇
	調理学実習	234034		②	②	②	2		☆◇△[6]
	食品官能評価・鑑別論	234035			②	②	3		◇[4]
	給食管理論Ⅰ	234036		②	②	②	2		☆
	給食管理論Ⅱ	234037		②	②	②	2		☆
	給食実務論実習	234038		②	②	②	2		☆[6]
	校外実習 A	234039			①	①	3		☆
	校外実習 B	234040			②	②	3		☆
	校外実習事前事後の指導	234041			①	①	3		☆

栄養士免許希望者は
1単位以上履修のこと

授 業 科 目		整理番号	学 年				開講中心年次	履修可能範囲等	備 考						
			1年次	2年次	3年次	4年次									
			単位	単位	単位	単位									
			前期	後期	前期	後期				前期	後期				
食 科 学 領 域	食 の デ ザ イ ン	234042		②		②		②	1		♪				
	食 品 素 材 の 科 学	234043			②		②		2		◇♪				
	食 品 情 報 処 理	234044			②		②		2		[4]♪				
	サ プ リ メ ン ト 論	234045				②		②	3						
	調 理 と 理 論	234046					②		②	3		[4]			
	生 体 調 節 と 食 品 成 分	234047					②		②	3		[4]			
	食 行 動 と 食 育	234048						②		②	3				
	世 界 の 食	234049								②	4	[4]			
	食品創生に関わる素材と新技術	234050								②	4				
	食 の 安 全	234051								②	4				
	食 べ 物 と ア レ ル ギ ー	234052									②	4			
	お い し さ の 科 学 と 評 価	234053								②	4		[4]		
感 覚 領 域	メ イ ク ア ッ プ の 科 学	234054	②			②		②		②	1		♪		
	バ イ オ テ ク ノ ロ ジ ー	234055				②		②		②	2		§♪		
	感 覚 学 概 論	234056					②		②		②	2		♪	
	臨 床 薬 理 学	234057							②		②	3		「食科学領域」科目としても履修可	
	感 覚 評 価 ・ 鑑 別 論	234058						②		②		3		[4]	
	色 彩 科 学	234059						②		②		3			
	脳 と お い し さ の 科 学	234060							②		②	3			
	皮 膚 科 学	234061						②		②		3			
	化 粧 心 理 学	234062						②		②		3		【集中】	
	香 粧 料 化 学	234063							②		②	3			
	サ イ コ レ オ ロ ジ ー	234064									②	4			
	サ ク セ ス フ ル エ イ ジ ン グ	234065										②	4		
	薬 事 法	234066										②	4		
	臨 床 カ ウ ン セ リ ン グ 論	234067										②	4		
運 動 領 域	健 康 管 理 概 論	234068		②			②		②		②	1		■▼♪◆	
	運 動 生 理 学	234069					②		②		②	2		▼♪◆	
	体 育 実 技 A	234070		①			①		①		①	1		▼◆	
	体 育 実 技 B	234071		①			①		①		①	1		▼◆	
	スポーツ実習 A・アクアスポーツ	234072	①			①		①		①		1		【集中】◆	
	スポーツ実習 B・スノースポーツ	234073		①			①		①		①	1		【集中】	
	パワーエクササイズ（指導法を含む）	234074		①			①		①		①	1		【集中】◆	
	ス ポ ー ツ 医 学	234075						②		②		3		◆	
	ス ポ ー ツ 栄 養 学	234076						②		②		3		♪◆	
	ス ポ ー ツ ト レ ー ニ ン グ 論	234077						②		②		3		◆	
	体 力 測 定 ・ 評 価	234078							②		②	3		◆	
	バ イ オ メ カ ニ ク ス	234079							②		②	3		◆	
	スポーツトレーニング論演習	234080								②		4		[4]◆	
	体 力 測 定 ・ 評 価 演 習	234081								②		4		[4]◆	
	ス ポ ー ツ 現 場 実 習	234082									①	4		◆	
	健康運動指導士総合演習	234083										②	4		

授 業 科 目	整理番号	学 年				開講中心年次	履修可能範囲等	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次			
		単位	単位	単位	単位			
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	
フー ド ス ペ シ ャ リ ス ト 論	フー ド ス ペ シ ャ リ ス ト 論		②	②	②	2		◇ } 専門科目の卒業要件単位 に含めることはできない
	フー ド コ ー ディ ネ ー ト 論			②	②	3		◇ }
家 庭 科 教 員 免 許 科 目	家 族 関 係 論	②	②	②	②	1	同	△(環境)
	家 庭 経 営 学		②	②	②	2	同	△(環境・福祉「生活福祉経営論」)
	家 庭 経 済 学 A			②	②	3	同	△(現代「消費と経済」)
	住 居 学 A	②	②	②	②	1	◎	△
	住 居 学 B	②	②	②	②	1	同	△(環境「環境心理学」)
	住 居 学 演 習	①	①	①	①	1		△[2]
	被 服 学 A	②	②	②	②	1	◎	△
	被 服 学 B	②	②	②	②	2	◎	△
	被 服 学 及 び 実 習		②	②	②	2	同	△[4] (環境「被服学実習 - 教職 -」)
	家 庭 機 械 及 び 家 庭 電 気			②	②	3	同	△(環境)
	保 育 学		②	②	②	2		△
理 科 教 員 免 許 科 目	家 庭 科 教 育 法		②	②	②	3	同	△(環境・教職)
	家 庭 科 教 育 法 (教 材 研 究)		②	②	②	3	同	(環境・教職)「家庭科教育法」を優先して履修
	物 理 学	②	②	②		2		§
	物 理 学 実 験		①	①	①	3		§[4]【集中】
	地 学		②	②	②	2		§
	地 学 実 験		①	①	①	3		§[4]【集中】
保 健 ・ 保 健 体 育 科 教 員 免 許 科 目	理 科 教 育 法		②	②	②	3	同	§ (教職)
	理 科 教 育 法 (教 材 研 究)		②	②	②	3	同	(教職)「理科教育法」を優先して履修
	運 動 学	②	②	②	②	1		▼
	学 校 保 健 A			②	②	3		■▼
	学 校 保 健 B			②	②	3		■▼
	ス ポ ー ツ 社 会 学	②	②	②	②	1		
	ス ポ ー ツ 心 理 学				②	4		◆「運動領域」科目 としても履修可
	体 育 経 営 管 理 学			②	②	3		
	体 育 原 理		②	②	②	2		
	保 健 科 教 育 法		②	②	②	3	同	■(教職)
	保 健 科 教 育 法 (教 材 研 究)		②	②	②	3	同	(教職)「保健科教育法」を優先して履修
	保 健 体 育 科 教 育 法		②	②	②	3	同	▼(教職)
	保 健 体 育 科 教 育 法 (教 材 研 究)		②	②	②	3	同	(教職)「保健体育科教育法」を優先して履修
	ア メ リ カ 栄 養 士 研 修 プ ロ グ ラ ム		②	②	②	-		
	特 別 演 習 A (外 書 講 読)				①	4		
	特 別 演 習 B (輪 講)				①	4		
	卒 業 研 究				8	4		
	特 別 研 究				⑧	5		

注：備考欄の●印は、健康デザイン学科専用教養科目。♪は領域科目。

備考欄の☆印は栄養士必修科目、△印は家庭科教員免許必修科目、§印は理科教員免許必修科目、■印は保健科教員免許必修科目、

▼印は保健体育科教員必修科目、◇印はフードスペシャリスト資格必修科目、◆印は健康運動指導士受験資格必修科目。

栄養教諭を希望する者は、管理栄養学科に開設されている「学校栄養教育論Ⅰ」「学校栄養教育論Ⅱ」「栄養教育実習事前事後の指導」「栄養教育実習」及び▲印科目を必ず履修すること。

備考欄の[2]は90分授業、[4]は180分授業、[6]は270分授業を、【集中】は集中講義授業を示す。

13. 管理栄養学科

授 業 科 目		整理番号	学 年				開講中心年次	履修可能範囲等	備 考
			1年次	2年次	3年次	4年次			
			単位	単位	単位	単位			
			前 後	前 後	前 後	前 後			
			期 期	期 期	期 期	期 期			
基礎科目（専門関連科目）	管 理 栄 養 士 概 論	233001	2	2	2	2	1		
	化 学 A	233002	2	2	2	2	1		◆●
	化 学 B	233003	2	2	2	2	1		◆●
	生 物 学	233004	②	②	②	②	1		●
	微 生 物 学	233005		2	2	2	2		◆●
	化 学 実 験	233006		①	①	①	1		●[4]
	生 物 学 実 験	233007	①	①	①	①	1		●[4]
	微 生 物 学 実 験	233008			2	2	2		◆●[6]
	統 計・情 報 処 理 演 習	233009		②	②	②	1		▲[4]
社会・環境と健康	基 礎 調 理 学 及 び 実 習	233010	②	②	②	②	1		●[4]
	人 間 と 社 会 生 活	233011			2	2	3		☆◆
	社 会 環 境 と 福 祉	233012		2	2	2	1		☆
人体の構造と機能・疾病の成り立ち	健 康 管 理 概 論	233013	2	2	2	2	1		☆
	人 体 の 構 造 と 機 能 A (総 論)	233014	②	②	②	②	1		☆
	人 体 の 構 造 と 機 能 B (解 剖 学)	233015		2	2	2	1		☆◆
	人 体 の 構 造 と 機 能 C (生 理 学)	233016		2	2	2	1		☆◆
	生 化 学	233017		2	2	2	1		☆◆
	栄 養 生 化 学	233018		2	2	2	2		☆◆
	臨 床 医 学 総 論 (病 理 も 含 む)	233019		2	2	2	2		☆◆
	臨 床 医 学 各 論 (病 理 と 遺 伝 子、遺 伝 子 治 療 含 む)	233020			②	②	2		☆
	生 化 学 実 験	233021			2	2	2		☆◆[6]
食べ物と健康	解 剖 生 理 学 実 験 A (人 体 の 構 造 と 生 理)	233022		2	2	2	2		☆◆[6]★
	解 剖 生 理 学 実 験 B (人 体 の 生 理 と 分 子 医 学)	233023		2	2	2	2		☆◆[6]★
	食 べ 物 と 健 康 (総 論)	233024		2	2	2	1		☆◆
	食 品 素 材 の 科 学	233025		②	②	②	2		☆
	食 品 と 加 工	233026				2	3		☆◆
	食 品 衛 生 学	233027			2	2	2		☆◆
	調 理 科 学	233028		②	②	②	1		☆
	食 品 学 実 験	233029			2	2	2		☆◆[6]
	食 品 衛 生 学・食 品 加 工 学 実 験	233030				2	3		☆◆[6]
基礎栄養学	調 理 学 実 習	233031		②	②	②	2		☆[6]
	調 理 学 実 験	233032				②	3		[6]
応用栄養学	基 礎 栄 養 学	233033	2	2	2	2	1		☆◆
	基 礎 栄 養 学 実 習	233034			1	1	2		☆◆[3]
	応 用 栄 養 学 A (母 性・乳 幼 児)	233035		2	2	2	2		☆◆
	応 用 栄 養 学 B (学 童 期～高 齢 期)	233036			2	2	2		☆◆
栄養教育論	応 用 栄 養 学 C (特 殊 環 境)	233037				2	3		☆◆
	応 用 栄 養 学 実 習	233038			1	1	2		☆◆[3]
栄養教育論	栄 養 教 育 論 総 論	233039		②	②	②	2		☆
	栄 養 教 育 論 各 論	233040			②	②	2		☆

開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学学生のみ
②◎印は他学科学学生履修可
③◎学印は学部内他学科学学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前・後期同一内容
⑦#印は一般教養にならない

授 業 科 目		整 理 番 号	学 年				開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考
			1年次	2年次	3年次	4年次			
			単位	単位	単位	単位			
			前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期			開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学学生のみ ②◎印は他学科学学生履修可 ③◎学印は学部内他学科学学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印は前・後期同一内容 ⑦#印は一般教養にならない
栄養教育論	カ ウ ン セ リ ン グ 論	233041			②	②	3		☆
	栄 養 教 育 論 実 習	233042			①	①	3		☆[3]
臨床栄養学	臨 床 栄 養 学 総 論	233043		②	②	②	2		☆
	臨 床 栄 養 学 各 論 A	233044			②	②	3		☆
	臨 床 栄 養 学 各 論 B	233045			②	②	3		☆
	臨 床 と 分 子 栄 養 学	233046			②	②	3		
	食 事 介 助 と 在 宅 医 療	233047			②	②	3		☆
	臨 床 栄 養 学 特 論	233048			②	②	3		
	臨 床 栄 養 学 実 習	233049			②	②	3		☆[6]
	臨 床 療 法 調 理 学 実 習	233050			②	②	3		[6]
公衆栄養学	公 衆 栄 養 学 総 論	233051		②	②	②	2		☆
	公 衆 栄 養 学 各 論	233052			②	②	3		☆
	公 衆 栄 養 学 実 習	233053			①	①	3		☆[3]
給食経営管理論	給 食 管 理 論	233054		②	②	②	2		☆
	給 食 経 営 管 理 論	233055			②	②	3		☆
	給 食 経 営 管 理 実 習	233056			②	②	3		☆[6]
総合演習	栄養アセスメントとマネジメント演習	233057			①		3~4		☆
	栄 養 情 報 処 理 論 (演 習)	233058			①	①	3		
	臨地実習事前事後集中講義(総合演習A)	233059		①			2~3		☆
	臨地実習事前事後集中講義(総合演習B)	233060				①	4		☆
	臨 地 実 習 A-a(給 食 の 運 営)	233061				①	3~4		☆
	臨 地 実 習 A-b(給 食 の 運 営)	233062				②	3~4		☆
	臨 地 実 習 B-a(公 衆 栄 養 学)	233063				①	3~4		☆
	臨 地 実 習 B-b(公 衆 栄 養 学)	233064				②	3~4		☆
	臨 地 実 習 C-a(臨 床 栄 養 学)	233065				①	3~4		☆
	臨 地 実 習 C-b(臨 床 栄 養 学)	233066				②	3~4		☆
	臨 地 実 習 C-c(臨 床 栄 養 学)	233067				③	3~4		☆
	臨 地 実 習 D(給 食 経 営 管 理 論)	233068				①	3~4		☆
栄養教育論	学 校 栄 養 教 育 論 I	233069		②	②	②	2	◎#	▲
	学 校 栄 養 教 育 論 II	233070		②	②	②	2	◎#	▲
	栄 養 教 育 実 習 事 前 事 後 の 指 導	233071				①	3~4	◎#	▲[1]
	栄 養 教 育 実 習	233072				①	4	◎#	▲
国家試験対策講座	応 用 演 習 I(全 科 目 試 験)	233073				1	4	◎	
	応 用 演 習 II(全 科 目 試 験)	233074				1	4	◎	
	応 用 演 習 A	233075			①	①	3	◎	
	応 用 演 習 B	233076				①	4	◎	
	応 用 演 習 C	233077				①	4	◎	
	応 用 演 習 D	233078					①	4	◎
	応 用 演 習 E	233079					①	4	◎
	応 用 演 習 F	233080					①	4	◎

栄養士免許希望者は、「給食の運営」1単位以上を含む4単位以上履修のこと。

授 業 科 目	整 理 番 号	学 年				開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次			
		単位 前・後 期・期	単位 前・後 期・期	単位 前・後 期・期	単位 前・後 期・期			
アメリカ栄養士研修プログラム	233081		②	②	②	-		開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③◎学印は学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦#印は一般教養にならない
特 別 演 習 A (外 書 講 読)	233082				①	4		
特 別 演 習 B (輪 講)	233083				①	4		
卒 業 研 究	233084				8	4		
特 別 研 究	233085				⑧	5		

注：備考欄の●印は、管理栄養学科専用教養科目。

備考欄の☆印は栄養士必修科目、◆印は食品衛生管理者・食品衛生監視員必修科目、▲印は栄養教諭必修科目。

備考欄の[1]は45分授業を、[3]は135分授業を、[4]は180分授業を、[6]は270分授業を示す。

3年次編入生は食品衛生管理者・食品衛生監視員の任用資格をとることはできない。

14. 文化創造学科

授 業 科 目			整 理 番 号	学 年		開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考			
				1年次	2年次						
				単位	単位						
				前 期	後 期				前 期	後 期	
文化創造基礎科目	ゼミ	基礎ゼミⅠ	520001	1			1	開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学学生のみ ②◎印は他学科学学生履修可 ③◎学 学部内他学科学学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦#印は一般教養にならない			
		基礎ゼミⅡ	520002		1		1				
		文化研究ゼミⅠ	520003			1			2		
		文化研究ゼミⅡ	520004				1		2		
	基礎教養	女性と社会	520005	2					1	隔年開講 ◆(教養)人数制限あり 文化の学生は専門科目として履修すること	
		人間と倫理	520006	②		②			2		
		社会心理学	520007			②	②		2		同★
		ことばと社会	520008			②	②		1		
		生活概論	520009			②	②		1		◎
		環境共生論	520010			②	②		1		
		社会福祉入門	520011			②	②		1・2		◎
		ボランティア論	520012	②		②			1		同
		コミュニティ・サービスマーケティング(ボランティア論)	520013			②	②		1		同
		IT概論	520014	②		②			1		◎
	スキル	日本語講座Ⅰ(書く)	520015	①	①	①	①		1	◆(教養)人数制限あり 文化の学生は専門科目として履修すること ◆(教養)人数制限あり 文化の学生は専門科目として履修すること 「ボランティア論」の単位を修得済のこと (国際:イメージ編集Ⅰ・Ⅱ) (国際:WEBデザインA・B) (国際:DTP編集Ⅰ・Ⅱ)	
		日本語講座Ⅱ(話す)	520016	①	①	①	①		1		
		硬筆書道	520017	①	①	①	①		1・2		
		数理基礎	520018	①	①	①	①		1		★
		コンピュータスキル A(ワード)Ⅰ	520019	①		①			1		
		コンピュータスキル A(エクセル・パワーポイント)Ⅱ	520020			①	①		1		
		コンピュータスキル B(PhotoShop&Illustrator)	520021	①	①	①	①		1		同
		コンピュータスキル C(WEB)	520022	①	①	①	①		1		同
		コンピュータスキル D(パソコン検定)	520023	①	①	①	①		1・2		★
		コンピュータスキル F(デジタル編集)	520024	①	①	①	①		1		同
		コンピュータスキル G(MOS)	520025	①	①	①	①		1		
専門教科科目	文化史	日本文化史	520026	②		②		2	◎	隔年開講 (歴史) (歴史) (日文:中国文学Ⅰ(詩文))	
		江戸時代の紀行	520027			②	②	1・2	◎		
		日本伝統文化B(茶道)	520028	①		①		1・2			
		旅と歌枕	520029	②		②		1・2	◎		
		服飾史	520030			②	②	1			
		日本芸能史	520031	②	②	②	②	1・2	◎同		
		日本美術史概説	520032	②	②	②	②	2	◎同		
		日本住居史	520033			②	②	1・2	◎		
		日本仏教文化	520034	②	②	②	②	2			
		東南アジア紀行	520035	②	②	②	②	1	◎		
		近代文化論	520036			②	②	2	◎		
		中国の文化と文学	520037			②	②	1	◎同		
		アメリカ文化事情	520038	②	②	②	②	1・2	◎		
		文化遺産保護	520039			②	②	1・2	◎		
		異文化間コミュニケーション	520040			②	②	1・2			

授 業 科 目			整 理 番 号	学 年		開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考	
				1年次	2年次			開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学学生のみ ②○印は他学科学学生履修可 ③◎学 学部内他学科学学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦#印は一般教養にならない	
				単位	単位				
				前 後 期	前 後 期				
専 門 教 科 科 目	文 化 史	食 の 文 化 A	520041	②	②	1			
		食 の 文 化 B	520042	②	②	1			
	文 学 ・ 語 学	日 本 古 典 文 学 史	520043	②	②	1	◎		
		日 本 近 代 文 学 史	520044	②	②	1	◎		
		王 朝 文 学	520045	②	②	2	◎		
		平 安 文 学	520046	②	②	1・2			
		日 本 近 代 小 説	520047	②	②	1	◎		
		日 本 語 学 概 論	520048	②	②	2	◎		
		ア メ リ カ 文 学 史	520049	②	②	1・2			
		ヨ ー ロ ッ パ 旅 行 文 化	520050	②	②	1・2	◎		
		ニ ュ ー イ ン グ ラ ン ド 文 学	520051	②	②	1・2			
		エ コ & グ リ ー ン ・ ツ ー リ ズ ム	520052	②	②	1・2	◎		
		デ ィ ズ ニ ー の 文 化 論	520053	②	②	1・2	◎		
		現 代 ア メ リ カ 文 学	520054	②	②	1・2			
		国 際 理 解 入 門	520055	②	②	1・2	同	(現代) 隔年開講 人数制限あり	
		英 語 学 概 論	520056	②	②	2			
		英 語 史	520057	②	②	2			
	イ ン グ リ ッ シ ュ ス キ ル	Social Issues (Grammar&Reading) I	520058	①	①	1			
		Social Issues (Grammar&Reading) II	520059	①	①	1			
		Fiction & Journal (Reading&Writing) I	520060	①	①	1			
		Fiction & Journal (Reading&Writing) II	520061	①	①	1			
		College Life (Speaking)	520062	①	①	1			
		Short Stories (Intensive Reading) I	520063	①	①	1			
		Short Stories (Intensive Reading) II	520064	①	①	1			
		Japanese Tradition (Oral Communication)	520065	①	①	1			
		History & Media (Reading Fluency)	520066	①	①	1			
		Business English	520067	①	①	1			
		Tourism & Hospitality English	520068	①	①	1・2			
		American History (Intensive Reading)	520069		①	2			
		Current Topics (Listening&Discussion)	520070	①	①	1・2			
		English Communication I	520071	①	①	1・2			
	ポ ス ト ン	Current American Topics (Listening&Speaking)	520072	②		1			
		Discussing American Issues (Discussion)	520073	②		1			
		American History (Reading)	520074	②		1			
		Introduction to New England Literature (Reading)	520075	②		1			
		Introduction to American Society (Reading)	520076	②		1			
		Community Service (Visits and Writing)	520077	②		1			
		American Culture Electives I	520078	②		1			
		American Culture Electives II (Writing Project)	520079	②		1			
		Field Trip Study (Class and Excursion)	520080	②		1		一般教養科目の単位となる	

授 業 科 目			整 理 番 号	学 年		開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考			
				1年次	2年次						
				単位	単位						
				前 期	後 期					前 期	後 期
専 門 教 科 科 目	ボストン	Extended Program	520081		②		1		開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学学生のみ ②◎印は他学科学学生履修可 ③◎学 学部内他学科学学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦#印は一般教養にならない		
	メディア・社会	現 代 社 会 論	520082	②		②		1			(現代：市民社会の法（法を考える））人数制限あり
		法 学	520083	②		②		1・2		同	◆(教養) 人数制限あり
		入 門 経 済 学	520084	②	②	②	②	1・2		同★	
		企 業 と 広 報	520085			②		2		同	(現代・国際) 人数制限あり
		マ ー ケ テ ィ ン グ 論	520086				②	2		同	(現代) 人数制限あり
		フ ァ ッ シ ョ ン ブ ラ ン ド 研 究	520087	②		②		1			
		ア パ レ ル 企 画 論	520088	②		②		1			
		販 売 論	520089		②			1			
		販 売 検 定	520090			②		2			
		くらしと NPO（市民にできる社会貢献）	520091		②		②	1			
		現代社会事情概説（女性記者の視点から）	520092			②		2		同	◆(教養) 人数制限あり 文化の学生は専門科目として履修すること
		現 代 女 性 の 社 会 参 加	520093				②	2		同	◆(教養) 人数制限あり 文化の学生は専門科目として履修すること
		メ デ ィ ア 概 論	520094	②		②		1			
		メ デ ィ ア リ テ ラ シ ーⅠ(TV)	520095	②		②		1			
		メ デ ィ ア リ テ ラ シ ーⅡ(児 童)	520096	②		②		1		同	(初教：メディア教育)
		メ デ ィ ア リ テ ラ シ ーⅢ(映 画)	520097	②		②		2			
		メ デ ィ ア リ テ ラ シ ーⅣ(IT)	520098		②		②	1			
		メ デ ィ ア リ テ ラ シ ーⅤ(広 告)	520099		②		②	1			
		創 作 表 現 A（小 説）	520100	①	①	①	①	1・2		◎	
		創 作 表 現 B（脚 本）	520101	②	②	②	②	1・2		◎	
		創 作 表 現 C（毛 筆 書 道Ⅰ）	520102	①	①	①	①	1		同	(日文：書道実習Ⅰ)
		創 作 表 現 D（毛 筆 書 道Ⅱ）	520103	①	①	①	①	2		同	(日文：書道実習Ⅱ)
		創 作 表 現 E（短 歌）	520104	①		①		1		◎	
		創 作 表 現 G（パ フ ォ ー マ ン ス)Ⅰ	520105	①	①			1		◎	
		創 作 表 現 G（パ フ ォ ー マ ン ス)Ⅱ	520106	①	①			1		◎	
		創 作 表 現 G（パ フ ォ ー マ ン ス)Ⅲ	520107			①	①	2		◎	
		創 作 表 現 G（パ フ ォ ー マ ン ス)Ⅳ	520108			①	①	2		◎	
		デ ザ イン 演 習	520109		②	②		2			[4]
		映 像 論 及 び 制 作Ⅰ	520110	③				1		◎	[4]
		映 像 論 及 び 制 作Ⅱ	520111		③			1		◎	[4]
		映 像 論 及 び 制 作Ⅲ	520112			③		2		◎	[4]
		映 像 論 及 び 制 作Ⅳ	520113				③	2		◎	[4]
	生活デザイン	住 生 活 概 論	520114	②		②		1		◎	
		カ ラ ー デ ザ イン	520115		②		②	1		◎	
		西 欧 の 家 具・インテリァ史	520116	②		②		1		同	(環境：西洋家具とインテリアの歴史)
		デ ザ イン 基 礎 A	520117	②				1			[4]
		基 礎 デ ザ イン 論	520118	②	②			1			
		家 具 デ ザ イン	520119			②		2		同	(環境)
		キ ッ チ ン デ ザ イン	520120				②	2		同	(環境)

環境デザイン学科への
編入希望者のみ履修を認める

授 業 科 目			整 理 番 号	学 年		開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考
				1年次	2年次			
				単位	単位			
				前 期	後 期	前 期	後 期	
専 門 教 科 科 目	生活デザイン	工 芸 デ ザ イ ン 論	520121			②	2	(環境) 環境デザイン学科への 編入希望者のみ履修を認める 卒業研究を提出する学生は 文化創造演習Ⅰ・Ⅱを履修すること
	卒 業 研 究	文 化 創 造 演 習 Ⅰ	520122		①		2	
		文 化 創 造 演 習 Ⅱ	520123			①	2	
		卒 業 研 究	520124			④	2	
進 路 支 援	就 職	イ ン タ ー ン シ ッ プ	520125	②			1	[4] } 一般教養科目の単位となる [5] }
		秘 書 学 概 論	520126	②	②		1	
		ホ テ ル マ ネ ジ メ ン ト	520127	②	②		1	
		メ デ ィ カ ル 秘 書 概 論	520128		②	②	1	
		SPI 対 策 講 座 Ⅰ (非 言 語)	520129	①	①	①	1・2	
		SPI 対 策 講 座 Ⅱ (言 語)	520130	①	①	①	1	
	進 学	英 語 R e a d i n g Ⅰ	520131	①	①		1	
		英 語 R e a d i n g Ⅱ	520132			①	①	
		日 本 語 読 解・小 論 文 Ⅰ	520133	①	①		1	
		日 本 語 読 解・小 論 文 Ⅱ	520134			①	①	
図 書 館 司 書	基 礎 科 目	生 涯 学 習 概 論	520135	②	②		1	★# } 図書館司書の資格取得を 目指す学生のみ履修を認める。 資格が取れない場合、 卒業単位(専門科目)として認められない。
		図 書 館 概 論	520136	②	②		1	
		図 書 館 情 報 技 術 論	520137		②	②	②	
		図 書 館 制 度・経 営 論	520138		②	②	②	
	必 修 科 目 図書館サービスに 関する科目	図 書 館 サ ー ビ ス 概 論	520139	②	②		1	
		情 報 サ ー ビ ス 論	520140	②	②		1	
		児 童 サ ー ビ ス 論	520141	②	②	②	②	
		情報サービス演習 A (レファレンスサービス)	520142		①	①	①	
	図 書 館 情 報 資 源 に 関する科目	情報サービス演習 B (情報検索)	520143			①	①	
		図 書 館 情 報 資 源 概 論	520144	②	②		1	
		情 報 資 源 組 織 論	520145	②	②		1	
		情 報 資 源 組 織 演 習 A (目 録)	520146		①	①	①	
		情 報 資 源 組 織 演 習 B (分 類)	520147		①	①	①	
	選 択 科 目	図 書 館 サ ー ビ ス 特 論	520148	①		①	2	
		図 書 館 情 報 資 源 特 論 A	520149		①		①	
		図 書 館 情 報 資 源 特 論 B	520150		①		①	
		図 書・図 書 館 史	520151		①		①	
		図 書 館 施 設 論	520152	①		①	2	
日 本 語 教 育		日 本 語 教 育 概 論 Ⅰ	520153	②		②	1	◎同 (日文・国際) ◎同 (日文・国際) ◎同 (日文・国際) ◎同 (日文・国際) ◎同 (日文・国際) ◎同 (日文・国際) ◎同 (日文・国際) ◎同 (日文・国際) 隔年開講
		第 二 言 語 教 育 概 説	520154	②		②	2	
		第 二 言 語 習 得 論	520155		②		②	
		日 本 語 教 育 概 論 Ⅱ	520156		②		②	
		日 本 語 教 育 学 Ⅰ A (音 声)	520157	②		②	1	
		日 本 語 教 育 学 Ⅰ B (書 写)	520158			②	2	
		日 本 語 教 育 学 Ⅰ C (文 法)	520159	②	②	②	②	
		日 本 語 教 育 指 導 法 論	520160			②	2	

一般教養科目の
単位となる。2 科目 2 単位
選択必修A・Bどちらか一方しか
単位修得できない。図書館司書の資格取得を
目指す学生のみ履修を認める。
資格が取れない場合、
卒業単位(専門科目)として認められない。

授 業 科 目		整 理 番 号	学 年		開 講 中 心 年 次	履 修 可 能 範 囲 等	備 考
			1年次	2年次			
			単位	単位			
			前 後 期 期	前 後 期 期			
日 本 語 教 育	日 本 語 教 育 言 語 分 析 法 研 究	520161	②	②	2	◎同	(日文・国際)
	日 本 語 文 法 論	520162	②②	②②	2	◎同	(日文・国際)
	日 本 語 表 現 法	520163		②	2	◎同	(日文・国際)
	日 英 対 照 研 究	520164		②	2	◎同	(日文・国際)

備考欄に◆の付いた科目

「社会心理」「ボランティア論」「コミュニティ・サービスマーケティング（ボランティア論）」「入門経済学」
「現代社会事情概説（女性記者の視点から）」「現代女性の社会参加」は、人数制限があり、履修方法が通常とは異なるので、学科の指示に従うこと。

在学中に履修できる学部開設科目の単位数は 30 単位までであり、30 単位を超えて修得した分の単位は卒業要件外となる。

【学部開設科目】図書館司書、日本語教育、他学科履修可能科目（◎科目）、特別履修科目

※司書の資格を取得した場合は、残りの 6 単位のみ、学部開設科目を卒業要件単位として履修することができる。

15. ① 国語国文学専攻

授 業 科 目	整 理 番 号	学 年		履修可能範囲等	備 考
		専攻科			開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学学生のみ ②◎印は他学科学学生履修可 ③◎学 学部内他学科学学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦#印は一般教養にならない
		単位			
		前 期	後 期		
文 学 理 論	511001	2	2		どちらか通年で選択必修
国 語 学 特 殊 講 義 A	511002	2	2	同	
国 文 学 特 殊 講 義 A	511003	2	2		
国 語 学 特 殊 講 義 B	511004	②	②	同	
国 文 学 特 殊 講 義 B	511005	②	②		
国 文 学 特 殊 講 義 C	511006	②	②		
国 文 学 特 殊 講 義 D	511007	②	②	同	
国 文 学 特 殊 講 義 E	511008	②	②	同	
比 較 文 学 特 殊 講 義	511009	②	②	同	
国 語 国 文 学 演 習 A	511010	①	①		
国 語 国 文 学 演 習 B	511011	①	①		
国 語 国 文 学 研 究	511012	4			

1. 30 単位以上修得すること。ただし、修了に必要な 30 単位のうち、6 単位までを日本語日本文学科の専門科目の備考欄に「専」と書かれている科目の履修によって修得できる。
2. 文学理論、国語学特殊講義 A、国語学特殊講義 B、国文学特殊講義 A、国語国文学演習 A・B、国語国文学研究を除く専攻科の科目は、文化創造学科の 2 年次生が履修を希望した場合、担当教員の許可があれば履修することができる。

15. ② 英語英文学専攻

授 業 科 目	整 理 番 号	学 年		履 修 可 能 範 囲 等	備 考
		専攻科			開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学学生のみ ②○印は他学科学生履修可 ③◎学 学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦#印は一般教養にならない
		単位			
		前 期	後 期		
Advanced Reading	512001	2	②		[2×2]
卒 業 研 究 A (文 学 系)	512002	2	②		
卒 業 研 究 B (言 語 ・ 文 化 系)	512003	2	②		
イ ギ リ ス 文 学 研 究 I	512004		②	同	(英コミ：マイノリティー文学)
イ ギ リ ス 文 学 研 究 II	512005		②	同	(英コミ：イギリス散文 B)
イ ギ リ ス 文 学 研 究 III	512006	②		同	(英コミ：イギリス散文 A)
ア メ リ カ 文 学 研 究 I	512007	②		同	(英コミ・現代：ニューイングランド文学・文化)
ア メ リ カ 文 学 研 究 II	512008	②		同	(英コミ：アメリカ散文 A)
ア メ リ カ 文 学 研 究 III	512009		②	同	(英コミ：アメリカ散文 B)
英 米 児 童 文 学	512010	②		同	(英コミ：ファンタジー・児童文学)
形 態 論	512011		②	同	(英コミ)
社 会 言 語 学 研 究	512012		②		
文 法 研 究	512013	②		同	(英コミ)
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン I	512014	②			
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン II	512015		②		
Business across Cultures	512016	②		同	(英コミ)

1. 30 単位以上修得すること。

2. 本学の専攻科英語英文学専攻を修了した後、更に本学又は他大学の学部で科目等履修生として一定数の単位を修得し、「学位授与機構」で総修得単位を認定され、論文を提出した上で審査に合格すれば学士(文学)の学位を取得することができる。また、本学の文化創造学科、人間文化学科または英語英文学科、および本専攻科を修了した後、更に本学で科目等履修生として一定の単位を修得し、「学位授与機構」で学士(文学)の学位を取得すれば、昭和女子大学から同様の学士(文学)の学位が追認されます。

3. 本専攻科では実用英語技能検定(英検)および TOEIC® の資格を単位として認定する。

ただし、本専攻科の修了に必要な 30 単位には含まれない。

資格取得者に認定される単位は、以下の通りとする。

英検準 1 級=TOEIC® 650 点以上→1 単位

英検 1 級=TOEIC® 850 点以上→2 単位

認定される単位は最高 2 単位までとし、下位の単位認定を受けた者がさらに上位の「級」を取得した場合には、既得認定単位との差が加算される。

英検と TOEIC® の両方を取っても単位の認定は 1 回のみとする。

本学の文化創造学科、人間文化学科、英語英文学科および二部の人間文化学科・英語英文学科で上記の英検および TOEIC® の資格を申請して認定された単位を再度申請することはできない。

単位認定の申請手続きについては、学生便覧の「英検・TOEIC®・漢検の単位認定」の項の「単位認定の申請方法」を参照すること。

15. ③ 生活文化学専攻

授 業 科 目	整 理 番 号	学 年		履 修 可 能 範 囲 等	備 考
		専攻科			開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②○印は他学科学生履修可 ③◎学 学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦#印は一般教養にならない
		単位			
		前 期	後 期		
生 体 環 境 論	513001		②	同	(環境)
被 服 造 形 科 学	513002	②		同	(環境)
染 色 加 工 学	513003	②			
色 彩 情 報 論	513004		②		
織 維 加 工 学	513005		②	同	(環境)
マ ー ケ テ ィ ン グ 論	513006		②	同	(環境)
フ ァ ッ シ ョ ン サ イ エ ン ス 特 別 演 習	513007	①	①		
近 代 建 築 史	513008	②		同	(環境)
住 居 史	513009	②	②		
建 築 計 画 I	513010	②		同	(環境)
建 築 計 画 II	513011		②	同	(環境)
都 市 デ ザ イ ン 論	513012	②		同	(環境)
建 築 デ ザ イ ン 論	513013	②	②	同	(環境)
環 境 心 理 学	513014	②	②	同	(環境)
イ ン テ リ ア デ ザ イ ン 及 び 演 習	513015	②	①		
住 居 史 演 習	513016	①	①		
建 築 計 画 演 習	513017	①	①		
住 環 境 演 習	513018	①	①		
プ ロ デ ュ ー サ ー 概 論	513019	②		同	(環境)
デ ザ イ ン 計 画 特 講 C	513020	②	②	同	(環境)
デ ー タ 分 析 基 礎	513021		①	同	(環境)
特 別 研 究	513022	4			

30 単位以上修得すること。ただし、修了に必要な 30 単位のうち、7 単位までを環境デザイン学科の専門科目の履修可能範囲等欄に「専」と書かれている科目の履修によって修得できる。

16. 大学院

修了について

<博士前期課程・修士課程>

本大学院の博士前期課程ならびに修士課程は、学部教育課程を基礎にして、さらに深奥な学術の理論とその応用能力を広い視野に立って学び、同時に研究能力を養い、学術の発展と人類の福祉の増進に貢献することを目的とする。

博士前期課程ならびに修士課程の修了要件は以下のとおりとする。

本大学院に2年以上在学し、所定の授業科目を30単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受け、修士論文等の審査及び最終試験に合格することとする。ただし在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者は大学院に1年以上在学すれば足りるものとする。標準修業年限を短縮して修了する場合は、指導教員と相談のうえ修了半年前に早期修了申請書を教育支援センター教務担当へ提出すること。

修了者には修士の学位が授与される。

なお、学則第17条第2項を適用し、次の専攻においては、特定の課題についての研究成果の審査をもって、修士論文の審査に代えることができる。

環境デザイン研究専攻…修士設計、修士制作

人間教育学専攻…芸術作品とその作成経過報告、教職にかかわる実践報告

修士論文題目提出 1年次10月上旬（後期入学者は4月中旬）

修士論文提出 2年次1月中旬（後期入学者は7月上旬）

<博士後期課程>

本大学院の博士後期課程は博士前期課程および修士課程の教育課程を基礎にして、さらに専攻分野について研究者として自立し、研究活動を行うのに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。

博士後期課程の修了要件は以下のとおりとする。

文学研究科日本文学専攻、英米文学専攻及び言語教育・コミュニケーション専攻にあっては、本大学院に5年（博士前期課程における2年の在学期間を含む）以上在学し、所定の授業科目を50単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。また、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者が博士後期課程に入学した場合の修了要件は、大学院に3年以上在学し、所定の授業科目を20単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。

生活機構研究科博士後期課程にあっては、本大学院に3年以上在学し、所定の授業科目16単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。

ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、大学院に3年（博士前期課程を修了した者）にあっては当該課程における2年の在学期間を含む）以上在学すれば足りるものとする。

標準修業年限を短縮して修了する場合は、指導教員と相談のうえ修了半年前に早期修了申請書を教育支援センター教務担当へ提出すること。修了者には博士の学位が授与される。

生活機構学専攻博士論文中間発表会 2年次11月（後期入学者は5月）頃行う。

博士論文公開審査会 博士論文の審査会は3回以上行う。その内1回を公開審査会とする。

情報伝達

大学院学生への情報は専攻並びに指導教員等からの直接の伝達または、学生ポータルサイト UP SHOWA に掲示する。

履修登録

履修登録に関する公示・説明・時間割は UP SHOWA に掲示する。UP SHOWA では以下のことを確認すること。

- ・時間割
- ・履修登録期間
- ・エントリーシートによる履修登録の方法
- ・聴講（単位の修得を目的としない履修）の方法
- ・履修の削除方法

学部開設科目については指導教員の了解のもと、履修を許可する場合がある。但し学部開設科目はその入学資格が女子に限定されていることから、男子学生の履修・聴講を許可していない。

成績の通知

大学院学生の成績は前期分については9月上旬に本人宛に郵送する。また後期分については4月初めに専攻から配布される。UP SHOWAからも確認を行うことができる。

資格課程

- ・大学院を主開設とする資格課程の履修を希望する場合、専攻の指示に従うこと。
- ・教職課程の履修を希望する場合、1年次4月（後期入学者は10月）第1週目に教育支援センター教務担当窓口に出して指示に従うこと。

休学・復学・退学（学則第5章参照）

※各種願い出については大学のCAMPUS GUIDE「諸届願」を準用する。「クラスアドバイザー」は指導教員にこれを読み替える。

・休学

疾病その他やむを得ない理由で休学を希望する者は、その理由を詳記し保証人連書で願い出て、教授会の議を経て学長の許可を得ること。休学期間は在学年数に算入しない。休学中の授業料等納入金は在籍登録料として授業料相当額の半額を納入する。ただし、学期途中で休学する場合はその期の授業料等納入金を完納していること。

病疾その他の理由により修学することが適当でないと認めるときは、学長が休学を命ずることがある。

・復学

休学の理由が解消し復学を希望する者は、保証人連書で願い出て、教授会の議を経て学長の許可を得ること。

・退学

退学を希望する者は、その理由を詳記し保証人連書で願い出て、教授会の議を経て学長の許可を得ること。ただし、授業料等納入金が未納のまま退学することはできない。学生証と校章は願い出時に返却すること。

再入学

正当な理由で退学をした者が再入学を願い出たときは、学期の始めに限り審査のうえこれを許可することがある。手続きについては各専攻に相談すること。

除籍

次に該当する者は、教授会の議を経て、学長が除籍する。

授業料等納入金の滞納が3か月以上におよび、督促を受けても納入しない者。

長期履修学生制度

この制度は、職業を有している等のため、標準の修業年限（修士課程及び博士前期課程は2年、博士後期課程は3年）で修了することが困難な学生を対象に、履修期間を計画的に設定することができる制度である。新入生だけではなく、在学中に条件が変化した在学生も収容定員内の範囲で長期履修学生に変更することができる。ただし、新規及び延長の申請は修業年限が1期（半年）以上残っている者を対象とし、新規・変更共に期間の変更を学期単位とする。なお制度に関する公示・説明・申請期日はUP SHOWAに掲示する。

新規申請の期限（参考）(1)入学予定者…入学手続き時

(2)在学生…後期から希望：6月末日（修了予定の学期中の申請を認めない）

…前期から希望：前年度の12月15日（修了予定の学期中の申請を認めない）

変更申請の期限（参考）

…短縮：6月末日または12月15日（修了予定の学期中の申請を認める）

…延長：6月末日または12月15日（修了予定の学期中の申請を認めない）

16. ① 日本文学専攻 博士前期課程

授 業 科 目	整 理 番 号	単 位	副 題	備 考
		前 後 期 期		
日 本 文 学 特 別 演 習 I	A001	② ②	修士論文指導	
日 本 文 学 特 別 演 習 II	A002	② ②	修士論文指導	
日 本 文 学 特 別 演 習 III	A003	② ②	修士論文指導	
日 本 文 学 特 別 演 習 IV	A004	② ②	修士論文指導	
日 本 文 学 特 別 演 習 V	A005	② ②	修士論文指導	
日 本 語 学 特 別 演 習	A006	② ②	修士論文指導	
上 代 文 学 特 殊 研 究	A007	② ②	『萬葉集』の研究	
中 古 文 学 特 殊 研 究	A008	② ②	『蜻蛉日記』を読む	
中 世 文 学 特 殊 研 究 I	A009	② ②	世阿弥能楽論の研究	
中 世 文 学 特 殊 研 究 II	A010	② ②	西行とその周縁	
近 世 文 学 特 殊 研 究	A011	② ②	蕪村研究	
近 代 文 学 特 殊 研 究 I A	A012	② ②	泉鏡花研究	
近 代 文 学 特 殊 研 究 I B	A013	② ②	村上春樹研究	
近 代 文 学 特 殊 研 究 II	A014	② ②	文学史研究	
近 代 文 学 特 殊 研 究 III	A015	② ②	近代作品研究	
日 本 文 学 特 殊 研 究	A016	② ②	現代文学研究	
上 代 文 学 演 習 I	A017	② ②	『萬葉集』とその受容	
上 代 文 学 演 習 II	A018	② ②	『萬葉集』とその受容	
中 古 文 学 演 習 I	A019	② ②	『源氏物語』を読む	
中 古 文 学 演 習 II	A020	② ②	『源氏物語』を読む	
中 世 文 学 演 習 I A	A021	② ②	中世和歌研究	
中 世 文 学 演 習 I B	A022	② ②	中世文学の諸相 I	
中 世 文 学 演 習 II A	A023	② ②	中世和歌研究	
中 世 文 学 演 習 II B	A024	② ②	中世文学の諸相 II	
近 世 文 学 演 習 I	A025	② ②	注釈の方法	
近 世 文 学 演 習 II	A026	② ②	注釈の方法	
近 代 文 学 演 習 I A	A027	② ②	短編小説の読解	
近 代 文 学 演 習 I B	A028	② ②	現代女性文学研究	
近 代 文 学 演 習 II A	A029	② ②	短編小説の読解	
近 代 文 学 演 習 II B	A030	② ②	現代女性文学研究	
日 本 文 学 演 習	A031	② ②	現代小説を読む	
日 本 語 学 特 殊 研 究 I	A032	② ②	現代日本語文法研究 I	
日 本 語 学 特 殊 研 究 II	A033	② ②	現代日本語文法研究 II	
日 本 語 学 演 習 I	A034	② ②	渡辺実「国語文法論」研究	
日 本 語 学 演 習 II	A035	② ②	中世文法史研究	
中 国 文 学 特 殊 研 究	A036	② ②	『顔氏家訓』を読む	

(履修方法)

各分野の特殊研究4科目16単位、専攻する専門分野の演習2科目8単位および特別演習4単位を必修、他は選択として合計30単位以上履修し、修士論文を提出する。

16. ② 日本文学専攻 博士後期課程

授 業 科 目	整 理 番 号	単 位		副 題	備 考
		前 期	後 期		
日 本 文 学 特 論 I A	B001	②	②	博士論文指導	
日 本 文 学 特 論 I B	B002	②	②	博士論文指導	
日 本 文 学 特 論 I C	B003	②	②	博士論文指導	
日 本 文 学 特 論 II A	B004	②	②	博士論文指導	
日 本 文 学 特 論 II B	B005	②	②	博士論文指導	
日 本 文 学 特 論 II C	B006	②	②	博士論文指導	
日 本 文 学 特 論 III A	B007	②	②	中世文学研究方法論	
日 本 文 学 特 論 III B	B008	②	②	中世文学研究方法論	
日 本 文 学 特 論 III C	B009	②	②	中世文学研究方法論	
日 本 文 学 特 論 IV A	B010	②	②	近代文学研究の方法論	
日 本 文 学 特 論 IV B	B011	②	②	近代文学研究の方法論	
日 本 文 学 特 論 IV C	B012	②	②	近代文学研究の方法論	
日 本 文 学 特 論 V A	B013	②	②	現代文学研究	
日 本 文 学 特 論 V B	B014	②	②	現代文学研究	
日 本 文 学 特 論 V C	B015	②	②	現代文学研究	
日 本 語 学 特 論 A	B016	②	②	日本語学研究方法論	
日 本 語 学 特 論 B	B017	②	②	日本語学研究方法論	
日 本 語 学 特 論 C	B018	②	②	日本語学研究方法論	
上 代 文 学 特 殊 研 究	B019	②	②	『萬葉集』の研究	
中 古 文 学 特 殊 研 究	B020	②	②	『蜻蛉日記』を読む	
中 世 文 学 特 殊 研 究 I	B021	②	②	世阿弥能楽論の研究	
中 世 文 学 特 殊 研 究 II	B022	②	②	中世日記紀行文学研究	
近 世 文 学 特 殊 研 究	B023	②	②	蕪村研究	
近 代 文 学 特 殊 研 究 I A	B024	②	②	泉鏡花研究	
近 代 文 学 特 殊 研 究 I B	B025	②	②	村上春樹研究	
近 代 文 学 特 殊 研 究 II	B026	②	②	文学史研究	
近 代 文 学 特 殊 研 究 III	B027	②	②	近代作品研究	
上 代 文 学 演 習 I	B028	②	②	『萬葉集』とその受容	
上 代 文 学 演 習 II	B029	②	②	『萬葉集』とその受容	
上 代 文 学 演 習 III	B030	②	②	『萬葉集』とその受容	
中 古 文 学 演 習 I	B031	②	②	『源氏物語』を読む	
中 古 文 学 演 習 II	B032	②	②	『源氏物語』を読む	
中 古 文 学 演 習 III	B033	②	②	『源氏物語』を読む	
中 世 文 学 演 習 I A	B034	②	②	中世和歌文学研究	
中 世 文 学 演 習 II A	B035	②	②	中世和歌文学研究	
中 世 文 学 演 習 III A	B036	②	②	中世和歌文学研究	
中 世 文 学 演 習 I B	B037	②	②	室町時代文学研究 I	
中 世 文 学 演 習 II B	B038	②	②	室町時代文学研究 II	
中 世 文 学 演 習 III B	B039	②	②	室町時代文学研究 III	
近 世 文 学 演 習 I	B040	②	②	注釈の方法	
近 世 文 学 演 習 II	B041	②	②	注釈の方法	
近 世 文 学 演 習 III	B042	②	②	注釈の方法	
近 代 文 学 演 習 I A	B043	②	②	短編小説の読解	

授 業 科 目	整 理 番 号	単 位		副 題	備 考
		前 期	後 期		
近 代 文 学 演 習 Ⅱ A	B044	②	②	短編小説の読解	
近 代 文 学 演 習 Ⅲ A	B045	②	②	短編小説の読解	
近 代 文 学 演 習 Ⅰ B	B046	②	②	現代女性文学研究	
近 代 文 学 演 習 Ⅱ B	B047	②	②	現代女性文学研究	
近 代 文 学 演 習 Ⅲ B	B048	②	②	現代女性文学研究	
日 本 語 学 特 殊 研 究 Ⅰ	B049	②	②	現代日本語文法研究Ⅰ	
日 本 語 学 特 殊 研 究 Ⅱ	B050	②	②	現代日本語文法研究Ⅱ	
日 本 語 学 演 習 Ⅰ	B051	②	②	現代日本語の語彙分析Ⅰ	
日 本 語 学 演 習 Ⅱ	B052	②	②	現代日本語の語彙分析Ⅱ	
日 本 語 学 演 習 Ⅲ	B053	②	②	現代日本語の語彙分析Ⅲ	

*開設授業科目の中から10科目20単位以上選択必修とする。ただし、別に特論4単位以上を履修しなければならない。

*平成19年度以前の博士後期課程の入学者と、日本語教育学を専攻する者は、言語教育・コミュニケーション専攻博士後期課程カリキュラムの開設授業科目を履修すること。

16. ③ 英米文学専攻 博士前期課程

授 業 科 目	整 理 番 号	単 位		副 題	備 考
		前 期	後 期		
英 米 文 学 特 別 演 習 I	C001	②	②	論文指導	
英 米 文 学 特 別 演 習 II	C002	②	②	論文指導	
英 米 文 学 特 別 演 習 III	C003	②	②	論文指導	
英 米 文 学 特 別 演 習 IV	C004	②	②	論文指導	
英 語 学 特 別 演 習 I	C005	②	②	論文指導	
英 語 学 特 別 演 習 II	C006	②	②	論文指導	
英 語 学 特 別 演 習 III	C007	②	②	論文指導	
英 語 学 特 別 演 習 IV	C008	②	②	論文指導	
英 米 文 学 特 殊 研 究 I A	C009	②		現代イギリス小説研究	
英 米 文 学 特 殊 研 究 I B	C010		②	現代イギリス小説研究	
英 米 文 学 特 殊 研 究 II A	C011	②		18・19 世紀イギリス小説研究	
英 米 文 学 特 殊 研 究 II B	C012		②	18・19 世紀イギリス小説研究	
英 米 文 学 特 殊 研 究 III A	C013	②		現代アメリカ文学研究	
英 米 文 学 特 殊 研 究 III B	C014		②	現代アメリカ文学研究	
英 米 文 学 特 殊 研 究 IV A	C015	②		アメリカ演劇研究	
英 米 文 学 特 殊 研 究 IV B	C016		②	アメリカ演劇研究	
英 米 文 学 特 殊 研 究 V A	C017	②		イギリス演劇研究	
英 米 文 学 特 殊 研 究 V B	C018		②	イギリス演劇研究	
英 米 文 学 演 習 I A	C019	②		イギリス詩演習	
英 米 文 学 演 習 I B	C020		②	イギリス詩演習	
英 米 文 学 演 習 II A	C021	②		19 世紀イギリス小説演習	
英 米 文 学 演 習 II B	C022		②	19 世紀イギリス小説演習	
英 米 文 学 演 習 III A	C023	②		現代イギリス文学演習	
英 米 文 学 演 習 III B	C024		②	現代イギリス文学演習	
英 米 文 学 演 習 IV A	C025	②		現代アメリカ文学演習	
英 米 文 学 演 習 IV B	C026		②	現代アメリカ文学演習	
英 米 文 学 演 習 V A	C027	②		アメリカ小説演習	
英 米 文 学 演 習 V B	C028		②	アメリカ小説演習	
英 語 学 特 殊 研 究 I A	C029	②		中英語研究	
英 語 学 特 殊 研 究 I B	C030		②	中英語研究	
英 語 学 特 殊 研 究 II A	C031	②		翻訳研究	
英 語 学 特 殊 研 究 II B	C032		②	翻訳研究	
英 語 学 特 殊 研 究 III A	C033	②		古英語研究	
英 語 学 特 殊 研 究 III B	C034		②	古英語研究	
英 語 学 演 習 I A	C035	②		中英語演習	
英 語 学 演 習 I B	C036		②	中英語演習	
英 語 学 演 習 II A	C037	②		認知意味論演習	
英 語 学 演 習 II B	C038		②	認知意味論演習	
英 語 学 演 習 III A	C039	②		記号論演習	
英 語 学 演 習 III B	C040		②	記号論演習	
英 米 文 化 特 殊 研 究 A	C041	②		現代英米思想と人間観	
英 米 文 化 特 殊 研 究 B	C042		②	現代英米思想と人間観	
言 語 学 特 殊 講 義 A	C043	②		日本語論	

授 業 科 目	整 理 番 号	単 位		副 題	備 考
		前 期	後 期		
言 語 学 特 殊 講 義 B	C044		②	日本語論	
言 語 学 特 殊 講 義 C	C045	②		認知言語学と文法	
言 語 学 特 殊 講 義 D	C046		②	認知言語学と文法	

- 1) 開設科目の中から特別演習 4 単位を含めて 14 科目 30 単位以上を履修し、別に修士論文を提出しなければならない。
 2) 特別演習 4 単位は、修士論文の提出年次に履修すること。

16. ④ 英米文学専攻 博士後期課程

授 業 科 目	整 理 番 号	単 位		副 題	備 考
		前 期	後 期		
英 米 文 学 特 論 I	D001	②	②	論文指導	
英 米 文 学 特 論 II	D002	②	②	論文指導	
英 米 文 学 特 論 III	D003	②	②	論文指導	
英 米 文 学 特 論 IV	D004	②	②	論文指導	
英 語 学 特 論 I	D005	②	②	論文指導	
英 語 学 特 論 II	D006	②	②	論文指導	
英 語 学 特 論 III	D007	②	②	論文指導	
英 米 文 学 特 殊 研 究 I A	D008	②		現代イギリス小説研究	
英 米 文 学 特 殊 研 究 I B	D009		②	現代イギリス小説研究	
英 米 文 学 特 殊 研 究 II A	D010	②		イギリス演劇研究	
英 米 文 学 特 殊 研 究 II B	D011		②	イギリス演劇研究	
英 米 文 学 特 殊 研 究 III A	D012	②		現代アメリカ文学研究	
英 米 文 学 特 殊 研 究 III B	D013		②	現代アメリカ文学研究	
英 米 文 学 特 殊 研 究 IV A	D014	②		アメリカ演劇研究	
英 米 文 学 特 殊 研 究 IV B	D015		②	アメリカ演劇研究	
英 米 文 学 演 習 I A	D016	②		イギリス詩演習	
英 米 文 学 演 習 I B	D017		②	イギリス詩演習	
英 米 文 学 演 習 II A	D018	②		19世紀イギリス小説演習	
英 米 文 学 演 習 II B	D019		②	19世紀イギリス小説演習	
英 米 文 学 演 習 III A	D020	②		現代イギリス文学演習	
英 米 文 学 演 習 III B	D021		②	現代イギリス文学演習	
英 米 文 学 演 習 IV A	D022	②		現代アメリカ文学演習	
英 米 文 学 演 習 IV B	D023		②	現代アメリカ文学演習	
英 米 文 学 演 習 V A	D024	②		アメリカ小説演習	
英 米 文 学 演 習 V B	D025		②	アメリカ小説演習	
英 語 学 特 殊 研 究 I A	D026	②		チョーサー研究	
英 語 学 特 殊 研 究 I B	D027		②	チョーサー研究	
英 語 学 特 殊 研 究 II A	D028	②		翻訳研究	
英 語 学 特 殊 研 究 II B	D029		②	翻訳研究	
英 語 学 特 殊 研 究 III A	D030	②		古英語研究	
英 語 学 特 殊 研 究 III B	D031		②	古英語研究	
英 語 学 演 習 I A	D032	②		中英語演習	
英 語 学 演 習 I B	D033		②	中英語演習	
英 語 学 演 習 II A	D034	②		認知意味論演習	
英 語 学 演 習 II B	D035		②	認知意味論演習	
言 語 学 特 殊 講 義 A	D036	②		日本語論	
言 語 学 特 殊 講 義 B	D037		②	日本語論	
言 語 学 特 殊 講 義 C	D038	②		認知言語学と文法	
言 語 学 特 殊 講 義 D	D039		②	認知言語学と文法	

1) 開設科目の中から 20 単位以上を履修し、別に特論 4 単位以上を履修しなければならない。

16. ⑤ 言語教育・コミュニケーション専攻 博士前期課程

授 業 科 目	整 理 番 号	単 位		副 題	備 考
		前 期	後 期		
共通科目	文化間コミュニケーション A	E001	②	異文化コミュニケーションの諸相(1)	
	文化間コミュニケーション B	E002	②	異文化コミュニケーションの諸相(2)	
	言語学特殊講義 A	E003	②	認知言語学と文法(1)	
	言語学特殊講義 B	E004	②	認知言語学と文法(2)	
	言語学特殊講義 C	E005	②	日本語論(1)	
	言語学特殊講義 D	E006	②	日本語論(2)	
	言語教授法研究	E007	② ②	言語教授法の理論と研究	○
	第二言語習得 A	E008	②	学習者言語の研究 1	
	第二言語習得 B	E009	②	学習者言語の研究 2	
	言語学 I A	E010	②	言語学概論	
	言語学 I B	E011	②	言語学と言語教育学の接点	
	Distinguished Lecture	E012	②	Current Issues	集中
日本語教育科目	日本語学 I A	E013	②	日本語学 I	
	日本語学 I B	E014	②	日本語学 II	
	日本語教育論 A	E015	②	語彙・意味論	◎
	日本語教育論 B	E016	②	語用論	◎
	日本語教育論 C	E017	②	授業設計と教材作成	
	日本語教育論 D	E018	②	評価法とテスト作成	
	日本語教育特殊講義 A	E019	②	日本語教授法 1	
	日本語教育特殊講義 B	E020	②	日本語教授法 2	
	日本語教育特殊講義 C	E021	②	現代日本語文法研究 1	
	日本語教育特殊講義 D	E022	②	第二言語習得と日本語教育	
	日本語教育特殊講義 E	E023	②	日本文化	
	日本語教育特殊講義 F	E024	②	日本文化	
	日本語教育演習 I A	E025	② ②	言語研究の方法	○
	日本語教育演習 I B	E026	② ②	日本語教育関連諸研究の検討	○
	日本語教育演習 II A	E027	② ②	日本語教育の量的研究	○
	日本語教育演習 II B	E028	② ②	日本語・教授法研究	○
	日本語教育実習 I	E029	② ②	日本語指導法・実習	
	日本語教育実習 II A	E030	①	日本語教育実習	
	日本語教育実習 II B	E031	①	日本語教育実習	
	日本語教育特別演習 A	E032	② ②	研究指導、論文作成指導	
	日本語教育特別演習 B	E033	② ②	研究指導、論文作成指導	
英語教育科目	英語教育論 A	E034	②	文法指導とフィードバック	
	英語教育論 B	E035	②	教師のことばと発話の引き出し方	
	英語教育特殊講義 A	E036	②	英語教授法理論	
	英語教育特殊講義 B	E037	②	英語教授法理論	
	英語教育特殊講義 C	E038	②	Research Method	
	英語教育特殊講義 D	E039	②	音声指導	
	英語教育特殊講義 E	E040	②	第二言語習得論	
	英語教育特殊講義 F	E041	②	質的研究方法	
	英語教育演習 A	E042	②	Language Assessment	
	英語教育演習 B	E043	②	語彙指導	

授 業 科 目		整 理 番 号	単 位		副 題	備 考
			前 期	後 期		
英 語 教 育 科 目	英 語 教 育 演 習 C	E044		②	コーパス研究	集中
	英 語 教 育 演 習 D	E045	②		児童英語教育	集中
	英 語 教 育 演 習 E	E046	②		心理言語学	
	英 語 教 育 演 習 F	E047		②	教材論	
	英 語 教 育 演 習 G	E048	②		言語分析	
	英 語 教 育 特 殊 研 究	E049		②	ボストン研修	集中
	英 語 教 育 特 別 演 習 A	E050	②	②	研究指導、論文作成指導	
	英 語 教 育 特 別 演 習 B	E051	②	②	研究指導、論文作成指導	
	英 語 教 育 特 別 演 習 C	E052	②	②	研究指導、論文作成指導	
	英 語 教 育 特 別 演 習 D	E053	②	②	研究指導、論文作成指導	

＜履修方法＞

- (1) 特別演習は、日本語教育・英語教育のいずれか 4 単位を必修とする。
- (2) 日本語教育を専門とする学生は、必修科目（◎のある科目）と選択必修科目（○）を含み、共通科目・日本語教育科目のほかに英語教育科目・日本文学専攻博士前期課程の科目（最高 8 単位まで）を含み、合計 30 単位以上履修する。他に、修士論文を提出する。
- (3) 英語教育を専門とする学生は、共通科目・英語教育科目のほかに、日本語教育科目・英米文学専攻博士前期課程の科目（最高 8 単位まで）を含み、合計 30 単位以上履修する。他に修士論文を提出する。ただし、専修免許の取得を希望する場合は、英語教育科目および共通科目より 24 単位以上取得すること。

16. ⑥ 言語教育・コミュニケーション専攻 博士後期課程

授 業 科 目	整 理 番 号	単 位		副 題	備 考
		前 期	後 期		
共通科目	言 語 学 特 殊 講 義 A	F001	②	認知言語学と文法(1)	
	言 語 学 特 殊 講 義 B	F002	②	認知言語学と文法(2)	
	言 語 学 特 殊 講 義 C	F003	②	日本語論(1)	
	言 語 学 特 殊 講 義 D	F004	②	日本語論(2)	
	第 二 言 語 習 得 A	F005	②	学習者言語の研究 1	
	第 二 言 語 習 得 B	F006	②	学習者言語の研究 2	
	言 語 学 II A	F007	②	言語学概論	
	言 語 学 II B	F008	②	言語学と言語教育学の接点	
	文化間コミュニケーション A	F009	②	異文化コミュニケーションの諸相(1)	
	文化間コミュニケーション B	F010	②	異文化コミュニケーションの諸相(2)	
	Distinguished Lecture	F011	②	Current Issues	集中
日本語教育科目	日 本 語 教 育 特 論 I	F012	① ①	研究指導、論文作成指導	
	日 本 語 教 育 特 論 II	F013	① ①	研究指導、論文作成指導	
	日 本 語 教 育 特 論 III	F014	① ①	研究指導、論文作成指導	
	日 本 語 教 育 特 論 IV	F015	① ①	研究指導、論文作成指導	
	日 本 語 教 育 特 論 V	F016	① ①	研究指導、論文作成指導	
	日 本 語 教 育 特 論 VI	F017	① ①	研究指導、論文作成指導	
	日 本 語 教 育 特 論 VII	F018	① ①	研究指導、論文作成指導	
	日 本 語 教 育 特 論 VIII	F019	① ①	研究指導、論文作成指導	
	日 本 語 教 育 特 論 IX	F020	① ①	研究指導、論文作成指導	
	日 本 語 学 II A	F024	②	日本語学 I	
	日 本 語 学 II B	F025	②	日本語学 II	
	日 本 語 教 育 論 A	F026	②	語彙・意味論	
	日 本 語 教 育 論 B	F027	②	語用論	
	日 本 語 教 育 特 殊 講 義 A	F028	②	日本語教授法 1	
	日 本 語 教 育 特 殊 講 義 B	F029	②	日本語教授法 2	
	日 本 語 教 育 特 殊 講 義 C	F030	②	現代日本語文法研究 1	
	日 本 語 教 育 特 殊 講 義 D	F031	②	現代日本語文法研究 2	
	日 本 語 教 育 特 殊 講 義 E	F032	②	日本文化 1	
	日 本 語 教 育 特 殊 講 義 F	F033	②	日本文化 2	
	日 本 語 教 育 演 習 I	F034	② ②	日本語の意味分析	
	日 本 語 教 育 演 習 II	F035	② ②	日本語の語用分析	
	日 本 語 教 育 演 習 III	F036	② ②	意味・語用論の言語教育への応用	
英語教育科目	言 語 コミュニケーション論 A	F037	②	言語コミュニケーションのメカニズム 1	
	言 語 コミュニケーション論 B	F038	②	言語コミュニケーションのメカニズム 2	
	英 語 教 育 特 論 I	F039	① ①	研究指導、論文作成指導	
	英 語 教 育 特 論 II	F040	① ①	研究指導、論文作成指導	
	英 語 教 育 特 論 III	F041	① ①	研究指導、論文作成指導	
	英 語 教 育 特 論 IV	F042	① ①	研究指導、論文作成指導	
	英 語 教 育 特 論 V	F043	① ①	研究指導、論文作成指導	

16

⑥ 言語教育・コミュニケーション専攻 博士後期課程

授 業 科 目		整 理 番 号	単 位		副 題	備 考
			前 期	後 期		
英 語 教 育 科 目	英 語 教 育 特 論 VI	F044	①	①	研究指導、論文作成指導	
	英 語 教 育 論 A	F045	②		文法指導とフィードバック	
	英 語 教 育 論 B	F046		②	教師のことばと発話の引き出し方	
	英 語 教 育 特 殊 講 義 A	F047	②		英語教授法理論	
	英 語 教 育 特 殊 講 義 B	F048		②	英語教授法理論	
	英 語 教 育 特 殊 講 義 C	F049	②		Research Method	
	英 語 教 育 特 殊 講 義 D	F050	②		心理言語学	
	英 語 教 育 演 習 A	F051		②	Language Assessment	
	英 語 教 育 演 習 B	F052	②			
	英 語 教 育 演 習 C	F053		②	コーパス研究	集中
	英 語 教 育 演 習 F	F054		②	教材論	
	英 語 教 育 演 習 G	F055	②			
	英 語 教 育 演 習 H	F056		②		

＜履修方法＞

修了要件として、開設授業科目から 10 科目 20 単位以上選択必修とする。

別に博士論文の作成にかかわる（日本語教育・英語教育いずれかの）特論 6 単位を修得する。

16. ⑦ 生活機構学専攻 博士後期課程

授 業 科 目	整 理 番 号	単 位		副 題	備 考
		前 期	後 期		
共通 生活機構学総合演習	G001	1	1		
生活文化研究領域	生活文化研究ⅡA	G002	②	② 地域研究上方法論的問題の研究	
	生活文化研究ⅡB	G003	②	② 日本の基層文化を探究	
	生活文化研究ⅡC	G004	②	② 女性文化研究	
	生活文化研究ⅡD	G005	②	② 東南アジアの考古遺産研究	
	生活文化研究ⅡF	G006	②	② 西洋近現代絵画研究	
	生活文化研究ⅡG	G007	②	② 鎌倉時代史研究	
	生活文化研究ⅡH	G008	②	② 中近世仏教文化史の諸問題	
	文化財研究Ⅱ	G009	②	② 文化財の保存修復研究	
	生活文化演習Ⅱ-1	G010	①	①	
	生活文化演習Ⅱ-2	G011	①	①	
	生活文化演習Ⅱ-3	G012	①	①	
	生活文化特別研究Ⅱ	G013	②	②	
人間社会研究領域	臨床心理研究ⅡA	G014	②	② 実践事例検討を中心として	
	臨床心理研究ⅡB	G015	②	② 事例研究を通じた心理臨床の基本	
	社会心理研究Ⅱ	G016	②	② 態度と説得の社会心理学	
	発達臨床心理研究Ⅱ	G017	②	② 発達臨床の基礎理論	
	認知心理研究Ⅱ	G018	②	② ポジティブ心理学	
	心理学演習Ⅱ-1	G019	①	①	
	心理学演習Ⅱ-2	G020	①	①	
	心理学演習Ⅱ-3	G021	①	①	
	心理学特別研究Ⅱ	G022	②	②	
	生活政策研究Ⅱ	G023	②	② 少子高齢社会の社会保障と国民生活	
	労働とジェンダー研究Ⅱ	G024	②	② 現代の労働態様と労働、福祉政策をジェンダー視点から考察	
	児童福祉研究Ⅱ	G025	②	② 子どもの福祉を人権保護の視点から探求	
	現代国際関係研究Ⅱ	G026	②	② 国際関係論	
	福祉社会演習Ⅱ-1	G027	①	①	
	福祉社会演習Ⅱ-2	G028	①	①	
	福祉社会演習Ⅱ-3	G029	①	①	
	福祉社会特別研究Ⅱ	G030	②	②	
	道徳教育研究Ⅱ	G031	②	② 道徳性育成・徳育に関する理論的・実践的研究	
	理科教育研究Ⅱ	G032	②	② 自然認識の構造と構成	
	音楽教育研究Ⅱ	G033	②	② 音楽の表現形式を核とした教育実践とカリキュラムの研究	
生活科学研究領域	教育学演習Ⅱ-1	G034	①	①	
	教育学演習Ⅱ-2	G035	①	①	
	教育学演習Ⅱ-3	G036	①	①	
	教育学特別研究Ⅱ	G037	②	②	
	建築計画研究ⅡA	G038	②	② 建築・都市の計画論	
生活科学研究領域	建築計画研究ⅡB	G039	②	② 建築・都市デザインの形成要因	
	建築史研究Ⅱ	G040	②	② 歴史的建築の保存、活用、復元に関する考察	
	建築意匠研究Ⅱ	G041	②	② 環境心理学研究と建築デザイン論	
	居住様式研究Ⅱ	G042	②	② 生活の質を高める居住様式の探求	

授 業 科 目		整 理 番 号	単 位		副 題	備 考
			前 期	後 期		
生 活 科 学 研 究 領 域	材 料 基 礎 研 究 Ⅱ	G043	②	②	現象解析と simulation 技法	
	材 料 科 学 研 究 Ⅱ	G044	②	②	快適な環境のための材料科学と環境科学	
	織 維 材 料 研 究 Ⅱ	G045	②	②	繊維材料の化学構造と物性の関連	
	服 飾 意 匠 計 画 研 究 Ⅱ	G046	②	②	着ごちの良い衣服の設計と評価	
	環 境 科 学 演 習 Ⅱ - 1	G047	①	①		
	環 境 科 学 演 習 Ⅱ - 2	G048	①	①		
	環 境 科 学 演 習 Ⅱ - 3	G049	①	①		
	環 境 科 学 特 別 研 究 Ⅱ	G050	②	②		
	食 品 素 材 研 究 Ⅱ	G051	②	②	有用微生物の探索とその利用	
	食 品 材 料 機 能 開 発 Ⅱ	G052	②	②	食品機能の解析・評価と生産・流通	
	食 品 材 料 科 学 Ⅱ	G053	②	②	食品成分の機能と相互作用	
	食 品 材 料 研 究 Ⅱ	G054	②	②	食品のレオロジーと構造と機能	
	栄 養 ・ 生 化 学 研 究 Ⅱ	G055	②	②	栄養・食品成分の生理機能解析	
	臨 床 栄 養 研 究 Ⅱ	G056	②	②	医療現場における実践栄養アプローチ	
	健 康 科 学 演 習 Ⅱ - 1	G057	①	①		
	健 康 科 学 演 習 Ⅱ - 2	G058	①	①		
	健 康 科 学 演 習 Ⅱ - 3	G059	①	①		
	健 康 科 学 特 別 研 究 Ⅱ	G060	②	②		

(履修方法)

博士後期課程では、最低 16 単位の履修を必修とする。

共通必修科目：生活機構学総合演習（2 単位）、所属する領域の研究科目（4 単位）と、その研究科目に関連する演習科目（2 単位を 3 年間で 6 単位、但し早期修了生の場合は不足単位を別の研究科目で充当すること、また長期履修生の場合は 4 年目以降演習Ⅱ-3 を聴講すること）、及び特別研究Ⅱ（4 単位）の合計 16 単位を必修とする。

16. ⑧ 生活文化研究専攻 修士課程

授 業 科 目	整 理 番 号	単 位	副 題	備 考
		前 後 期 期		
生 活 文 化 研 究 I A	H001	② ②	近代女性文献研究	
生 活 文 化 研 究 I B	H002	② ②	服飾文化研究	
考 古 学 研 究 I A	H003	② ②	縄文時代文化研究の諸問題	1級考古調査士関連科目
考 古 学 研 究 I B	H004	② ②	石器時代文化研究と民族誌考古学	1級考古調査士関連科目
考 古 学 研 究 I C	H005	② ②	東南アジア考古学研究	
埋 蔵 文 化 財 行 政 学 特 論 A	H006	②	埋蔵文化財行政をめぐる諸問題	1級考古調査士関連科目
埋 蔵 文 化 財 行 政 学 特 論 B	H007	②	埋蔵文化財調査報告書作成法	1級考古調査士関連科目
地 域 文 化 研 究 I A	H008	② ②		
地 域 文 化 研 究 I B	H009	② ②	地域文化研究の理論と実践	
地 域 文 化 研 究 I C	H010	② ②	人形芝居研究	
地 域 文 化 研 究 I D	H011	② ②	遊牧の文化とことば	
美 術 研 究 I A	H012	② ②	西洋近代美術研究	
美 術 研 究 I B	H013	② ②	中近世絵画研究	
歴 史 文 化 研 究 I A	H014	② ②	日本中世の武士社会	
歴 史 文 化 研 究 I B a	H015	② ②	日本近世文化史(1)	
歴 史 文 化 研 究 I B b	H016	② ②	日本近世文化史(2)	
歴 史 文 化 研 究 I C	H017	② ②		
歴 史 文 化 研 究 I D	H018	② ②	寺院文書の研究	
歴 史 文 化 研 究 I E	H019	② ②	古代エジプト研究	
歴 史 文 化 研 究 I F a	H020	② ②	日本女性文化史研究(1)	
歴 史 文 化 研 究 I F b	H021	② ②	日本女性文化史研究(2)	
文 化 財 研 究 (文 化) I A	H022	② ②	文化財保護制度と国際協力(1)	
文 化 財 研 究 (文 化) I B	H023	② ②	文化財保護制度と国際協力(2)	
文 化 財 研 究 (文 化) I C	H024	② ②	文化財修復基礎研究・文献と実技	
文 化 財 研 究 (文 化) I D	H025	② ②	歴史的建造物の保存・活用・復元	
文 化 財 研 究 (文 化) I E	H026	② ②	出土漆製品の技術研究	
生 活 文 化 演 習 I A a	H027	② ②	母性主義の諸問題(1)	
生 活 文 化 演 習 I A b	H028	② ②	母性主義の諸問題(2)	
考 古 学 演 習 I A a	H029	② ②	日本考古学の諸問題(1)	
考 古 学 演 習 I A b	H030	② ②	日本考古学の諸問題(2)	
考 古 学 演 習 I B a	H031	② ②	ベトナム考古学の諸問題(1)	
考 古 学 演 習 I B b	H032	② ②	ベトナム考古学の諸問題(2)	
地 域 文 化 演 習 I B a	H033	② ②	地域と文化に関する諸問題(1)	
地 域 文 化 演 習 I B b	H034	② ②	地域と文化に関する諸問題(2)	
地 域 文 化 演 習 I C a	H035	② ②	文楽と各地の人形芝居(1)	
地 域 文 化 演 習 I C b	H036	② ②	文楽と各地の人形芝居(2)	
美 術 演 習 I A a	H037	② ②	西洋近代絵画	
美 術 演 習 I A b	H038	② ②	スペイン語圏の近代美術	
歴 史 文 化 演 習 I A a	H039	② ②	中世武家社会の研究	
歴 史 文 化 演 習 I A b	H040	② ②	日本中世社会の研究	
歴 史 文 化 演 習 I B a	H041	② ②	中近世戒律復興の諸問題	
歴 史 文 化 演 習 I B b	H042	② ②	中近世戒律文化の研究	
歴 史 文 化 演 習 I C a	H043	② ②	ヒエログリフ史料解読(1)	

授 業 科 目	整 理 番 号	単 位		副 題	備 考
		前 期	後 期		
歴 史 文 化 演 習 I C b	H044	②	②	ヒエログリフ史料解説(2)	
文 化 財 演 習 I A a	H045	②	②	文化財修復報告書講読	
文 化 財 演 習 I A b	H046	②	②	文献による修復実態の理解	
生 活 文 化 特 定 研 究	H047	②		海外研修	
生 活 文 化 特 別 研 究 I	H048	4	4	修士論文作成指導	

注意：aとbは隔年開講です。

(履修方法)

研究科目から4単位を選択履修し、指導教授の演習を2年にわたり8単位履修する(ただし履修期間を短縮する場合は、指導教授の演習単位の不足分を他の演習もしくは研究科目の単位で代替することができる)。さらに、特別研究8単位を必修として計20単位を履修する。その他、指導教授の指導により、選択履修し、合計30単位以上を履修する。

16. ⑨ 心理学専攻 心理学講座

授 業 科 目	整理番号	単 位		副 題	備 考
		前 期	後 期		
心 理 学 統 計 法	I001	②			集中
心 理 学 研 究 法	I002		②		
人 格 心 理 学 研 究	I003		②	コヒアランスの探求	
教 育 心 理 学 研 究	I004	②			
心 理 査 定 研 究	I005	②			
発 達 心 理 学 研 究 A	I006	②		認知の発達	集中
発 達 心 理 学 研 究 B	I007		②	言語発達とその支援	
発 達 心 理 学 研 究 C	I008	②		社会認識と自己の発達	
発 達 心 理 学 研 究 D	I009		②	言語の発達	
発 達 臨 床 心 理 学 研 究	I010	②			集中(隔年開講:奇数年度) (隔年開講:奇数年度)
認 知 心 理 学 研 究 A	I011	②		ポジティブサイコロジー	集中
認 知 心 理 学 研 究 B	I012		②	ポジティブサイコロジーの応用	
認 知 心 理 学 研 究 C	I013		②	推論の認知心理学	
認 知 心 理 学 研 究 D	I014	②		神経生理心理学の基礎と応用	
実 験 心 理 学 研 究	I015	②		知覚・認知の実験心理学	
社 会 心 理 学 研 究 A	I016	②		態度と説得の社会心理学	
社 会 心 理 学 研 究 B	I017		②	向社会的行動の社会心理学	
社 会 心 理 学 研 究 C	I018	②		対人関係の社会心理学	
社 会 心 理 学 研 究 D	I019	②		質問紙調査の方法と実践	
家 族 心 理 学 研 究	I020	②			
犯 罪 心 理 学 研 究	I021	②			14 単位以上 集中
精 神 医 学 研 究	I022	②			
発 達 支 援 論 研 究	I023	②			
障 害 児 心 理 学 研 究	I024		②		
グ ル ー プ・ア プ ロ ー チ 研 究	I025		②		
精 神 分 析 学 研 究	I026	②			
家 族 療 法 研 究	I027	②			
学 校 教 育 相 談 研 究	I028		②		
コ ミ ュ ニ ティ・ア プ ロ ー チ 研 究	I029		②		
発 達 臨 床 実 習 I	I030	②			
発 達 臨 床 実 習 II	I031		②		集中(隔年開講:奇数年度) (隔年開講:奇数年度)
学 校 心 理 学 研 究	I032		②		
生徒指導・教育相談およびキャリア教育研究	I033		②		
心理教育的アセスメント基礎実習	I034		②		
学校カウンセリング・コンサルテーション基礎実習	I035		②		
心 理 学 演 習 I - 1	I036	2	2		
心 理 学 演 習 I - 2	I037	2	2		
心 理 学 特 別 研 究 I	I038	4	4		

(履修方法)

【心理学講座】

1. 最低 30 単位の履修を必修とする。演習科目(4 単位を 2 年間で 8 単位、ただし履修期間を短縮する場合は不足単位を別の研究科目で充当すること)、及び特別研究 I(8 単位)の合計 16 単位を必修とし、残り 14 単位を選択科目として履修する。

2. 単位数の無印は必修、○数字は選択必修

16. ⑩ 心理学専攻 臨床心理学講座

授 業 科 目	整理番号	単 位	副 題	備 考
		前 後 期 期		
臨 床 心 理 学 特 論 A	I039	2		
臨 床 心 理 学 特 論 B	I040	2		
臨 床 心 理 面 接 特 論 A	I041	2		
臨 床 心 理 面 接 特 論 B	I042	2		
臨 床 心 理 査 定 演 習 A	I043	2		
臨 床 心 理 査 定 演 習 B	I044	2		
臨 床 心 理 基 礎 実 習 I	I045	1		[4]
臨 床 心 理 基 礎 実 習 II	I046	1		[4]
臨 床 心 理 実 習 I	I047	1		[4]
臨 床 心 理 実 習 II	I048	1		[4]
心 理 学 統 計 法	I049	②		選択必修 2単位以上
心 理 学 研 究 法	I050	②		
人 格 心 理 学 研 究	I051	②	コヒアランスの探求	集中
教 育 心 理 学 研 究	I052	②		
心 理 査 定 研 究	I053	②		2単位以上 選択必修 集中(隔年開講:奇数年度) (隔年開講:奇数年度)
発 達 心 理 学 研 究 A	I054	②	認知の発達	
発 達 心 理 学 研 究 B	I055	②	言語発達とその支援	
発 達 心 理 学 研 究 C	I056	②	社会認識と自己の発達	
発 達 心 理 学 研 究 D	I057	②	言語の発達	
発 達 臨 床 心 理 学 研 究	I058	②		
認 知 心 理 学 研 究 A	I059	②	ポジティブサイコロジー	
認 知 心 理 学 研 究 B	I060	②	ポジティブサイコロジーの応用	
認 知 心 理 学 研 究 C	I061	②	推論の認知心理学	集中
認 知 心 理 学 研 究 D	I062	②	神経生理心理学の基礎と応用	
実 験 心 理 学 研 究	I063	②	知覚・認知の実験心理学	2単位以上 選択必修 集中
社 会 心 理 学 研 究 A	I064	②	態度と説得の社会心理学	
社 会 心 理 学 研 究 B	I065	②	向社会的行動の社会心理学	
社 会 心 理 学 研 究 C	I066	②	対人関係の社会心理学	
社 会 心 理 学 研 究 D	I067	②	質問紙調査の方法と実践	
家 族 心 理 学 研 究	I068	②		2単位以上 選択必修
犯 罪 心 理 学 研 究	I069	②		
精 神 医 学 研 究	I070	②		
発 達 支 援 論 研 究	I071	②		
障 害 児 心 理 学 研 究	I072	②		2単位以上 選択必修 集中(隔年開講:奇数年度) (隔年開講:奇数年度)
グ ル ー プ・ア プ ロ ー チ 特 論	I073	②		
精 神 分 析 学 研 究	I074	②		
家 族 療 法 研 究	I075	②		
学 校 臨 床 心 理 学 研 究	I076	②		
コ ミ ュ ニ ティ・ア プ ロ ー チ 研 究	I077	②		

授 業 科 目	整理番号	単 位		副 題	備 考
		前 期	後 期		
発 達 臨 床 実 習 I	I078	②			
発 達 臨 床 実 習 II	I079		②		
学 校 心 理 学 研 究	I080		②		
生徒指導・教育相談およびキャリア教育研究	I081		②		
心 理 教 育 的 ア セ ス メ ン ト 基 礎 実 習	I082		②		
学校カウンセリング・コンサルテーション基礎実習	I083		②		
心 理 学 演 習 I - 1	I084	2	2		
心 理 学 演 習 I - 2	I085	2	2		
心 理 学 特 別 研 究 I	I086	4	4		

(履修方法)

【臨床心理学講座】

1. 必修 32 単位、上記 5 群の各群から 2 単位以上選択必修、合計 42 単位以上を履修する。
2. 単位数の無印は必修、○数字は選択必修

16. ⑪ 福祉社会研究専攻 修士課程

授 業 科 目		整 理 番 号	単 位		副 題	備 考
			前 期	後 期		
福祉／ユニバーサルデザイン	福祉政策研究Ⅰ	J001	②	②	地域福祉・福祉文化と福祉社会の検討	★
	家族政策研究Ⅰ	J002	②	②	家族福祉を保障する各種政策に関する研究	★
	ソーシャルワーク研究Ⅰ	J003	②	②	ソーシャルワーク(ミクロ・メゾ・マクロ)に関する研究	★
	ソーシャルワーク演習Ⅰ 1	J004	①	①		★
	ソーシャルワーク演習Ⅰ 2	J005	①	①		★
	スーパービジョン研究Ⅰ	J006	②	②	スーパービジョンの理論と実践方法	★
	児童福祉研究Ⅰ	J007	②	②	子どもの福祉を人権保障の視点から探究	★
	児童福祉演習Ⅰ 1	J008	①	①		★
	児童福祉演習Ⅰ 2	J009	①	①		★
	高齢者ソーシャルサービス研究Ⅰ	J010	②	②	高齢者福祉・生活支援サービスについて生活経営・生活福祉の視点から研究	★
	高齢者ソーシャルサービス演習Ⅰ 1	J011	①	①		★
	高齢者ソーシャルサービス演習Ⅰ 2	J012	①	①		★
	医療福祉研究Ⅰ	J013	②	②	NBMに基づく、医療福祉、精神保健、在宅ケア領域の研究	★
	医療福祉演習Ⅰ 1	J014	①	①		★
	医療福祉演習Ⅰ 2	J015	①	①		★
	居住福祉研究Ⅰ	J016	②	②	人間らしい居住を保障する方法論の探求	★
	ユニバーサルデザイン評価研究Ⅰ	J017	②	②	ユニバーサルデザインの考え方とユニバーサルデザインの評価	★
国際／ジェンダー	国際男女共同参画社会研究Ⅰ	J018	②	②	差別撤廃条約、国連文書と男女共同参画社会研究	▲
	国際男女共同参画社会演習Ⅰ 1	J019	①	①		▲
	国際男女共同参画社会演習Ⅰ 2	J020	①	①		▲
	現代国際関係研究Ⅰ	J021	②	②	現代の諸問題に対して広領域学として国際関係学の方法論を用いる	▲
	現代国際関係演習Ⅰ 1	J022	①	①		▲
	現代国際関係演習Ⅰ 2	J023	①	①		▲
	労働とジェンダー研究Ⅰ	J024	②	②	現代の労働の態様と労働・福祉政策をジェンダー視点から考察	▲
	労働とジェンダー演習Ⅰ 1	J025	①	①		▲
	労働とジェンダー演習Ⅰ 2	J026	①	①		▲
	現代生活経営研究Ⅰ	J027	②	②	現代社会における家族・生活問題についてジェンダー及び生活経営の視点から研究	▲
	現代生活経営演習Ⅰ 1	J028	①	①		▲
	現代生活経営演習Ⅰ 2	J029	①	①		▲
	女性史研究Ⅰ	J030	②	②	母性主義と女性文化	▲

	授 業 科 目	整 理 番 号	単 位		副 題	備 考
			前 期	後 期		
経済／社会／地域	現 代 経 済 研 究 I	J031	②	②	製造業を中心に現代のグローバル経済を研究	▲
	現 代 経 済 演 習 I 1	J032	①	①		▲
	現 代 経 済 演 習 I 2	J033	①	①		▲
	地 域 環 境 計 画 研 究 I	J034	②	②	地域計画(地域づくり)の理論と手法	▲
	地 域 環 境 計 画 演 習 I 1	J035	①	①		▲
	地 域 環 境 計 画 演 習 I 2	J036	①	①		▲
	環 境 ・ 共 生 研 究 I	J037	②	②		
	環 境 ・ 共 生 演 習 I 1	J038	①	①		
	環 境 ・ 共 生 演 習 I 2	J039	①	①		
	都 市 社 会 研 究 I	J040	②	②	現代社会の諸現象について都市・地域の視点から研究	▲
	都 市 社 会 演 習 I 1	J041	①	①		▲
	都 市 社 会 演 習 I 2	J042	①	①		▲
	言 語 社 会 研 究 I	J043	②	②	ことばと国家、民族、地域問題の研究	▲
	言 語 社 会 学 演 習 I 1	J044	①	①		▲
	言 語 社 会 学 演 習 I 2	J045	①	①		▲
	言 語 政 策 研 究 I	J046	②	②	国語の構築と少数民族問題に関する研究	▲
	福 祉 社 会 特 別 研 究 I	J047	4	4	修士論文作成指導	

〔修了要件及び履修方法〕

1. 課程修了要件の単位数は30単位である。このうち、必修単位は次の1)から3)に示す16単位である。

- 1) 指導教授が開設する講義科目(「〇〇研究I」)を4単位。
- 2) 指導教授が開設する演習科目(「〇〇演習I1(2単位)」及び「〇〇演習I2(2単位)」)を4単位。ただし、早期卒業制度により履修期間を短縮する場合は、演習科目の単位数が不足することが考えられる。不足分の演習の単位は別の研究科目で充当すること。
- 3) 「福祉社会特別研究I」を8単位。(修士論文作成のための研究。修了予定の年次に履修する)。
2. 残りの14単位は、福祉社会研究専攻開設の講義科目(演習科目を除く)から選択科目として履修する。指導教授の指導により、生活機構研究科内の他専攻の講義科目(演習科目を除く)を選択科目として履修し、その単位を修了要件の単位に含めることもできる。
3. 講義科目について、既修得科目を再履修した場合、その単位は修了要件単位外とする。
4. 演習科目について、2年間にわたって同一の演習科目を履修する場合、その単位は合計4単位まで修了要件の単位として認めるものとする。

〔教育職員免許状：専修免許〕

高等学校専修免許状(福祉)、中学校専修免許状(社会)取得に必要な条件は次のとおりとする。

- 1) 専修免許取得に必要な最低修得単位 24単位
- 2) 専修免許取得に必要な学位 修士(学術)
- 3) 「福祉」又は「社会」の専修免許を取得する場合、「福祉」は★印、「社会」は▲印の科目から24単位を取得しなければならない。

16. ⑫ 人間教育学専攻 修士課程

授 業 科 目	整 理 番 号	単 位		副 題	備 考
		前 期	後 期		
道 徳 教 育 研 究 I A	K001	②		人格・道徳性形成と教育研究	小学校専修免許の単位には認められない 小学校専修免許の単位には認められない 幼稚園専修免許の単位には認められない 幼稚園専修免許の単位には認められない 14 単位以上選択必修 (隔年開講：奇数年) (隔年開講：偶数年) *集中講義
道 徳 教 育 研 究 I B	K002		②	道徳教育の指導と実践	
幼 児 教 育 研 究 I A	K003	②		幼児の発達と保育学研究	
幼 児 教 育 研 究 I B	K004		②	幼児教育の指導と実践	
理 科 教 育 研 究 I A	K005	②		自然認識の発達と教育研究	
理 科 教 育 研 究 I B	K006		②	自然認識教育の指導と実践	
音 楽 教 育 研 究 I A	K007	②		音楽表現の創造と教育研究	
音 楽 教 育 研 究 I B	K008		②	音楽表現研究の指導と実践	
造 形 表 現 教 育 研 究 I A	K009	②		造形表現と教育研究	
造 形 表 現 教 育 研 究 I B	K010		②	造形表現教育の指導と実践	
教 育 工 学 研 究 I A	K011	②		認識と教育工学研究	
教 育 工 学 研 究 I B	K012		②	視聴覚・コンピュータ教材の開発と学習指導	
情 報 教 育 研 究 I A	K013	②		情報教育研究	
情 報 教 育 研 究 I B	K014		②	情報活用機能の充実と学校経営	
特 別 活 動 研 究 I A	K015	②		生徒指導とカウンセリング研究	
特 別 活 動 研 究 I B	K016		②	学校・学級経営の充実と特別活動の指導	
教 育 経 営 特 別 演 習	K017	②			(隔年開講：奇数年) (隔年開講：偶数年) *集中講義
授 業 研 究 特 別 演 習	K018		②		
特 別 講 義 I	K019		②	教育問題の哲学的分析	
教 育 学 演 習 I - 1	K020	2	2		必 修
教 育 学 演 習 I - 2	K021	2	2		必 修
教 育 学 特 別 研 究 I	K022	4	4		必 修

(修了要件及び履修方法)

1. 1 年の前期中に、指導教員を決定しその指導によって授業科目を履修する。

2. 最低 30 単位の履修を必修とする。修士論文の作成にかかわる演習科目「教育学演習Ⅰー1」「教育学演習Ⅰー2」(4 単位を 2 年間で 8 単位、ただし履修期間を短縮する場合は不足単位を別の研究科目で充当すること)、及び「教育学特別研究Ⅰ」(8 単位)の合計 16 単位を必修とし、残り 14 単位を選択科目として履修する。

3. 単位数の無印は必修、○印は選択必修。

16. ⑬ 環境デザイン研究専攻 修士課程

授 業 科 目	整理番号	単 位		建築士 実務関連	副 題	備 考
		前 期	後 期			
建築環境系研究コース	建 築 計 画 研 究 I A	L001	② ②	▲	建築都市の計画論を考察	
	建 築 計 画 研 究 I B	L002	② ②	▲	都市、建築の形成における諸要素	
	建 築 計 画 研 究 I C	L003	② ②	▲	地域施設の計画論を考察	
	居 住 様 式 研 究 I	L004	② ②	▲	生活の質を高める居住空間の様式を探究	
	環 境 計 画 研 究 I	L005	② ②	▲	建築環境学と省エネルギー論	
	建 築 構 法 材 料 研 究 I	L006	② ②	▲	建築のデザインと構造システム	
	材 料 基 礎 研 究 I	L007	② ②		シュミレーションと材料	
	材 料 科 学 研 究 I	L008	② ②	▲	環境調和型の材料設計や材料選択を考察	
	環 境 基 礎 学 I	L009	② ②		大学院生として学ぶ生態学と環境学	
	建 築 史 研 究 I	L010	② ②	▲	歴史的建築の保存・活用・復元に関する考察	
	建 築 デ ザ イ ン 研 究 I A	L011	② ②	▲	環境心理学研究とデザイン論	
	建 築 デ ザ イ ン 研 究 I B	L012	② ②	▲	建築デザインの設計プロセスとその実践	
	建 築 デ ザ イ ン 研 究 I C	L013	② ②	▲	建築作品を図面で見る	
	ランドスケープデザイン研究 I	L014	② ②	▲	環境創生における造園学的視点と意匠研究	
	構 造 設 計 特 論	L015	② ②	▲	インターンシップと直結した構造設計	
	建 築 生 産 計 画 論	L016	② ②	▲	インターンシップと直結した建築施工・工事管理・契約実務等・技術者倫理など	
	設計製図Ⅳ(インターンシップ)	L017	④	▲ b	課題による設計演習：インターンシップと直結した建築設計	
	設計製図Ⅴ(インターンシップ)	L018	④	▲ b	課題による設計演習：インターンシップと直結した建築設計	
	デザイン実務演習Ⅱ-1(インターンシップ)	L019	④ ④	▲ b	建築設計(デザイン・構造・設備)・工事管理に関する実務	
	デザイン実務演習Ⅱ-2(インターンシップ)	L020	④ ④	▲ b	建築設計(デザイン・構造・設備)・工事管理に関する実務	
	デザイン実務演習Ⅱ-3(インターンシップ)	L021	② ②	▲ b	建築設計(デザイン・構造・設備)・工事管理に関する実務	
	設 計 演 習	L022	② ②	▲ a	課題による設計演習：学部3年設計製図Ⅱ-1、Ⅱ-2	
	環 境 科 学 演 習 I - 1	L023	① ①			
	環 境 科 学 演 習 I - 2	L024	① ①			
	環 境 科 学 実 験 I - 1	L025	① ①			
	環 境 科 学 実 験 I - 2	L026	① ①			
プロダクト系研究コース	意 匠 計 画 研 究 I A	L027	② ②		デザインのことは	
	意 匠 計 画 研 究 I B	L028	② ②			
	意 匠 工 学 研 究 I A	L029	② ②			
	意 匠 工 学 研 究 I B	L030	② ②			
	意 匠 シ ス テ ム 演 習 I - 1	L031	① ①			
	意 匠 シ ス テ ム 演 習 I - 2	L032	① ①			
	意 匠 工 学 実 験 I - 1	L033	① ①			
	意 匠 工 学 実 験 I - 2	L034	① ①			

授 業 科 目		整理番号	単 位		建築士 実務関連	副 題	備 考
			前 期	後 期			
衣環境系研究コース	被 服 材 料 研 究 I	L034	②	②		繊維高分子の特性と化学構造	
	被 服 整 理 学 研 究 I	L035	②	②		衣服の汚れと洗浄性	
	被 服 加 工 学 研 究 I	L036	②	②		染色現象と染色堅ろう性	
	被 服 造 形 科 学 研 究 I	L037	②	②		各種素材と衣服の機能性	
	服 飾 意 匠 計 画 研 究 I A	L038	②	②		着ごこちの良い衣服の設計と評価	
	服 飾 意 匠 計 画 研 究 I B	L039	②	②		機能的で美しい衣服デザインの研究	
	服 飾 文 化 研 究 I	L040	②	②		服飾の造形的・文化史的考察	
	被 服 科 学 演 習 I - 1	L041	①	①			
	被 服 科 学 演 習 I - 2	L042	①	①			
	被 服 科 学 実 験 I - 1	L043	①	①			
	被 服 科 学 実 験 I - 2	L044	①	①			
デザイン企画研究コース	デ ザ イン 企 画 研 究 I A	L045	②	②		ファッション企画研究についての文化的考察	
	デ ザ イン 企 画 研 究 I B	L046	②	②		プロダクト製品の開発企画戦略の考察	
	デ ザ イン 企 画 研 究 I C	L047	②	②		地域施設の保存活用についての研究	
	デ ザ イン 企 画 研 究 I D	L048	②	②		建築企画開発についての研究	
	デ ザ イン 企 画 演 習 I - 1	L049	①	①			
	デ ザ イン 企 画 演 習 I - 2	L050	①	①			
共通	環 境 科 学 特 別 研 究 I (論 文)	L051	④	④		修士論文の作成指導	
	環 境 科 学 特 別 研 究 I (設 計)	L052	④	④	▲a	修士設計の作成指導	
	環 境 科 学 特 別 研 究 I (制 作)	L053	④	④		修士制作の作成指導	

(履修方法)

専攻する研究コースの講義科目から 4 単位を選択必修し、演習または実験のいずれかを 2 年間で 4 単位選択必修する（ただし、履修期間を短縮する場合は、不足単位数を別の科目で充当すること）。

さらに特別研究 8 単位を必修として計 16 単位を履修する。その他、指導教員の指導により、他の研究コース（他専攻を含む）の関連科目を含んで選択履修し、合計 30 単位以上を履修する。

建築士受験資格の実務年限 2 年を認定するための履修方法：▲b を 14 単位以上+▲a を 8 単位まで+▲を 8 単位まで合計で 30 単位以上を履修すること。

建築士受験資格の実務年限 1 年を認定するための履修方法：▲b を 4 単位以上+▲a を 8 単位まで+▲を 8 単位まで合計で 15 単位以上を履修すること。

16. ⑭ 生活科学研究専攻 修士課程

授 業 科 目			整 理 番 号	単位		副 題	備 考
				前 期	後 期		
食・栄養コース	食品機能解析系	食 品 材 料 機 能 開 発 I	M001	②	②	食品の製造と機能開発・評価	
		食 品 材 料 機 能 解 析 研 究 I	M002	②	②	食品の機能特性と物性評価	
		食 品 材 料 科 学 I A	M003	②	②	加工食品と食品添加物及び包装	
		調 理 機 能 研 究 I A	M004	②	②	食品素材の調理機能と感覚評価	
		食 品 材 料 科 学 I B	M005	②	②	食品構成成分の加工適性評価	
		食 品 機 能 解 析 演 習 I	M006	①	①		
		食 品 機 能 解 析 実 験 I	M007	①	①		
	栄養生理・生化学系	栄 養 ・ 生 化 学 研 究 I A	M008	②	②	酵素の活性発現と化学修飾	
		脂 質 栄 養 研 究 I	M009	②	②	脂質の栄養・生理作用を中心に研究	
		栄 養 ・ 生 化 学 研 究 I B	M010	②	②	構造脂質と生体膜機能	
		栄 養 生 理 ・ 生 化 学 演 習 I	M011	①	①		
		栄 養 生 理 ・ 生 化 学 実 験 I	M012	①	①		
	栄養生理機能解析系	栄養食品成分機能解析研究 I A	M013	②	②	新開発栄養・食品の生理機能解析評価	
		生体調節・栄養生理研究 I A	M014	②	②	栄養素と生体調節成分	
		生体調節・栄養生理研究 I B	M015	②	②	生体と食品機能成分の関わり	
		生 体 シ ス テ ム 研 究 I	M016	②	②	身体運動のシステム生理	
		栄養食品成分機能解析研究 I B	M017	②	②	酵素の応用的特性	
		栄 養 生 理 機 能 解 析 演 習 I	M018	①	①		
		栄 養 生 理 機 能 解 析 実 験 I	M019	①	①		
	食・栄養特別研究 I		M020	④	④	修士論文作成指導	
実践栄養コース	臨床栄養系	臨 床 栄 養 研 究 I	M021	②	②	医療現場における実践栄養的アプローチ	
		臨 床 栄 養 演 習 I A	M022	①	①		
		臨 床 栄 養 演 習 I B	M023	①	①		
	公衆栄養系	栄 養 教 育 評 価 研 究 I	M024	②	②	健康増進を目的とした栄養教育・評価	
		公 衆 栄 養 研 究 I	M025	②	②	栄養教育評価基礎研究	
		公 衆 栄 養 演 習 I A	M026	①	①		
		公 衆 栄 養 演 習 I B	M027	①	①		
	実践栄養特別研究 I		M028	④	④	修士論文作成指導(ケーススタディを含む)	

(履修方法)

食・栄養コース。

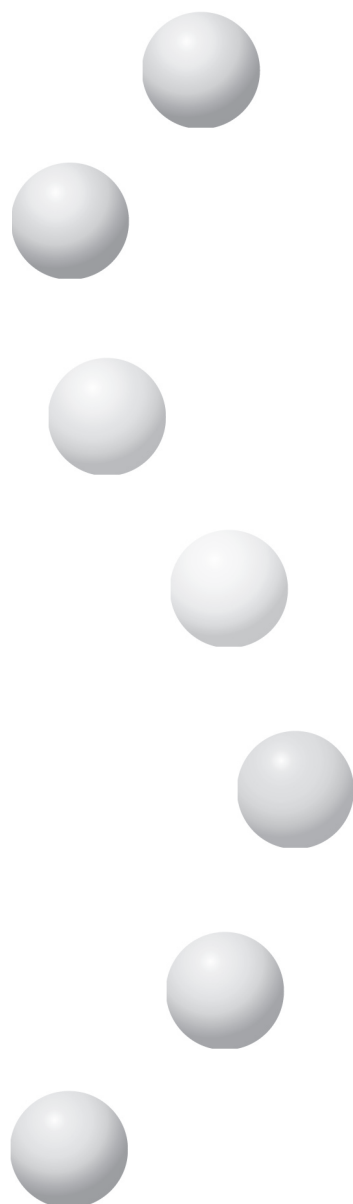
指導教員の担当科目から4単位、演習と実験については指導教員のみのものとして2単位以上、特別研究8単位を必修とし、他の系の関連科目から最低4単位を選択し、合計30単位を最低単位として履修する。学位：修士(学術)

実践栄養コース。

指導教員の担当科目の4単位を含み実践栄養コースの科目から12単位、指導教員の演習で2単位以上、特別研究として8単位を必修とし、他の科目と合わせて合計30単位を最低単位として履修する。学位：修士(栄養)

IV

諸資格の取得



諸資格の取得

【取得資格一覧】

資格種類			学 部 学 科 単 位 認 定 分 野		文学研究科			生活機構研究科					人間文化学部			
					日本文学専攻	英米文学専攻	言語教育/コミュニケーション専攻	生活文化研究専攻	心理学専攻	福祉社会研究専攻	人間教育学専攻	環境デザイン研究専攻	生活科学研究専攻	日本語日本文学科	英語コミュニケーション学科	歴史文化学科
教育職員免許状	高（専修）	専門	○	○	○	○	○	○			○	○				
	高（一種）	専門											○	○	○	○
	中（専修）	専門	○	○	○	○		○			○	○				
	中（一種）	専門											○	○	○	○
	小（専修）	専門							○							
	小（一種）	専門														
	幼（専修）	専門							○							
	幼（一種）	専門														
栄養（一種）		専門														
栄養（二種）		専門														
博物館学芸員	教養その他												○	○	○	○
	専門														○	
司書	その他		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	専門															
司書教諭		その他											○	○	○	○
日本語教員		教養その他											○	○	○	○
		専門											○	○	○	○
社会福祉主事		教養											△	△	△	△
		専門														
考古調査士（1級）		専門				○										
考古調査士（2級）		専門													○	
社会調査士		専門														○
臨床心理士		専門							※							
学校心理士（補）		専門							□							
臨床発達心理士		専門							□							
児童指導員		専門														
児童福祉司		専門														
認定心理士		専門														
社会福祉士		専門														
精神保健福祉士		専門														
保育士		専門														
レクリエーションインストラクター		専門														
キャンプインストラクター		専門														
児童厚生二級指導員		専門														
認定ベビーシッター		専門														
一級建築士		専門														
二級建築士		専門														
設備士		専門														
インテリアプランナー		専門														
J A B E E ※ 1		専門														
商業施設士		専門														
一級衣料管理士		専門														
栄養士		専門														
管理栄養士		専門														
サプリメントアドバイザー		専門														
フードスペシャリスト		専門														
健康運動指導士		専門														
食品衛生管理者・食品衛生監視員		専門														

【備考】

① ○印は取得資格並びに単位認定分野を示す。

② ★印は当該資格の受験資格を示す。

③ ☆印は実務経験を経た後に、当該資格の受験資格を示す。

④ 大学院の教免資格は、学部においての教員免許取得を前提とする。

⑤ 司書教諭については、教員免許取得を前提とする。

⑥ ※印は指定科目を修めて、大学院生活機構研究科心理学専攻臨床心理学講座を修了し、日本臨床心理士資格認定協会が行う試験に合格すること。

⑦ ◎印については、学科カリキュラム表を参照のこと。

⑧ インテリアプランナー及び商業施設士については、後出のインテリアプランナー及び商業施設士の項を参照のこと。

⑨ △印は任用資格を示す。「任用資格」とは、公務員に採用された後、特定の業務に任用されるのに必要となる資格。資格のみを取得することはできないが、特定の科目を履修した者だけがその職務に就くことができる。

⑩ ▲印は、卒業後、厚生労働省で定める施設での1年以上の実務経験が必要な任用資格。

⑪ 児童福祉司は、社会福祉士のほか、大学において心理学・教育学もしくは社会学を専修する学科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した者で1年以上児童等の相談援助業務に従事した者などを要件とする任用資格。

⑫ 学校心理士（補）については、後出の学校心理士・学校心理士（補）の項を参照のこと。臨床発達心理士については、後出の臨床発達心理士の項を参照のこと。

⑬ ●印は、日本サプリメントアドバイザー認定機構の学校登録申請校に該当する。（詳細はガイダンスにて確認のこと。）

⑭ ◆印は、10名のみ（選抜あり）とし、修得した単位は卒業要件外とする。（履修は初等教育学科で行い、詳細はガイダンスにて確認のこと。）

⑮ ◇印は、管理栄養学科開設の栄養教諭科目を履修することにより、栄養二種免許を取得することができる。ただし、修得した単位は卒業要件外とする。卒業後、管理栄養士免許を取得した場合、一種に上申可能。

⑯ *印は、指定科目を履修する必要がある。

資格種類		学 部 学 科 単 位 認 定 分 野	人間社会学部				生活科学部			短大	専 攻 科			
			心 理 学 科	福 祉 社 会 学 科	現 代 教 養 学 科	初 等 教 育 学 科	環 境 デ ザ イ ン 学 科	健 康 デ ザ イ ン 学 科	管 理 栄 養 学 科	文 化 創 造 学 科	国 語 国 文 学 専 攻	英 語 英 文 学 専 攻	食 物 科 学 専 攻	生 活 文 化 学 専 攻
教育職員免許状	高（専修）	専 門												
	高（一種）	専 門	○	○	○		○	○						
	中（専修）	専 門												
	中（一種）	専 門	○		○		○	○						
	小（専修）	専 門												
	小（一種）	専 門				○								
	幼（専修）	専 門												
	幼（一種）	専 門		◆		○								
栄養（一種）	専 門								○					
栄養（二種）	専 門							◇						
博物館学芸員	教養その他	○	○	○	○	○	○	○	○					
司書	そ の 他	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
司書教諭	専 門			◎						◎				
日本語教員	そ の 他	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	教養その他	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	専 門													
社会福祉主事	教 養	△	△	△	△	△	△	△	△	△				
	専 門		△											
考古調査士（1級）	専 門													
考古調査士（2級）	専 門													
社会調査士	専 門	○	○	○	○									
臨床心理士	専 門													
学校心理士（補）	専 門													
臨床発達心理士	専 門													
児童指導員	専 門	△	△		△									
児童福祉司	専 門	▲	△		▲									
認定心理士	専 門	*												
社会福祉士	専 門		★											
精神保健福祉士	専 門		★											
保育士	専 門		○		○									
レクリエーションインストラクター	専 門				○									
キャンプインストラクター	専 門		○											
児童厚生二級指導員	専 門				○									
認定ベビーシッター	専 門				○									
一級建築士	専 門						☆							
二級建築士	専 門						★							★
木造建築士	専 門						★							
空気調和・衛生工学設備士	専 門						★							
施工管理技士	専 門						☆							
インテリアプランナー	専 門						☆							
J A B E E	専 門						○							
商業施設士	専 門						☆							
一級衣料管理士	専 門						○							
栄養士	専 門							○	○					
管理栄養士	専 門							☆	★				☆	
サプリメントアドバイザー	専 門							●	●				●	
フードスペシャリスト	専 門							★					★	
健康運動指導士	専 門							★						
食品衛生管理者・食品衛生監視員	専 門								△					

1. 教育職員免許状

教育職員免許状の取得を希望する学生は、卒業要件の単位を修得した上で「教育職員免許法」及び関連法令で定められた学びをしなければならない。本学が定める「教職課程に関する内規」を熟読して、積極的な姿勢で臨むこととする。

① 大学院で取得できる教育職員免許状の種類と必要単位数

●専修免許状取得希望者は、同一学校種同一教科の一種免許状に係る単位を修得していなければならない。

専攻	事項	免許状の種類	免許教科	教科または教職に関する科目	基礎資格
日本文学専攻		高等学校専修 中学校専修	国語	24	修士の学位を有すること
英米文学専攻		同上	外国語(英語)	24	
言語教育・コミュニケーション専攻 (英語教育課程)		同上	外国語(英語)	24	
生活文化研究専攻		高等学校専修	地理歴史	24	
		中学校専修	社会	24	
心理学専攻		高等学校専修	公民	24	
福祉社会研究専攻		高等学校専修	福祉	24	
		中学校専修	社会	24	
人間教育学専攻		小学校専修		30	
		幼稚園専修		30	
環境デザイン研究専攻		高等学校専修 中学校専修	家庭	24	
生活科学研究専攻		同上	家庭	24	

※履修の仕方については、別途ガイダンスで配布のカリキュラム表によること。

② 人間文化学部・人間社会学部・生活科学部で取得できる教育職員免許状の種類と必要単位数

事項 学科	免許状の種類	免 許 教 科	教科に関する 科 目	教職に関する 科 目	その他必要な科目				介護等の体験	基礎資格
					体 育	日本国憲法	外国語コミュ ニケーション	情 報 機 器 の 操 作		
日本語日文学科	高等学校一種	国 語	28	31	2	2	2	2	不 要	学士の学位を 有 する こと
	中 学 校 一 種	国 語	28	31	2	2	2	2	要	
	高等学校一種	書 道	28	31	2	2	2	2	不 要	
英語コミュニケーション 学 科	高等学校一種	外国語(英語)	28	31	2	2	2	2	不 要	
	中 学 校 一 種	外国語(英語)	28	31	2	2	2	2	要	
歴 史 文 化 学 科	高等学校一種	地 理 歴 史	28	31	2	2	2	2	不 要	
	中 学 校 一 種	社 会	28	31	2	2	2	2	要	
国 際 学 科	高等学校一種	外国語(英語)	28	31	2	2	2	2	不 要	
	中 学 校 一 種	外国語(英語)	28	31	2	2	2	2	要	
心 理 学 科	高等学校一種	公 民	28	31	2	2	2	2	不 要	
	中 学 校 一 種	社 会	28	31	2	2	2	2	要	
福 祉 社 会 学 科	高等学校一種	福 祉	28	31	2	2	2	2	不 要	
現 代 教 養 学 科	高等学校一種	外国語(英語)	28	31	2	2	2	2	不 要	
	中 学 校 一 種	外国語(英語)	28	31	2	2	2	2	要	
	高等学校一種	公 民	28	31	2	2	2	2	不 要	
	中 学 校 一 種	社 会	28	31	2	2	2	2	要	
初 等 教 育 学 科	小 学 校 一 種		8	41	2	2	2	2	要	
			10							
	幼 稚 園 一 種	6	35	2	2	2	2	不 要		
			10							
環 境 デ ザ イ ン 学 科	高等学校一種	家 庭	28	31	2	2	2	2	不 要	
	中 学 校 一 種	家 庭	28	31	2	2	2	2	要	
健 康 デ ザ イ ン 学 科	高等学校一種	理 科	28	31	2	2	2	2	不 要	
	中 学 校 一 種	理 科	28	31	2	2	2	2	要	
	高等学校一種	保 健 体 育	28	31	2	2	2	2	不 要	
	中 学 校 一 種	保 健 体 育	28	31	2	2	2	2	要	
	高等学校一種	保 健 健	28	31	2	2	2	2	不 要	
	中 学 校 一 種	保 健 健	28	31	2	2	2	2	要	
	高等学校一種	家 庭	28	31	2	2	2	2	不 要	
	中 学 校 一 種	家 庭	28	31	2	2	2	2	要	
	栄 養 教 諭 二 種		2	24	2	2	2	2	不 要	
管 理 栄 養 学 科	栄 養 教 諭 一 種		4	24	2	2	2	2	不 要	

③履修のしかた

◆教職に関する科目（中学校一種・高等学校一種）

免許法施行規則に定める科目区分等		必要単位数		該当専門教育科目		備 考	
科 目	各項目に含める必要事項	中 学 校 種	高 等 学 校 種	授 業 科 目 名	単 位 数		
教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種機会の提供等	2	2	○教 職 概 論	2	2単位以上 選択必修	
教職の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	6	○教 育 原 理	*2		
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）			○教 育 心 理 学	*2		
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項			教 育 行 政 学 教 育 法 規	2 2		
教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	12	12	○教 育 課 程 論	2		取得する免許教科 の教科教育法を 選択必修
	・各教科の指導法			国 語 科 教 育 法	**4		
				社 会 科 教 育 法	**4		
				地 理 歴 史 科 教 育 法	**4		
				公 民 科 教 育 法	**4		
				理 科 教 育 法	**4		
				書 道 科 教 育 法	**4		
				保 健 体 育 科 教 育 法	**4		
保 健 科 教 育 法		**4					
家 庭 科 教 育 法		**4					
福 祉 科 教 育 法	**4						
英 語 科 教 育 法	**4						
・道徳の指導法	○道徳教育の研究	2					
	○特別活動の研究	2					
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	○教 育 方 法 論		2			
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法	4	4	○生徒指導・進路指導の研究	2	心理学科以外	
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			○教育相談の研究	2	心理学科用	
				○臨床心理地域援助	2		
教育実習		5	5	○教育実習の指導 ○教 育 実 習	1 4		
教職実践演習		2	2	○教職実践演習(中・高)	2		
その他				教 職 課 程 特 講 介 護 等 体 験 の 指 導	2 1		
計		31	31		31		

注 1) ○は、必修科目。

注 2) *の2科目は、一般教養科目の卒業要件単位の中に含めることができる。

なお、心理学科は、「教育心理学」の代わりに、「道徳教育の研究」の単位を数える。

注 3) **の科目は、取得する免許教科の教科教育法を選択する。

この科目は、専門科目の卒業要件単位の中に含めることができる。（学科により異なるので、学科の指示に従うこと。）

注 4) 介護等の体験を行う年度に、「介護等体験の指導」の授業を受けること。

(注) 編入学生で教免取得を希望する場合は、出身短大（大学）から取り寄せた「学力に関する証明書」を持参し、教育支援センター教務担当で履修相談をすること。

◆教職に関する科目（栄養教諭）

免許法施行規則に定める科目区分等		必要単位数		該当専門教育科目		備 考
科 目	各項目に含める必要事項	栄養教諭 一 種	栄養教諭 二 種	授 業 科 目 名	単 位 数	
教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、サービス及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種機会の提供等	2	2	○教 職 概 論	2	2単位以上 選択必修
教職の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	4	2	○教 育 原 理	*2	
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）			○教 育 心 理 学	*2	
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項			教 育 行 政 学 教 育 制 度 論	2 2	
教育課程に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	4	2	○教 育 課 程 論	2	
	・道徳及び特別活動に関する内容			○道徳教育の研究	2	
				○特別活動の研究	2	
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）			○教 育 方 法 論	2	
生徒指導及び教育相談に関する科目	・生徒指導の理論及び方法	4	2	○生徒指導の研究	2	
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			○教育相談の研究	2	
栄養教育実習		2	2	○栄養教育実習事前事後の指導 ○栄養教育実習	1 1	
教職実践演習		2	2	○教職実践演習(栄養教諭)	2	

注 1) ○は、必修科目。

注 2) *の2科目は、一般教養科目の卒業要件単位の中に含めることができる。

(注) 編入学生で教免取得を希望する場合は、出身短大（大学）から取り寄せた「学力に関する証明書」を持参し、教育支援センター教務担当で履修相談をすること。

◆教科に関する科目

国 語 (中学校) [日本語日本文学科]

教科に関する科目	免許法に基づき本学が 設定する必要単位数	該当専門教育科目 ()内は必要単位数
国 語 学 (音声言語及び 文章表現に関する ものを含む)	1	○日本語学概論A・B(4) 日本語学Ⅰ 言語学 (パソコン日本語学入門を除く) 文語文法の基礎 日本語学Ⅱ
国 文 学 (国文学史を含む)	1	○日本文学入門A・B(4) 近代文学Ⅰ 古典文学ⅠA 近代文学Ⅱ 古典文学ⅠB 児童文学Ⅰ(子どもと文学) 古典文学Ⅱ
漢 文 学	1	○中国文学概論(4) 中国文学Ⅰ 漢文の基礎 中国文学Ⅱ
書 道 (書写を中心と する)	1	書道実習Ⅰ 書道実習Ⅳ 書道実習Ⅱ 書道実習Ⅴ 書道実習Ⅲ 書道実習Ⅵ
計	28	上記の専門教育科目の中から○印を含み28単位以上修得すること。

○必修科目

(注)「漢文学」から6単位以上、「書道Ⅰ・Ⅱ」から4単位以上の修得を推奨する。

編入学生で教免取得を希望する場合は、出身短大(大学)から取り寄せた「学力に関する証明書」を持参し、教育支援センター教務担当で履修相談をすること。

国 語 (高等学校) [日本語日本文学科]

教科に関する科目	免許法に基づき本学が 設定する必要単位数	該当専門教育科目 ()内は必要単位数
国 語 学 (音声言語及び 文章表現に関する ものを含む)	1	○日本語学概論A・B(4) 日本語学Ⅰ 言語学 (パソコン日本語学入門を除く) 文語文法の基礎 日本語学Ⅱ
国 文 学 (国文学史を含む)	1	○日本文学入門A・B(4) 近代文学Ⅰ 古典文学ⅠA 近代文学Ⅱ 古典文学ⅠB 児童文学Ⅰ(子どもと文学) 古典文学Ⅱ
漢 文 学	1	○中国文学概論(4) 中国文学Ⅰ 漢文の基礎 中国文学Ⅱ
計	28	上記の専門教育科目の中から○印を含み28単位以上修得すること。

○必修科目

(注)「漢文学」から6単位以上、「書道Ⅰ・Ⅱ」から2単位以上の修得を推奨する。

編入学生で教免取得を希望する場合は、出身短大(大学)から取り寄せた「学力に関する証明書」を持参し、教育支援センター教務担当で履修相談をすること。

書 道 (高等学校) [日本語日本文学科] (高等学校一種の国語と併せて、書道を取得する場合)

教科に関する科目	免許法に基づき本学が 設定する必要単位数	該当専門教育科目
書 道 (書写を含む)	10	書道実習Ⅰ 書道実習Ⅳ 書道実習Ⅱ 書道実習Ⅴ 書道実習Ⅲ 書道実習Ⅵ
書 道 史	4	書道史
「書論、鑑賞」	4	日本の書芸
「国文学、漢文学」	10	上記、国語教免の国文学・漢文学10単位をもって充当する。
計	28	

(注) 編入学生で教免取得を希望する場合は、出身短大(大学)から取り寄せた「学力に関する証明書」を持参し、教育支援センター教務担当で履修相談をすること。

1

教育職員免許状

英 語 [英語コミュニケーション学科]

教科に関する 目 科	免許法に基づき本学が 設定する必要単位数		該 当 専 門 教 育 科 目 ()内は最低必要単位数
	中 学 校 一 種	高 等 学 校 一 種	
英 語 学	1	1	△英語研究概論 A △英語研究概論 B 英語の歴史 英語音声学 形態論 文法研究 意味論 社会言語学 第二言語習得
英 米 文 学	1	1	△英米文学・文化概論 A △英米文学・文化概論 B イギリス散文 A イギリス散文 B アメリカ散文 A アメリカ散文 B 英米詩 ファンタジー・児童文学
英語 コミュニケーション	1	1	○Speaking and Listening I A (1) ○Speaking and Listening I B (1) ○Reading I (2) ○Grammar and Writing I (1) Interviewing A Interviewing B Public Speaking A Public Speaking B Technical Writing
異 文 化 理 解	1	1	ニューイングランド文学・文化 △イギリス文化研究 △アメリカ文化研究 Film Criticism △比較文学・文化 Language of Advertising
最低修得単位数	28	28	上記の専門教育科目の中から○印を含み28単位以上修得すること。

○必修科目 △選択必修科目（各分野内でいずれかを選択）

(注) 編入学生で教免取得を希望する場合は、出身短大（大学）から取り寄せた「学力に関する証明書」を持参し、教育支援センター教務担当で履修相談をすること。

社 会 (中学校)〔歴史文化学科〕

教科に関する 目 科	免許法に基づき本学が 設定する必要単位数	該当専門教育科目 ()内は最低必要単位数
	中学校一種	
日本史及び外国史	8	○日本史通論(2) ○世界史通論(2) ○歴史学概論(2) 古代オリエント文化史 日本古代史 西洋史概説 日本中世史 東洋史概説 日本近世史 日本近現代史
地 理 学 (地誌を含む)	8	○人文地理学概論(2) ○地誌通論A(2) ○自然地理学概論(2) ○地誌通論B(2) 地理学特論
「法学、政治学」	2	○法学概論(国際法を含む)又は現代政治論又は現代政治と政治学(2)
「社会学、経済学」	2	○「経済学概論」又は「社会学概論」(2) 日本女性史 比較女性史論 文化人類学概論
「哲学、倫理学、宗教学」	4	○「倫理学概論」又は「宗教学概論」(2) キリスト教文化史 日本思想史 禅と日本文化
最低修得単位数	28	上記の専門教育科目の中から、○印(20単位)を含んで 28単位以上修得しなければならない。

○必修科目

(注) 編入学生で教免取得を希望する場合は、出身短大(大学)から取り寄せた「学力に関する証明書」を持参し、教育支援センター教務担当で履修相談をすること。

地理歴史(高等学校)〔歴史文化学科〕

教科に関する 目 科	免許法に基づき本学が 設定する必要単位数	該当専門教育科目 ()内は最低必要単位数
	高等学校一種	
日 本 史	4	○日本史通論(2) 日本近世史 日本古代史 日本近現代史 日本中世史
外 国 史	4	○世界史通論(2) 西洋史概説 ○歴史学概論(2) 東洋史概説 古代オリエント文化史
人文地理学及び 自然地理学	8	○人文地理学概論(2) 地理学特論 ○自然地理学概論(2)
地 誌	4	○地誌通論A(2) ○地誌通論B(2)
最低修得単位数	28	上記の専門教育科目の中から、○印(14単位)を含んで 28単位以上修得しなければならない。

○必修科目

(注) 編入学生で教免取得を希望する場合は、出身短大(大学)から取り寄せた「学力に関する証明書」を持参し、教育支援センター教務担当で履修相談をすること。

英 語〔国際学科〕

教科に関する 科 目	免許法に基づき本学が 設定する必要単位数		該当専門教育科目
	中 学 校 一 種	高 等 学 校 一 種	
英 語 学	1	1	○ことばの成り立ちと仕組み ○社会言語学(言葉と場面) ○Sounds of English 世界の英語 ことばと教育
英 米 文 学	1	1	○20 世紀アメリカ小説 C 20 世紀アメリカ小説 D ○19 世紀イギリス小説(ヴィクトリア朝の肖像) Literary Reading I Literary Reading II
英語 コミュニケーション	1	1	○Comprehensive English for International Communication I ○Comprehensive English for International Communication II Comprehensive English for International Communication III Comprehensive English for International Communication IV Comprehensive English for International Communication V ○Critical Reading I Critical Reading II Discussion on International Issues I Discussion on International Issues II
異 文 化 理 解	1	1	○異文化コミュニケーション 比較文化論 アメリカの社会と文化 アメリカ現代史 イギリスの社会と文化
最低修得単位数	28	28	上記の専門教育科目の中から○印を含み28単位以上修得すること。

○必修科目

(注) 編入学生で教免取得を希望する場合は、出身短大(大学)から取り寄せた「学力に関する証明書」を持参し、教育支援センター教務担当で履修相談をすること。

公 民 (高等学校) [心理学科]

教科に関する 科 目	免許法に基づき本学が 設定する必要単位数	該 当 専 門 教 育 科 目	
	高等学校一種		
「法律学(国際法を含む)、 政治学(国際政治を含む)」	2	法学概論(国際法を含む)	現代政治論
「社会学、 経済学(国際経済を含む)」	2	○現代社会と社会学	現代社会論 マスコミュニケーション の社会心理学
「哲学、倫理学、宗教学、 心理学」	2	△哲学概論 心理学概説I 心理学概説II 発達心理学 社会心理学 臨床心理学 認知心理学 家族心理学 人格心理学 乳幼児心理学	青年心理学 △倫理学概論 思考心理学 対人関係論 精神分析理論 犯罪心理学 家族葛藤の心理学 非行臨床心理学 比較行動学(心理) 産業組織心理学
最低修得単位数	28	上記の専門教育科目の中から○印を含み28単位以上修得すること。	

○必修科目

△選択必修科目 (各専門科目内で△のいずれかを選択)

(注) 編入学生で教免取得を希望する場合は、出身短大(大学)から取り寄せた「学力に関する証明書」を持参し、
教育支援センター教務担当で履修相談をすること。

社 会 (中学校) [心理学科]

教科に関する 科 目	免許法に基づき本学が 設定する必要単位数	該 当 専 門 教 育 科 目 () 内 は 最 低 必 要 単 位 数	
	中学校一種		
日 本 史 及 び 外 国 史	2	○日本史通論(2) 歴史学概論 日本中世史 日本近世史	日本近現代史 ○世界史通論(2) 東洋史概説 古代オリエント文化史
地 理 学 (地 誌 を 含 む)	2	○人文地理学概論(2) ○自然地理学概論(2)	○地誌通論A(2) ○地誌通論B(2)
「 法 律 学 、 政 治 学 」	2	法学概論(国際法を含む)	現代政治論
「 社 会 学 、 経 済 学 」	2	○現代社会と社会学 比較女性史論	文化人類学概論 現代社会論 日本女性史
「 哲 学 、 倫 理 学 、 宗 教 学 」	2	△倫理学概論 △哲学概論	キリスト教文化史 禅と日本文化
最低修得単位数	28	上記の専門教育科目の中から○印を含み28単位以上修得すること。	

○必修科目

△選択必修科目 (各専門科目内で△のいずれかを選択)

(注) 編入学生で教免取得を希望する場合は、出身短大(大学)から取り寄せた「学力に関する証明書」を持参し、
教育支援センター教務担当で履修相談をすること。

福 祉（高等学校）〔福祉社会学科〕

教科に関する 科目	免許法に基づき本学が 設定する必要単位数	該 当 専 門 教 育 科 目 () 内 は 最 低 必 要 単 位 数
	高等学校一種	
社 会 福 祉 学 (職 業 指 導 を 含 む)	1	○現代社会と福祉（４） 福祉社会と社会政策 ○地域福祉の理論と方法 △社会保障（４） △低所得者に対する支援と生活保護制度 △国際福祉論
高 齢 者 福 祉 、 児 童 福 祉 及 び 障 害 者 福 祉	1	○児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度 ○障害者に対する支援と障害者自立支援制度 養護原理 児童・家庭ソーシャルワーク
社会福祉援助技術	1	○相談援助の基盤と専門職（４） ○相談援助の理論と方法（４） レクリエーション援助法 福祉サービスの組織と経営 保健医療サービス
介護理論及び介護技術	1	○高齢者に対する支援と介護保険制度（４）
社会福祉総合実習（社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む）	1	○相談援助実習指導Ⅰ ○相談援助実習指導Ⅱ（２） 相談援助実習
人体の構造及び日常生活行動に関する理解	1	○人体の構造と機能及び疾病
加齢及び障害に関する理解	1	○加齢と障害の理解
最低修得単位数	28	上記の専門教育科目の中から○印と△印（６単位以上）を含み、 28単位以上修得すること。

○必修科目 △選択必修科目（６単位以上）

(注) 編入学生で教免取得を希望する場合は、出身短大（大学）から取り寄せた「学力に関する証明書」を持参し、教育支援センター教務担当で履修相談をすること。

公 民（高等学校）〔現代教養学科〕

教科に関する 科目	免許法に基づき本学が 設定する必要単位数	該当専門教育科目 ()内は最低必要単位数
	高等学校一種	
「法律学(国際法を含む)、 政治学(国際政治を含む)」	2	△法学概論(国際法を含む) 現代政治論 国際関係研究 △現代政治と政治学
「社会学、 経済学(国際経済を含む)」	2	○社会をみる目(2) 現代経済(世界と日本) ○経済をみる目(2) 現代社会と労働 ○世界をみる目(2) 現代社会と社会学 現代社会論 市場社会の仕組み(ミクロ経済学) 社会問題概観 日本経済と経済学(マクロ経済学) ことばと社会
「哲学、倫理学、宗教学、 心理学」	2	△心理学概説(2) △哲学概論(2) 社会心理学 △倫理学概論(2) マスメディアと現代社会
最低修得単位数	28	上記の専門教育科目の中から○印を含み28単位以上修得すること。

○必修科目

△選択必修科目（各専門科目内で△のいずれか1科目以上を選択）

(注) 編入学生で教免取得を希望する場合は、出身短大（大学）から取り寄せた「学力に関する証明書」を持参し、教育支援センター教務担当で履修相談をすること。

社 会（中学校）〔現代教養学科〕

教科に関する 科目	免許法に基づき本学が 設定する必要単位数	該当専門教育科目 ()内は最低必要単位数
	中学校一種	
日 本 史 及 び 外 国 史	2	○日本史通論(2) 日本近現代史 歴史学概論 ○世界史通論(2) 日本中世史 東洋史概説 日本近世史 国際関係史
地 理 学 (地 誌 を 含 む)	2	○人文地理学概論(2) ○地誌通論A(2) ○自然地理学概論(2) ○地誌通論B(2)
「 法 律 学 、 政 治 学 」	2	現代政治論 △法学概論(国際法を含む) △現代政治と政治学 国際関係研究
「 社 会 学 、 経 済 学 」	2	○社会をみる目(2) 現代経済(世界と日本) ○経済をみる目(2) 現代社会と労働 ○世界をみる目(2) 現代社会と社会学 現代社会論 比較女性史論 社会問題概観 日本女性史 ことばと社会 文化人類学概論 市場社会の仕組み(ミクロ経済学) 日本経済と経済学(マクロ経済学)
「 哲 学 、 倫 理 学 、 宗 教 学 」	2	△倫理学概論(2) キリスト教文化史 △哲学概論(2) 禅と日本文化
最低修得単位数	28	上記の専門教育科目の中から○印を含み28単位以上修得すること。

○必修科目

△選択必修科目（各専門科目内で△のいずれか1科目以上を選択）

(注) 編入学生で教免取得を希望する場合は、出身短大（大学）から取り寄せた「学力に関する証明書」を持参し、教育支援センター教務担当で履修相談をすること。

英 語〔現代教養学科〕

教科に関する 科目	免許法に基づき本学が 設定する必要単位数		該当専門教育科目 ()内は最低必要単位数
	中学校 種一	高等学校 種一	
英 語 学	1	1	△英語研究概論 A △英語研究概論 B 英語の歴史 英語音声学 形態論 文法研究 意味論 社会言語学 第二言語習得
英 米 文 学	1	1	△英米文学・文化概論 A △英米文学・文化概論 B イギリス散文 A イギリス散文 B アメリカ散文 A アメリカ散文 B 英米詩 ファンタジー・児童文学
英語 コミュニケーション	1	1	○Current Topics I (2) ○Current Topics II (2) ○Current Topics for Reading I (2) ○Current Topics for Reading II (2) Reading A Reading D Listening A Listening C Writing A Writing D Oral Communication A Oral Communication C
異 文 化 理 解	1	1	ニューイングランド文学・文化 △イギリス文化研究 △アメリカ文化研究 Film Criticism 比較文学・文化 Language of Advertising 国際関係外書講読 Mass Media English A Mass Media English B
最低修得単位数	28	28	上記の専門教育科目の中から○印を含み28単位以上修得すること。

○必修科目 △選択必修科目（各分野内でいずれかを選択）〔履修登録前に必ず学科に申し出ること〕

(注) 編入学生で教免取得を希望する場合は、出身短大（大学）から取り寄せた「学力に関する証明書」を持参し、教育支援センター教務担当で履修相談をすること。

家 庭〔環境デザイン学科〕

1

教育職員免許状

教科に関する 科目	免許法に基づき本学が 設定する必要単位数		該当専門教育科目	備考
	中学校 一 種	高等学校 一 種		
家庭経営学 (家族関係学及び 家庭経済学を含む)	4	4	家庭経営学 ○生活科学概論(前期のみ) ○家族関係論	「教科に関する科目」欄に記載の条件を満足するように履修すること。
被服学 (被服製作実習 を含む)(注1)	4	4	○被服学概論 被服構成学 アパレル企画論 材料学B 被服材料学 造形デザイン演習I2(モード) 服飾史I 服飾史II デザイン画描法 衣料鑑別実験 繊維加工学 被服衛生学 被服整理学 造形デザイン演習I1(モード) 造形デザイン演習II1(モード) 被服整理学実験 造形材料学実験 服飾デザイン 染色理論 造形デザイン演習II2(モード) 染色加工実験 造形デザイン演習III 被服造形科学 被服学実習-教職-	
食物学 (栄養学、食品 学及び調理実習 を含む)(注1)	4	4	○食物学概論(栄養学を含む) ○調理実習	
住居学 (製図を含む)(注1)	2	2	○住居学概論 建築史(日本) 住生活学 インテリア計画 設計製図I1 設計製図I2 環境心理学 設計製図II1 設計製図II2 材料学A 材料学C 設計製図-教職- 建築史(西洋) 住居計画 建築構造I デザイン概論I 建築材料学 設計製図III 建築設備 製図基礎	
保育学 (実習及び家庭看 護を含む)	2	2	○保育学(実習を含む)	
家庭電気・機械 及び情報処理		4	○家庭機械及び家庭電気 ○情報論同演習	
最低修得単位数	28	28	上記専門教育科目を最低28単位以上を修得しなければならない。 (健康デザイン学科の専門教育科目をあてることもある。)	

○必修科目

注1) 被服製作実習、食品学及び調理実習、製図を必ず含むこと。「被服製作実習」に該当する科目は、造形デザイン演習I・II(モード)、造形デザイン演習III、被服学実習-教職-、「製図」に該当する科目は、設計製図-教職-、製図基礎、設計製図I～III

注2) 編入学生で教免取得を希望する場合は、出身短大(大学)から取り寄せた「学力に関する証明書」を持参し、教育支援センター教務担当で履修相談をすること。

注3) 家庭電気・機械及び情報処理は中学校一種の必要単位にはならない。

理 科(中学校)〔健康デザイン学科〕

教 科 に 関 す る 目 教 科	免許法に基づき本学が 設定する必要単位数	該 当 専 門 教 育 科 目 () 内 は 最 低 必 要 単 位 数
	中 学 校 一 種	
物 理 学	2	○物理学(2) サイコロロジー
物 理 学 実 験 (コンピュータ活用を含む)	1	○物理学実験(1)
化 学	4	○化学A(2) ○化学B(2)
化 学 実 験 (コンピュータ活用を含む)	1	○化学実験(1)
生 物 学	4	○生物学(2) ○生化学(2) 感覚学概論 色彩科学
生 物 学 実 験 (コンピュータ活用を含む)	5	○生物学実験(1) 微生物学実験 食品科学実験 ○生化学・解剖生理学実験(2) ○バイオテクノロジー(2) 生体調節と食品成分
地 学	2	○地学(2)
地 学 実 験 (コンピュータ活用を含む)	1	○地学実験(1)
最低修得単位数	28	上記専門教育科目から○印の科目を含み最低28単位以上修得すること。

○必修科目

(注) 編入学生で教免取得を希望する場合は、出身短大(大学)から取り寄せた「学力に関する証明書」を持参し、教育支援センター教務担当で履修相談をすること。

理 科(高等学校)〔健康デザイン学科〕

教 科 に 関 す る 目 教 科	免許法に基づき本学が 設定する必要単位数	該 当 専 門 教 育 科 目 () 内 は 最 低 必 要 単 位 数
	高 等 学 校 一 種	
物 理 学	2	○物理学(2) サイコロロジー
化 学	4	○化学A(2) ○化学B(2)
生 物 学	4	○生物学(2) ○生化学(2) 感覚学概論 色彩科学
地 学	2	○地学(2)
「物理学実験(コンピュータ活用を含む。)、化学実験(コンピュータ活用を含む。)、生物学実験(コンピュータ活用を含む。)、地学実験(コンピュータ活用を含む。)」	8	○物理学実験(1) ○化学実験(1) ○生物学実験(1) 微生物学実験 ○生化学・解剖生理学実験(2) 食品科学実験 ○バイオテクノロジー(2) 生体調節と食品成分 ○地学実験(1)
最低修得単位数	28	上記専門教育科目から○印の科目を含み最低28単位以上修得すること。

○必修科目

(注) 編入学生で教免取得を希望する場合は、出身短大(大学)から取り寄せた「学力に関する証明書」を持参し、教育支援センター教務担当で履修相談をすること。

保健体育〔健康デザイン学科〕

教科に関する 科 目	免許法に基づき本学が 設定する必要単位数		該 当 専 門 教 育 科 目 () 内 は 最 低 必 要 単 位 数
	中 学 校 一 種	高 等 学 校 一 種	
体 育 実 技	2	2	○体育実技A (1) ○体育実技B (1) スポーツ実習A・アクアスポーツ スポーツ実習B・スノースポーツ
「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学」及び運動学（運動方法学を含む。）	4	4	○運動学 (2) △スポーツ社会学 (2) △体育経営管理学 (2) △体育原理 (2) △スポーツ心理学 (2)
生 理 学 (運動生理学を含む。)	2	2	○運動生理学 (2) 人体の構造と機能A スポーツ医学 スポーツトレーニング論 バイオメカニクス スポーツトレーニング論演習 栄養学実習 人体の構造と機能B 体力測定・評価 体力測定・評価演習
衛 生 学 及 び 公 衆 衛 生 学	6	6	○衛生・公衆衛生学 (2) ○食品と加工 (2) ○食品衛生学 (2)
学 校 保 健 (小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	6	6	○学校保健A (2) ○学校保健B (2) ○健康管理概論 (2)
最低修得単位数	28	28	上記専門教育科目から○印と△印(2単位以上)を含み最低28単位以上修得すること。

○必修科目

△選択必修科目

(注) 編入学生で教免取得を希望する場合は、出身短大(大学)から取り寄せた「学力に関する証明書」を持参し、教育支援センター教務担当で履修相談をすること。

保 健〔健康デザイン学科〕

教科に関する 科 目	免許法に基づき本学が 設定する必要単位数		該 当 専 門 教 育 科 目 () 内 は 最 低 必 要 単 位 数
	中 学 校 一 種	高 等 学 校 一 種	
生 理 学 栄 養 学 微 生 物 学 解 剖 学	8	8	○人体の構造と機能A (2) 病理・疾病 ○微生物学 (2) ○人体の構造と機能B (2) サプリメント論 ○応用栄養学 (2) 栄養学実習 公衆栄養学 栄養指導論各論
衛 生 学 及 び 公 衆 衛 生 学	6	6	○衛生・公衆衛生学 (2) ○食品と加工 (2) ○食品衛生学 (2)
学 校 保 健 (小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	6	6	○学校保健A (2) ○学校保健B (2) ○健康管理概論 (2)
最低修得単位数	28	28	上記専門教育科目から○印の科目を含み最低28単位以上修得すること。

○必修科目

(注) 編入学生で教免取得を希望する場合は、出身短大(大学)から取り寄せた「学力に関する証明書」を持参し、教育支援センター教務担当で履修相談をすること。

家 庭〔健康デザイン学科〕

教科に関する 目 科	免許法に基づき本学が 設定する必要単位数		該 当 専 門 教 育 科 目 () 内 は 最 低 必 要 単 位 数
	中 学 校 一 種	高 等 学 校 一 種	
家 庭 経 営 学 (家族関係学及び 家庭経済学を含む)	6	6	○家庭経営学 (2) ○家庭経済学A (2) ○家族関係論 (2)
被 服 学 (被服製作実習 を含む)	6	6	○被服学A (2) ○被服学B (2) ○被服学及び実習 (2)
食 物 学 (栄養学、食品 学及び調理実習 を含む)	6	6	○栄養と健康 (2) ○調理学実習 (2) 栄養指導論総論 おいしさの科学と評価 ○食品学 (2) 食品素材の科学 調理科学 調理と理論 基礎調理学及び実習
住 居 学 (製図を含む)	3	3	△住居学A (2) ○住居学演習 (1) △住居学B (2)
保 育 学 (実習及び家庭看 護を含む)	2	2	○保育学 (2)
家庭電気・機械 及び情報処理		2	○家庭機械及び家庭電気 (2)
最低修得単位数	28	28	上記専門教育科目から○印と△印(2単位以上)を含み最低28単位以上修得すること。 (一部環境デザイン学科の専門教育科目をあてることもある)

○必修科目

△選択必修科目

(注) 編入学生で教免取得を希望する場合は、出身短大(大学)から取り寄せた「学力に関する証明書」を持参し、教育支援センター教務担当で履修相談をすること。

栄 養〔健康デザイン学科〕

栄養に係る教育に関する科目	免許法に基づく 必要単位数	該当専門教育科目 ()内は最低必要単位数
	栄養二種	
栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項	2	○学校栄養教育論Ⅰ(2)
幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項		
食生活に関する歴史的及び文化的事項		
食に関する指導の方法に関する事項		○学校栄養教育論Ⅱ(2)

○必修科目

(注)管理栄養学科開設の科目を履修する。

栄 養〔管理栄養学科〕

栄養に係る教育に関する科目	免許法に基づく 必要単位数	該当専門教育科目 ()内は最低必要単位数
	栄養一種	
栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項	4	○学校栄養教育論Ⅰ(2)
幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項		
食生活に関する歴史的及び文化的事項		
食に関する指導の方法に関する事項		○学校栄養教育論Ⅱ(2)

○必修科目

幼稚園教諭一種・小学校教諭一種免許状取得のための 最低修得単位数〔初等教育学科〕

◆教科に関する科目（幼稚園）

規定科目	最低修得単位数	該当専門教育科目 ()内は単位数
国語（書写を含む。）	国語、算数、生活、音楽、図画工作 及び体育のうち 3 以上の科目について 修得する。	国語（書写を含む）(2)
算 数		算 数 (2)
生 活		生 活 (2)
音 楽		音 楽 (2)
図 画 工 作		図画工作(2)
体 育		○体 育 (2)
計	6	

○：必修

◆教科に関する科目（小学校）

規定科目	最低修得単位数	該当専門教育科目 ()内は単位数	備考(その他の履修条件)	
			ア	イ
国語（書写を含む。）	国語（書写を含む）、社会、 算数、理科、生活、音楽、 図画工作、家庭及び体育の うち 4 以上の科目について 修得する。	国語（書写を含む）(2)	◇	6 単位以上 うち◇から4単位以上
社 会		社 会 (2)	◇	
算 数		算 数 (2)	◇	
理 科		理 科 (2)	◇	
生 活		生 活 (2)	◇	
音 楽		音 楽 (2)	◇	
図 画 工 作		図画工作(2)	◇	
家 庭		家 庭		
体 育		○体 育 (2)		
計	8			

○：必修

【その他の履修条件】

ア：幼稚園教諭1種免許状を同時に取得する場合の履修条件

イ：幼稚園教諭1種免許状を同時に取得しない場合の履修条件

◆教職に関する科目（幼稚園教諭）

免許法施行規則に定めた科目区分等		最低取得 単位数※	該当専門教育科目		備考(その他の履修条件)	
科目	各科目に含めることが必要な事項		授業科目名	単位数	ア	イ
教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種機会の提供等	2	○教職概論	2		
教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	○教育原理	2		
			○保育原理	2		
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）		○教育心理学Ⅰ	2		◆
			発達心理学	2		◆
教育課程及び指導法に関する科目	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	18	乳幼児心理学	2		
			特別支援教育論	2		
			○教育法規	2		
			教育行政学	2		
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	2	学級経営研究	2	◆	
	・教育課程の意義及び編成の方法		○教育の方法と技術	2		
			教育評価	2	◆	
			教育統計基礎	2		
教育実習	・各領域の指導法	5	○保育・教育課程論	2		
			人間関係指導法	2	8 単位 以上	14 単位 以上
			環境指導法	2		
			健康指導法	2		
教職実践演習			言葉指導法	2		
			表現指導法	2		
			人間関係指導法演習	1		
			環境指導法演習	1		
教育実習	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	2	健康指導法演習	1	8 単位 以上	14 単位 以上
	・幼児理解の理論及び方法		言葉指導法演習	1		
			表現指導法演習	1		
			保育内容総論	2		
教育実習	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	2	○教育相談の研究	2		
	・幼児理解の理論及び方法		○幼児理解の研究	2		
教育実習		5	○教育実習Ⅰ	1		
			○教育実習の指導Ⅰ	1		
			○教育実習の指導Ⅱ	1		
			○教育実習ⅡA	4		
教職実践演習		2	教育実習ⅡB	2		
			教職実践演習（幼・小）	2	◆	
			保育・教職実践演習（幼稚園）	2		◆

○：必修

【その他の履修条件】◆を履修する

ア：小学校教諭1種免許状を同時に取得する場合の履修条件

イ：小学校教諭1種免許状を同時に取得しない場合の履修条件

※この単位数を満たした上で、さらに「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」から10単位修得することが必要であるが、上記必修科目（○および◆）をすべて履修すれば、この条件を満たすこととなる。

◆教職に関する科目（小学校教諭）

免許法施行規則に定めた科目区分等		最低取得 単位数※	該当専門教育科目		
科 目	各科目に含めることが必要な事項		授 業 科 目 名	単 位 数	
教 職 の 意 義 等 に 関 す る 科 目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種機会の提供等	2	○教職概論	2	
教 育 の 基 礎 理 論 に 関 す る 科 目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	○教育原理	2	
			○保育原理	2	
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）		○教育心理学Ⅰ	2	
			発達心理学	2	
			乳幼児心理学	2	
			特別支援教育論	2	
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		○教育法規	2	
			教育行政学	2	
			○学級経営研究	2	
教 育 課 程 及 び 指 導 法 に 関 す る 科 目	・教育課程の意義及び編成方法	22	○小学校教育課程論	2	
			○国語科教育法	2	
			○社会科教育法	2	
			○算数科教育法	2	
			○理科教育法	2	
			○生活科教育法	2	
			○音楽科教育法	2	
			○図工科教育法	2	
			○家庭科教育法	2	
			○体育科教育法	2	
			国語科教育法演習	1	
			社会科教育法演習	1	
			算数科教育法演習	1	
			理科教育法演習	1	
			生活科教育法演習	1	
			音楽科教育法演習	1	
			図工科教育法演習	1	
			家庭科教育法演習	1	
				1	
			・道徳の指導法	○道徳教育研究	2
				道徳教育演習	1
			・特別活動の指導法	○特別活動研究	2
				特別活動演習	1
			・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	○教育の方法と技術	2
		○教育評価	2		
		教育統計基礎	2		
生 徒 指 導、教 育 相 談 及 び 進 路 指 導 等 に 関 す る 科 目	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法	4	○生徒・進路指導の研究	2	
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		○教育相談の研究	2	
教 育 実 習		5	○教育実習Ⅰ	1	
			○教育実習の指導Ⅰ	1	
			○教育実習の指導Ⅱ	1	
			○教育実習ⅡA	4	
			教育実習ⅡB	2	
教 職 実 践 演 習		2	○教職実践演習（幼・小）	2	

◆小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律により修得すべきもの

介護等の体験	1 認定	○介護等体験の指導 ○介護等体験（7日間）	1 認定
--------	---------	--------------------------	---------

○：必修

※この単位数を満たした上で、さらに「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」から10単位修得することが必要であるが、上記必修科目（○）をすべて履修すれば、この条件を満たすこととなる。

幼稚園教諭一種免許状取得のための 最低修得単位数〔福祉社会学科〕

※福祉社会学科の幼稚園教諭一種免許状の取得要件については、福祉社会学科のカリキュラム表欄外を参照のこと。(10名以内)
初等教育学科の科目を履修し、修得した単位は卒業要件外とする。

◆教科に関する科目

規定科目	最低修得単位数	該当専門教育科目 ()内は単位数
	幼稚園教諭一種	
国語(書写を含む。)	国語、算数、生活、音楽、図画工作及び体育のうち3以上の科目について修得する。	国語(書写を含む)(2)
算 数		算数(2)
生 活		生活(2)
音 楽		音楽(2)
図 画 工 作		図画工作(2)
体 育		体育(2)
計	6	

◆教職に関する科目

免許法施行規則に定めた科目区分等		最低修得単位数	該 当 専 門 科 目				
科 目	各科目に含める必要事項	幼 稚 園 一 種	授 業 科 目 名	単 位 数			
教 職 の 意 義 等 に 関 す る 科 目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種機会の提供等	2	教職概論	2			
教育の基礎 理論に関する 科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び 思想	6	教育原理	2			
	・ 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学 習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒 の心身の発達及び学習の過程を含む。）		保育原理	2			
			教育心理学Ⅰ	2			
			発達心理学	2			
			乳幼児心理学	2			
			特別支援教育論	2			
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的 事項		教育法規	2			
教育行政学	2						
学級経営研究	2						
教育課程及 び指導法に 関する科目	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材 の活用を含む。）	18	教育の方法と技術	2			
	・教育課程の意義及び編成方法 ・各領域の指導法		教育評価	2			
			教育統計基礎	2			
			保育・教育課程論	2			
			人間関係指導法	2			
			環境指導法	2			
			健康指導法	2			
			言葉指導法	2			
			表現指導法	2			
			人間関係指導法演習	1			
			環境指導法演習	1			
			健康指導法演習	1			
			言葉指導法演習	1			
			表現指導法演習	1			
			保育内容総論	2			
			生徒指導、教育 相談及び 進路指導等 に関する科目	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的 な知識を含む。）の理論及び方法	2	教育相談の研究	2
				・幼児理解の理論及び方法		幼児理解の研究	2
教育実習		5	教育実習の指導Ⅰ	1			
			教育実習Ⅰ	1			
			教育実習の指導Ⅱ	1			
			教育実習ⅡA	4			
			教育実習ⅡB	2			
教職実践演習		2	保育・教職実践演習（幼稚園）	2			

注1) 上記を満たした上で、さらに「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」から10単位修得することが必要。

注2) 上記のほか、体育、法学(憲法)、外国語コミュニケーション、情報機器の操作・各2単位の修得が必要。

◆その他必要な科目

○体育

「体育実技」2単位を修得する。

＊初等教育学科は「教科に関する科目」の「体育」2単位を修得する。

○日本国憲法

一般教養科目で開設されている法学の科目のうち、法学(憲法)を2単位以上修得する。

○外国語コミュニケーション

外国語科目で開設されている外国語のうち、日本語を除き2単位以上修得する。

○情報機器の操作

各学科で開設されている該当科目を2単位以上修得する。

学 科	該 当 科 目	単 位 数
日 本 語 日 本 文 学 科	日本文学研究とコンピュータ	2
	日本語研究とコンピュータ	2
	パソコン日本語学入門A	2
	パソコン日本語学入門B	2
英 語 コミュニケーション 学 科	Computer Literacy A	2
	Computer Literacy B	2
歴 史 文 化 学 科	博物館情報・メディア論	2
国 際 学 科	メディアコミュニケーションI(文書作成、データ管理)	1
	メディアコミュニケーションII(情報検索、メール作成、SNS)	1
心 理 学 科	データ解析実習 I	2
福 祉 社 会 学 科	情報機器の操作とデータ分析	2
現 代 教 養 学 科	コンピュータ基礎	1
	情報収集と検索	2
	情報収集と編集	2
	情報収集と伝達	2
初 等 教 育 学 科	情報機器の操作	2
環 境 デザイン 学 科	データ分析基礎	1
	CAD I	1
	CAD II	1
	マルチメディア演習	1
	CG I A	1
	CG I B	1
	CG II (3D)	2
	CG I C	1
	ファッションコンピュータ演習	1
健 康 デザイン 学 科	統計・情報処理演習	2
管 理 栄 養 学 科	統計・情報処理演習	2

※体育、日本国憲法は、一般教養科目、外国語コミュニケーションは、外国語科目、情報機器の操作は、各学科の専門教育科目の単位としても数える。

■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■ 教職課程履修に関する事務連絡会等の日程 ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

1. 【幼一種免・小一種免】

学年	日程	介護等体験	教育実習	教育職員免許状申請	その他（任意参加）
1 年	後期	「介護等体験の指導」履修	初等教育学科の 指示に従う		
	2月 上旬	申し込み説明会			
2 年	4月 中旬	資料配布 教職課程費第1期納入			
	7月 上～中旬	体験先決定、資料配布			
	8月 上旬～	体験開始（～3月まで）			
	体験終了後	体験日誌、証明書コピー、 自己評価表等の提出			
	9月 末頃	レントゲン検診			
	11月 中～下旬				（教員採用試験受験者による報告会）
3 年	後期開講				教員採用試験対策講座 （オープンカレッジ）
	11月 中～下旬				（教員採用試験受験者による報告会）
	11月～				各都県・政令指定都市 教育委員会による 公立学校教員採用候補者 選考説明会
4 年	7月 下旬			教育職員免許状 一括申請申し込み	
	後期開講				教員採用試験対策講座 （オープンカレッジ）
	11月 中～下旬				（教員採用試験受験者による報告会）
	12月 中旬			教育職員免許状 一括申請授与申請 記載事項の確認と 署名押印	
	3月 中旬			教育職員免許状 交付（卒業式終了後）	

*介護等体験は、小一種免取得の場合に必要

*福祉社会学科の幼一種免履修者は、別途学科が指示する事務連絡会に出席すること。

2. 【中一種免・高一種免・栄養教諭】

学年	日程	介護等体験	教育実習	教育職員免許状申請 他
1年	4月 初旬	教職課程履修ガイダンス		
	7月 上～中旬		教育実習終了者による報告会	
	2月 上旬	教職課程履修ガイダンス(教職課程履修登録)		
2年		申し込み説明会		
	4月 上旬	「介護等体験の指導」履修 教科書、資料配布 教職課程費第1期納入		
	7月 上～中旬	体験先決定、資料配布	教育実習終了者による報告会	
	8月 上旬～	体験開始(～3月末まで)		
	体験終了後	体験日誌、証明書コピー、 自己評価票等の提出		
	9月 末頃	レントゲン検診		
	11月 下旬			教員採用試験受験者による報告会
3年	2月 上旬	教職課程履修ガイダンス		
	4月 上旬		教育実習履修登録・実習校 への内諾依頼について	
	4月～5月上旬		実習希望校訪問(内諾依頼)	
	7月 上～中旬		教育実習終了者による報告会	
	7月 末日まで		内定届・東京都公立学校実習 申込 提出締め切り	
	後期開講			教員採用試験対策講座開催予定(オープンカレッジ)
	11月 下旬			教員採用試験受験者による報告会
	12月 中旬			東京都教育委員会ほかによる翌年度公立学校教員 採用候補者選考に関する説明会
	2月 上旬	教職課程履修ガイダンス		
4年	2月～3月			私立学校教員希望者への説明会
	4月 上旬		教育実習事前指導及び連絡	
	4月 下旬		教育実習関係書類配布	
	5月 下旬		教職課程費第2期納入	
	実習終了後2週間以内		実習日誌提出	
	7月 上～中旬		教育実習終了者による報告会(必修)	
	7月 下旬			教育職員免許状一括申請申し込み
	後期開講			教員採用試験対策講座開催予定(オープンカレッジ)
	11月 下旬			教員採用試験受験者による報告会
	12月 中旬			教育職員免許状一括申請授与申請書記載事項の確 認と署名押印
	3月 中旬			教育職員免許状交付(卒業式終了後)

*介護等体験は、中一種免取得の場合に必要

問い合わせ及び書類等提出先
教育実習・介護等体験・教育職員免許状申請
教育支援センター教務担当窓口(大学1号館1階)

※なお、大学院生、編入学生の教職課程履修者(各実習含む)は、個別に教育支援センター教務担当にて履修相談を受けてください。

2. 博物館学芸員

(人間文化学部・人間社会学部・生活科学部)

卒業時に博物館学芸員の資格を取得するためには、下記(1)、(2)について指定の科目を履修し、規定の単位を修得する必要があります。

履修は1年次又は2年次から開始することを原則とし、4月始めに行われる履修ガイダンスに必ず出席してください。2年次のガイダンスでは「博物館学芸員登録カード」を作成します。なお、ガイダンス日時は掲示で告知します。

(1) 必修科目

授業科目	単位		開設学科	備考
	前期	後期		
博物館概論	2		歴史文	
博物館資料論		2	〃	
博物館経営論		2	〃	
博物館資料保存論	2		〃	
博物館展示論	2		〃	
生涯学習概論		2	〃	
博物館教育論	2	2	〃	前・後期いずれか
博物館情報・メディア論	2	2	〃	前・後期いずれか
博物館実習Ⅰ	1		〃	
博物館実習Ⅱ		1	〃	
博物館実習Ⅲ	1		〃	
館務実習		1	〃	外部実習

(注1) 上記科目を履修する他に、研修旅行に参加しなければならない。

(2) 選択必修科目

次の選択必修A・Bのいずれの条件も満たすよう選択履修する。

<選択必修A>

授業科目名	単位		開設学科	備考
	前期	後期		
日本史A		2	教養	この中から8単位を選択する。
日本史B		2	〃	
西洋史	2	2	〃	
東洋史概説	2	2	歴史・心理・現代	
考古学概論	2	2	歴史文	
考古学(日本の遺跡)	2	2	教養	
日本美術史概説	2	2	歴史文	
西洋美術史概論	2	2	〃	
東洋美術史概説	2	2	〃	
民俗学概論	2	2	歴史・国際	
日本民俗学	2	2	日文	

(注1) 必ずしも通年の履修でなくてもよい。

(注2) 環境デザイン学科学生は、学科専門科目で読み替えられる科目がある。別途指示する。

<選択必修B>

90分の授業を半期(1セメスター)履修した場合を1コマとして4コマを選択する。

授業科目	コマ数		開設学科	備考
	前期	後期		
史料解説	1	1	歴史文・日文	この中から4コマを選択する。
古文書解説	1	1	歴史文	
服飾史資料基礎	1	1	〃	
考古学実習A	1		〃	
考古学実習B		1	〃	
日本美術史基礎	1	1	〃	
西洋美術史基礎	1	1	〃	
日本芸能史基礎 -調査法-		1	〃	
民俗調査法	1		〃	
文化財保存修復学基礎	1	1	〃	

(注1) 必ずしも通年の履修でなくてもよい。

博物館学芸員課程の履修に関する内規

●目的

本課程履修者の資質向上を目的として本内規を定める。

●履修条件

博物館実習Ⅲおよび館務実習を履修することができる者は、次の通りとする。

イ. 人間文化学部・人間社会学部・生活科学部の学生であること。

ロ. 将来、学芸員としての職に就くことを志望する者。

ハ. 3年次までに、博物館実習Ⅲおよび館務実習以外の必修科目、研修旅行のすべてを履修し、単位を修得した者。

ニ. 各自の資格要件全科目の平均点が70点以上であり、かつ3年次までの全履修科目の平均点が70点以上の者。ただし、提出物等の期限を厳守した者に限る。

ホ. 前ハ項、ニ項の規定にかかわらず、博物館学科目群担当者が適当と認め、歴史文化学科会議で承認された者。

ヘ. 3年次編入者については、前ハ項を適用しない。また、前ニ項については、3年次の全履修科目の平均点が70点以上の者と読み替える。

●実習費の徴収について (歴史文化学科学生を除く)

第1期……博物館実習Ⅰ・Ⅱの履修者は7,500円を指定の期日までに納入する。

第2期……本履修内規のハ項からヘ項までの規定に合格した博物館実習Ⅲの履修者は、指定の期日までに実習費年額10,000円を納入する。

●館務実習及び研修旅行について

イ. 館務実習は原則として卒業年次に行う。詳細については、3年次後期に別途説明する。実習期間(1~2週間)は実習先の指示に従う。館務実習履

修者は定められた館務実習費12,000円を納入するものとする。この館務実習費の中から実習館への謝礼が支払われる。

- ロ. 研修旅行は原則として3年次に行う。日程及び行程は年度ごとに企画される。必要経費（宿泊費・交通費等）の納入は指示に従うこと。

●学芸員の資格申請

学芸員の資格を申請（教育支援センター経由）できる者は下記の通りとする。

- イ. 前述の必修科目・選択必修科目の単位をすべて修得し、そのうち成績不良科目（申し合わせとして69点以下）が5科目以内の者。
- ロ. 卒業年次までの全履修科目の平均点が70点以上である者。
- ハ. 卒業年次に実施する資格授与試験を受け、認められた者。（試験日時は掲示で告知）
- ニ. 前イ項、ロ項にかかわらず、歴史文化学科会議で承認された者。

III 学部卒業生の学芸員資格取得に関する内規 III

- イ. 本学学部卒業生で学芸員の資格取得を希望する者は、次の条件を満たしていなければならない。

- a) 学士の学位を有する者。
- b) 在学中の成績が「学芸員課程の履修に関する内規」に合致していること。
- c) 上記条件を満たし、学則第55条に基づいて履修を許可された者。
- d) なお履修に関しては、博物館学科目群担当者が協議の上、決定する。

- ロ. 履修の手続き

上記イa)、b)の条件を満たしたことを示す証明書を添付し、資格取得課程履修願を指定の期日までに、教育支援センターを経て学長に提出すること。

- ハ. 履修料について

上記ロで履修を許可された者は、学則第62条に基づいて半期1科目につき登録料10,000円、聴講料20,000円を納入すること。

- ニ. 履修を許可された者は、学則第58条から第65条の科目等履修生に関する規定を適用する。

- ホ. 資格の付与

前述の「学芸員課程の履修に関する内規」に合致した者に、その資格を付与する。

3. 司書・司書教諭

図書館学課程は、大学・専門・公共図書館の専門職員である「司書」の資格と、小・中・高等学校図書館のメディア専門職である、「司書教諭」の資格を取得するために、本学現代教養学科に開設されています。

現代の高度情報化社会では、情報リテラシー能力が重視されています。当課程では、メディア専門職としての知識と技術を体系的に学習でき、図書館だけでなく、様々な公共機関や学校、企業の資料室や調査部門などで幅広く活躍できる能力を身につけることができます。

資格取得をめざす学生は、所定の単位を修得しなければなりません。

短大の学生が単位修得する場合、当課程は学部開設であるため、短期大学部学則第14条第3項に定める30単位の内数として、履修するものとします。

当課程によって修得した単位は、原則として卒業要件になりません。

受講科目の履修順序がありますので、履修を開始する場合は、年度初めに行われる「図書館司書・司書教諭ガイダンス」に、必ず出席してください。履修順序を守らなければ、履修出来ない科目があります。

履修を開始した学生（科目等履修生を含む）は、図書館学課程登録料として、10,000円を納入しなければなりません。納入方法については、別途連絡します。

在学中に資格の取得をめざさなくなった場合も、図書館学課程登録料を納入しなければなりません。当課程で修得した単位は、講習や他大学で修得した単位と併せて、資格を取得することができるためです。

専攻科の学生が、「司書」及び「司書教諭」の資格取得をめざす場合

⇒図書館学課程担当教員に相談してください。

なお、専門科目と時間割が重なった等の理由により、他大学で単位を修得し、本学で資格を取得する場合は、当課程に「単位修得証明書」を提出してください。

●司書

司書の資格は、図書館法(1950年)に規定されています。

資格を取得するためには、次の表の必修科目22単位、選択科目2単位（2科目2単位を選択）合計24単位を修得しなければなりません。

	区分	科 目 名	単位数
必修科目	基礎科目	生 涯 学 習 概 論	2
		図 書 館 概 論	2
		図 書 館 情 報 技 術 論	2
		図 書 館 制 度 ・ 経 営 論	2
	図書館 サービスに 関する科目	図 書 館 サ ー ビ ス 概 論	2
		情 報 サ ー ビ ス 論	2
		児 童 サ ー ビ ス 論	2
		情報サービス演習A(レファレンスサービス)	1
		情報サービス演習B(情報検索)	1
		図書館情報 資源に関する 科目	図 書 館 情 報 資 源 概 論
	情 報 資 源 組 織 論	2	
	情報資源組織演習A(目録)	1	
情報資源組織演習B(分類)	1		
選択科目	2科目選択 (A・Bどちらか 一方のみ)	図 書 館 サ ー ビ ス 特 論	1
		図 書 館 情 報 資 源 特 論 A	1
		図 書 館 情 報 資 源 特 論 B	1
		図 書 ・ 図 書 館 史	1
		図 書 館 施 設 論	1
合計		必修科目22単位 選択科目2単位	

●司書教諭

司書教諭の資格は、学校図書館法(1953年)に規定されています。

資格を取得するためには、小学校、中学校、高等学校いずれかの教育職員免許を取得し、かつ下表にある所定の単位を、修得しなければなりません。

短大の学生は、在学中に司書教諭の資格を取得することはできません。ただし、編入等の理由により、司書教諭科目の履修を希望する場合は、必ず図書館学課程担当教員に相談してください。

科目名	単位
学校経営と学校図書館	2
学校図書館メディアの構成	2
学習指導と学校図書館	2
読書と豊かな人間性	2
情報メディアの活用	2
合計	10単位

○当課程に関する情報は、次の掲示板を必ず見るようにしてください。

- ・大学3号館 1階
- ・80年館 1階 インフォメーションルーム

4. 日本語教員

日本語教育の現場は、海外の大学・高校・小学校等の教育機関、国内の大学・専門学校、日本語学校、インターナショナルスクール、公立の小中高校、地域のボランティア団体など様々です。これら多様な学習者のニーズに適合した教育プログラムを行っていくために、日本語教員には幅広い専門的な知識、能力が要求されています。

本学日本語日本文学科には、日本語教員の養成のための「日本語教育科目」が開設されています。平成12年に示された『日本語教育のための教員養成について』(文化庁日本語教員養成に関する調査研究協力者会議)における「日本語教員養成において必要とされる教育内容」を参照して科目を示すと次頁のようになります。

関心のある学生はそれぞれの専門性を意識しながら日本語教育科目を位置づけ、履修計画をたててください。各区分から所定の単位数を修め、必要な手続きをとった者に対して本学日本語教育科目の「主専攻(45単位)」「副専攻(26単位)」の認定証を発行しています。

日本語教育科目は全学科の学生の受講が可能です。単位の認定にあたって学科別の取り決め事項があります。年度初めに行われる「日本語教育ガイダンス」に必ず出席して履修のシステムをよく理解してください。また、不明な点は日本語日本文学科の担当教員に問い合わせてください。

現在、日本語を教える教員のための免許制度はありません。就職にあたっては、各教育機関が独自の採用基準を設けています。現在一般的には、「大学および大学院で日本語教育に関する科目を主専攻程度の単位数履修した者」あるいは「副専攻程度単位数を履修し、『日本語教育能力検定試験』(財団法人日本国際教育支援協会実施)に合格した者」で、かつ「現場での実務能力があると認められる者」という基準が最も重視されるようです。

本学大学院には、日本語教師としての専門性をさらに高め、海外の高等教育機関でも教えられるような人材を育成するために、文学研究科言語教育・コミュニケーション専攻に「日本語教育コース」が開設されています。

授業科目		学 年				開講 中心 年次	履修 可能 範囲		
		1年次	2年次	3年次	4年次				
		単位	単位	単位	単位				
文化・社会言語と社会言語教育	日本語教育概論Ⅰ	②	②				1	○	
	言語政策論Ⅰ		②	②	②		3	○	
	言語政策論Ⅱ		②	②	②		3	○	
	異文化間コミュニケーションⅠ	②	②	②			1	○	
	異文化間コミュニケーションⅡ	②	②	②			1	○	
	社会言語学	②	②	②	②		2	○	
	第二言語教育概説	②	②	②			2	○	
	第二言語習得論	②	②	②			2	○	
	日本語教育概論Ⅱ	②	②				1	○	
	日本語教育学ⅠA(音声)	②	②	②			2	○	
	日本語教育学ⅠB(書写)		②	②			2	○	
	日本語教育学ⅠC(文法)	②	②	②	②	②	2	○	
	日本語教育学ⅡA(聴解・会話)			②	②	②	3	○	
	日本語教育学ⅡB(作文・読解)		②	②	②		3	○	
	日本語教育学ⅡC(教材・教具)		②	②			2	○	
	コースデザイン・評価論		②	②		②	3	○	
	日本語教育指導方法論	②	②				2	○	
	日本語教育実習Ⅰ(教壇'YY)		①	①	①	①	①	3	○
	日本語教育実習Ⅱ(教壇'YY)		①	①	①	①	①	3	○
	日本語教育実習(個別'YY)		①	①	①	①	①	3	○
	日本語教育実習(海外'YY)		①	①	①	①	①	3	○
日本語	日本語教育言語分析法研究	②	②	②	②		2	○	
	日本語文法論	②	②	②	②	②	②	2	○
	日本語表現法	②	②	②			2	○	
	日英対照研究		②	②	②		3	○	
	日韓対照研究		②	②	②		3	○	
	日中対照研究		②	②	②		3	○	

(YY) には年度(西暦)が表記される。複数回履修可。

5. 社会福祉主事

〔社会福祉主事任用資格〕

◆社会福祉主事は社会福祉法第19条第1項第1号に基づく任用資格で、厚生労働省告示による指定科目のうち、3科目以上を修めて卒業(3科目以上履修した上で卒業)すると取得できます。取得者は社会福祉関連の事業所に就職した場合、有資格者として次の職名が得られます。

- ① 福祉事務所の社会福祉主事
- ② 各種福祉施設の生活指導員・児童指導員・福祉指導員
- ③ 社会福祉協議会の福祉活動指導員

◆社会福祉主事の資格に関する指定科目(厚生労働省)

科 目
社会福祉概論
社会福祉事業史
社会福祉援助技術論
社会福祉調査論
社会福祉施設経営論
社会福祉行政論
社会保障論
公的扶助論
児童福祉論
家庭福祉論
保育理論
身体障害者福祉論
知的障害者福祉論
精神障害者保健福祉論
老人福祉論
医療社会事業論
地域福祉論
法学
民法
経済学
社会政策
心理学
社会学
公衆衛生学
医学一般
リハビリテーション論
看護学
介護概論
栄養学
計 29科目

本学開設科目の中で、読み替えによって認められる科目があります。詳細は教育支援センター教務担当に問い合わせてください。

6. 考古調査士（人間文化学部歴史文化学科・大学院生活機構研究科生活文化研究専攻）

1. 考古調査士とは

埋蔵文化財調査には様々な知識と技術が必要です。遺跡発掘に関わる調査・記録技術や安全対策、衛生管理などの管理技術、考古学的な専門知識などが必要です。調査成果を的確に報告書にまとめあげる知識と技能も必要です。さらに近年では、それらを社会に向けて発信し、地域の歴史として地域住民に還元することが重要な任務になってきました。

埋蔵文化財の調査と保存・活用に関する技術と知識は、専門的な領域に属し、一朝一夕で修得できるものではありません。大学で、長期の時間と費用を費やして修得するものです。また社会での実務経験も必要です。

考古調査士資格とは、そのような長年にわたる埋蔵文化財関係の訓練を積んだ人に対して、与えられる専門資格です。しかし、弁護士や医師のような国家資格ではなく、民間組織が発行する資格であり、独占的な資格ではありません。

大学などの教育機関で、考古学を専門に勉強した学生や、あらためて学びなおしたい社会人からの申請に基づき、資格認定機構が、その内容を審査し、資格を授与するものです。

考古調査士資格認定機構は、考古調査士資格申請に加盟する全国の大学・研究機関共通の統一的な資格審査・授与機構の組織です。

「2級考古調査士」資格取得者が大学院に進学し、所定の関連科目の単位を取得すると、「1級考古調査士」資格が与えられます。

2. 資格要件

2級考古調査士

(1) 本学歴史文化学科が開設する科目のうち、右の科目から、3科目群5科目以上、10単位取得を必須要件とする。

(2) 第5科目群を1科目取得を必修とする。

本学では「文化財保護行政論」がこれに相当する。

(3) 1科目群内、最高2科目4単位まで申請が可能

(4) 考古学に関する卒業論文は、テーマに応じて第1科目群から第7科目群のいずれかに割り振り、単位を加算することができる。2単位相当

(5) 上記の要件により単位を取得した場合、「考古調査士資格認定機構」に申請することにより、資格が授与される。

1級考古調査士

(1) 学部において2級考古調査士資格を取得し、大学院（修士課程）において、指定科目を4科目8単位取

得を必須要件とする。

(2) 第5科目群1科目取得を必修とする。

(3) 考古学に関する修士論文は、テーマに応じて第1科目群から第7科目群のいずれかに割り振り、単位を加算することができる。2単位相当

3. 資格の申請

(1) 資格取得希望者は、「考古調査士資格認定機構」が定める手続きに従い、大学から発行される「単位取得証明書」を添えて、所定申請期間内に必要な書類とともに「考古調査士資格認定機構事務局」に資格申請を行うことができる。

(2) 「考古調査士資格認定機構・資格審査専門委員会」が申請書類を審査し、「資格認定機構委員会」の承認を得て、可否を決定し、資格を授与する。

(3) 申請料 2級考古調査士 ￥25,000

1級考古調査士 ￥30,000

4. 科目群の内訳

第1科目群 考古学の概説

第2科目群 考古学の基礎的方法論を扱う科目群

第3科目群 考古学の個別分野を特論的に扱う科目群

第4科目群 考古学調査の技術的実習分野

第5科目群 埋蔵文化財の保存と活用を扱う科目群

関連科目群

2級考古調査士

科目群	授業科目	単位	
		前期	後期
1	考古学概論	2	
1	考古学概論		2
3	日本考古学特論A	2	
3	日本考古学特論A		2
3	日本考古学特論B	2	
4	実験考古学		2
4	考古学実習A	1	
4	考古学実習B		1
5	文化財保護行政論		2

1級考古調査士

科目群	授業科目	単位	
		前期	後期
3	考古学研究ⅠA	2	
3	考古学研究ⅠA		2
3	考古学研究ⅠB	2	
3	考古学研究ⅠB		2
5	埋蔵文化財行政学特論A	2	
4	埋蔵文化財行政学特論B		2

7. 社会調査士

社会調査士とは、社会調査の知識や技術を用いて、世論や市場動向、社会事象等を捉えることのできる能力を有する『調査の専門家』のことです。

激しく変化する社会の現状を把握し、複雑な社会問題の解決を図るためには、社会調査の方法を身につけることが不可欠です。ところが、その重要性が高まっているにも関わらず、調査の担い手となる専門的人材の育成システムはまだ未整備な状態にあります。その重要性と必要性を鑑みて、三つの学会（教育社会学会、行動計量学会、社会学会）の連携協力により、平成15年11月に『社会調査士資格認定機構』（平成20年12月に一般社団法人社会調査協会に組織替え）が創設されました。この『機構』の事業の一つが「社会調査士」の資格認定です。

1) <取得方法>

認定機構が定めた「標準カリキュラム」に準拠した科目と設置している資格制度参加校（大学）で取得することができます（本学は、平成20年度から参加しています）。調査に関する5科目と実習1科目の単位を取得することで、学部卒業時に資格が交付されます。また、上記科目を3科目以上取得、2科目以上履修中であることを条件に、在学時、就職活動等に活用できる社会調査士（取得見込み）証明書が発行されます。

なお、資格取得申請には、社会調査協会が定める費用がかかります。

2) <社会調査士の能力>

社会調査士は、調査企画から報告書の作成までの社会調査の全過程を体験することにより、基本的な調査方法や分析手法の妥当性、またその問題点を指摘する能力を修得します。

3) <認定された本学の社会調査士科目>

平成20年度から本学の人間社会学部も社会調査士の科目認定を受け、資格制度に参加することになりました。社会調査士の標準カリキュラムは、次のAからGまでの7科目になっていますが、EとFは、選択制で、二つのどちらかの科目単位を取得すればよいことになっています。

- A：社会調査の基本的事項に関する科目（90分×15週）
- B：調査設計と実施方法に関する科目（90分×15週）
- C：基本的な資料とデータの分析に関する科目（90分×15週）
- D：社会調査に必要な統計学に関する科目（90分×15週）
- E：量的データ解析の方法に関する科目（90分×15週）（E/Fは選択制）
- F：質的な分析の方法に関する科目（90分×15週）（E/Fは選択制）
- G：社会調査の実習を中心とする科目（90分×30週）

以上の標準カリキュラムに準拠した本学の開設科目は次のようになっています。

複数設置されている科目については、基本的に所属している学科の科目を履修してください。

履修にあたっては、A・B科目を履修した後にG科目を、C・D科目を履修した後にE科目を履修してください。F科目は履修順序に関係なく履修することができます。

	授業科目名	開設学科	単位
A	「社会科学と社会調査」	人間社会学部全学科	2
B	「社会調査の理論と方法」	現代・初教	2
		心理	2
	「社会調査の基礎」	福祉	2
C	「統計分析基礎」	現代	2
	「情報機器の操作とデータ分析」	初教・福祉	2
	「データ解析実習I」	心理	2
D	「社会経済統計I」	現代・福祉	2
	「教育統計基礎」	初教	2
	「心理統計法」	心理	2
E	「社会経済統計II」	現代・福祉・初教	2
	「データ解析実習II」	心理	2
F	「フィールドワークと質的分析」	人間社会学部全学科	2
G	「社会調査実習I」「社会調査実習II」	現代・福祉・初教	4
	「質問紙調査法実習」	心理	2

※人間文化学部国際学科は、社会調査士の授業科目を履修し、資格を取得することができます。

8. 臨床心理士

臨床心理士は、日本臨床心理士資格認定協会が定める資格です。本学における資格取得方法は、以下のようになっています。

指定科目を修めて、大学院生活機構研究科心理学専攻臨床心理学講座を修了し、日本臨床心理士資格認定協会が行う試験に合格すること。なお、これらに該当する学生は、実習費を納入しなければなりません。納入方法等については別途指示します。

授 業 科 目	単 位	備 考
臨 床 心 理 学 特 論 A	2	必修
臨 床 心 理 学 特 論 B	2	必修
臨 床 心 理 面 接 特 論 A	2	必修
臨 床 心 理 面 接 特 論 B	2	必修
臨 床 心 理 査 定 演 習 A	2	必修
臨 床 心 理 査 定 演 習 B	2	必修
臨 床 心 理 基 礎 実 習 I	1	必修
臨 床 心 理 基 礎 実 習 II	1	必修
臨 床 心 理 実 習 I	1	必修
臨 床 心 理 実 習 II	1	必修
心 理 学 統 計 法	2	2単位以上選択必修
心 理 学 研 究 法	2	
人 格 心 理 学 研 究	2	2単位以上選択必修
教 育 心 理 学 研 究	2	
心 理 査 定 研 究	2	
発 達 心 理 学 研 究 A	2	
発 達 心 理 学 研 究 B	2	
発 達 心 理 学 研 究 C	2	
発 達 心 理 学 研 究 D	2	
発 達 臨 床 心 理 学 研 究	2	
認 知 心 理 学 研 究 A	2	
認 知 心 理 学 研 究 B	2	
認 知 心 理 学 研 究 C	2	
認 知 心 理 学 研 究 D	2	
実 験 心 理 学 研 究	2	2単位以上選択必修
社 会 心 理 学 研 究 A	2	
社 会 心 理 学 研 究 B	2	
社 会 心 理 学 研 究 C	2	
社 会 心 理 学 研 究 D	2	
家 族 心 理 学 研 究	2	
犯 罪 心 理 学 研 究	2	2単位以上選択必修
精 神 医 学 研 究	2	
発 達 支 援 論 研 究	2	
障 害 児 心 理 学 研 究	2	2単位以上選択必修
グ ル ー プ ・ ア プ ロ ー チ 特 論	2	
精 神 分 析 学 研 究	2	
家 族 療 法 研 究	2	
学 校 臨 床 心 理 学 研 究	2	
コ ミ ュ ニ テ ィ ・ ア プ ロ ー チ 研 究	2	

9. 学校心理士・学校心理士補

学校心理士は、日本教育心理学会、日本特殊教育学会、日本発達障害学会、日本発達心理学会、日本LD学会の5学会が共同・連合して設立した、学校心理士認定運営機構が定める資格です。本学では、大学院修士課程において、学校心理学に関する8領域・2実習の単位を修得し、1年以上の学校心理学に関する専門的実務経験を有する人が申請できます。ただし、実務経験が不十分な場合に限り、学校心理士補を申請することができます。

学校心理学に関する8領域・2実習は以下のとおりになります。具体的な授業名・単位数については、心理学科教授室に問い合せてください。

1. 学校心理学
 2. 教授・学習心理学
 3. 発達心理学
 4. 臨床心理学
 5. 心理教育的アセスメント
 6. 学校カウンセリング・コンサルテーション
 7. 特別支援教育
 8. 生徒指導・教育相談、キャリア教育
- 実習1. 心理教育的アセスメント基礎実習
実習2. 学校カウンセリング・コンサルテーション基礎実習

8

9

臨床心理士
学校心理士・学校心理士補

10. 臨床発達心理士

臨床発達心理士は、日本発達心理学会・日本感情心理学会・日本教育心理学会の3学会が共同・連合して設立した、「臨床発達心理士」認定運営機構が定める資格です。発達心理学関連諸科学の修士課程在学学生、あるいは修了者は、以下の3条件に合致すれば、＜基本タイプ＞として申請することが出来ます（基本タイプのほかには、現職者タイプがあります）。基本タイプの申請条件と審査の概要は以下のとおりです。

(1) 基本タイプの申請条件

- ①発達心理学隣接諸科学修士課程を修了している（修了予定である）。
- ②以下の5つの指定科目（1科目4単位：計20単位）すべての単位を、大学院の授業または臨床発達心理士資格認定委員会が開催する「指定科目取得講習会」で取得している。
臨床発達心理学の基礎に関する科目
認知発達とその支援に関する科目
社会・情動とその支援に関する科目
言語発達とその支援に関する科目
育児・保育現場での発達とその支援に関する科目
- ③200時間以上の臨床実習の経験を有する。

(2) 基本タイプの審査概要

A. 一次審査

1) 書類審査

- ①発達心理学隣接諸科学修士課程を修了している（修了予定である）ことを確認
- ②5つの指定科目すべての単位を、大学院の授業または臨床発達心理士資格認定委員会が開催する「指定科目取得講習会」で修得していることを確認
- ③臨床実習報告書（原稿用紙30枚程度）により、臨床実習経験を確認

2) 筆記試験

多肢選択問題と記述問題

B. 二次審査

臨床発達心理士としての資質に関する20分程度の口述審査

本学心理学専攻は、申請条件①に合致します。

また、申請条件②の科目に該当する具体的な授業名は、心理学科教授室に問い合わせてください。

申請条件③の、臨床実習報告書作成についての指導は、「発達臨床実習」で行います。なお、これらに該当する学生は、実習費を納入しなければなりません。納入方法等については別途指示します。

11. 社会福祉士

社会福祉士は「社会福祉士及び介護福祉士法」に基づく資格です。本学における資格取得の方法は次のとおりです。

指定科目を修めて大学（福祉社会学科）を卒業し、社会福祉士試験（国家試験）に合格すること。

資格を取得し、登録することによって社会福祉の施設や機関において相談・援助業務等の専門職につく上で有利になります。

就職に有利となる主な職種は、次のとおりです。

- ①社会福祉施設の相談援助専門職、児童指導員等
- ②福祉事務所や更生相談所のソーシャルワーカー
- ③児童相談所の児童福祉司
- ④社会福祉協議会や地域包括支援センターの地域福祉活動専門職
- ⑤病院等の医療ソーシャルワーカー
- ⑥その他 民間福祉事業の専門職

社会福祉士国家試験受験の要件となる指定科目（福祉社会学科）

厚生労働省指定科目	学科開設科目	単位数	備考
人体の構造と機能及び疾病	人体の構造と機能及び疾病	2	3科目のうち 1科目選択必修
心理学理論と心理的支援	心理学理論と心理的支援	2	
社会理論と社会システム	社会理論と社会システム	2	
社会保障	社会保障	4	
社会調査の基礎	社会調査の基礎	2	
相談援助の基礎と専門職	相談援助の基礎と専門職	4	
相談援助の理論と方法	相談援助の理論と方法	4	
地域福祉の理論と方法	地域福祉の理論と方法	2	
福祉行政と福祉計画	福祉行政と福祉計画	2	
福祉サービスの組織と経営	福祉サービスの組織と経営	2	
現代社会と福祉	現代社会と福祉	4	
高齢者に対する支援と介護保険制度	高齢者に対する支援と介護保険制度	4	
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	障害者に対する支援と障害者自立支援制度	2	
児童や家庭に対する支援と児童家庭福祉制度	児童や家庭に対する支援と児童家庭福祉制度	2	
低所得者に対する支援と生活保護制度	低所得者に対する支援と生活保護制度	2	
保健医療サービス	保健医療サービス	2	
就労支援サービス	就労支援サービス	2	
権利擁護と成年後見制度	権利擁護と成年後見制度	2	3科目のうち 1科目選択必修
更生保護制度	更生保護制度	2	
相談援助演習	相談援助演習Ⅰ	2	
	相談援助演習Ⅱ	2	
	相談援助演習Ⅲ	1	
相談援助実習指導	相談援助実習指導Ⅰ	1	
	相談援助実習指導Ⅱ	2	
相談援助実習	相談援助実習	4	

※資格取得の登録期限を過ぎてからの登録・履修の場合
は、4年間で資格取得ができないことがあります。

12. 精神保健福祉士

精神保健福祉士は「精神保健福祉士法」に基づく資格です。本学における資格取得の方法は次のとおりです。

指定科目を修めて大学（福祉社会学科）を卒業し、精神保健福祉士試験（国家試験）に合格すること。

なお、資格取得希望者が20名を超えた場合は、選抜を行います。

◆精神保健福祉士国家試験受験の要件となる指定科目(福祉社会学科)

厚生労働省指定科目	学科開設科目	単位数	備考
現代社会と福祉	現代社会と福祉	4	
社会保障	社会保障	4	
低所得者に対する支援と生活保護制度	低所得者に対する支援と生活保護制度	2	
地域福祉の理論と方法	地域福祉の理論と方法	2	
人体の構造と機能及び疾病	人体の構造と機能及び疾病	2	3科目のうち 1科目選択 必修
心理学理論と心理的支援	心理学理論と心理的支援	2	
社会理論と社会システム	社会理論と社会システム	2	
権利擁護と成年後見制度	権利擁護と成年後見制度	2	
保健医療サービス	保健医療サービス	2	
福祉行財政と福祉計画	福祉行財政と福祉計画	2	
精神疾患とその治療	精神疾患とその治療	2	
精神保健の課題と支援	精神保健の課題と支援	2	
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	障害者に対する支援と障害者自立支援制度	2	
精神保健福祉に関する制度とサービス	精神保健福祉論	4	
精神障害者の生活支援システム			
精神保健福祉相談援助の基盤(基礎)	相談援助の基盤と専門職	4	
精神保健福祉相談援助の基盤(専門)	精神保健福祉援助技術総論	2	
	精神保健福祉援助技術各論	2	
精神保健福祉の理論と相談援助の展開	精神科リハビリテーション学	2	
精神保健福祉援助演習(基礎)	相談援助演習Ⅰ	2	
精神保健福祉援助演習(専門)	精神保健福祉援助演習	2	
	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	1	
	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	2	
精神保健福祉援助実習	精神保健福祉援助実習	4	

資格を取得し、登録することによって社会福祉の施設や機関において相談・援助業務等の専門職につくうえで有利になります。

就職に有利となる主な職場は、次のとおりです。

- ①精神病院、診療所、クリニック
- ②精神保健センター、保健所（センター）
- ③援護寮、授産施設、作業所等の社会復帰施設

※資格取得の登録期限を過ぎてからの登録・履修の場合は、4年間で資格取得ができないことがあります。

13. 保育士

人間社会学部福祉社会学科、初等教育学科において保育士の資格を取得するためには、本学の学則に定める規定（各学科のカリキュラム参照）に基づき、児童福祉法施行規則に定める教育内容に関する各学科が定める科目について単位を修得し、当該学科を卒業することが必要です。

なお、保育士資格取得について指定を受けている人数は、福祉社会学科60名、初等教育学科100名となっています。したがって、福祉社会学科へ編入後、保育士資格取得を希望する場合は、定員の範囲内とします。初等教育学科は編入生の保育士資格取得を認めていません。

なお、保育実習は、休業期間中（夏季・春季休暇）に行う場合があります。

福祉社会学科は、編入生も含め資格取得希望者が60名を超えた場合は選抜を行います。

12

13

精神保健福祉士
保育士

福祉社会学科

系列		科目名()内は単位	履修必要単位
教養科目		外国語(英語U-A)	2
		スポーツを考える	1
		体育実技	1
		その他一般教養科目	4
		最低単位修得数	8
専門必修科目	保育の本質・目的に関する科目	保育原論	(2) 2
		教育原理(保育士)	(2) 2
		児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	(2) 2
		現代社会と福祉	(4) 4
		相談援助演習Ⅱ	(2) 2
		養護原理	(2) 2
		保育者論	(2) 2
	保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学Ⅰ	(2) 2
		保育の心理学Ⅱ	(1) 1
		小児保健Ⅰ	(4) 4
		小児保健Ⅱ	(1) 1
		小児栄養	(2) 2
	保育の内容・方法に関する科目	家族援助論	(2) 2
		保育課程論	(2) 2
		保育内容総論(保育士)	(2) 2
		保育内容-表現	(1) 1
		保育内容-健康	(1) 1
		保育内容-言葉	(1) 1
		子どもと環境	(2) 2
		対人コミュニケーション	(2) 2
		乳児保育	(2) 2
		障害児保育演習	(2) 2
	保育の表現技術	養護内容	(1) 1
		保育相談支援	(1) 1
		音楽実技	(1) 1
	保育実習	音楽基礎	(2) 2
		アート基礎	(1) 1
		保育実習Ⅰ(保育所)	(2) 2
	総合演習	保育実習Ⅰ(施設)	(2) 2
		保育実習Ⅱ(実習指導)	(2) 2
		総合演習(保育士)	(2) 2
		最低単位修得数	57
選択科目	保育の本質・目的に関する科目	地域福祉の理論と方法	(2) 2
		心理学理論と心理的支援	(2) 2
		社会理論と社会システム	(2) 2
		労働とジェンダー	(2) 2
		障害者に対する支援と障害者自立支援制度	(2) 2
	保育の対象の理解に関する科目	児童・家庭ソーシャルワーク	(2) 2
		保育ソーシャルワーク	(2) 2
		海外ボランティア演習	(2) 2
	保育の内容・方法に関する科目	就労支援サービス	(2) 2
		アート基礎	(1) 1
		音楽実技	(1) 1
	保育実習	保育実習Ⅱ	(2) 2
		保育実習Ⅲ	(2) 2
		保育実習指導Ⅱ	(1) 1
		保育実習指導Ⅲ	(1) 1
		最低単位修得数	9
		専門最低単位修得数	74

※資格取得の登録期限を過ぎてからの登録・履修の場合は、4年間で資格取得ができないことがあります。

初等教育学科

系列		科目名()内は単位	履修必要単位
教養科目		外国語(英語U-A)	2
		スポーツを考える	1
		身体と運動の科学	1
		体育実技	1
		その他一般教養科目	4
		最低単位修得数	8
専門必修科目	保育の本質・目的に関する科目	保育原理	(2) 2
		教育原理	(2) 2
		児童福祉論	(2) 2
		社会福祉原論	(2) 2
		社会福祉援助技術	(2) 2
		養護原理	(2) 2
		保育者論	(2) 2
	保育の対象の理解に関する科目	教育心理学Ⅰ	(2) 2
		教育心理学Ⅱ	(2) 2
		小児保健Ⅰ	(4) 4
		小児保健Ⅱ	(1) 1
		小児栄養	(2) 2
	保育の内容・方法に関する科目	児童・家庭ソーシャルワーク	(2) 2
		保育・教育課程論	(2) 2
		保育内容総論	(2) 2
		人間関係指導法	(2) 2
		環境指導法	(2) 2
		健康指導法	(2) 2
		言葉指導法	(2) 2
		表現指導法	(2) 2
		乳児保育	(2) 2
		幼児期の特別支援	(2) 2
	保育の表現技術	養護内容	(1) 1
		保育相談支援	(1) 1
		音楽基礎	(1) 1
	保育実習	児童文化	(1) 1
		造形基礎	(1) 1
		幼児体育	(1) 1
	総合演習	保育実習ⅠA(保育所)	(2) 2
		保育実習ⅠB(施設)	(2) 2
		保育実習の指導ⅠA	(1) 1
		保育実習の指導ⅠB	(1) 1
		保育・教職実践演習(幼稚園)	(2) 2
		最低単位修得数	59
選択科目	保育の本質・目的に関する科目	地域福祉論	(2) 2
		地域施設マネジメント論	(2) 2
		児童の健全育成と福祉	(2) 2
		児童館の機能と運営	(2) 2
		病児保育研究	(2) 2
	保育の内容・方法に関する科目	在宅保育研究	(2) 2
		レクリエーション理論	(2) 2
		レクリエーション援助法	(2) 2
	保育の表現技術	幼児の音楽	(2) 2
		幼児の造形	(2) 2
		保育実習Ⅱ(保育所)	(2) 2
	保育実習	保育実習Ⅲ(施設)	(2) 2
		保育実習の指導Ⅱ	(1) 1
		保育実習の指導Ⅲ	(1) 1
		最低単位修得数	9
		専門最低単位修得数	76

14. 建築士等、インテリアプランナー、JABEEに関する資格

1) 一、二級建築士、木造建築士

生活科学部環境デザイン学科に所属し、下記の表に示される科目のうち定められた単位数を修得すると、卒業後に受験資格が得られます。ただし、受験申請時に、所定の指定科目修得単位証明書・卒業証明書(教育支援センターで発行)を添付する必要があります。また、受験するためにはそれぞれ下記の年限の実務経験が必要とされます。

一級建築士：2年、3年、4年

二級建築士、木造建築士：実務経験は不要

建築士等の受験資格取得のための条件

授 業 科 目	単位数	共 通	一 級	二級・木造	
設 計 製 図 I 1	2	必 修	7 単位 以上	5 単位 以上	
設 計 製 図 I 2	2				
設 計 製 図 II 1	2				
設 計 製 図 II 2	2				
設 計 製 図 III	2				
住 居 計 画〈前期〉	2	4 単位 以上 選 択 必 修	7 単位 以上	10 単位 以上	
住 居 計 画〈後期〉	2				
インテリア計画〈前期〉	2				
インテリア計画〈後期〉	2				
建 築 計 画 I	2				
建 築 計 画 II	2				
住 生 活 史	2				
建 築 史（日本）	2				
建 築 史（西洋）	2				
近 代 建 築 史	2				
住 生 活 学〈前期〉	2				
住 生 活 学〈後期〉	2				
環 境 心 理 学〈前期〉	2				
環 境 心 理 学〈後期〉	2				
都 市 計 画	2				
都 市 デ ザ イ ン 論	2				
環 境 工 学〈前期〉	2	必 修	4 単位 以上		
環 境 工 学〈後期〉	2	必 修			
建 築 学 実 験 A	2		2 単位 以上		
建 築 設 備〈前期〉	2	必 修			
建 築 設 備〈後期〉	2		4 単位 以上		
構造力学Ⅰ及演習〈前期〉	2	必 修			
構造力学Ⅰ及演習〈後期〉	1				
構造力学Ⅱ及演習〈前期〉	2				
構造力学Ⅱ及演習〈後期〉	1		3 単位 以上	8 単位 以上	
建 築 構 造 I	2	必 修			
建 築 構 造 II	2				
建 築 構 造 III	2		2 単位 以上		
建 築 材 料 学	2	必 修			
材 料 学 A	2				
材 料 学 C	2				
建 築 学 実 験 B	2				
建 築 学 実 験 D	2		2 単位 以上		
構 法 ・ 施 工 A	2	2 単位 以上 選 択 必 修			
構 法 ・ 施 工 B	2				
積 算	2				
建 築 法 規	2	必 修	2 単 位	2 単 位	
建築デザイン論〈前期〉	2				
建築デザイン論〈後期〉	2				
造 園	2				
測 量	2				
合計単位数	実務0年			40単位以上	
	2年		60単位以上		
	3年		50単位以上		
	4年		40単位以上		

2) インテリアプランナー

資格取得のためには、以下の条件を満たす必要があります。

受験資格：満20歳以上

登録条件：試験を合格（登録は合格後5年以内）

建築 (JABEE) グループ卒業またはインテリア専門科目を下記の条件に従って修得する。

実務経験2年以上

インテリア専門科目の修得条件：

設計製図 I 1（必修）

インテリア専門科目24単位以上修得

インテリア関連科目 + インテリア科目

合計36単位以上修得

インテリアに関する科目

科目の種類	科 目 名			
A インテリア 関連科目	美術 基礎	西洋美術史		
		美学	造形美学	色彩学
		デッサンI	デッサンII	色彩学演習
		プロダクトデザイン演習I2A	プロダクトデザイン演習I2B	プロダクトデザイン演習I1A
		プロダクトデザイン演習I2A	プロダクトデザイン演習I2B	プロダクトデザイン演習I1B
		造形デザイン演習I1(クラフト)	造形デザイン演習I2(モード)	造形デザイン演習I1(テキスト)
		造形デザイン演習I1(モード)	造形デザイン演習I1(テキスト)	造形デザイン演習I2(クラフト)
		造形デザイン演習I2(テキスト)	造形デザイン演習I1(クラフト)	造形デザイン演習I2(モード)
		建築史(日本)	建築史(西洋)	西洋家具とインテリアの歴史
		工業デザイン論	工芸デザイン論	近代建築史
	デザイン 基礎	テキスタイルデザイン論	デザイン概論I	都市デザイン論
		住生活史	住生活学	居住学概論
		家族関係論	生活科学概論	ユニバーサルデザイン
		生活プロダクト概説	造園	都市計画
		生活		
B インテリア 専門科目	計画	建築デザイン論	人間工学	環境工学
		建築学実験A	建築設備	環境心理学
		材料学A	材料学B	空間企画論
		建築学実験B	建築構造I	建築材料学
		建築構造II	建築構造III	構造力学I及び演習
	法規	建築学実験D	構法・施工A	構造力学II及び演習
		キッチンデザイン	構法・施工B	構造デザイン論
		建築法規		構造デザイン演習
		CADI	CADII	構法・施工B
		建築設計	建築計画I	家具デザイン
	設計 [講義]	デザインマネジメント	住居計画	設計製図I
		設計製図I(必修)	設計製図I2	設計製図II
		設計製図III		設計製図II2

1), 2) の資格についての詳細は、(財) 建築技術教育普及センターのホームページを参照してください。

<http://www.jaeic.or.jp>

3) 空気調和・衛生工学会設備士 (工学会設備士)

環境デザイン学科建築・インテリアデザインコースを卒業すると、実務0年で受験資格を得られます。

4) 施工管理技士 (施工管理技術検定)

環境デザイン学科建築・インテリアデザインコースを卒業すると、以下の実務年限の後受験資格を得られます。

一級施工管理技士：実務3年

二級施工管理技士：実務1年

5) JABEEプログラム

JABEEとは日本技術者教育認定機構 (Japan

Accreditation Board for Engineering Education／設立1999年11月19日)の略で、国際的に通用する技術者教育のために、大学など高等教育機関で実施されている技術者教育プログラムが、社会の要求水準を満たしているかを審査・認定を行う非政府団体です。

建築・インテリアデザインコース建築グループに所属し、別表のJABEE履修科目チェック表(環境デザイン学科ホームページよりダウンロード可)に従って所定の単位を修得して卒業すると、認定を受けることができます。この認定を受けると、技術士(国家資格)の第一次試験が免除されます。また修習技術者となり、「技術士補」の登録ができます。

希望者は4月初めのガイダンスに必ず出席してください。

◆プログラム名：建築グループ

(Educational Program for Architecture Group)

◆学習・教育目標の特色

建築は個人から集団までの人間生活のすべてに関わります。それは、文系的な側面と理系的な側面を同時に併せ持つということです。このプログラムでは、その両方を統合的に習得して、よりよい建築、都市、環境作りを創造できるような人材を育成することを目標にしています。

建築デザイナー養成プログラムの学習・教育目標は、包括的な専門知識・能力の習得、および本大学が独自に設定する生活とデザイン領域に関するより専門的知識・能力の習得のために設定しています。また、本大学の伝統を継承し、建築学へ活用、展開するような個性的なプログラムの目標を掲げるようにしました。そして本大学の環境デザイン学科が持つ特色を生かしたデザインを使ったコミュニケーション能力を涵養することを重視しています。

本プログラムの持つ特色は、以下の5項目に整理できます。

1. 多様な価値観：異なる文化、歴史、芸術を通しての多様な価値観を理解し、それをもとに物事を倫理的に判断する能力。
2. 生活環境の提案：社会的環境の観察、分析、考察から、豊かで魅力ある生活環境を提供し、自然と人間社会の共生や地域文化に寄与するような現実味のある提案を創出する能力。
3. 社会交流：社会とのコミュニケーションを生活の中で把握し実践でき、人間生活と社会の向上のための方策を考えられる人間の育成。日常場面での英語による口頭コミュニケーションができる能力。
4. 包括的な専門領域：包括的な建築学の専門領域の

学習・教育目標を掲げる。

5. デザインと独創性：建築デザイン領域において広い視野と技術を習得し、独創的な提案を創出し、表現者や表現行為に関わる者を志す人材を育成する。

◆学習・教育目標(概要)

(A) 豊かな感性と広い教養と外国語の習得

芸術、文化、歴史に触れ、また法律や経済などの社会や人間活動の幅広い知識の習得。また、技術理解に必要な外国語の知識の習得。

(B) 生活デザインの知識と能力

生活、デザインの基礎を学び、社会に対する分析力、想像力、総合力により、確固とした価値観に基づいた個人から身の回りそして国際レベルまでの総合的な考え方の行える能力の育成。

(C) 理系教養の知識と能力

理系教養の基本的知識と建築や社会にどのように応用されているかまで判断できる理解力、応用力の育成。

(D) コンピュータの知識と能力

情報技術に関する基本的な知識と技量を修得し、それらを活用できる能力。

(E) 建築学の基礎学力の習得

建築学の基礎学力を修得し、それを生活空間の現実的な事象として把握できる。

(F) 建築学専門知識の発展と応用

建築学の知識・技術を利用してより社会や地域の歴史的、文化的、地理的な要求を建築の専門的に解決・構築するための能力の育成。

(G) 建築デザイン領域の専門知識の習得

建築デザイン領域に関する専門的知識と生活者の視点からの識見を持ち、生活環境の形成と維持、改善、解決する能力の育成。時代の動向を踏まえた教育の展開を目指す。

(H) 建築設計とデザインの能力

建築の幅広い知識を総合し、説得力のある建築的提案を創出する能力。デジタルメディアの活用により多角的な表現ができる。

(I) コミュニケーションの能力

自らの制作した成果物を口頭による発表により、相手とコミュニケーションできる能力の育成。

(J) 建築に関する総合化能力

建築学に関するテーマに対し、調査・分析し、総合化を行ない発表する能力。

詳細については、環境デザイン学科のホームページを参照してください。

建築グループ:JABEE履修条件

※「履修条件」の記号については環境デザイン学科カリキュラム表を参照のこと。

認定条件 時間数		候補科目名	単位	開設 条件等	1回の 授業時間	授業 時間	履修 条件	備 考
全体で1800時間以上必要	人文科学・社会科学・語学 250時間以上	一般 語学	6	*1	1.5	135	◆	卒業要件8単位のうちの6単位をJABEE単位とする。 *1 半期1.5時間授業で1単位
		専門 生活科学概論	2	2	1.5	45		△Aから12単位(135時間)取得する。
		専門 被服学概論	2	2	1.5	45		
		専門 住居学概論	2	2	1.5	45		
		専門 食物学概論	2	2	1.5	45		
		専門 西洋美術史	2	2	1.5	45	△A	
		専門 ユニバーサルデザイン	2		1.5	22.5		
		専門 デザイン概論Ⅰ	2	2	1.5	45		
		専門 美学	2		1.5	22.5		
		専門 造形美学	2		1.5	22.5		
	自然科学・情報技術・数学 250時間以上	一般 数学A	2	2	1.5	45		△E
		一般 数学B	2	2	1.5	45		
		一般 数学C	2	2	1.5	45		
		一般 情報処理	2	2	1.5	45		
		一般 比較行動学	2	2	1.5	45		
		一般 人間と環境	2	2	1.5	45		
		一般 環境論	2	2	1.5	22.5		
		一般 森林と環境		2	1.5	22.5		
		一般 環境の科学	2		1.5	22.5		
		一般 データ分析基礎	1		1.5	22.5		
		一般 CADⅠ		1	1.5	22.5		
		一般 CADⅡ	1		1.5	22.5		
		専門 基礎科学A(数学)	2		1.5	22.5		△S
		専門 基礎科学B(力学)		2	1.5	22.5		
		専門 基礎科学C(数学・物理学)	2		1.5	22.5		
		専門 基礎科学D(化学)	2		1.5	22.5		
		専門 基礎科学E(有機化学)	2		1.5	22.5		
		専門 基礎科学F(科学一般)		2	1.5	22.5		
	専門分野で900時間以上	製図基礎	2		3	45	◆	
		住居計画	2	2	1.5	45	◆	
		設計製図Ⅰ	2	2	3	90	◆	
		建築計画Ⅰ	2		1.5	22.5	◆	
		設計製図Ⅱ	2	2	3	90	◆	
		建築計画Ⅱ		2	1.5	22.5	◆	
		環境工学	2	2	1.5	45	◆	
		建築設備	2	2	1.5	45	◆	
		建築材料学	2		1.5	22.5	◆	
		建築構造Ⅰ	2		1.5	22.5	◆	
		構造力学Ⅰ及び演習	2	1	1.5	45	◆	
		建築構造Ⅱ	2		1.5	22.5	◆	
		建築構造Ⅲ		2	1.5	22.5	◆	
		建築史(日本)	2		1.5	22.5	◆	
		建築史(西洋)		2	1.5	22.5	◆	
		建築法規	2		1.5	22.5	◆	
		都市計画		2	1.5	22.5	◆	
		材料学A		2	1.5	22.5		△B
		材料学C		2	1.5	22.5		
		構法・施工A	2		1.5			△C
		構法・施工B	2		1.5	22.5		
		建築学実験A		2	3			△D
		建築学実験B		2	3	45		
		建築学実験D		2	3			
		測量	2	2	★	45		
		空間企画論	2		1.5	22.5		△F
		積算	2		1.5	22.5		
		卒業研究演習科目	1	1	1.5	45	△K	△Kから2単位(45時間)取得する。
		卒業論文	6					
		卒業制作	6			45	□	□から6単位(45時間)取得する。
		卒業設計	6					
		色彩学	2		1.5	22.5	◇	概論等
		生活プロダクツ概説	2		1.5	22.5	◇	
		デザイン計画特講A	2	2	1.5	45	◇	
		デザイン計画特講B	2	2	1.5	45	◇	
		デザイン計画特講C	2	2	1.5	45	◇	
		住生活学	2	2	1.5	45	◇	建築設計・計画演習・設計製図
		インテリア計画	2	2	1.5	45	◇	
		造園		2	1.5	22.5	◇	
		設計製図Ⅲ	2		3	45	◇	
		人間工学	2		1.5	22.5	◇	
		家族関係論	2		1.5	22.5	◇	計画各論
		環境心理学	2	2	1.5	45	◇	
		居住福祉論		2	1.5	22.5	◇	
		建築デザイン論	2	2	1.5	45	◇	デザイン各論
		家具デザイン	2		1.5	22.5	◇	
		工業デザイン論	2	2	1.5	45	◇	
		キッチンデザイン		2	1.5	22.5	◇	
		都市デザイン論	2		1.5	22.5	◇	
		環境計画	2		1.5	22.5	◇	建築環境・設備
		構造力学Ⅱ及び演習	2	1	1.5	45	◇	建築構造
		近代建築史	2		1.5	22.5	◇	建築史
		デザイン実務演習ⅠⅠ	2			60	◇	最大60時間まで認める。
		デザイン実務演習ⅠⅡ	2			60	◇	最大60時間まで認める。
		海外デザイン演習	1			30	◇	最大30時間まで認める。 研修旅行。1日の見学時間を 平均3時間として10日分。

15. 商業施設士等に関する資格

商業施設士はあらゆる商業施設の運営・管理システムや、店舗の構成・デザインなどを総合的に計画して監理まで行う専門資格です。

生活科学部環境デザイン学科に所属し、在学中に下記の表に示される定められた単位を修得し、認定団体の指定講習を受講すると、商業施設士補の資格が得られます。

商業施設士補の資格を有すると、商業施設士の試験が受験可となります（学科試験免除）。商業施設士補及び商業施設士は、単位修得後在学中でも受験可能です。

授 業 科 目	単位数	必要単位数
デ ザ イ ン 概 論	4	4単位以上
建 築 史 (日 本)	2	
建 築 史 (西 洋)	2	
建 築 デ ザ イ ン 論	4	
都 市 デ ザ イ ン 論	2	
建 築 計 画 I	2	10単位以上
建 築 計 画 II	2	
建 築 法 規	2	
建 築 構 造 I	2	
建 築 構 造 II	2	
建 築 構 造 III	2	
イ ン テ リ ア 計 画	4	
家 具 デ ザ イ ン	2	4単位以上
建 築 材 料 学	2	
材 料 学 A	2	
材 料 学 B	2	
材 料 学 C	2	
建 築 設 備	4	12単位以上
構 法 ・ 施 工 A	2	
構 法 ・ 施 工 B	2	
空 間 企 画 論	2	
デ ザ イ ン 基 礎	2	
C A D I	1	
C A D II	1	
マ ル チ メ デ ィ ア 演 習	1	
C G I B	1	
C G II (3 D)	2	
設 計 製 図 I	4	
設 計 製 図 II	4	
設 計 製 図 III	2	

16. 衣料管理士

一級衣料管理士の資格を取得するためには、以下の科目を履修しなければなりません。以下の科目はすべて環境デザイン学科服飾デザインマネジメントコースの専門教育科目として開設されています。（条件が改定されることがあります。改定された場合は学科の指示に従うこと。）

衣料管理士 認定科目

グループ	必修科目(A)		選択科目(B)	
	科 目	単 位	科 目	単 位
材料	材料学B	2	繊維製品試験法	2
	被服材料学	2	統計学	2
	衣料鑑別実験	1	造形デザイン演習I (テキスタイル)	1
	造形材料学実験	1	繊維加工学	2
	単位小計	(6)	染色加工実験	1
加工・整理	被服整理学	2	色彩学	2
	染色理論	2	ファッションコンピュータ演習	1
	被服整理学実験	1	CG I C	1
	単位小計	(5)	服飾デザイン	2
企画・設計・生産	アパレル企画論	2	消費者経済学	2
	被服構成学	2	マーケティング論	2
	造形デザイン演習I-1(モード)	2	ファッション商品論	2
	被服衛生学	2	消費者調査法	1
	単位小計	(8)		
流通・消費	消費科学	2		
	消費生活論	2		
	衣料管理実習	1		
	単位小計	(5)		
単位合計		A:24単位	B:21単位から19単位以上履修のこと	

15

16

17. 栄養士・管理栄養士

●栄養士免許 (健康デザイン学科)

生活科学部健康デザイン学科において栄養士の免許を取得するためには、本学の学則に定める規定(各学科のカリキュラム参照)に基づき、栄養士法施行規則に定める教育内容に関する各科の所定の科目(下表)について単位を修得することが必要です。なお、栄養士免許取得に必要な単位を修得し、健康デザイン学科を卒業した者については、実務経験を1年以上積んだ後、管理栄養士国家試験の受験資格が得られます。

資格取得を希望する者は、実習費を納入しなければなりません。納入方法等については、学科の指示に従ってください。

健康デザイン学科

内 容	科 目 名	単位数	
		講義又は演習	実験又は実習
社会生活と健康	社会福祉概論	2	
	衛生・公衆衛生学	2	
人体の構造と機能	人体の構造と機能A	2	
	人体の構造と機能B	2	
	生化学	2	
	病理・疾病	2	
	生化学・解剖生理学実験		2
食 品 と 衛 生	食品学	2	
	食品と加工	2	
	食品衛生学	2	
	食品科学実験		2
栄 養 と 健 康	栄養と健康	2	
	応用栄養学	2	
	臨床栄養学総論	2	
	臨床栄養学各論	2	
	栄養学実習		2
	臨床栄養学実習		2
栄 養 の 指 導	栄養指導論総論	2	
	栄養指導論各論	2	
	公衆栄養学	2	
	栄養指導論実習		2
給 食 の 運 営	給食管理論Ⅰ	2	
	給食管理論Ⅱ	2	
	調理学実習		2
	給食実務論実習		2
	校外実習A		1
	校外実習B		2
	校外実習事前事後の指導	1	

1 単位以上履修のこと

●栄養士免許 (管理栄養学科)

生活科学部管理栄養学科において栄養士の免許を取得するためには、本学の学則に定める規定に基づき、栄養士法施行規則に定める下表の科目について、所定の単位を修得することが必要です。その該当科目及び単位の修得方法については管理栄養学科のカリキュラムを参照してください。

なお、栄養士免許取得に必要な単位を修得し本学科を卒業した者は、管理栄養士国家試験の受験資格が得られます。

資格取得を希望する者は、実習費を納入しなければなりません。納入方法等については、学科の指示に従ってください。

管理栄養学科

内 容	科 目 名	単位数	
		講義又は演習	実験又は実習
社会・環境と健康	人間と社会生活	2	
	社会環境と福祉	2	
	健康管理概論	2	
人体の構造と機能 疾病の成り立ち	人体の構造と機能A(総論)	2	
	人体の構造と機能B(解剖学)	2	
	人体の構造と機能C(生理学)	2	
	生化学	2	
	栄養生化学	2	
	臨床医学総論(病理も含む)	2	
	臨床医学各論(病理と遺伝子、遺伝子治療含む)	2	
	生化学実験		2
	解剖生理学実験A(人体の構造と生理)		2
	解剖生理学実験B(人体の生理と分子医学)		2
食 べ 物 と 健 康	食べ物と健康(総論)	2	
	食品素材の科学	2	
	食品と加工	2	
	食品衛生学	2	
	調理科学	2	
	食品学実験		2
	食品衛生学・食品加工学実験		2
	調理学実習		2
基 礎 栄 養 学	基礎栄養学	2	
	基礎栄養学実習		1
応 用 栄 養 学	応用栄養学A(母性・乳幼児)	2	
	応用栄養学B(学童期～高齢期)	2	
	応用栄養学C(特殊環境)	2	
	応用栄養学実習		1
栄 養 教 育 論	栄養教育論総論	2	
	栄養教育論各論	2	
	カウンセリング論	2	
	栄養教育論実習		1
臨 床 栄 養 学	臨床栄養学総論	2	
	臨床栄養学各論A	2	
	臨床栄養学各論B	2	
	食事介助と在宅医療	2	
	臨床栄養学実習		2
公 衆 栄 養 学	公衆栄養学総論	2	
	公衆栄養学各論	2	
	公衆栄養学実習		1
給食経営管理論	給食管理論	2	
	給食経営管理論	2	
	給食経営管理実習		2
総 合 演 習	栄養アセスメントとマネジメント演習	1	
	臨地実習事前事後集中講義	2	
臨 地 実 習	臨地実習(校外実習)		4

18. 健康運動指導士

健康運動指導士は、保健医療関係者と連携し、運動を通じた健康づくりのための運動プログラムの作成と指導を行う役割を担っています。健康デザイン学科に所属し、下記の表に示される科目を履修し、単位を修得すると健康運動指導士認定試験の受験資格が得られます。

資格取得を希望する者は、実習費を納入しなければなりません。納入方法等については、学科の指示に従ってください。

開 設 科 目	単 位
健康管理概論	2
病理・疾病	2
運動生理学	2
バイオメカニクス	2
体力測定・評価	2
体力測定・評価演習	2
パワーエクササイズ	1
体育実技A	1
体育実技B	1
スポーツ実習A・アクアスポーツ	1
スポーツ現場実習	1
スポーツトレーニング論	2
スポーツトレーニング論演習	2
スポーツ医学	2
スポーツ心理学	2
スポーツ栄養学	2
栄養と健康	2
応用栄養学	2
栄養学実習	2

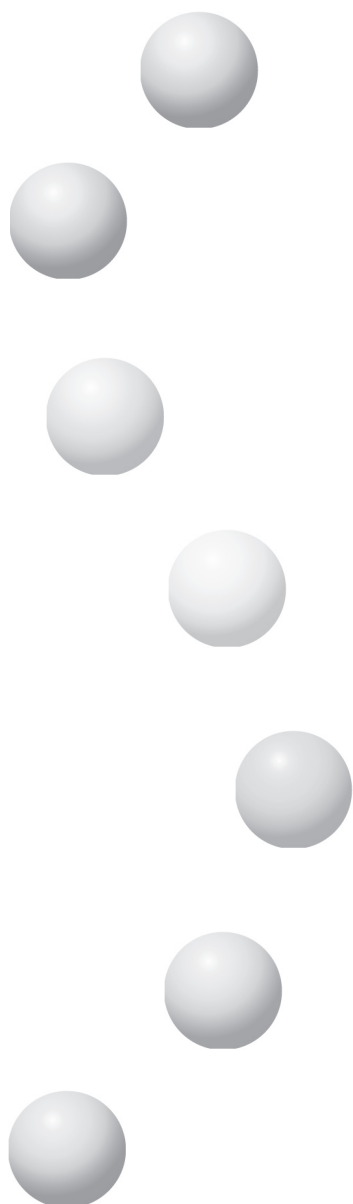
19. 食品衛生管理者及び食品衛生監視員資格

生活科学部管理栄養学科において食品衛生管理者及び食品衛生監視員の任用資格を取得するためには、食品衛生法に定める下表の科目について、所定の単位を修得することが必要です。その該当科目及び単位の修得方法については管理栄養学科のカリキュラムを参照してください。なお、編入生は食品衛生管理者及び食品衛生監視員の任用資格取得はできません。

内 容	科目名(必修のみ記載)	単位数	
		講義又は演習	実験又は演習
A 群 化学関係	化学A	2	
	化学B	2	
B 群 生物化学関係	生化学	2	
	生化学実験		2
	栄養生化学	2	
	人体の構造と機能C(生理学)	2	
	食べ物と健康(総論)	2	
	食品学実験		2
C 群 微生物学関係	食品と加工	2	
	微生物学	2	
	微生物学実験		2
D 群 公衆衛生学関係	食品衛生学	2	
	食品衛生学・食品加工学実験		2
	人間と社会生活	2	
E 群 その他関連科目	基礎栄養学	2	
	基礎栄養学実習		1
	応用栄養学A(母性・乳幼児)	2	
	応用栄養学B(学童期～高齢期)	2	
	応用栄養学C(特殊環境)	2	
	応用栄養学実習		1
	臨床医学総論(病理も含む)	2	
	解剖生理学実験A(人体の構造と生理)		2
	解剖生理学実験B(人体の生理と分子医学)		2
	人体の構造と機能B(解剖学)	2	

V

學費



AEQUAB
E
DILIGE
FIAT

学費

1. 大学院

○大学院の学費(半年分)

(単位/円)

		施設設備金	授業料	実験実習 教材費	厚生文化費	合 計
文学研究科	日本文学専攻	9,000	397,800	5,000	2,500	414,300
	英米文学専攻	9,000	397,800	5,000	2,500	414,300
	言語教育・コミュニケーション専攻	9,000	397,800	7,500	2,500	416,800
生活機構研究科	生活文化研究専攻	9,000	412,800	7,500	2,500	431,800
	心理学専攻	9,000	412,800	15,000	2,500	439,300
	福祉社会研究専攻	9,000	412,800	7,500	2,500	431,800
	人間教育学専攻	9,000	412,800	7,500	2,500	431,800
	環境デザイン研究専攻	9,000	427,800	30,000	2,500	469,300
	生活科学研究専攻	9,000	427,800	30,000	2,500	469,300
	生活機構学専攻	9,000	403,800	9,000	2,500	424,300

上記の表以外の納入金

・光葉同窓会費(卒業年次後期:3万円)ただし本学卒業生で以前に会費を納入済みの者は免除

*諸資格の取得に必要な実習に関する費用等については「IV諸資格の取得」を参照

2. 学部

○人間文化学部・人間社会学部・生活科学部の学費(半年分)

(単位/円)

		施設設備金	授業料	実験実習 教材費	厚生文化費	学友会費	合 計
人間文化学部	日本語日本文学科	100,000	397,800	6,000	40,000	1,200	545,000
	英語コミュニケーション学科	100,000	397,800	20,000	40,000	1,200	559,000
	歴史文化学科	100,000	412,800	15,000	40,000	1,200	569,000
	国際学科	100,000	397,800	25,000	40,000	1,200	564,000
人間社会学部	心理学科	100,000	427,800	30,000	40,000	1,200	599,000
	福祉社会学科	100,000	412,800	30,000	40,000	1,200	584,000
	現代教養学科	100,000	407,800	15,000	40,000	1,200	564,000
	初等教育学科	100,000	407,800	15,000	40,000	1,200	564,000
生活科学部	環境デザイン学科	100,000	412,800	30,000	40,000	1,200	584,000
	健康デザイン学科	100,000	427,800	30,000	40,000	1,200	599,000
	管理栄養学科	100,000	427,800	30,000	40,000	1,200	599,000

上記の表以外の納入金

・光葉同窓会費(卒業年次後期:3万円)ただし本学短期大学部からの編入生で以前に会費を納入済みの者は免除

*諸資格の取得に必要な実習に関する費用等については「IV諸資格の取得」を参照

3. 短期大学部

○短期大学部の学費(半年分)

(単位/円)

		施設設備金	授業料	実験実習 教材費	厚生文化費	学友会費	合 計
短期大学部	文化創造学科	100,000	397,800	25,000	40,000	1,200	564,000

上記の表以外の納入金

・光葉同窓会費(卒業年次後期:3万円)

* 諸資格の取得に必要な実習に関する費用等については「IV諸資格の取得」を参照

○専攻科の学費(半年分)

(単位/円)

		施設設備金	授業料	実験実習 教材費	厚生文化費	学友会費	合 計
短期大学部	国語国文学専攻	100,000	397,800	5,000	40,000	1,200	544,000
	英語英文学専攻	100,000	397,800	10,000	40,000	1,200	549,000
	生活文化学専攻	100,000	412,800	15,000	40,000	1,200	569,000

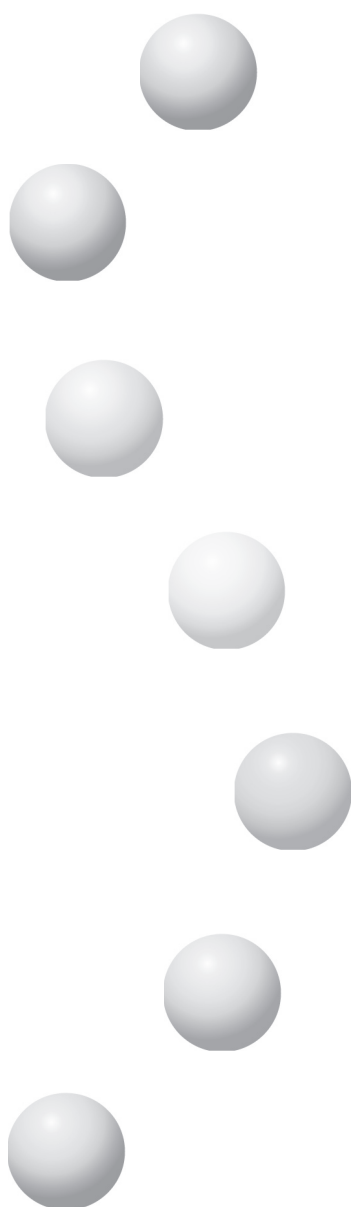
上記の表以外の納入金

・光葉同窓会費(卒業年次後期:3万円)ただし、本学短期大学部卒業生で以前に会費を納入済みの者は免除

* 諸資格の取得に必要な実習に関する費用等については「IV諸資格の取得」を参照

VI

規程集



1. 昭和女子大学大学院学則

第1章 総則

- 第1条 本大学院は、建学の精神に則り、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の進展に寄与することを目的とする。
- 第2条 本大学院は教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動の状況について自ら点検及び評価を行う。
- 2 前項の点検及び評価の方法、結果の検証及び公表等に関する規程は、別に定める。
- 第3条 本大学院の課程は、修士課程及び博士課程とする。ただし博士課程は、前期2年及び後期3年の課程に区分し、前期2年の課程は博士前期課程とし、後期3年の課程は博士後期課程とする。
- 2 博士前期課程及び修士課程は、広い視野に立って精深な学識を授け専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業に必要な高度の能力を養うものとする。
- 3 博士後期課程は、専攻分野について研究者として自立して研究活動を行い、又は、その他の高度に専門的な業務に従事するのに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うものとする。
- 第4条 博士前期課程及び修士課程の標準修業年限は2年とし、その最長年限を4年とする。
- 2 博士後期課程の標準修業年限は3年とし、その最長年限を6年とする。
- 3 長期にわたり計画的に教育課程を履修する者（以下「長期履修学生」という）の修業年限は、修士課程及び博士前期課程にあつては4年とし、その最長年限を6年とする。また、博士後期課程にあつては6年とし、その最長年限を8年とする。
- 第5条 本大学院に次の研究科を置く。それぞれの研究科に置く専攻と専攻の目的は次のとおりである。

文学研究科

- (1) 日本文学専攻博士前期課程は、日本文学及び日本語学において広い視野と豊かな学識を培い、専門領域における優れた研究能力を養うことにより、研究・教育をはじめ高度の専門性を有する分野で活躍し得る有為な人材の育成を目的とし、博士後期課程は、日本文学及び日本語学における広い視野と深い学識とを踏まえ、さらに高度な専門的研究を深化発展させる能力を涵養し、研究・教育をはじめ高度の専門性を有する諸関連分野で社会に貢献し得る人材の育成を目的とする。
- (2) 英米文学専攻博士前期課程は、イギリス文学、アメリカ文学、英語学（言語学、英語史）を中心とする英語の言語文化の諸分野について、幅広い視野に立って教育指導を行い、研究者あるいはその他の専門的職業人にふさわしい高度の能力の基礎を養い育てることを目的とし、博士後期課程は、前期課程における教育を踏まえ、上記三分野について一層専門的な立場から教育指導を行い、自立した研究者や専門的職業人を養成し、そのために必要な一層深い学識や高度の専門的能力を養うことを目的とする。
- (3) 言語教育・コミュニケーション専攻博士前期課程は、日本人に英語を教える教師、または日本語非母語話者に日本語を教える教師を目指す日本人学生・留学生・現職の日本語・英語教師を主な対象とし、日本語教育・英語教育の実践の場で活躍しうる有能な人材の育成を目的とする。さらに博士後期課程では前期課程での学習、実習経験を踏まえ、それぞれの分野で指導的な役割を担うことのできる専門家の育成を目的とした教育を行なう。

生活機構研究科

- (1) 生活文化研究専攻（修士課程）は、多岐にわたる生活文化に関して高度で知的な素養を持ち、研究、教育および社会的活動を通して、知識基盤社会を多様に支える人材の養成を目的とする。
- (2) 心理学専攻（修士課程）は、心理学諸領域（認知・発達・社会・臨床など）に関わる専門的知識と技能を修得した人材の養成を目的とする。
- (3) 人間教育学専攻（修士課程）は、人格的豊かさをもち、社会や子どもの変化に的確に対応できる専門的知識と技能を修得し、高度の実践的指導力を身につけた人材の養成を目的とする。
- (4) 福祉社会研究専攻（修士課程）は、現代社会の諸課題を解明すると共に、より良い福祉社会を創っていくために必要な価値観・理論・実践力を修得した人材の養成を目的とする。
- (5) 環境デザイン研究専攻（修士課程）は、工学から芸術・人文系に至る幅広い学問体系を有する専攻として、服飾・インテリア・建築等生活に関わる広い環境を対象としたデザインの分野で研究・

実践する人材の養成を目的とする。

- (6) 生活科学研究専攻（修士課程）は、ヒトの生命の営みを、生活を取り巻く食環境とそのライフステージとの関連から解明し、食行動と健康増進に関連するテーマを多角的に研究する人材の養成を目的とする。
- (7) 生活機構学専攻（博士後期課程）は、幅広い分野における人間の生活に関する総合科学の研究を自律的に行うことのできる高度の研究者・専門職の人材養成を目的とする。

2 各研究科の修士課程、博士課程の別は、次の表の右欄に掲げるとおりとする。

研究科名	専攻名	課程の区分
文学研究科	日本文学専攻	博士前期課程 博士後期課程
	英米文学専攻	
	言語教育・コミュニケーション専攻	
生活機構研究科	生活文化研究専攻	修士課程
	心理学専攻	
	人間教育学専攻	
	生活科学研究専攻	
	環境デザイン研究専攻	
	福祉社会研究専攻	
	生活機構学専攻	博士後期課程

第6条 各研究科、各専攻の学生入学定員及び収容定員は、次の表のとおりとする。

研究科名	専攻名	入学定員			収容定員		
		修士課程	博士課程	合計	修士課程	博士課程	合計
文学研究科	日本文学専攻	5名	3名	8名	10名	9名	19名
	英米文学専攻	5名	3名	8名	10名	9名	19名
	言語教育・コミュニケーション専攻	10名	3名	13名	20名	9名	29名
	計	20名	9名	29名	40名	27名	67名
生活機構研究科	生活文化研究専攻	10名	—	10名	20名	—	20名
	心理学専攻	20名	—	20名	40名	—	40名
	人間教育学専攻	10名	—	10名	20名	—	20名
	生活科学研究専攻	5名	—	5名	10名	—	10名
	環境デザイン研究専攻	5名	—	5名	10名	—	10名
	福祉社会研究専攻	5名	—	5名	10名	—	10名
	生活機構学専攻	—	5名	5名	—	15名	15名
	計	55名	5名	60名	110名	15名	125名
合計		75名	14名	89名	150名	42名	192名

第2章 教育方法及び授業科目の履修方法

第7条 本大学院の教育は、建学の精神に則り、授業科目の授業及び学位論文の作成等に関する指導（以下「研究指導」という。）によって行うものとする。

第8条 各研究科の授業科目及び単位数は、別表（1）のとおりとする。

第9条 各研究科の学位論文の作成等に関する研究指導は、各研究科教授会において定める。

第10条 各研究科の授業科目の単位の計算方法は、昭和女子大学学則を準用する。

第11条 学生は、各自の研究分野を定め、その目的に適するように指導教員の指導により授業科目を履修するものとする。

第12条 各研究科において教育研究上有益と認めるときは、各研究科教授会及び大学院委員会の議を経て昭和女子大学及び本大学院の他の研究科又は他大学の大学院とあらかじめ協議のうえ、昭和女子大学及び本大学院並びに他大学の大学院の授業科目を履修させることができる。

- 2 前項の規定により履修した授業科目の単位は、10 単位を超えない範囲で、本大学院において修得したものとみなすことができる。

第 13 条 授業科目を履修した者に対しては、考査のうえ、その合格者に所定の単位を与える。

第 14 条 各研究科において教育上有益と認めるときは、各研究科教授会及び大学院委員会の議を経て、他大学の大学院及び当該大学院付置研究所とあらかじめ協議のうえ、博士課程及び修士課程の学生が、当該研究所、当該大学院において必要な研究指導を受けることができる。ただし、修士課程及び博士前期課程の学生について認める場合は、当該研究指導を受ける期間は 1 年を超えないものとする。

第 15 条 各研究科において教育上特別の必要があると認められるときは、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

第 16 条 本大学院は、授業及び研究指導の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

第 3 章 課程の修了要件及び学位

第 17 条 修士課程及び博士前期課程の修了要件は、本大学院に 2 年以上在学し、本学則に定める授業科目について、30 単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については大学院に 1 年以上在学すれば足りるものとする。

- 2 前項の場合において、当該修士課程及び博士前期課程の目的に応じ適当と認められるときは、各研究科教授会及び大学院委員会の議を経て、特定の課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代えることができる。なお、当該審査に関する審査方法は、第 18 条第 1 項から第 5 項までを準用する。

第 18 条 修士論文の審査及び最終試験は、各研究科教授会の定める審査委員がこれを行う。

- 2 前項の審査は、指導教員のほか、当該専攻の授業科目を担当する専任教員 1 名以上を加える。
- 3 審査委員は、論文審査及び最終試験実施のうえ、その評価に関する意見を記載した審査報告書を各研究科教授会に提出しなければならない。
- 4 各研究科教授会は、各審査委員から提出された審査報告書に基づいて協議のうえ、審査の結果を大学院委員会に報告するものとする。
- 5 大学院委員会は、各研究科教授会から提出された修士論文の審査及び最終試験の結果に基づいて総合審査を行い、合格、不合格を決定する。

第 19 条 博士課程の修了要件は、文学研究科日本文学専攻、英米文学専攻及び言語教育・コミュニケーション専攻にあっては、本大学院に 5 年（博士前期課程を修了した者にあっては、当該課程における 2 年の在学期間を含む。）以上在学し、本学則に定める授業科目について、50 単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、大学院に 3 年（博士前期課程を修了した者にあっては当該課程における 2 年の在学期間を含む。）以上在学すれば足りるものとする。

- 2 生活機構研究科博士後期課程にあっては、本大学院に 3 年以上在学し、本学則に定める授業科目について、16 単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。なお、前項の在学期間のただし書はこれを準用する。

- 3 第 17 条第 1 項ただし書の規定による在学期間をもって修士課程及び博士前期課程を修了した者の博士課程の修了の要件は、大学院の修士課程及び博士前期課程における在学期間に 3 年を加えた期間以上在学し、本学則に定める授業科目について、文学研究科日本文学専攻、英米文学専攻及び言語教育・コミュニケーション専攻にあっては 50 単位以上、また、生活機構研究科生活機構学専攻にあっては 46 単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、大学院に 3 年（修士課程及び博士前期課程における在学期間を含む。）以上在学すれば足りるものとする。

- 4 本条第 1 項から第 3 項の規定にかかわらず、学校教育法施行規則第 156 条の規定により、大学院への入学資格に関し修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者が博士後期課程に入学した場合の博士課程の修了要件は、大学院に 3 年以上在学し、本学則に定める授業科目について、文学研究科日本文学専攻、英米文学専攻及び言語教育・コミュニケーション専攻にあっては 20 単位以上、生活機構研究科生活機構学専攻にあっては 16 単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。

- 5 本大学院において教育上有益と認めるときは、本大学院に入学する前に大学院において修得した単位を、10 単位を超えない範囲で本大学院において修得したものとしみなすことができる。

第 20 条 博士論文の審査及び最終試験は、第 18 条第 1 項から第 5 項までを準用する。

第 21 条 本大学院において授与する学位は、次のとおりとする。

研究科名	専攻名	課程名	授与学位
文学研究科	日本文学専攻	博士前期課程	修士(文学)
	日本文学専攻	博士後期課程	博士(文学)
	英米文学専攻	博士前期課程	修士(文学)
	英米文学専攻	博士後期課程	博士(文学)
	言語教育・コミュニケーション専攻	博士前期課程	修士(文学)
	言語教育・コミュニケーション専攻	博士後期課程	博士(文学)
生活機構研究科	生活文化研究専攻	修士課程	修士(学術)
	心理学専攻		修士(学術)
	人間教育学専攻		修士(学術)
	生活科学研究専攻(食・栄養コース)		修士(学術)
	生活科学研究専攻(実践栄養コース)		修士(栄養)
	環境デザイン研究専攻		修士(学術)
	福祉社会研究専攻		修士(学術)
	生活機構学専攻	博士後期課程	博士(学術)

- 2 本大学院において学位を授与された者は、学位の名称を用いるときは、本大学名を付記するものとする。

- 3 第 19 条の規定によらないで、本大学院に論文を提出して博士の学位を請求し、所定の審査及び試験に合格した者に博士の学位を授与する。

- 4 学位授与に必要な事項は、昭和女子大学学位規則に定める。

第 22 条 高等学校教諭一種免許状及び中学校教諭一種免許状の所要資格を有する者で、当該免許教科に係る高等学校教諭専修免許状及び中学校教諭専修免許状の所要資格を得ようとする者は、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所要単位を修得しなければならない。

- 2 本大学院各研究科修士課程及び博士前期課程において、当該所要資格を取得できる高等学校教諭専修免許状及び中学校教諭専修免許状の免許教科は、次の表のとおりとする。

研究科名	専攻名	免許状の種類	免許教科	免許状の種類	免許教科
文学研究科	日本文学専攻	中学校教諭専修免許状	国語	高等学校教諭専修免許状	国語
	英米文学専攻	中学校教諭専修免許状	外国語(英語)	高等学校教諭専修免許状	外国語(英語)
	言語教育・コミュニケーション専攻	中学校教諭専修免許状	外国語(英語)	高等学校教諭専修免許状	外国語(英語)
生活機構研究科	生活文化研究専攻	中学校教諭専修免許状	社会	高等学校教諭専修免許状	地理歴史
	心理学専攻	—	—	高等学校教諭専修免許状	公民
	人間教育学専攻	幼稚園教諭専修免許		小学校教諭専修免許	
	生活科学研究専攻	中学校教諭専修免許状	家庭	高等学校教諭専修免許状	家庭
	環境デザイン研究専攻	中学校教諭専修免許状	家庭	高等学校教諭専修免許状	家庭
	福祉社会研究専攻	中学校教諭専修免許状	社会	高等学校教諭専修免許状	福祉

第4章 学年、学期及び休業日

第23条 本大学院の学年・学期及び休業日は、昭和女子大学学則を準用する。

第5章 入学、休学、退学及びその他

第24条 入学の時期は、学年の始め又は学期の始めとする。

第25条 本大学院修士課程及び博士前期課程に入学することができる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者
- (2) 学校教育法施行規則第155条第1項により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められたもの
- (3) 大学に3年以上在学した者であって、本大学院の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの
- (4) 学校教育法施行規則第160条により大学に3年以上在学した者に準ずる者であって、本大学院の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの

第26条 本大学院博士後期課程に入学することができる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
- (2) 学校教育法施行規則第156条に定める修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められたもの

第27条 入学志願者は、次の書類に別表(2)に定める入学検定料を添えて申し込むものとする。

- (1) 本大学院所定の入学願書
- (2) 出身大学長の発行する成績証明書及び卒業証明書(又は卒業見込み証明書)、博士後期課程入学志願者は出身大学院の学長の発行する成績証明書及び修了証明書(又は修了見込み証明書)
- (3) 最近3か月以内の写真

第28条 入学を許可する者は、本大学院の実施する入学選抜考査に合格した者とする。

- 2 前項の入学選抜考査の時期及び方法は、その都度定める。

第29条 入学を許可された者は、保証人連署の保証書並びに誓約書を別表(2)に定める入学金を添えて、所定の期日までに提出しなければならない。

第30条 保証人に関する事項は、昭和女子大学学則を準用する。

第31条 外国人の入学に関する事項は、別にこれを定める。

第32条 本大学院の開設する1授業科目又は数授業科目を選択履修することを許可した者を科目等履修生とする。

- 2 科目等履修生として聴講を志望できる者は、第25条、第26条に規定する大学院入学資格を有する者とする。
- 3 科目等履修生の許可は研究科教授会で協議し、大学院委員会の議を経て学長が決定する。
- 4 科目等履修生の聴講料は、昭和女子大学学則を準用する。
- 5 科目等履修生に対しては、本条に規定するもののほか本学則の各条を準用する。ただし、第4条、第17条から第22条までの規定は、準用しない。

第33条 疾病その他、やむを得ない理由で学業を続けることができないときは、その理由を詳記し願い出て、休学することができる。

- 2 休学の期間は、1か年以内とする。特にやむを得ない事情のある者には、休学の継続を許可することができる。ただし、その期間は3か年以内とする。
- 3 休学の理由が止んだ時は、復学願を提出しなければならない。
- 4 休学者は、学期の始めに復学することができる。
- 5 休学の期間は、在学年数に通算しない。
- 6 疾病その他の理由により修学することが適当でないと認めるときは、大学院委員会の議を経て学長が休学を命ずる。

第34条 退学したい者は、その事由を詳記し、保証人連署で願い出て、学長の許可を得なければならない。

第35条 正当の理由で退学した者が再入学を願い出たときは、学期の始めに限り、審査のうえこれを許可することがある。

第36条 他の大学院に転学しようとするときは、保証人連署のうえ、指導教員を経て学長の許可を得るものとする。

第37条 他の大学院生が本大学院に転学を希望するときは、学生収容定員に余裕のある場合に限り選考のうえこれを許可することがある。

第38条 長期履修学生に関し必要な事項は、別に定める。

2 長期履修学生に関することは、別に規定するもののほか、各章の規定を準用する。

第6章 賞 罰

第39条 本章に関する事項は、昭和女子大学学則を準用する。

第7章 授業料、貸給費、実験実習教材費及びその他の費用

第40条 学生の納入金は、授業料及びその他とする。

2 各納入金の額は、別表(2)のとおりとする。

3 各納入金は、次の2期に分納する。

前期：4月15日まで

後期：10月15日まで

4 納期に納入できないときは、延納願を提出して許可を得なければならない。ただし、延納の期限は、所定の納入日の翌月末日を超えない範囲とする。

5 滞納が3か月以上におよぶときは、除籍する。

6 休学中の授業料等納入金は、当該学期の授業料の半額とする。

第41条 学業優秀にして、志操堅固な者には、一定の学資を給付又は貸与することがある。

2 学資の給付及び貸与に関する規程は、別に定める。

第42条 一旦納入した諸料金は、事情の如何にかかわらず返還しない。ただし、入学辞退者の授業料等返還に関する手続きについては、別に定める。

第8章 教員組織並びに運営

第43条 本大学院の授業科目の担当並びに研究指導の教員は、昭和女子大学の教授の中から委嘱する。ただし、必要ある場合は、昭和女子大学の教授以外から委嘱することがある。

第44条 本大学院の管理、運営に関する重要事項を審議するため、大学院委員会を置く。

2 大学院委員会に関し必要な事項は、別に定める。

第45条 各研究科に、教育課程の編成、学生の入学及び退学その他当該研究科における重要事項を審議するため、研究科教授会を置く。

2 研究科教授会に関し必要な事項は、別に定める。

第46条 本大学院生活機構研究科に近代文化研究所、女性文化研究所、国際文化研究所並びに生活心理研究所を付設する。

第47条 本学則の細則は、別に定める。

附 則 本学則は平成24年4月1日から施行する。

* 1 別表(1)は各専攻の開設授業科目一覧表に基づく。

* 2 別表(2)は学費一覧表に基づく。

2. 昭和女子大学学則

2

第1章 総則

- 第1条 本学は、建学の精神に則り、高等教育機関として、また、学術文化の研究機関としての使命に鑑み、善を尚び美を愛し真を究めて、文化の創造と人類の福祉に貢献する女性を育成することを目的とする。
- 2 本学は各学科の人材の育成に関する目的その他の教育研究上の目的を別表アのとおり定める。
- 第2条 本学は、教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行う。
- 2 前項の点検及び評価の方法、結果の検証及び公表等に関する規程は、別に定める。
- 第3条 本学は、昭和女子大学と称する。
- 第4条 本学は、東京都世田谷区太子堂一丁目7番57号に設置する。
- 第5条 本学は、次の学部及び学科を設け、修業年限を4年とし、最長在学年限は6年とする。
- 人間文化学部
- 日本語日本文学科
- 英語コミュニケーション学科
- 歴史文化学科
- 国際学科
- 人間社会学部
- 心理学科
- 福祉社会学科
- 現代教養学科
- 初等教育学科
- 生活科学部
- 環境デザイン学科
- 健康デザイン学科
- 管理栄養学科
- 第6条 各学部及び各学科の入学定員並びに収容定員は、次の表のとおりとする。

学部・学科・専攻	入学定員	収容定員
人間文化学部	435名	1740名
日本語日本文学科	120名	480名
英語コミュニケーション学科	160名	640名
歴史文化学科	85名	340名
国際学科	70名	280名
人間社会学部	325名	1300名
心理学科	75名	300名
福祉社会学科	70名	280名
現代教養学科	80名	320名
初等教育学科	100名	400名
生活科学部	307名	1254名
（3年次編入学定員）	13名	
環境デザイン学科	160名	640名
健康デザイン学科	75名	310名
（3年次編入学定員）	5名	
管理栄養学科	72名	304名
（3年次編入学定員）	8名	

第2章 教育課程

第7条 各学部及び各学科の授業科目を、必修及び選択に分ける。

第8条 各学部及び各学科の授業科目並びに単位数は、別表（1）のとおりとする。

第3章 履修、卒業及び学位

第9条 学生は、学期毎にその学期に履修する授業科目を定めて学長の許可を得なければならない。また、これを変更する場合も同様とする。

第10条 学生が、各学期に履修科目として登録する単位数については、別に定める。

第11条 履修授業科目の単位修得の認定は、出席時数、平常成績及び期末試験の総合成績による。成績は100点をもって満点とし、60点以上を合格点とする。

第12条 疾病その他、やむを得ない事情のため期末試験を受けることができなかった者には、追試験を行うことがある。

第13条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

- (1) 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。ただし、大学が別に定める授業科目については、30時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 演習については、30時間の授業をもって1単位とする。ただし、大学が別に定める授業科目については、15時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 実験、実習及び実技については、45時間の授業をもって1単位とする。ただし、大学が別に定める授業科目については、30時間の授業をもって1単位とする。
- (4) 芸術等の分野における個人指導による実技の授業については、大学が別に定める時間の授業をもって1単位とすることができる。
- (5) 第1号から第4号の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究及び卒業制作等の授業科目については、これらの学修成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して単位数を定めることができる。

2 前項の授業は、多様なメディアを利用して行うことがある。

3 第1項の授業は、第12章に定める公開講座として開講することがある。

第14条 本学を卒業するには、学生は4年以上在学し、第8条別表（1）に定めた授業科目につき、各学科共通科目から44単位以上（教養科目36単位以上、外国語科目8単位以上）、専門教育科目は76単位以上、文化講座8単位、その他学科の定める修得要件を含み計132単位以上修得しなければならない。ただし、生活科学部健康デザイン学科、管理栄養学科の専門教育科目の履修方法は、別に定める。

2 本学において教育上有益と認めるときは、大学部局長会の議を経て、他大学又は他短期大学とあらかじめ協議のうえ、当該大学又は当該短期大学における授業科目を履修させることができる。

3 前項の規定により修得した単位並びに短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を本学における授業科目とみなし、60単位を超えない範囲で本学において修得したものと認定することができる。

4 本学において教育上有益と認めるときは、本学に入学する前に大学又は短期大学において修得した単位及び短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を本学において修得したものとみなすことができる。

5 前項により修得したものとみなすことのできる単位数は、編入学、転入学等の場合を除き、第3項により認定する単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

6 卒業要件として修得すべき132単位のうち、第13条第2項に定める多様なメディアを利用して行う授業により修得する単位数は、60単位を超えないものとする。

7 第3項及び第5項の適用者の修業年限は、短縮できないものとする。

8 大学入学資格を有する者が、本学の科目等履修生として一定の単位を修得した後に入学したときは、その修得単位数に応じて、相当期間を修業年限の2分の1を超えない範囲で、在学期間として認定することができる。

9 学校教育法第89条に規定する早期卒業の認定については、別に定める。

第15条 教育職員免許状の授与の所要資格を取得しようとする者は、第14条の規定によるほか、教育職員免許法

及び同法施行規則に定める単位を修得しなければならない。

- 2 各学科において取得できる免許状の種類及び免許教科は、次の表のとおりとする。

学科	免許状の 種類	免許教科	免許状の 種類	免許教科
日本語日本文学科	中学校教諭 一種免許状	国語	高等学校教諭 一種免許状	国語 書道
英語コミュニケーション学科	同 上	外国語（英語）	同 上	外国語（英語）
歴史文化学科	同 上	社会	同 上	地理歴史
国際学科	同 上	外国語（英語）	同 上	外国語（英語）
心理学科	同 上	社会	同 上	公民
福祉社会学科	－	－	同 上	福祉
現代教養学科	中学校教諭 一種免許状	社会 外国語（英語）	同 上	公民 外国語（英語）
初等教育学科	幼稚園教諭一種免許状		小学校教諭一種免許状	
環境デザイン学科	中学校教諭 一種免許状	家庭	高等学校教諭 一種免許状	家庭
健康デザイン学科	同 上	家庭 保健 理科 保健体育	同 上	家庭 保健 理科 保健体育
	栄養教諭二種			
管理栄養学科	栄養教諭一種			

第 16 条 福祉社会学科の学生で社会福祉士の受験資格を取得しようとする者は、第 14 条の規定によるほか、社会福祉士及び介護福祉士法及び同法施行規則に基づき本学が指定する授業科目の単位を修得しなければならない。授業科目の履修条件は、別に定める。

- 2 福祉社会学科の学生で精神保健福祉士の資格を取得しようとする者は第 14 条の規定によるほか、精神保健福祉士法及び同法施行規則に定める授業科目の単位を修得しなければならない。
- 3 福祉社会学科の学生で保育士の資格を取得しようとする者は、第 14 条の規定によるほか、児童福祉法及び同法施行規則に基づき本学が指定する授業科目の単位を修得しなければならない。

第 17 条 初等教育学科の学生で保育士の資格を取得しようとする者は、第 14 条の規定によるほか、児童福祉法及び同法施行規則に基づき本学が指定する授業科目の単位を修得しなければならない。

第 18 条 環境デザイン学科の学生で 1、2 級建築士、インテリアプランナー、木造建築士及び設備士の受験資格を取得しようとする者は、第 14 条の規定によるほか、別に定める授業科目の単位を修得しなければならない。なお、1 級建築士、インテリアプランナー及び設備士を受験するには、定められた実務経験が必要となる。

- 2 環境デザイン学科の学生で 1 級衣料管理士の資格を取得しようとする者は、第 14 条の規定によるほか、衣料管理士認定規定に定める授業科目の単位を修得しなければならない。

第 19 条 健康デザイン学科の学生で栄養士の免許授与の所要資格を取得しようとする者は、第 14 条の規定によるほか、栄養士法及び同法施行規則に定める授業科目の単位を修得しなければならない。

- 2 管理栄養学科の学生で栄養士の免許授与の所要資格を取得しようとする者は、第 14 条の規定によるほか、栄養士法及び同法施行規則に定める授業科目の単位を修得しなければならない。

- 3 前項に定める要件を満たした者は、管理栄養士国家試験の受験資格を得ることができる。

第 20 条 学芸員の資格を取得しようとする者は、第 14 条の規定によるほか、博物館法及び同法施行規則に定める授業科目の単位を修得しなければならない。ただし、第 8 条別表 (1) 教育課程中博物館学関係科目は、第 14 条の専門教育科目の単位に含むものとする。

- 第21条 図書館司書の資格を取得しようとする者は、第14条の規定によるほか、図書館法及び同法施行規則に定める授業科目の単位を修得しなければならない。
- 第22条 学校図書館司書教諭の資格を取得しようとする者は、教育職員免許状の授与の所要資格を取得したうえで、第14条の規定によるほか、学校図書館法及び学校図書館司書教諭講習規程に定める授業科目の単位を修得しなければならない。
- 第23条 第14条の規定による所要単位数を修得した者の卒業については、大学部局長会の議を経て学長が認定する。また、昭和女子大学短期大学部を卒業後、同短期大学部専攻科のうち大学評価・学位授与機構が認定した専攻科を修了し、かつ学位申請に必要なすべての単位を本学で修得して大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者については、大学部局長会の議を経て学長が本学を卒業したものとみなすことができる。
- 2 卒業を認定された者には、学士の学位を授与する。
- 3 学位の授与区分は、次の表のとおりとする。

学部	学科	学位
人間文化学部	日本語日本文学科・英語コミュニケーション学科・歴史文化学科	学士(人間文化学)
	国際学科	学士(国際学)
人間社会学部	心理学科・福祉社会学科 現代教養学科	学士(人間社会学)
	初等教育学科	学士(教育学)
生活科学部	環境デザイン学科 健康デザイン学科 管理栄養学科	学士(生活科学)

- 4 学位授与に必要な事項は、昭和女子大学学位規則に定める。

第4章 学年、学期及び休業日

- 第24条 学年は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。
- 第25条 学年を分けて次の2学期とし、各学期の授業期間は原則として15週にわたるものとする。
前期 / 4月1日から9月30日まで
後期 / 10月1日から翌年3月31日まで
ただし、学長は各学期の授業期間を変更することができる。
- 第26条 休業日を次のとおり定める。ただし、学長は休業日を変更し、又は臨時に休業日を定めることがある。
- (1) 国民の祝日に関する法律に規定する休日
 - (2) 日曜日
 - (3) 創立記念日 5月2日
 - (4) 夏季休業日 8月1日から9月30日まで
 - (5) 冬季休業日 12月23日から翌年1月8日まで
 - (6) 春季休業日 3月11日から3月31日まで

第5章 入学の時期、入学、退学、休学、復学、転学及び除籍

- 第27条 入学の時期は、学期の始めとする。
- 第28条 入学を許可される者は、女子にして次の各号のいずれかに該当する者でなければならない。
- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
 - (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む）
 - (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験に合格した者で、18歳に達したもの
- (7) 本学において、個別の学力審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの
- (8) 学校教育法第90条第2項の規定により、本学において大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの（飛び入学）
- (9) 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者（編入学）
- (10) 短期大学を卒業した者（編入学）
- (11) 学士の学位を有する者（学士入学）
- (12) 第9号から11号の入学志願者については、定員に余裕のある場合に選考のうえ入学させる。

第29条 入学志願者は、次の書類に別表（2）に定める入学検定料を添えて申し込むものとする。

- (1) 入学志願書
- (2) 出身学校長の発行する調査書
- (3) 最近の写真（本学所定の大きさ）

第30条 入学を許可される者は、本学の建学の精神に則って指導を受けることを志した者の中で身体健康、品行方正にして本学の実施する入学試験に合格した者とする。

第31条 入学を許可された者は、保証人連署の保証書並びに誓約書に、別表（2）に定める入学金を添えて提出しなければならない。

第32条 保証人は、父母またはこれに代わる独立の生計を営む成年者で、学生の監督の責任に任じ得る者とする。

第33条 保証人が死亡又は他の理由で責を果たし得なくなったときは、新たに保証人を選定して直ちに届け出なければならない。

第34条 保証人の住居又は身分に変更が生じたときは、直ちに届け出なければならない。

第35条 退学したい者は、その理由を詳記し、保証人連署で願い出て、学長の許可を得なければならない。

第36条 疾病その他やむを得ない理由で、休学を希望する者は、その理由を詳記し、保証人連署で願い出て、休学の許可を得なければならない。

- 2 休学期間は、1か年以内とする。ただし、やむを得ない事情のある者については、休学の継続を許可することがある。

第37条 休学期間は、在学年数に通算しない。

- 2 休学者は、学期の始めに復学することができる。

第38条 学生が疾病その他の理由により修学することが適当でないと認めるときは、大学部局長会の議を経て学長が休学を命ずる。

第39条 国内外の大学又は短期大学において学修することを願い出たときは、審査のうえ、留学を許可することがある。

- 2 留学に関する取扱いは、別に定める。

第40条 学生が他の学科に転じることを願い出たときは、選考のうえこれを許可することがある。

第41条 本学に転入学を希望する者がある場合は、学生定員に余裕のあるときに、選考のうえ相当学年に転入学を許可することがある。

第42条 正当な理由で退学した者が再入学を願い出たときは、学期の始めに限り選考のうえこれを許可することがある。

第43条 再入学、転入学、学士入学若しくは編入学又は転科した者については、既に専修学校専門課程、短期大学又は大学等において修得した単位並びに在学年数の全部又は一部を、本学における授業科目の単位並びに在学年数として認定することができる。

第44条 次の各号のいずれかに該当する者は、大学部局長会の議を経て学長が除籍する。

- (1) 在学6年にして卒業できない者
- (2) 学費の滞納が3か月以上におよび、督促を受けても納入しない者
- (3) 正当な理由なく、無届で3か月以上連続欠席した者

第6章 賞 罰

第45条 本学学生で学業優秀又は善行・美事をなした者を賞することがある。

第46条 本学の学則に背き、又は本学学生の本分にもとる行為があったときは、懲戒にする。懲戒は、譴責、停

学及び退学とする。

第 47 条 次の各号のいずれかに該当した者は、退学に処する。

- (1) 性行不良で改善の見込みがない者
- (2) 成績不良で成業の見込みがない者
- (3) 正当な理由なく出席常でない者
- (4) 学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第 7 章 授業料、貸給費、実験実習教材費及びその他の費用

第 48 条 学生の納入金は、授業料及びその他とする。

- (1) 各納入金の額は、別表 (2) のとおりとする。
- (2) 各納入金は、次の 2 期に分納する。
前期 / 4 月 15 日まで
後期 / 10 月 15 日まで
- (3) 納期に納入できないときは、延納願を提出して許可を得なければならない。ただし、延納の期限は、所定の納期の翌月末日を超えない範囲とする。
- (4) 休学中の授業料等納入金は、当該学期の授業料の半額とする。
- (5) 諸資格の取得に必要な実習費等、別表 (2) のほかに、納入金を徴収することがある。

第 49 条 学業優秀にして、志操堅固な者には、一定額の学資を給付又は貸与することがある。学資の給付及び貸与に関する規程は、別に定める。

第 50 条 一旦納入した諸料金は、事情の如何にかかわらず返還しない。ただし、入学辞退者の授業料等返還に関する手続きについては、別に定める。

第 8 章 教職員組織及び教授会

第 51 条 本学に学長、副学長、学部長、教務部長、同次長、学生部長、同次長を置く。

- (1) 学長は、教育研究に関する学務を統括する。
- (2) 副学長は、学務の運営に当たり、学長に事故あるときは、その職務を代行する。
- (3) 学部長は、当該学部の部務を統理する。
- (4) 教務部長は、教務の企画運営に当たる。
- (5) 教務部次長は、教務部長を補佐し、部長に事故あるときは、その部務を代行する。
- (6) 学生部長は、学生指導の企画運営に当たる。
- (7) 学生部次長は、学生部長を補佐し、部長に事故あるときは、その部務を代行する。

2 各学科の科務を処理するため、学科長各 1 名を置く。

3 学長、副学長、学部長、教務部長、同次長、学生部長、同次長及び学科長の任免については、別に定める。

第 52 条 本学に教授、准教授、講師、助教、助手、副手及び事務職員を置く。

- (1) 教授は、学生の研究と教育を指導し、また、研究に従事する。
- (2) 准教授は、教授に準ずる職務に従事する。
- (3) 講師は、教授又は准教授に準ずる職務に従事する。
- (4) 助教は、教授及び准教授、講師に準ずる職務に従事する。
- (5) 助手及び副手は、配属学科の授業等の補助的業務及び資料の整理、整備等その他事務処理に従事する。
- (6) 事務職員は、配属された部署の事務処理に従事する。

第 53 条 各学部に、学部の教育及び研究に関する事項を審議するため、教授会を置く。

2 教授会に関し必要な事項は、別に定める。

第 54 条 本学の管理、運営に関する重要事項を審議するため、大学部局長会を置く。

2 大学部局長会に関し必要な事項は、別に定める。

第 9 章 委託生、外国人留学生及び科目等履修生

第 55 条 委託生、外国人留学生又は科目等履修生として入学を希望する者があるときは、審査のうえ入学又は聴講を許可することがある。

第 56 条 官公庁、法人の委託により本学に入学を許可した者を委託生とする。

- 第 57 条 外国人で本学に入学を許可した者を外国人留学生とする。
- 第 58 条 本学の開設する授業科目のうち、1 授業科目又は数授業科目を選択履修することを許可した者及び本学公開講座のうち特定の講座を受講して大学の正規単位認定を希望する者を科目等履修生とする。
- 第 59 条 科目等履修生として許可される者は、第 28 条に規定する大学入学資格を有する者でなければならない。ただし、本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めたときは、この限りでない。
- 第 60 条 科目等履修生は毎学期初めに、その学期中に履修する授業科目を定めて学長の許可を得なければならない。また、これを変更するときも同様とする。
- 第 61 条 単位を修得した科目等履修生には、単位証明書を交付する。
- 第 62 条 科目等履修生の聴講料は、各学期 1 科目につき登録料 10,000 円、聴講料 20,000 円とする。ただし、本学公開講座のうち特定の講座を受講して大学の正規単位認定を希望する科目等履修生については、当該公開講座の受講料等を支払うことにより、前記登録料、聴講料の支払いを免除する。
- 第 63 条 委託生、外国人留学生及び科目等履修生で、履修科目の試験を受け、合格した者にはその授業科目所定の単位を与える。
- 第 64 条 委託生、外国人留学生及び科目等履修生は、収容定員に余裕のある場合のみ許可する。ただし、本学公開講座のうち特定の講座を受講して大学の正規単位認定を希望する科目等履修生については、本条を適用しない。
- 第 65 条 委託生、外国人留学生に対して本章に規定するほか、各章の規定を準用する。ただし、科目等履修生に対し本章以外の規定は準用しない。

第 10 章 図書館

- 第 66 条 本学に附属図書館を設け、教育・研究に必要な図書等学術情報の収集、整理、保存及び提供等に関する業務を取り扱う。

第 11 章 博物館

- 第 67 条 本学に附属博物館を設け、博物館資料の収集、保存、調査研究、展示及び教育普及に関する業務を取り扱う。

第 12 章 公開講座

- 第 68 条 本学の使命に鑑みて、大学教育の普及を図り、社会の向上進歩に寄与するため、公開講座を開設する。
- 第 69 条 公開講座は、主としてオープンカレッジで常時開設する。

第 13 章 教務部、学生部及び学寮

- 第 70 条 本学の教育に関する全学的事項の審議及び連絡調整を目的として教務部を設ける。教務部に関する規程は、別に定める。
- 第 71 条 学生生活の向上を目的として学生部を設ける。学生部に関する規程は、別に定める。
- 第 72 条 学生の生活支援及び厚生を目的として学寮を設ける。学寮に関する規程は、別に定める。

第 14 章 その他

- 第 73 条 本学則の細則は、別に定める。

- 附 則 この学則は平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

別表ア

人間文化学部	日本語日本文学科	英語コミュニケーション学科	歴史文化学科	国際学科
	日本語日本文学科は、日本の言語文化について、日本語学・日本文学・日本語教育の三分野から学ぶことにより、広い視野と豊かな教養を培い、文化的創造及び社会の発展に寄与し得る人材の育成を目的とする。	英語コミュニケーション学科は、英語の運用能力を基礎として、英米文学・文化、英語研究、英語教育、メディアコミュニケーション、ビジネスコミュニケーションの専門的知識を高め、英語を使って、日本のみならず広く国際社会に貢献できる人材の育成を目的とする。	歴史文化学科は、歴史をはじめ、考古、美術、伝統文化、地域文化、および文化財の諸分野にわたり段階的な教育を通して、歴史と文化に対する広い視野と高い識見を備えた人材の育成を目的とする。	国際学科は複文化への深い洞察、また高い実践的な能力を身につけ、複雑化する国際社会で活躍できる人材を育成することを目的とする。学生は高い言語運用能力、自国の社会・文化への深い理解を基礎として、国際社会の仕組み、多様な社会・文化に対する専門知識をつける。
人間社会学部	心理学科	福祉社会学科	現代教養学科	初等教育学科
	心理学科は、「健康な人格の形成と保持に資する心理学の活用」という時代の要求に応え、人の心を幅広く理解する心理学の視点を持ち、現実の問題に実践的に対応できる援助能力を身につけた人材の育成を目的とする。	福祉社会学科は、人間の尊厳を重視した福祉社会の理念を探究する。人権と社会正義の価値を基盤とした対人援助の専門的知識と技術の習得並びに参加と共同による福祉社会の創造に資する人材の育成を目的とする。	現代教養学科は、自身の考えを的確に表現伝達する能力を育成するとともに、時代の要請に応え社会に貢献できる人材を育むことを目標におき、さまざまな角度から物事を把握する力を育て、“生きる力”を身につけた人材の育成を目的とする。	初等教育学科は、基礎教育から専門教育への連続性を踏まえた体系的な教育課程を編成・実施し、子どもの望ましい心身の発達と成長を期待し、一人一人の個性や能力を引き出し、その豊かな人格の形成を指導・援助できる人材の育成を目的とする。
生活科学部	環境デザイン学科	健康デザイン学科	管理栄養学科	
	環境デザイン学科は、機能的で美しい建築やインテリアのデザイン、生活プロダクトのデザイン、衣服のデザインなど、私たちの生活空間がいかにあるべきかを考え、どのようにプロデュースするかを理論と技術の両面から学び、総合力を身につけた専門家としての人材の育成を目的とする。	健康デザイン学科は、食を通して、健康の増進と生活の質の向上に資する人材の養成を目的とする。食品・栄養・運動・感覚に関する学術的な根拠に基づいた理論を展開できる能力を育み、社会に貢献する人材を育成する。	管理栄養学科は、医療、福祉、学校等、現場を支える管理栄養士として、社会に貢献する人材の養成を目的とする。人と社会や環境との関わりを学び、人体の構造とその機能に関する深い理解を基に、様々な状況の中で人の栄養に適切に対処できる人材を育成する。	

* 1 別表(1)は各学科の開設授業科目一覧表に基づく。

* 2 別表(2)は学費一覧表に基づく。

3. 昭和女子大学短期大学部学則

第1章 総則

- 第1条 本学は、建学の精神に則り、高い教養と文化創造学に関する専門の学芸を教授研究し、職業又は實際生活に必要な能力を養い、社会に貢献しうる有為な女性を育成することを目的とする。
- 2 本学は学科の人材の育成に関する目的その他の教育研究上の目的を別表アのとおり定める。
- 第2条 本学は、教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行う。
- 2 前項の点検及び評価の方法、結果の検証及び公表等に関する規程は、別に定める。
- 第3条 本学は、昭和女子大学短期大学部と称する。
- 第4条 本学は、東京都世田谷区太子堂一丁目7番57号に設置する。
- 第5条 本学は、次の学科を設け、修業年限を2年とし、最長在学年限を4年とする。ただし、短期大学設置基準第16条の2に規定する長期にわたり計画的に教育課程を履修する者（以下「長期履修学生」という）については、既に在学した期間を含め修業年限を4年とし、最長在学年限を6年とする。
- 文化創造学科
- 2 長期履修学生は、学期を単位に2年まで修業年限を短縮することができる。
- 第6条 学科の入学定員及び収容定員は、次の表のとおりとする。

学科	入学定員	収容定員
文化創造学科	120名	240名
計	120名	240名

第2章 教育課程

- 第7条 学科の授業科目を、必修及び選択に分ける。
- 第8条 学科の授業科目及び単位数は、別表（1）のとおりとする。

第3章 履修及び課程修了

- 第9条 学生は、学期毎にその学期に履修する授業科目を定めて学長の許可を得なければならない。また、これを変更する場合も同様とする。
- 第10条 学生が、各学期に履修科目として登録する単位数については、別に定める。
- 第11条 履修授業科目の単位修得の認定は、出席時数、平常成績及び期末試験の総合成績による。成績は100点をもって満点とし、60点以上を合格点とする。
- 第12条 疾病その他、やむを得ない事情のため期末試験を受けることができなかった者には、追試験を行うことがある。
- 第13条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。
- (1) 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。ただし、大学が別に定める授業科目については、30時間の授業をもって1単位とする。
 - (2) 演習については、30時間の授業をもって1単位とする。ただし、大学が別に定める授業科目については、15時間の授業をもって1単位とする。
 - (3) 実験、実習及び実技については、45時間の授業をもって1単位とする。ただし、大学が別に定める授業科目については、30時間の授業をもって1単位とする。
 - (4) 芸術等の分野における個人指導による実技の授業については、大学が別に定める時間の授業をもって1単位とすることができる。
 - (5) 第1号から第4号の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究及び卒業制作等の授業科目については、これらの学修成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して単位数を定めることができる。
- 2 前項の授業は、多様なメディアを利用して行うことがある。
- 3 第1項の授業は、第12章に定める公開講座として開講することができる。

- 第14条 本学を卒業するには、学生は2年以上在学し、第8条別表（1）に定めた授業科目につき、教養科目は8単位以上、外国語科目は4単位以上、専門教育科目は28単位以上、余裕単位6単位以上、文化講座4単位を含み計66単位以上修得しなければならない。余裕単位は、学科の定めるところによって、教養科目及び専門教育科目に配分することができる。
- 2 本学において教育上有益と認めるときは、大学部局長会の議を経て、他大学又は他短期大学とあらかじめ協議のうえ、当該大学又は当該短期大学における授業科目を履修させることができる。
- 3 前項の規定により修得した単位並びに短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を本学における授業科目とみなし、30単位を超えない範囲で本学において修得したものとして認定することができる。
- 4 本学において教育上有益と認めるときは、本学に入学する前に大学又は短期大学において修得した単位及び短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を本学において修得したものとみなすことができる。
- 5 前項により修得したものとみなすことのできる単位数は、第3項により認定する単位数と合わせて30単位を超えないものとする。
- 6 卒業要件として修得すべき66単位のうち、第13条第2項に定める多様なメディアを利用して行う授業により修得する単位数は、30単位を超えないものとする。
- 7 第3項及び第5項の適用者の修業年限は、短縮できないものとする。
- 8 大学入学資格を有する者が、本学の科目等履修生として一定の単位を修得した後に入学した場合は、その修得単位数に応じて、相当期間を修業年限の2分の1を超えない範囲で、在学期間として認定することができる。

第15条 図書館司書の資格を取得しようとする者は、昭和女子大学学則第21条に規定する授業科目の単位を修得しなければならない。ただし、第14条第5項に定める30単位の内数として修得するものとする。

第16条 第14条に規定する所要単位数を修得した者の卒業については、大学部局長会の議を経て学長が認定する。

2 卒業を認定された者には短期大学士の学位を授与する。

3 短期大学士の授与区分を次のとおりとする。

学 科	学 位
文化創造学科	短期大学士（文化創造）

4 学位授与に必要な事項は、昭和女子大学短期大学部学位規則に定める。

第4章 学年、学期及び休業日

第17条 学年は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第18条 学年を分けて次の2学期とし、各学期の授業期間は原則として15週にわたるものとする。

前期 / 4月1日から9月30日まで

後期 / 10月1日から翌年3月31日まで

ただし、学長は各学期の授業期間を変更することができる。

第19条 休業日を次のとおり定める。ただし、学長は休業日を変更し、又は臨時に休業日を定めることがある。

- (1) 国民の祝日に関する法律に規定する休日
- (2) 日曜日
- (3) 創立記念日 / 5月2日
- (4) 夏季休業日 / 8月1日から9月30日まで
- (5) 冬季休業日 / 12月23日から翌年1月8日まで
- (6) 春季休業日 / 3月11日から3月31日まで

第5章 入学の時期、入学、退学、休学、復学、転学及び除籍

第20条 入学の時期は、学期の始めとする。

第21条 入学を許可される者は、女子にして、次の各号のいずれかに該当するものでなければならない。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む）

- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験に合格した者で、18歳に達したもの
- (7) 本学において、個別の学力審査により、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めたもの

第22条 入学志願者は、次の書類に別表(2)に定める入学検定料を添えて申し込むものとする。

- (1) 入学志願書
- (2) 出身学校長の発行する調査書
- (3) 最近の写真(本学所定の大きさ)

第23条 入学を許可される者は、本学の建学の精神に則って指導を受けることを志した者の中で身体健康、品行方正にして本学の実施する入学試験に合格した者とする。

第24条 入学を許可された者は、保証人連署の保証書並びに誓約書に、別表(2)に定める入学金を添えて提出しなければならない。

第25条 保証人は、父母又はこれに代わる独立の生計を営む成年者で、学生の監督の責任に任じ得る者とする。

第26条 保証人が死亡又は他の理由で責を果たし得なくなったときは、新たに保証人を選定して直ちに届け出なければならない。

第27条 保証人の住居又は身分に変更が生じたときは、直ちに届け出なければならない。

第28条 退学したい者は、その理由を詳記し、保証人連署で願い出て、学長の許可を得なければならない。

第29条 疾病その他やむを得ない理由で、休学を希望する者は、その理由を詳記し、保証人連署で願い出て、休学の許可を得なければならない。

- 2 休学期間は1か年以内とする。ただし、やむを得ない事情のある者については、休学の継続を許可することがある。

第30条 休学期間は、在学年数に通算しない。

- 2 休学者は、学期の始めに復学することができる。

第31条 学生が疾病その他の理由により修学することが適当でないと認めるときは、大学部局長会の議を経て学長が休学を命ずる。

第32条 国内外の大学又は短期大学において学修することを願い出たときは、審査のうえ、留学を許可することがある。

- 2 留学に関する取扱いは、別に定める。

第33条 学生が他の学科に転じることを願い出た場合は、選考のうえこれを許可することがある。

第34条 本学に転入学を希望する者がある場合は、学生定員に余裕のあるときに、選考のうえ相当学年に転入学を許可することがある。

第35条 正当な理由で退学した者が、再入学を願い出たときは、学期の始めに限り選考のうえこれを許可することがある。

第36条 再入学、転入学、転部及び転科した者については、既に専修学校専門課程、短期大学、大学において修得した単位並びに在学年数の全部又は一部を、本学における授業科目の単位並びに在学年数として認定することができる。

第37条 次の各号のいずれかに該当する者は、大学部局長会の議を経て学長が除籍する。

- (1) 在学4年にして卒業できない者。ただし、長期履修学生については在学6年とする。
- (2) 学費の滞納が3か月以上におよび、督促を受けても納入しない者
- (3) 正当な理由なく、無届で3か月以上連続欠席した者

第6章 賞 罰

第38条 本学学生で学業優秀又は善行・美事をなした者を賞することがある。

第39条 本学の学則に背き、又は本学学生の本分にもとる行為があったときは、懲戒にする。懲戒は、譴責、停学及び退学とする。

第40条 次の各号のいずれかに該当した者は、退学に処する。

- (1) 性行不良で改善の見込みがない者
- (2) 成績不良で成業の見込みがない者
- (3) 正当な理由なく出席常でない者
- (4) 学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第7章 授業料、貸給費、実験実習教材費及びその他の費用

第41条 学生の納入金は、授業料及びその他とする。

- (1) 各納入金の額は、別表(2)のとおりとする。
- (2) 各納入金は、次の2期に分納する。
前期 / 4月15日まで
後期 / 10月15日まで
- (3) 2期に分納できないときは、事情を勘案のうえ、月納等支払方法を考慮することがある。
- (4) 納期に納入できないときは、延納願を提出して許可を得なければならない。ただし、延納の期限は、所定の納期の翌月末日を超えない範囲とする。
- (5) 休学中の授業料等納入金は、当該学期の授業料の半額とする。

第42条 学業優秀にして志操堅固な者には、一定額の学資を給付又は貸与することがある。学資の給付及び貸与に関する規程は、別に定める。

第43条 一旦納入した諸料金は、事情の如何にかかわらず返還しない。ただし、入学辞退者の授業料等返還に関する手続きについては、別に定める。

第8章 教職員組織及び教授会

第44条 本学に学長、副学長、短期大学部長、教務部長、同次長、学生部長及び同次長を置く。

- (1) 学長は、教育研究に関する学務を統括する。
- (2) 副学長は、学務の運営に当たり、学長に事故があるときは、その職務を代行する。
- (3) 短期大学部長は、短期大学部の部務を統理する。
- (4) 教務部長は、教務の企画運営に当たる。
- (5) 教務部次長は、教務部長を補佐し、部長に事故あるときは、その部務を代行する。
- (6) 学生部長は、学生指導の企画運営に当たる。
- (7) 学生部次長は、学生部長を補佐し、部長に事故あるときは、その部務を代行する。

2 学科の科務を処理するため、学科長各1名を置く。

3 学長、副学長、短期大学部長、教務部長、同次長、学生部長、同次長及び学科長の任免については、別に定める。

第45条 本学に教授、准教授、講師、助教、助手、副手及び事務職員を置く。

- (1) 教授は、学生の研究と教育を指導し、また研究に従事する。
- (2) 准教授は、教授に準ずる職務に従事する。
- (3) 講師は、教授又は准教授に準ずる職務に従事する。
- (4) 助教は、教授及び准教授、講師に準じる職務に従事する。
- (5) 助手及び副手は、配属学科の授業等の補助的業務及び資料の整理、整備等その他事務処理に従事する。
- (6) 事務職員は、配属された部署の事務処理に従事する。

第46条 本学の教育及び研究に関する事項を審議するため、教授会を置く。

2 教授会に関し必要な事項は、別に定める。

第47条 本学の管理、運営に関する重要事項を審議するため、大学部局長会を置く。

2 大学部局長会に関し必要な事項は、別に定める。

第9章 委託生、外国人留学生、科目等履修生及び長期履修学生

第48条 委託生、外国人留学生又は科目等履修生として入学を希望する者があるときは、審査のうえ入学又は聴講を許可することがある。

第49条 官公庁、法人の委託により本学に入学を許可した者を委託生とする。

第50条 外国人で本学に入学を許可した者を外国人留学生とする。

- 第 51 条 本学の開設する授業科目のうち、1 授業科目又は数授業科目を選択履修することを許可した者及び本学公開講座のうち特定の講座を受講して大学の正規単位認定を希望する者を科目等履修生とする。
- 第 52 条 科目等履修生として許可される者は、第 21 条に規定する大学入学資格を有する者でなければならない。ただし、本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めたときは、この限りでない。
- 第 53 条 科目等履修生は、毎学期始めにその学期中に履修する科目を定めて学長の許可を得なければならない。また、これを変更するときも同様とする。
- 第 54 条 単位を修得した科目等履修生には、単位証明書を交付する。
- 第 55 条 科目等履修生の聴講料は、各学期 1 科目につき登録料 10,000 円、聴講料 20,000 円とする。ただし、本学公開講座のうち特定の講座を受講して大学の正規単位認定を希望する科目等履修生については、当該公開講座の受講料等を支払うことにより、上記登録料、聴講料の支払いを免除する。
- 第 56 条 委託生、外国人留学生及び科目等履修生で、履修科目の試験を受け、合格した者にはその授業科目所定の単位を与える。
- 第 57 条 委託生、外国人留学生及び科目等履修生は、収容定員に余裕のある場合のみ許可する。ただし、本学公開講座のうち特定の講座を受講して大学の正規単位認定を希望する科目等履修生については本条を適用しない。
- 第 58 条 委託生、外国人留学生に対して本章に規定するほか、各章の規定を準用する。ただし、科目等履修生に対し本章以外の規定は準用しない。
- 第 59 条 長期履修学生に関する取扱規程は、別に定める。
- 2 長期履修学生に関することは、別に規定するもののほか、各章の規定を準用する。

第 10 章 図書館

- 第 60 条 本学に附属図書館を設け、教育・研究に必要な図書等学術情報の収集、整理、保存及び提供等に関する業務を取り扱う。

第 11 章 博物館

- 第 61 条 本学に附属博物館を設け、博物館資料の収集、保存、調査研究、展示及び教育普及に関する業務を取り扱う。

第 12 章 公開講座

- 第 62 条 本学の使命に鑑みて、大学教育の普及を図り、社会の向上進歩に寄与するため、公開講座を開設する。
- 第 63 条 公開講座は、主としてオープンカレッジで常時開設する。

第 13 章 教務部、学生部及び学寮

- 第 64 条 本学の教育に関する全学的事項の審議及び連絡調整を目的として教務部を設ける。教務部に関する規程は、別に定める。
- 第 65 条 学生生活の向上を目的として学生部を設ける。学生部に関する規程は、別に定める。
- 第 66 条 学生の生活支援及び厚生を目的として学寮を設ける。学寮に関する規程は、別に定める。

第 14 章 専攻科

- 第 67 条 短期大学の課程を修了した者に、更に深い専門の学芸と国語国文学、英語英文学及び生活文化学に関する職業又は实际生活に必要な能力を育成することを目的として、修業年限 1 年の専攻科を置く。
- 2 入学資格は、短期大学の課程を修了した者並びに相当年齢に達し、これと同等の学力があると認められた者。
- 第 68 条 専攻科に次の 3 専攻を設け、各専攻の修業年限、入学定員及び収容定員は、次の表のとおりとする。

専攻名	修業年限	入学定員	収容定員
国語国文学専攻	1 年	10 名	10 名
英語英文学専攻	1 年	20 名	20 名
生活文化学専攻	1 年	10 名	10 名
計		40 名	40 名

- 第 69 条 各専攻の教育課程は、別表 (3) のとおりとする。

- 第 70 条
- 各専攻の課程を修了するには、学生は1年以上在学し、第 69 条別表（3）に定めた授業科目について 30 単位以上を修得しなければならない。
- 第 71 条
- 第 70 条の規定による各専攻の課程修了者の認定は、大学部局長会の議を経て学長が行う。修了を認定された者には修了証書を授与する。
- 第 72 条
- 各専攻の学生については、本章に規定するほか、本学則の各章の規定を準用する。
- 附 則
- この学則は平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

別表ア

短期大学部	文化創造学科
	文化創造学科は、時代の要請に応える幅広い教養と専門領域に関わる基礎を学び、自ら進路を決め、自己表現ができる人材の育成を目的とする。それに加え、幅広い年代の社会人に、生涯学習の一助として、学び直しの場を提供する。

- * 1
- 別表(1)、(3)は各学科・専攻の開設授業科目一覧表に基づく。
- * 2
- 別表(2)は学費一覧表に基づく。

4. 昭和女子大学学位規則

(目的)

- 第1条 本学位規則は、学位規則（昭和28年文部省令第9号）第13条の規定に基づき本学において授与する学位、学位論文審査及び最終試験の方法その他学位に関して必要な事項を定めるものとする。

(学位)

- 第2条 本学において授与する学位は次のとおりとする。

学士・修士・博士

(学位授与の要件)

- 第3条 学士の学位は、本大学学則の定めるところにより所定の要件を満たし、課程修了を認定された者に授与する。

- 第4条 修士の学位は、本学大学院学則の定めるところにより博士前期課程または修士課程所定の要件を満たし、課程修了を認定された者に授与する。

- 第5条 博士の学位は、本学大学院学則の定めるところにより博士後期課程所定の要件を満たし、課程修了を認定された者に授与する。

- 2 博士の学位は前項に規定する者のほか、本学大学院博士後期課程を経ない者であっても、学位論文を提出し、その審査および試験に合格し、かつ前項に該当する者と同等以上の学力が認められる者に授与することができる。

(学位論文提出による学位の授与)

- 第6条 第5条第2項により、博士の学位論文を提出した者については、この規則の定めるところにより、審査の上学位を授与することができる。

- 2 前項に規定する者が博士の学位論文を提出するときは、学位申請書に学位論文5部、参考論文のあるときは当該参考論文、研究業績書、履歴書及び審査料を添えて、学長に提出するものとする。ただし、審査料は学位論文の受理が決定してから納入するものとする。

- 3 学位論文の受理は研究科教授会並びに大学院委員会の議を経て学長が決定する。

- 4 学位論文を受理したときは、学位論文の審査のほか、本学大学院の博士課程において所定の単位を修得した者と同等以上の学力を有することを認めるための試験を行うものとする。

- 5 前項の試験は口答又は筆答により行う。

- 6 第5条第2項により学位論文を提出した者が、本学大学院の博士課程において所定の単位を修得した者であるときは、前第4項の試験は免除するものとする。

- 7 前項に該当する者が、本学を退学後3年以内の場合、第5条第1項に規定する者と同様に扱う。

- 8 学位論文の審査は本学大学院学則第18条及び第20条を準用する。

- 9 審査委員は、学位論文審査のため必要があるときは、学位論文提出者に対して当該学位論文の参考資料等の提出を求めることができる。

- 10 学位論文の審査は、受理してから1年以内に終了するものとする。

- 第7条 教授会は第3条による者については、本学学則の定めるところにより、それぞれ課程の修了について総合審査をするものとし、その結果について学長に報告するものとする。

- 第8条 研究科教授会は、第4条および第5条第1項による者については、本学大学院学則の定めるところにより、それぞれ課程の修了及び学位論文の可否、第5条第2項による者については、その学位論文の可否について協議し、大学院委員会の総合審査を経るものとする。

- 2 前項の研究科教授会は、委員総数の3分の2以上の出席がなければ開くことができない。

- 3 第1項の協議決定は、出席委員の過半数の賛成を必要とする。

- 第9条 大学院委員会は、前条による研究科教授会の報告に基づいて、本学大学院学則の定めるところにより総合審査を行い、それぞれの課程の修了および学位論文の可否、第5条第2項による者については、その学位論文の可否について議決する。

- 2 前項の大学院委員会は、委員総数の3分の2以上の出席がなければ開くことができない。

- 3 第1項の議決は、出席委員の過半数の賛成を必要とする。

(学長への報告)

- 第10条 大学院委員会が第9条の議決をしたときは、委員長は学長に報告しなければならない。

(学位記の交付)

- 第11条 学長は第7条および第10条の報告に基づいて、修了の認定、課程の修了および学位論文の可否について決定し、合格した者には学位記を授与する。

(論文要旨等の公表)

- 第12条 本学は、博士の学位を授与したときは当該博士の学位を授与した日から3か月以内に、その学位論文の内容の要旨および学位論文審査の結果の要旨を公表するものとする。

(学位論文の公表)

- 第13条 博士の学位を授与された者は、当該博士の学位を受けた日から1年以内に、その学位論文を印刷公表するものとする。ただし、学位の授与を受ける前にすでに印刷公表したときはこの限りでない。

- 2 前項の規定にかかわらず、博士の学位を授与された者でやむを得ない事由がある場合には、本学の承認を受けて、当該学位論文の全文に代えてその内容を要約したものを印刷公表することができる。この場合、大学はその学位論文の全文を求めに応じて閲覧に供するものとする。

(学位の名称の使用)

- 第14条 学位の授与を受けた者が、学位の名称を用いるときは、当該学位を授与した本学名を「学士（昭和女子大学）」、「修士（昭和女子大学）」、「博士（昭和女子大学）」のように附記するものとする。

- 2 学位記の様式は別表第1から別表第3の通りとする。

(学位授与の取消)

- 第15条 学位を授与された者が、その名誉を汚辱する行為があったとき又は不正の方法により、学位の授与を受けた事実が判明したときは、学長は教授会、各研究科教授会及び大学院委員会の議を経て学位の授与を取消することがある。

- 2 前項の議決については第7条から第10条の場合と同様に行うものとする。

(学位記の再交付)

- 第16条 学位記の再交付を受けようとするときは、その事由を具し学長に願い出なければならない。

(学位授与の報告)

- 第17条 本学において博士の学位を授与したときは、学長は学位規則（昭和28年文部省令第9号）第12条の定めるところにより、文部科学大臣に報告するものとする。

- 附 則 この規則は、平成20年4月1日から施行する。

5. 昭和女子大学短期大学部学位規則

(目的)

第1条 本学位規則は、学位規則（昭和28年文部省令第9号）第13条の規定に基づき本学において授与する学位について必要な事項を定めるものである。

(学位)

第2条 本学において授与する学位は次のとおりとする。

短期大学士

(学位授与の要件)

第3条 短期大学士の学位は、本学学則の定めるところにより本学に2年以上在学し、各学科の所定の課程修了を認定された者に授与する。

(学位の授与)

第4条 教授会は、本学学則の定めるところにより、それぞれの課程の修了について総合審査するとし、その結果について学長に報告するものとする。

2 学長は、前項の報告に基づき、学位を授与し、学位記を交付するものとする。

(学位の名称の使用)

第5条 学位の授与を受けた者が、学位の名称を用いるときは、当該学位を授与した本学名を「短期大学士（昭和女子大学短期大学部）」のように附記するものとする。

(学位授与の取消)

第6条 学位を授与された者が、その名誉を汚辱する行為があったとき又は不正の方法により、学位を受けた事実が判明したときは、学長は教授会の議を経て学位の授与を取消することがある。

(学位記の再交付)

第7条 学位記の再交付を受けようとするときは、その事由を具し学長に願い出なければならない。

附 則 この規則は平成18年3月8日から施行する。

6. 大学院研究生に関する規程

(目 的)

- 第1条 この規程は、大学院博士後期課程を修了した者（単位満了退学者を含む。以下同じ）又は博士前期課程若しくは修士課程を修了した者に、大学院研究生（以下「研究生」という）の資格を与えることにより、その研究の継続を助成することを目的とする。

(資 格)

- 第2条 研究生となることのできる者は、大学院博士後期課程を修了した者又は博士前期課程若しくは修士課程を修了した者で、指導教員の承認を得て、研究科教授会及び大学院委員会の議を経て、学長の許可を得たものとする。

(期 間)

- 第3条 研究生の期間は、1年間とする。但し、博士後期課程修了者にあつては2回、博士前期課程修了者及び修士課程修了者は1回に限り、更新を願い出ることができる。

(待 遇)

- 第4条 研究生は、担当教員の許可を得て、聴講願いを提出し、学長の許可を得た上で、大学院の授業を受けることができる。

- 2 研究生は、大学院生に認められた大学の研究施設を利用することができる。

(在籍料)

- 第5条 研究生は、定められた期日までに在籍料等を納付しなければならない。

- 2 研究生の在籍料等は、次のとおりとする。但し、実験実習に関する費用は、別にこれを徴収する。

(1) 入学金 50,000 円、在籍料（1 年）200,000 円。但し、他大学出身者は、検定料 50,000 円を別途徴収する。

(2) 前号の在籍料は、前期、後期の2回に分納し、納期は、前期は4月15日、後期は10月15日とする。

(3) 特別の事情のある者に限り、委員会の議を経て、学長の許可を得て在籍料を免除することがある。

(監 督)

- 第6条 研究生に対する監督は、研究科教授会で定めた教員があたるものとする。

(規程の改廃)

- 第7条 この規程の改廃は、学長の承認を得るものとする。

- 附 則 この規程は、平成21年9月17日に改定し、平成21年10月1日から施行する。

7. 女性文化研究所研究生に関する規程

(目 的)

- 第1条 当研究所は、大学院博士課程生活機構研究科の基礎として位置付けられ、学術研究機関としての活動が期待されている。したがって、その一環として、研究生の採用を行い、研究者として指導育成することを目的としてこの規程を定める。

(資 格)

- 第2条 研究生となることのできる者は、女性文化に関する研究計画を有し、それを遂行し得る能力を有する者(原則として、大学を卒業した者及びそれと同等以上の学力があると認められる者)とする。

(採用の願い出)

- 第3条 研究生採用を願い出る者は、採用願い(本学規定の用紙)に、次の書類を添え、前年度の2月末までに願い出るものとする。

- 一 出身学校の卒業・修了証明書又は見込証明書
- 二 成績証明書(修了見込みの者は経過年度のもの)
- 三 健康診断書

(採用の決定)

- 第4条 研究生の採用の可否は、運営委員会に置く選考委員会において審議し、その答申に基づき、学長が決定する。

(研修期間)

- 第5条 研究生の研修期間は、各学年度初めから1年とする。但し、研究計画の進捗により、更に研究を継続しようとする者は、研究継続願いを提出しなければならない。

- 2 前項の期間は、1年限りとする。

(待 遇)

- 第6条 研究生は、指導教員の担当授業科目の聴講を希望するときは、同教員の許可を受けて聴講願いを提出し、学長の許可を受けなければならない。

(監 督)

- 第7条 研究生に対する監督は、指導教員がこれに当たるものとする。

(在籍料)

- 第8条 研究生は、定められた前日までに、在籍料を納付しなければならない。

- 2 研究生の在籍料は、次のとおりとする。ただし、実験実習に関する費用は別にこれを徴収する。

- 一 他大学出身者は、検定料 50,000 円が別途かかる。

入学金 50,000 円・在籍料 200,000 円は共通

- 二 前号の在籍料は、前期・後期の2回に分納するものとし、納期は、前期は4月15日、後期は10月15日限りとする。

- 三 特別の事情のある者に限り、運営委員会の議を経て、学長の許可を得、在籍料の全額又は一部を免除することがある。

(規程の改廃)

- 第9条 この規程の改廃は、学長の承認を得るものとする。

- 附 則 この規程は、平成21年9月17日に改定し、平成21年10月1日から施行する。

8. 大学研究生に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、本学の研究生として指導を受けようとする者を助成することを目的とする。

(資格)

第2条 研究生となることのできる者は、次の者で希望する指導教員の承認を得たものとする。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 当該学科で前号と同等以上の学力があると認められた者

(採用の願い出)

第3条 研究生採用を願い出る者は、採用願（本学規定の用紙）に次の書類を添え、前年度の2月末日又は7月末日までに願い出るものとする。

- (1) 出身学校の卒業・修了証明書又は見込証明書
- (2) 成績証明書（修了見込みの者は経過年度のもの）
- (3) 健康診断書

(採用の決定)

第4条 研究生の採用は、当該学部学科で審議し、大学部局長会の議を経て、学長の許可を得るものとする

(期間)

第5条 研究生の在学期間は、1年間とする。ただし、更新を願い出ることができる。

(待遇)

第6条 研究生は、指導教員の許可を得て、聴講願を提出し、学長の許可を得た上で、大学院・大学の授業を受けることができる。

- 2 研究生は、大学の施設を利用することができる。

(在籍料)

第7条 研究生は、定められた期日までに在籍料を納付しなければならない。

- 2 研究生の在籍料は、次のとおりとする。ただし、実験実習に関する費用は別にこれを徴収する。

- (1) 入学金 50,000 円、在籍料（1 年）200,000 円、他大学出身者は、別途 検定料 50,000 円とする。
- (2) 前号の在籍料は、前期、後期の2回に分納するものとする。納期は、前期は4月15日、後期は10月15日限りとする。
- (3) 特別の事情のある者に限り、大学部局長会の議を経て、学長の許可を得て在籍料を免除することができる。

(規程の改廃)

第8条 この規程の改廃は、学長の承認を得るものとする。

附 則 この規程は、平成21年9月17日に改定し、平成21年10月1日から施行する。

9. 大学研究生の在籍料免除に関する取扱規程

(目的)

第1条 この規程は、大学研究生に関する規程第7条第2項第3号に規定する在籍料免除の基準等について定める。

(免除基準)

第2条 生計を一にする世帯の所得金額が、独立行政法人日本学生支援機構（旧日本育英会）が規定する第一種奨学金（無利子貸与）の所得上限額の目安の2分の1以下である場合、在籍料を免除する。

(免除手続)

第3条 上申は、指導教員の添書を付した稟議書をもって行う。

(免除額)

第4条 免除額は、免除事由の内容を斟酌し、全額免除又は半額免除のいずれかとする。

(規程の改廃)

第5条 この規程の改廃は、学長の承認を得るものとする。

附 則 この規程は、平成21年9月17日に改定し、平成21年10月1日から施行する。

10. 学部五修生の大学院修士課程開設科目の履修及び大学院入学後の既修得単位の認定について

本大学院への入学を希望する学部5年次生の、大学院修士課程開設授業科目の受講を下記のとおり取り扱う。

(受講者の条件)

第1条 4年次までの成績が所属学科の3分の1以上で、かつ所属学科の学科長が推薦する者。ただし、この規定に関わらず、所属学科長が推薦し大学院研究科長が適当と認めた者は、受講者としてすることができる。

第2条 4年次までに卒業論文を提出し、成績優秀な者。ただし、この規定に関わらず、所属学科長が推薦し、大学院研究科長が適当と認めた者は受講者としてすることができる。

(単位の認定)

第3条 5年次に相当する期間において、大学院修士課程開設の科目を受講し、その科目の試験に合格した場合、所属学科の専門科目の単位として認定することができる。

(既修得単位の認定)

第4条 本大学院へ正式に入学した場合、第3条により修得した授業科目の単位のうち、10単位を超えない範囲で、大学院修士課程において修得したものとみなすことができる。

注：なお、成績優秀な者については、「大学院設置基準第16条」並びに「大学院学則第17条」を活用し、在学期間を短縮することができる。

附 則 この取り扱いについては、平成8年4月1日から施行する。

11. 大学3年次修了者の大学院修士課程及び博士前期課程の受験資格に関する規程

- 第1条 この規程は「学校教育法施行規則」の一部改正（大学院入学資格の一部改正）に準拠し、定めるものである。
- 第2条 文学研究科にあっては、次のとおり定める。
- 一) 3年次修了時の修得見込みを含め、全修得単位数は96単位以上であること、その成績の基準は平均80点以上とする。ただし、本学学生は他に文化講座6単位を加えるものとする。
 - 二) 第一号に示す単位の内、専攻しようとする分野の専攻科目を52単位以上修得していること、その成績の基準は平均80点以上とする。
- 第3条 生活機構研究科生活文化研究専攻、心理学専攻、福祉社会研究専攻、人間教育学専攻、および環境デザイン研究専攻にあっては、次のとおり定める。
- 一) 3年次修了時の修得見込みを含め、全修得単位数は96単位以上であること、その成績の基準は平均80点以上とする。ただし、本学学生は他に文化講座6単位を加えるものとする。
 - 二) 第一号に示す単位の内、専攻しようとする分野の専門科目を52単位以上修得していること、その成績の基準は平均80点以上とする。
- 第4条 生活機構研究科生活科学研究専攻にあっては、次のとおり定める。
- 一) 3年次修了時の修得見込みを含め、全修得単位数は105単位以上であること、その成績の基準は平均80点以上とする。ただし、本学学生は他に文化講座6単位を加えるものとする。
 - 二) 第一号に示す単位の内、専門科目は62単位以上とする、その成績の基準は平均80点以上とする。
- 第5条 この規程の改廃は、学長の承認を得るものとする。
- 附 則 この規程は、平成24年4月1日から一部変更する。

12. 昭和女子大学および昭和女子大学短期大学部間の単位互換に伴う「履修できる授業科目の範囲」(内規)

- 第1条 昭和女子大学学則第14条第2項に基づいて、昭和女子大学短期大学部（以下短期大学という）との単位の互換制度を協約する。
- 第2条 昭和女子大学の学部学生が、短期大学に開設してある授業科目を履修できる科目の範囲は次のとおりとする。
- 1 学部開設してある授業科目と同じ授業科目の履修は許可しない。ただし、同じ授業科目であっても内容が異なる場合は許可することがある。
 - 2 原則として、講義科目に限るものとする。（演習、実験、実習は許可しない）
 - 3 学年指定のある科目の場合履修学生の制限は当該学年を優先する。
 - 4 卒業要件の単位として履修できる単位は60単位までとする。
- 第3条 短期大学の学生が、昭和女子大学の学部開設してある授業科目を履修できる科目の範囲は次のとおりとする。
- 1 短期大学に開設してある授業科目と同じ授業科目の履修は許可しない。ただし、同じ授業科目であっても内容が異なる場合は許可することがある。その他は前条第2号、第3号に準ずる。
 - 2 卒業要件の単位として履修できる単位は30単位までとする。
- 附 則 この規定は平成12年4月1日から施行する。

13. 昭和女子大学大学院長期履修学生に関する取扱規程

(趣旨)

第1条 昭和女子大学大学院学則第38条の規程に基づき、長期にわたり計画的に教育課程を履修する者（以下「長期履修学生」という。）に関する取扱いについては、この規則の定めるところによる。

(資格)

第2条 長期履修学生として申請できる者は、入学試験に合格した者（以下「入学予定者」という。）及び在 student で職業等を有している等の事情のある者とする。

(所属)

第3条 長期履修学生の所属する学年は、当該学生の単位の修得状況及び研究計画に基づき、所属研究科が決める。

(授業料等)

第4条 長期履修学生の1学期分の授業料等の額は、標準修業年限（修士課程及び博士前期課程にあっては2年、博士後期課程にあっては3年）の場合の授業料等の1学期分の半額とする。ただし、すでに納入した授業料等の額が、長期履修学生の標準修業年限（修士課程及び博士前期課程にあっては4年、博士後期課程にあっては6年）の間に納入する授業料等の額に達した次学期以降については、次の表に定める在籍料および聴講料を納入する。

	修士 / 博士前期 / 博士後期	備考
在籍料	85,000 円	学期ごと納入
聴講料	30,000 円	1科目当りの単価。履修科目数に乗じて納入

2 長期履修学生がその修業年限を短縮して修了しようとするときは、標準修業年限（修士課程及び博士前期課程にあっては2年、博士後期課程にあっては3年）の間に納入する授業料等の額からすでに納入した授業料等の額を差し引いた額を納入するものとする。

3 在学中に授業料等が改定されたときは、改定時から新納入額を適用する。

(申請手続等)

第5条 長期履修学生として履修を希望する者は、次に掲げる書類を学長に提出しなければならない。

- (1) 長期履修学生申請書
- (2) 長期履修を希望する理由書
- (3) その他本学が必要と認める書類

2 申請書等の提出期限は、次のとおりとする。

- (1) 入学予定者は、入学手続時
- (2) 在 student で後期から長期履修学生を希望する場合は6月末日、前期から希望する場合は前年度の12月15日。ただし、修了年次での申請書等の提出期限は、4月入学者は、修了年度の6月末日、10月入学者は、修了前年度の12月15日とする。

(修業年限の変更等)

第6条 長期履修学生が修業年限を変更して修了しようとするときは、次に掲げる書類を、6月末日又は12月15日までに、学長に提出しなければならない。

- (1) 修業年限変更申請書
- (2) その他本学が必要と認める書類

2 期間の変更は学期単位とする。

(身分)

第7条 長期履修学生の身分に関する事項は、研究科教授会及び大学院委員会の議を経て学長が決める。

(規程の改廃)

第8条 この規程の改廃は、学長の承認を得るものとする。

(その他)

第9条 この規則に定めるほか、長期履修学生に関して必要な事項は、別に定める。

附 則 この規程は、平成21年9月17日に改定し、平成21年10月1日から施行する。

14. 昭和女子大学短期大学部長期履修学生に関する取扱規程

(趣旨)

- 第1条 昭和女子大学短期大学部学則第59条の規程に基づき、長期にわたり計画的に教育課程を履修する者（以下「長期履修学生」という。）に関する取扱いについては、この規則の定めるところによる。

(資格)

- 第2条 長期履修学生として申請できる者は、入学試験に合格した者（以下「入学予定者」という。）及び在学生で職業等を有している等の事情のある者とする。

(学科所属)

- 第3条 長期履修学生の所属する学年、クラスについては、当該学生の単位の修得状況及び履修計画に基づき、所属学科が決める。

(授業料等)

- 第4条 長期履修学生の1学期分の授業料等の額は、標準修業年限（2年）の場合の授業料等の1学期分の半額とする。ただし、すでに納入した授業料等の額が、長期履修学生の標準修業年限（4年）の間に納入する授業料等の額に達した次学期以降については、次の表に定める在籍料及び聴講料を納入する。

	昼間主	夜間主	備考
在籍料	85,000円	30,000円	学期ごと納入
聴講料	30,000円	30,000円	1科目当りの単価。履修科目数に乗じて納入

- 2 長期履修学生がその修業年限を短縮して卒業しようとするときは、長期履修学生の標準修業年限（4年）の間に納入する授業料等の額からすでに納入した授業料等の額を差し引いた額を納入するものとする。
- 3 在学中に授業料等が改定されたときは、改定時から新納入額を適用する。

(申請手続等)

- 第5条 長期履修学生として履修を希望する者は、次に掲げる書類を学長に提出しなければならない。

(1) 長期履修学生申請書

(2) 長期履修を希望する理由書

(3) その他本学が必要と認める書類

- 2 申請書等の提出期限は、次のとおりとする。

(1) 入学予定者は、入学手続時

(2) 在学生で、後期から長期履修学生を希望する場合は6月末日、前期から希望する場合は前年度の12月15日

(修業年限の変更等)

- 第6条 長期履修学生が修業年限を短縮して卒業しようとするときは、次に掲げる書類を、6月末日又は12月15日までに、学長に提出しなければならない。

(1) 修業年限短縮申請書

(2) その他本学が必要と認める書類

- 2 期間の変更は学期単位とする。

(身分)

- 第7条 長期履修学生の身分に関する事項は、部科長会の議を経て学長が決める。

(規程の改廃)

- 第8条 この規程の改廃は、学長の承認を得るものとする。

(その他)

- 第9条 この規程に定めるほか、長期履修学生に関して必要な事項は、別に定める。

- 附 則 この規程は、平成21年9月17日に改定し、平成21年10月1日から施行する。

15. 早期卒業の規程

第1条 (趣旨・目的)

この規程は、昭和女子大学学則第14条第9項の規定に基づき、昭和女子大学における早期卒業に関し必要な事項を定める。

第2条 (対象者)

本学に3年以上在学し、卒業に必要な単位を優秀な成績をもって修得したと認められる者を対象とする。ただし、次のものは該当しない。

- 1 編入学したもの
- 2 本学学則第14条第8項の適用を受けて入学したもの
- 3 再入学または学士入学、転入学した者で、本学入学前の在学期間に本内規の施行日前の期間が含まれているもの

第3条 (早期卒業の登録)

早期卒業を希望する者は、所属学科の学科長に申し出るものとする。

- 1 登録時期：2年次終了時
- 2 登録基準：卒業要件単位90単位以上かつ席次が当該学科学年の上位約5%以内の者
- 3 審査：登録の申出があったときは、学科の審議を経たうえ大学部局長会において前項の基準に基づき審査し、学長に報告する。

第4条 (学習指導)

- 1 学科は、早期卒業希望者の3年次学習指導について、適切に実施する。
- 2 希望登録した学生は、3年次から卒業論文指導を受けることができる。
- 3 学生は3年次前期終了時に学習状況報告書を所属学科学科長に提出する。

第5条 (早期卒業の認定)

卒業するためには次の要件をすべて満たさなければならない。

- 1 必要単位：130単位以上（卒業要件単位132単位から4年目文化講座2単位を免除）
- 2 成績：卒業要件単位の成績（平均点）の席次が当該学科学年の上位約5%以内
- 3 卒業論文：評価が優以上（必修の場合）

第6条 (卒業認定審査)

大学部局長会は前条の要件について審査のうえ、学長が認定する。

第7条 (卒業の時期)

早期卒業の時期は、3年終了時又は4年前期終了時とする。

第8条 この内規に定めるもののほか、早期卒業に関し必要な事項は、各学科において別に定めることができる。

第9条 (本学入学前の既修得単位を認定された者に関する特例)

第3条第2号及び第5条の規定にかかわらず、本学学則第14条第4項の適用を受けて、本学入学以前に修得した単位を30単位以上本学において修得したものと認められた者については、早期卒業の登録基準および早期卒業の認定要件を次のとおりとする。

登録基準：卒業要件単位120単位以上かつ平均点80点以上

早期卒業の認定

- 1 必要単位：130単位以上（卒業要件単位132単位から4年目文化講座2単位を免除）
- 2 成績：卒業要件単位の平均点が80点以上

なお、早期卒業の登録基準および卒業認定要件における成績は、学生の申請した既修得単位（2年次120単位および3年次130単位以上）で平均点を算出することができるものとする。

附 則 この内規は、平成16年4月入学者から適用する。

16. 転科規程

- 第1条 この規程は、昭和女子大学学則第40条、昭和女子大学短期大学部学則第33条に基づき、転科（異なる学部間で学科を転じる場合を含み、昭和女子大学と昭和女子大学短期大学部間で学科を転じる場合を除く。以下、同じ）の手続きについて定める。
- 第2条 転科を希望する学生の所属学科が認め、転科先の学科に余裕がある場合、選考のうえ転科を認める場合がある。
- 第3条 転科を希望する学生は次の基準を満たしている必要がある。
- (1) 一般入試で入学した者の場合、同じ年度の当該入学試験方式で転科先の学科の合格最低点以上の点数（補欠の繰上げの合格者の最低点を含む）をとっていること。所属する学科と転科先の学科の試験科目数、科目の種類が異なっている場合は、100点満点に換算した点数を利用する。
 - (2) 推薦入学およびAO入試で入学した者の場合、同じ年度の転科先の学科の出願基準を満たしていること。
- 第4条 転科に必要な書類は、次のとおりとする。
- 転科を希望する学生が、所属学科に提出するもの。
- (1) 転科希望の理由を記載した保証人連署の転科願
 - (2) 転科先の学科での勉学の目的を記述した書類
転科を希望する学生の所属学科は、転科先の学科に（1）、（2）に加えて、次の書類を提出する。
 - (3) 成績証明書
 - (4) クラスアドバイザーの添書（学科長、学部長の認印を押印したもの）
 - (5) その他、転科先の学科が必要とする書類
- 第5条 転科を希望する学生の所属学科は、学部長をとおして転科先の学科へ、第4条に定めた書類を提出する。
- 第6条 転科先の学科は、次のとおり選考を行う。
- (1) 面接
 - (2) 書類審査
- 2 第3条（2）号に該当する場合、それぞれの入試で行った筆記試験もしくは実技試験と同等の試験を行うことがある。
 - 3 その他必要に応じて、筆記試験及び実技試験等を行うことがある。
- 第7条 学科による選考結果は、転科先の学部長の了承を得た後、大学部局長会の議を経て決定する。
- 第8条 転科の時期は学期の始めとし、転科する前の学期中に選考を終了していなければならない。
- 第9条 この規程の改廃は、教務部委員会で協議のうえ、大学部局長会の議を経て決定する。
- 附 則 この規程は、平成17年12月8日から施行する。

17. 再入学選考内規

- 第1条 この内規は、昭和女子大学学則第42条及び昭和女子大学短期大学部学則第35条に基づき再入学の選考について定める。
- 第2条 次のすべての条件に該当する場合、選考のうえ再入学を認める場合がある。
- (1) 該当学科が受け入れ可能であること。
 - (2) 健康上の理由、経済的理由など正当な理由で退学した者であること。
 - (3) 再入学時には退学理由となる事由が解消されていること。
- 第3条 再入学希望者は、学科の事前相談を受けたうえで、再入学する学期の2か月前までに、次の書類を提出しなければならない。
- (1) 退学した理由とその経緯、現在、その理由となる事由が解消されていることを記載した書類。
 - (2) 再入学の目的を含めた入学後の計画などを記述した書類。
 - (3) その他、該当学科が必要とする書類。
- 第4条 該当学科は、次のとおり選考を行い、退学前の既修得単位数と学力を勘案して、再入学する学年を決める。
- (1) 筆記試験
 - (2) 面接
 - (3) 書類審査
- 第5条 学科による選考結果は、学部長の了承を得た後、大学部局長会の議を経て決定する。
- 第6条 この内規の改廃は、教務部委員会で協議のうえ、大学部局長会の議を経て決定する。
- 附 則 この内規は、平成17年12月8日から施行する。

18. 認定留学に関する内規

(趣旨)

第1条 この内規は、昭和女子大学学則第39条並びに昭和女子大学短期大学部学則第32条に基づき、昭和女子大学並びに昭和女子大学短期大学部（以下「本学」という）学生の認定留学に関し、必要な事項を定める。

(認定留学の定義)

第2条 この内規における認定留学とは、研修期間の在籍を休学とせず、本学の修業年限に算入する留学とする。

2 SAF (The Study Abroad Foundation) を通じて SAF 協定大学に留学する場合は認定留学とみなし、これを SAF 認定留学と言う。

3 SAF 認定留学を「語学強化プログラム」及び「授業履修プログラム（ブリッジプログラムを含む）」の2種に分類する。

(認定留学の期間)

第3条 認定留学の期間は、1期又は2期とする。ただし、五修生については、本学に正式に入学した後の学期のうち4期までとする。

2 認定留学の期間は、2期（五修生については4期）を限度として修業年限に算入する。ただし、SAF 認定留学については、2期目は「授業履修プログラム（ブリッジプログラムを含む）」に入学した場合のみ認める。

(認定留学の対象機関・団体)

第4条 認定留学の対象となる機関・団体は、本学の交流協定締結校及び海外交流専門委員会が推薦し学長が認めた教育機関・団体とする。

(認定留学者の資格)

第5条 認定留学を志望する者は、心身共に健康で明確な目的を持ち、かつ、留学先教育機関・団体が指定する要件を充たさなければならない。

2 英語コミュニケーション学科及び国際学科の学生が SAF 認定留学を希望する場合は、原則としてボストン昭和女子大学で1期以上の研修を終了することを条件とする。ただし、別に定める基準を満たし、本学が認める場合は、この限りではない。

3 前第2項の2学科以外の学生の SAF 認定留学は、ボストン昭和女子大学における研修を条件としない。ただし、SAF 認定留学出願時に、別に定める基準以上の語学力を有すると本学が認めた場合に限る。

(認定留学申請手続)

第6条 認定留学を志望する者は、留学前に次の書類を所属学科から海外交流専門委員会を経由し、学長に提出しなければならない。

(1) 認定留学願（本学所定用紙）

(2) 成績証明書の写し

(3) その他海外交流専門委員会が必要とする書類

(選考方法)

第7条 留学者の選考方法は、面接及び書類審査とする。ただし、必要に応じ、筆記試験を課すこともある。

2 認定留學生の選考は、所属学科の推薦に基づき海外交流専門委員会が行う。

(認定留学の許可)

第8条 認定留学の許可は、海外交流専門委員会の選考結果に基づき、大学部局長会の議を経て、学長が行う。

(認定留学の変更)

第9条 やむを得ない事情で認定留学の内容の変更を希望する者は、すみやかに認定留学変更願を学長に提出しなければならない。

2 前項の認定留学変更願は、認定留学期間延長願、認定留学中止・中断願の2種にわけるとする。

3 認定留学変更の許可は、海外交流専門委員会で審査の上、大学部局長会の議を経て、学長が行う。ただし、認定留学の中止又は中断が許可された場合は、当該学生の認定留学は取り消されるものとする。

(認定留学修了手続)

第10条 認定留学を修了した者は、すみやかに、次の書類を所属学科及び海外交流専門委員会を経由し、学長に提出しなければならない。

(1) 認定留学修了届

- (2) 単位認定願
 - (3) 留学先教育機関・団体が発行する履修科目の成績証明書又はこれに準ずるもの（成績評価基準を示す文書を含む）
 - (4) 留学先教育機関・団体が発行する履修科目の時間数又は単位数を証明する書類
 - (5) その他海外交流専門委員会が必要とする書類
- （修得単位の認定）

第 11 条 認定留学期間中に修得した授業科目の単位は、大学部局長会の議を経て、学長が、本学において修得したものと認定する。

- 2 認定する単位は、留学期間にかかわらず 30 単位（五修生については 60 単位）を上限とする。
- （認定留学許可の取消）

第 12 条 認定留学中の者が次の各号のいずれかに該当する場合は、所属学科及び海外交流専門委員会の報告に基づき大学部局長会の議を経て、学長が認定留学の身分を取り消す。また、学則に基づき処分することもある。

- (1) 許可なく留学を中止又は中断した時
- (2) 留学中に学生の本分に反したとき
- (3) その他学長が認定留学の身分を取り消す必要があると判断したとき

- 2 取り消しとなった場合の処置については、所属学科の提案に基づき、海外交流専門委員会で審査の上、大学部局長会の議を経て、学長の承認を得るものとする。

（認定留学中に関わる学納金の取り扱い）

第 13 条 認定留学中の本学の学納金の金額及び納入期限は別に定める。

- 2 本内規第 9 条 3 項及び 12 条に基づき認定留学が取り消しとなった学生は、免除されていた学納金を、指定された納入期限までに納付するものとする。

（認定留学中の文化講座及び学寮研修）

第 14 条 認定留学を認められた者の文化研究講座及び女性教養講座の扱いについては別に定める。

- 2 認定留学中に学寮研修が行われた場合は、これを免除とする。

（内規の改廃）

第 15 条 この内規の改廃は、学長の承認を得るものとする。

附 則 この内規は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

この内規は、平成 22 年 1 月 28 日に改定し、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。（SAF 認定留学に関する規定の追加及び内規改廃の条文追加）

この内規は、平成 23 年 1 月 27 日に改定し、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。（認定留学の期間に関する規定の 5 修生の追加）

この内規は、平成 24 年 1 月 26 日に改定し、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。（認定留学の変更に関する規定及びその他の規定の改定）

19. 昭和女子大学留学プログラム参加学生の帰国取扱いに関する内規

(目的)

第1条 この内規は、昭和女子大学並びに昭和女子大学短期大学部（以下本学）の留学プログラムに参加する本学の学生（以下「派遣留学生」という）の留学期間中の帰国の取扱いにつき定める。

(留学先からの帰国)

第2条 本学は、次に定める場合には、第3条の手續に従い派遣留学生を帰国させることができる。

- (1) 派遣留学生が、留学先の機関・大学の規則、または留学先の機関・大学が所在する国（地域）の法令に違反した場合
- (2) 健康上の理由により、派遣留学生が留学先で勉学を継続することが困難であると、本学が判断した場合
- (3) 派遣留学生の生活態度により、他の学生の勉学に支障が生じると、本学が判断した場合
- (4) 派遣留学生から家庭の事情その他の事由により留学中断の願があった場合
- (5) その他、本学が帰国させることが適当と判断した場合

(帰国決定手續き)

第3条 派遣留学生が所属する学科は、留学先の機関・大学と緊密な協議を行い、派遣留学生を帰国させるに妥当な事由があると判断した場合には、学部長の承認を得て、海外交流専門委員会にて協議した後、大学部局長会の議を経て学長の承認を得るものとする。ただし、健康上の理由その他により、緊急に帰国させる必要がある場合は、当該学科長は、学長と協議の上、派遣留学生を帰国させることができる。この場合は、できるだけ早い機会に、当該派遣留学生の帰国につき、大学部局長会で、また必要に応じ海外交流専門委員会で報告する。

(派遣先の大学・機関による帰国決定)

第4条 重大な法令違反、または重大な校則違反などにより、派遣先の大学・機関が派遣留学生の退学、本国帰還を決定した場合には、派遣留学生が所属する学科は、帰国の状況を学部長に報告し、学部長はこれを大学部局長会、学長に報告する。

(認定留学の取消)

第5条 第3条又は第4条に定める帰国決定がなされた場合、認定留学による派遣留学生については、認定留学に関する内規の定める手續によりその認定留学の身分を取り消すことができるものとする。

(帰国後の取扱)

第6条 派遣留学生が所属する学科は、派遣留学生が帰国後本学で勉学を継続できるように努めるものとする。

(留学費用)

第7条 帰国した派遣留学生については、本学に納入した留学または研修に係る費用は原則返還しない。ただし、留学先の機関・大学の規則等により、返還されるものはこの限りでない。

- 2 医療費、航空券変更料等追加発生する派遣留学生に係る費用については、当該派遣留学生の負担とする。

(庶務)

第8条 派遣留学生の帰国手續きその他の庶務は、当該派遣留学生の所属学科が他部署との連絡を取りながら主として処理する。

(内規の改廃)

第9条 この内規の改廃は、学長の承認を得るものとする。

附 則 この内規は、平成22年10月28日から施行する。

この内規は、平成24年1月26日に改定し、平成24年4月1日から施行する。

(帰国事由に関する規定の追加及びその他の規定の改定)

20. 教職課程履修に関する内規

(目的)

第1条 この内規は、資質の高い教育職員の養成を目的とし、教職課程の履修に関し、必要な事項について定める。

(教育実習の履修条件)

第2条 教育実習を履修することのできる者は、次のとおりとする。

- (1) 将来、教職に就くことに関して確固とした志望のある者。
- (2) 第3年次終了までに教職に関する科目（教職概論、教育原理、教育心理学、教育課程論、教科教育法、教育行政学・教育法規、教育方法論）を履修し終わった者。
- (3) 第2年次終了までに履修登録した所属学科の専門教育科目に69点以下（可・不可・失格・不受験・不認定）が5科目以内の者。かつ全履修科目の平均点が70点以上の者。
- (4) 前2号、3号の規定にかかわらず、当該学科の科会議ならびに教職に関する科目担当者が適当と認め、学部長が承認した者。
- (5) 初等教育学科の学生については、前2号、3号は別途学科において定める。

2 栄養教育実習を履修することのできる者は、次のとおりとする。

- (1) 将来、教職に就くことに関して確固とした志望のある者。
- (2) 第3年次終了までに教職に関する科目（教職概論、教育原理、教育心理学、教育課程論、教育行政学・教育制度論、教育方法論）を履修し終わった者。
- (3) 第2年次終了までに履修登録した所属学科の専門教育科目に69点以下（可・不可・失格・不受験・不認定）が5科目以内の者。かつ全履修科目の平均点が70点以上の者。
- (4) 前2号、3号の規定にかかわらず、当該学科の科会議ならびに教職に関する科目担当者が適当と認め、学部長が承認した者。

3 科目等履修生の教育実習（栄養教育実習を含む）は、次のとおりとする。

- (1) 原則として本学卒業生で、教職に就くことに関して確固とした志望のある者。
- (2) 原則として、学部時の成績が、専門教育科目のうち可（点数評価の場合は69点以下）が10科目以内の者。（短期大学出身者においては、8科目以内）。
- (3) 人物等について実習受入学科及び教職に関する科目担当者が適当と認め、学長が承認した者。

(教育実習校の選定)

第3条 教育実習は、第4年次に全国公私立の高等学校、中学校、中等教育学校、小学校及び幼稚園の協力を得て行う。原則として、授与を受けようとする普通免許状に係る学校で行うものとし、栄養教育実習は、給食提供のある小学校もしくは中学校で行うものとする。

(実習実施期間)

第4条 教育実習の実施期間は、継続した4週間とする。ただし、中学校、高等学校及び中等教育学校においては実習校及び実習校を所管する都道府県の実習委員会の指示により、3週間（15日間）とする場合がある。

2 栄養教育実習の実施期間は、給食提供のある6日間とする。

3 初等教育学科の実習実施期間は、別途学科において定める。

(実習の実施にともなう正規授業との関係)

第5条 教育実習期間中の授業等の欠席の取り扱いは、次のとおりとする。

- (1) 教育実習期間中の欠席は、公欠とする。
- (2) 実習のため帰郷を必要とする場合、その往復日数の欠席についても公欠とする。
- (3) 事前打ち合わせ（就任挨拶も含む）ならびに、離任挨拶のための欠席は、両者を含めてその所要日数の2日間以内を公欠とすることもできる。

(教育実習の指導について)

第6条 教育実習の指導は、実習を行う学生の所属学科専任の教授、准教授または講師が担当する。

2 実習校への指導出張の分担は、当該学科長の指名または、所属学科教員で協議の上、決定するものとする。

3 <省 略>

(教職課程費について)

第7条 教職課程を履修する者は、教職課程費を納入しなければならない。

2 教職課程費は、次の2期に分納するものとし、大学が教職課程履修学生を対象に配布する本学指定の銀

行振込用紙により納入する。ただし、介護等体験を行わない者は第2期のみを納入する。

第1期：第2年次（一律15,000円）

第2期：第4年次（学校種・教科等により異なるが、15,000円～75,000円）

- 3 教職課程を途中で辞退した場合であっても、一旦納入した教職課程費は返金しない。

（実習校への事務手続について）

第8条 教育実習を行う者は、次の手順に従い手続きを行わなければならない。

- (1) 各学部3年次生の実習該当者は、事務連絡会で配布される教育実習内諾依頼用紙、教育実習内定届用紙を受領する。
- (2) 配布を受けた学生は「教育実習内諾依頼用紙」に必要事項を記入し、各自が直接、実習校と折衝するものとする。
- (3) 上記手続きの上、内諾を受けた学生は「教育実習内定届用紙」に必要事項を記入し、すみやかにクラスアドバイザーならびに教育支援センター教務担当に提出し、大学から実習前年度中に内諾校へ公文依頼状を発送する。
- (4) 教育実習内定届提出後、教育実習を放棄することは原則として認められない。

- 2 初等教育学科の手続きについては、別途学科において行う。

（介護等体験について）

第9条 小学校及び中学校の教育職員免許状の取得を希望する学生は、最低7日間の介護等体験を実施しなければならない。

- 2 体験は、原則として第2年次に行う。

- 3 体験期間は、社会福祉施設で5日間、及び特別支援学校で2日間とする。また、原則として体験を行う年度に「介護等体験の指導」（教職に関する科目）の授業を必ず履修する。

（教育職員免許状の申請）

第10条 教育職員免許状は、本人が居住地の都道府県教育委員会に授与の申請をするものだが、本学では3月の卒業時に免許状を必要とする学生のために、大学が取りまとめをして東京都教育委員会へ一括申請を行っている。この場合、免許状は卒業式当日に授与する。

- 2 東京都教育委員会に一括申請することのできる者は、次のとおりとする。

- (1) 必要な教職に関する科目の単位を全て修得した者。
- (2) 3年次及び4年次前期までに履修した専門教育科目に69点以下（可・不可・失格・不受験・不認定）が5科目以内の者。
- (3) 3年次及び4年次前期までの全履修科目の平均点が72点以上である者。
- (4) 前2号、3号の規定にかかわらず、当該学科の科会議において教員としての資格が適当と認められ、学長が承認した者。

（規程の改廃）

第11条 この規程の改廃は、学長の承認を得るものとする。

附 則 本規程は、昭和48年6月16日から施行する。

本規程は、昭和51年6月16日から施行する。

本規程は、昭和53年10月20日から施行する。

本規程は、昭和53年11月8日から施行する。

本規程は、平成8年4月1日から施行する。（第2条3項 科目等履修生の教育実習履修について追加）

本規程は、平成10年4月1日から施行する。（第9条介護等体験についての追加及び第7条教職課程費の改定）

本規程は、平成15年4月1日から施行する。（第9条3項 介護等体験の授業受講について追加）

本規程は、平成16年4月1日から施行する。（第7条 教職課程費の改定）

本規程は、平成17年4月1日から施行する。（第4条2項 栄養教育実習の追加）

本規程は、平成21年1月14日に改定し、平成22年4月1日から施行する。（条文の改訂、第2条1項の一部、第4条3項、第8条2項を追加）

本内規は、平成24年4月1日から施行する。（条文の改訂、第2条1項2項3項の一部、第10条2項の一部、第2条1項2項3項の一部削除）

21. 生活科学部環境デザイン学科 建築・インテリアデザインコース と生活機構研究科環境デザイン研究専攻 建築環境系研究コース の6年制課程に関する規程

- (趣旨)
- 第1条 生活科学部環境デザイン学科建築・インテリアデザインコースと大学院生活機構研究科環境デザイン研究専攻建築環境系研究コースは、国際的な認証に耐え得る建築家の養成を目的とし、4年間の大学教育に2年間の大学院の研究を加えて6年制課程を実施する。この規程は、その6年制課程に関し、必要な事項を定める。
- (仮登録)
- 第2条 6年制課程の履修を希望する者は、2年次前期（5修生は正規学生1年目）に大学が定める履修登録期限日までに所属学科長宛に所定の仮登録願により履修を申し出て、仮登録を行う。
- (本登録)
- 第3条 前条により仮登録した者は、4年次前期に大学院が実施する6年制進学考査に所属学科長の推薦により願い出て、進学が許可された場合、所定の本登録願を所属学科長宛に提出し、本登録を行う。大学が定める期限日までに登録料を納入する。
- (卒業及び修了要件)
- 第4条 6年制課程を修了するためには、4年次までに卒業要件を満たし、さらに修士課程2年次までに修了要件を満たすこととする。
- (6年制課程履修の辞退)
- 第5条 第3条により本登録をした者が大学院進学を辞退し4年次で卒業する場合、大学が定める卒業論文提出日までに所定の辞退願を所属学科長宛に提出しなければならない。ただし、大学を卒業するためには、卒業要件を満たすこととする。
- (単位の認定)
- 第6条 環境デザイン学科4年次に環境デザイン研究専攻開設の科目を受講し、その科目の試験に合格した場合、環境デザイン学科の専門科目の単位として認定することができる。
- (既修得単位の認定)
- 第7条 環境デザイン研究専攻へ正式に入学した場合、第6条により修得した授業科目の単位のうち、10単位を超えない範囲で、環境デザイン研究専攻において修得したものとみなすことができる。
- (早期卒業者の取り扱い)
- 第8条 本学が定める早期卒業の規程を満たし、環境デザイン学科を卒業した者は、早期卒業後2年間の大学院の研究を行うことで6年制課程を満たすことができる。
- 2 早期卒業の規程により、早期卒業の登録を認められた者は、第3条に規定する進学考査を3年次前期に受験することができるものとする。
- (規程の改廃)
- 第9条 この規程の改廃は、学長の承認を得るものとする。
- 附 則 この規程は、平成18年4月1日から施行する。

22. 昭和女子大学学友会規約

第1章 総則

- 第1条 本会は、昭和女子大学学友会と称し、本部を大学内に置く。
- 第2条 本会は、昭和女子大学および昭和女子大学短期大学部の全学生を以って会員とする。
- 第3条 本会員は、所属クラス会に出席する権利及び義務があり、その他の会議には、傍聴者として出席し、議長承認を得て発言することができる。
- 第4条 本会は、昭和女子大学の建学の精神に則り、学生の自治活動により大学と協力しながら学生相互の研学・修徳・親和をはかり、併せて学生の総意を反映・実現し学園生活の向上発展に資することを目的とする。
- 第5条 本会に会長、副会長を置き、学生の中から選出された代表者が、これにあたる。
- 第6条 本会におけるクラス学生総会及び各委員会に、学生部長および学生部委員を顧問とする。
- 第7条 この規約を変更するには、クラス学生総会の議決を経て、同数の教職員（学長、副学長、学生部長および次長）と会長、副会長を含む代表委員会の委員とで構成された学生問題協議会の承認を必要とする。

第2章 組織および運営

- 第8条 本会は、クラスを代表するクラス委員を通じ、本学の全学生が本会活動に参加しその意思を反映させるクラス代議制をとることとし、次に掲げる委員会等から組織する。

第1節 クラス学生総会

- 第9条 クラス学生総会は、本会の最高決議機関とし、各クラスで選出されるクラス委員及び第2節に定める代表委員会の委員により構成される。
- 第10条 クラス学生総会は、下記の重要事項を決定する。
- 1 代表委員会から提案された事項
 - 2 予算及び決算
 - 3 規約案及び同改定案
 - 4 会長、副会長その他執行委員の選出
- 第11条 クラス学生総会には、下記の役員を置き、クラス学生総会ごとに選出する。
- 1 議長 1名 クラス学生総会を代表し、議事を整理し、会務を統括する。
 - 2 副議長 2名 議長を補佐し、議長に事故ある時は、その任務を代行する。
 - 3 書記 2名 議事録の作成、保管を行う。
- 第12条 クラス学生総会を分けて、定例総会と臨時総会とする。
- 1 定例総会は、前期・後期各2回これを開く。
 - 2 臨時総会は次の場合開くものとする。
 - (1) 代表委員会が必要と認めた場合
 - (2) クラス学生総会の全委員の3分の1以上の要請があった場合
- 第13条 クラス学生総会は、会長がこれを召集する。
- 第14条 クラス学生総会の開会及び議事内容は7日前に、または緊急の場合であっても、1日前までにこれを公示しなければならない。
- 第15条 クラス学生総会は以下の場合成立する。
- 1 クラス学生総会の全委員の3分の2以上の出席があった場合
 - 2 議題についての有効投票数がクラス学生総会の全委員の3分の2以上あった場合
- 第16条 クラス学生総会の議決は以下のとおりとする。
- 1 前条第1項の場合出席者の過半数
 - 2 前条第2項の場合有効投票数の過半数
- ただし、規約改定の場合のみ3分の2以上とする。
- 第17条 クラス学生総会の委員は1人1議決権（票）を有し、止むを得ない事情がある場合は、委任状によることができる。

第2節 代表委員会

第18条 代表委員会は、下記の事項を行う。

- 1 クラス学生総会で議決した事項
- 2 クラス学生総会への提案
- 3 各機関との連絡と調整に関する事項
- 4 その他全学生に対する公示、報告、調査等執行機関としての任務に関する事項

第19条 代表委員会は、次の執行部委員及び第3節に定める各種委員会委員長及び副委員長（ただし総務委員会委員は全員）からなる。

- 1 会長 1名 代表委員会を代表し、これを統括する。
- 2 副会長 2名 会長を補佐し、会長に事故ある時は、その任務を代行する。
- 3 書記 2名 議事録の作成、保管を行う。
- 4 会計担当 2名
- 5 企画広報担当 2名

第20条 会長・副会長その他執行部委員の任期は1年とする。ただし重任を妨げない。なお欠員が生じた場合は補欠選挙を行い、補欠者の任期は前任者の残任期間とする。執行部委員新旧交代にあたっては、その業務の重要性に鑑み、3か月を目途として引継ぎ期間を置く。

第21条 会長・副会長その他の執行部委員に立候補する者は、代表委員会に申し出るものとし、代表委員会はこれに基づき候補者を取り纏め、クラス学生総会にて選出する。会長、副会長は、この規約に定めるいずれかの委員会で1年以上の経験を有することが望ましい。

第22条 代表委員会は、必要に応じ、会長の召集によって随時開くものとする。

第3節 各種委員会

第23条 代表委員会の下部機関として、次の委員会を置く。

- 1 クラス委員会
 - (1) クラス員相互の協力と調和をはかり、クラスアドバイザーとの連携を密にして、クラスの向上と生活目標を達成するため、協議を行う。
 - (2) クラスの代表であるクラス委員で構成される。各クラス委員は、クラス全体の意見を聴取・取纏め、これをクラス委員会その他各種委員会、代表委員会、クラス学生総会に反映させるように、またこれら委員会の決議、提案をクラスにて周知徹底、理解してもらうように努めるものとする。
 - (3) クラス委員会の中に次の委員会を置く。
 - ①総務委員会
学生の日常生活指導の検討、学生生活全般の向上、推進に努める。
 - ②学報委員会
月刊「昭和学報」の企画、取材、原稿収集、編集などを担当し、学報の発行に従事する。
 - ③ボランティア委員会
誰もが人間らしく豊かに暮らしていける学生生活を目指し、自らが身近なところでできる活動を推進する。
 - ④エコロジー委員会
学生一人ひとりが地球環境に何ができるかを考え、学園の環境保全活動と連携し活動する。

- 2 クラブ連合委員会
クラブ連合委員会は文化系クラブ・サークル、体育系クラブ・サークルを統括する。

- 3 秋桜祭実行委員会
秋桜祭実行委員会は、学園祭を企画、運営する。

- 4 その他必要に応じ都度設置される新たな委員会

第24条 前条の各委員会には、学生有志が参加できるものとする。

第25条 第23条の各委員会の組織構成、運営その他詳細については、別に定める。

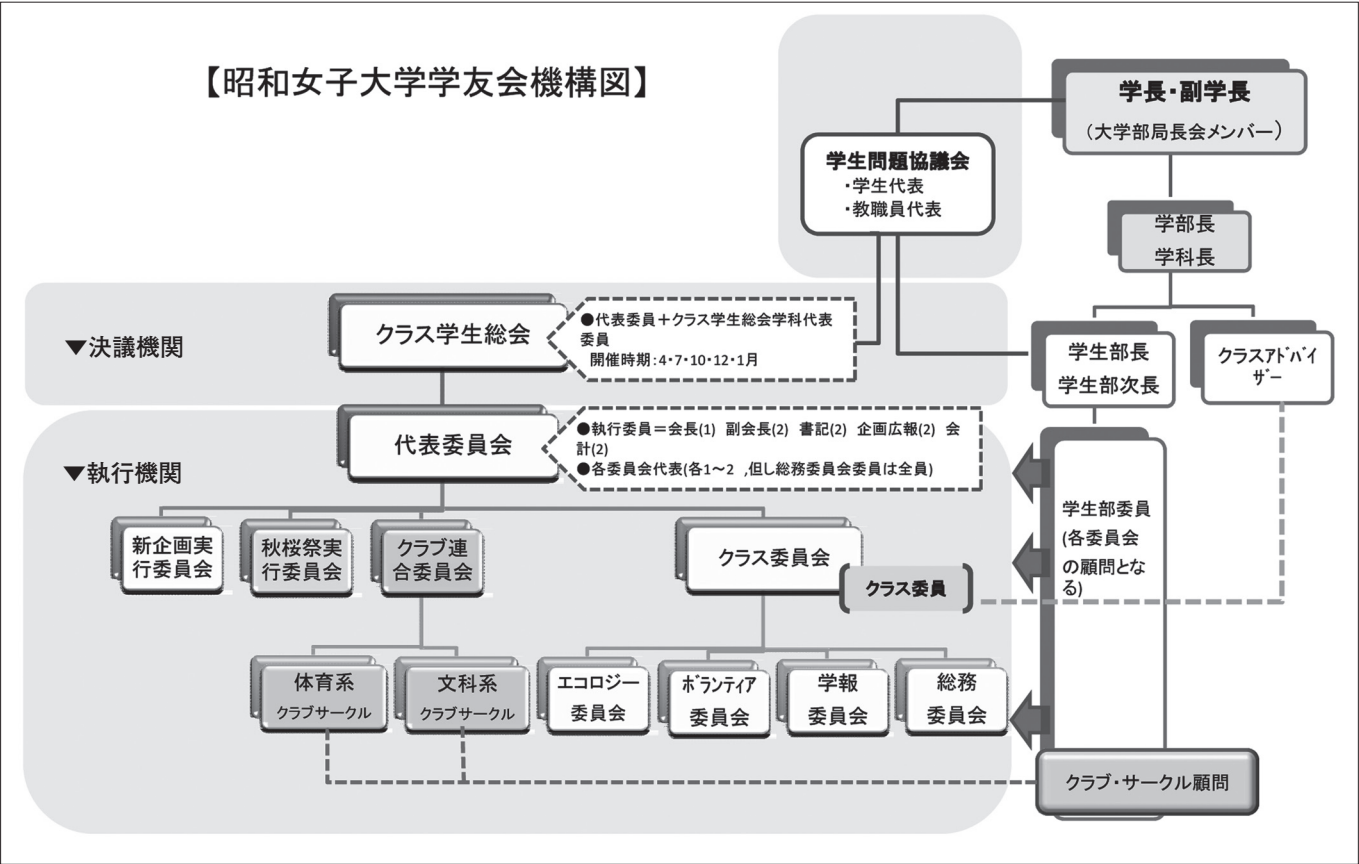
第3章 会計

第26条 本会の経費は会員の納付する会費、その他の収入をもってこれに充てる。会費の増減が必要な場合には、クラス学生総会及び学生問題協議会の議決を得なければならない。

- 第 27 条 本会の会計は、代表委員会が管理の責任を負い、会計事務は教育支援センターに委託する。
- 第 28 条 会員は会費を授業料納入と同時に納入しなければならない。
- 第 29 条 本会の会計年度は毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月末日に終わる。
- 第 30 条 予算の決定はクラス学生総会の議決を得て、これを学生問題協議会に報告するものとする。
- 第 31 条 代表委員会は、会計年度終了後、クラス学生総会において、決算の承認を得なければならない。

第 4 章 通 則

- 第 32 条 クラス学生総会の議決事項は、公示によりその効果を発する。
- 第 33 条 本会のすべての会議は公開を建前とし、会員に限り議長の許可を得て傍聴することができる。
- 第 34 条 この規約に規定する各機関の役員または委員の不信任による解任は次の場合に成立する。
- 1 役員、委員の選出母体の構成員の 3 分の 1 以上の要請があり、その構成員の 3 分の 2 以上の同意があった場合
 - 2 役員、委員を選出した機関の会議で不信任の動機が 2 分の 1 以上の支持でとり上げられ、3 分の 2 以上の賛成を以て議決された場合
- 第 35 条 本会及び大学のいずれかが必要と認めた場合には、学生問題協議会にて協議をすることができる。
- 附 則 この規約は平成 21 年 4 月 1 日に施行する。



23. 学友会クラス委員規約細則

第1章 総則

- 第1条 学生生活の充実向上と学園生活の円滑化をはかるために、クラスごとに代表2名をおき、クラス委員とする。
- 第2条 クラス委員は、クラス員相互の協力と調和をはかり、クラスアドバイザーとの連携を密にして、クラスの向上と生活目標を達成するため、協議を行う。
- 第3条 クラス委員は、クラス全体の意見を聴取、取纏め、これをクラス委員会その他各種委員会、代表委員会、クラス学生総会に反映させるように、またこれら委員会の決議、提案をクラスにて周知徹底、理解してもらうように努めるものとする。
- 第4条 クラス委員は、学生部長が主催するクラス委員会に参加し、その決定事項についてはクラス全員に正確に連絡する。また、学科・学年ごとのクラス委員会に出席して、他のクラス委員との連携を密にし、共通理解にたつて問題の処理にあたる。

第2章 選出方法・任命

- 第5条 クラス委員の選挙は、クラス員の意思が公平に反映されるように、複式選挙の方法による。
- 第6条 複式選挙の方法では、選出するクラス委員2名を連記して第1次選挙を行い、即時開票、得点順に定員の倍数の4名の候補者を決め、その4名について再び2名連記で投票し、上位2名を当選者として決める。
- 第7条 選挙は、原則として年度はじめに行う。
- 第8条 クラス委員の任期は1年とし、重任することができる。

第3章 任務

- 第9条 クラス員相互の協力と親和をはかり、クラスアドバイザーとの連絡を密にしてクラスの向上と生活目標の達成に努める。
- 第10条 使用教室や備品の清潔整頓に努める。
- 第11条 クラス委員会およびクラス学生総会に参加して、協議事項等についてクラスのメンバーに連絡を反映し生活の充実と向上に努める。
- 第12条 クラスアドバイザーの行う校務の補助に当たる。
- (1) 大学からの伝達、クラスアドバイザーおよび関係指導者からの連絡や指示事項の周知徹底
 - (2) 研修学寮の企画・運営

第4章 クラス委員会の組織

- 第13条 学園生活の向上発展、学生中心の諸行事の円滑化をはかるため、クラス委員会の中に総務委員会、学報委員会、ボランティア委員会、エコロジー委員会を置く。
- 各種委員会は、各学科1名によって構成し、委員長1名、副委員長1名を置く。委員会の任務、任期等は次のとおり。
- 1 総務委員会
 - イ. 学生の日常生活指導の検討、学生生活全般の向上、推進に努める。
 - ロ. 各学科の代表で構成し、任期は1年とし、重任することができる。
 - ハ. 委員会の正・副委員長は、クラス委員会の正・副議長となり、クラス委員会の運営、進行に当たる。
 - ニ. 総務委員は、代表委員会の委員として任務に当たる。
 - 2 学報委員会
 - イ. 月刊「昭和学報」の企画、取材、原稿収集、編集などを担当し、学報の発行に従事する。
 - ロ. 各学科の代表と、学報作成に関心のある有志の学生で構成される。任期は1年とし、重任することができる。
 - 3 ボランティア委員会
 - イ. 誰もが人間らしく豊かに暮らしていける学園生活を目指し、自らが身近なところでできる活動を推進する。

ロ. 各学科の代表と、ボランティアに関心のある有志の学生で構成される。任期は1年とし、重任することができる。

ハ. コミュニティ・サービス・ラーニングセンター及び世田谷ボランティア協会他と協力し、活動をする。

4 エコロジー委員会

イ. 学生一人一人が地球環境の保全に何ができるかを考え、学園の環境保全活動と連携し活動する。

ロ. 各学科の代表と、環境保全に関心のある有志で構成される。任期は1年とし、重任することができる。

2 各委員会に顧問を置く。顧問は学生部委員があたる。

附 則 この規約細則は平成21年4月1日から実施する。

24. 学生問題協議会規程

- 第1条 この会は、学生問題協議会と称する。
- 第2条 この会は、本学の学生生活に関する重要事項について、教職員及び学生相互間の協力関係を緊密ならしむることを目的とする。
- 第3条 この会は、学長が委嘱する教職員及び学生の代表者たる委員各6人で構成する。
- 第4条 委員の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。委員の在任中に解任のあったときは、その任期は前任者の残任期間とする。
- 第5条 この会に委員長1人及び副委員長1人を置く。委員長は、教職員委員の互選によって選出し本会を代表する。副委員長は、学生委員の互選によって選出し委員長を補佐する。
- 第6条 協議会は、委員長及び副委員長が共に必要と認めたとき、又は過半数の委員から要請があったとき随時開催する。協議会の成立は、全委員の参加を必要とする。ただし、委任状の行使については、教職員及び学生のいずれも委員数の3分の1を超えてはならない。
- 第7条 協議会の議長は、委員長が当たる。協議会の議事は全員の賛成によって決するものとする。ただし、やむを得ないときは、委員数の過半数をもって決することができる。
- 2 前項ただし書の場合においては、教職員及び学生双方の委員の過半数が共に賛成することが必要である。
- 第8条 この規程の改廃は、学長の承認を得るものとする。
- 附 則 この規程は、平成21年9月17日に改定し、平成21年10月1日から施行する。

25. 学生団体に関する規約

(目的)

第1条 本学の学生が組織する学生団体（以下団体という）は、本規約の定めるところにより公認され、活動するものとする。

2 本学が公認した団体以外の団体の学内での活動は認めない。

(公認団体)

第2条 本学が公認する団体は次のとおりである。

(1) クラス委員会

(2) 学友会クラス委員会内に設置される委員会

(3) 学友会

(4) 学友会内に設置される機関

(5) 「クラブ・サークルに関する規程」に基づいて設立されるクラブ・サークル

(6) 秋桜祭実行委員会

(7) その他、学生の申請により本学が認める団体

(構成員)

第3条 本学が公認する団体は、原則として本学の学生のみを構成員とした団体に限る。

2 本学が公認する団体は、必ず本学の専任教員を顧問としなければならない。

(団体設立許可手続き)

第4条 団体を設立するには、学生部長を経由して学長の許可を得なければならない。

2 学生による新たな団体の設立申請は、「クラブ・サークルに関する規程」に準拠して行う。

3 団体が本規程に反する場合には、学長は本条第1項の許可を取消することができる。

(活動)

第5条 団体が、学内・学外の活動をする際には、学生部長を経由して学長の許可を得るものとする。

2 団体がその目的を逸脱して特定の団体の政治活動、営利活動、宗教宣伝活動に加担したり、または利用されてはならない。

3 団体が、学内の施設、会議室等を利用する場合には、届け出等本学の定める規程を遵守しなければならない。

(学外団体への加盟)

第6条 団体が学外団体に加盟、参加をするときは、学生部長を経由して学長の許可を得なければならない。

(会計)

第7条 本学が必要と認めた場合は、団体に対して財政上の補助を行う。

2 団体がその活動のために学外団体または学外の個人からの財政上の援助を受ける場合は、学生部長を経由して学長の許可を得なければならない。

3 団体が本学または学外から財政上の援助を受けた場合は、教育支援センター学生担当を経由して学園本部事務センター会計担当の監査を受けなければならない。

(報告)

第8条 各団体は、その活動、組織、構成員、財政状況その他の事項につき、学長の要請がある場合には、都度報告を行うものとする。

(所管)

第9条 団体に関する事項は学生部委員会が所管する。

2 団体に関する事務は教育支援センター学生担当が行う。

(補則)

第10条 本規約を施行した時点で存在する、第2条各号記載の学内団体は、この規程によって公認されたとみなし、本規約を適用する。

2 学友会規約、学友会クラス委員規約細則、クラブ・サークル規程は、本規約施行以降も効力を有し適用される。

(規約の改廃)

第11条 本規約の改廃は、大学部局長会で審議の上、決定する。

附 則 この規約は、平成21年11月26日に改定、施行する。

26. クラブ・サークルに関する規約

第1章 総則

- 第1条 クラブ・サークル（同好会）は学生の適性と希望に応じて自由に加入できる大学公認の任意団体で、学友会の組織に含まれる。クラブ・サークルは、文化系・体育系に分けられ、両分野とも学友会第23条第2項におけるクラブ連合委員会に統括される。
- 第2条 クラブ・サークルは学友会規約第4条に定められている目的の範囲内で、それぞれ独自の目的、部規約、組織を設けることができる。

第2章 成員

- 第3条 クラブ・サークルの成員の資格は本学学生に限る。
- 第4条 やむを得ない事情による退部は部長の承認を得なければならない。
- 第5条 新入生の入部期間は5月末までを原則とし、登録名簿でもって登録手続をする。それ以降の入部は部員数変更願をもってクラブ連合委員会に提出しなければならない。

第3章 役員

- 第6条 各クラブ・サークルは次の役員を置く。
- 1 部長 1名 部を代表し、これを統括する。
 - 2 副部長 1名 部長を補佐し、部長に事故ある時は、その任務を代行する。
 - 3 会計 1名 部内の会計を担当する。
- 第7条 役員の任期は、部独自に設けた役員を含め、すべて1年間とする。再任を妨げない。引き継ぎを確実にし、前任者は後任者を援助しなければならない。

第4章 クラブ連合委員会

- 第8条 クラブ連合委員会は、下記の事項を行う。
- 1 クラブ・サークルとの連絡と調整に関する事項
 - 2 学友会クラス学生総会への提案
 - 3 学友会代表委員会への提案
 - 4 学友会クラス学生総会および代表委員会で決議した事項
- 第9条 クラブ連合委員会は、次の委員を置く。
- 1 委員長 1名 全クラブ・サークルを統括する。
 - 2 副委員長 1名 委員長を補佐し、委員長に事故ある時は、その任務を代行する。
 - 3 庶務 1名 データの管理、新入生歓迎オリエンテーション等の実行委員長となる。
 - 4 書記 1名 委員会等の議事録作成・保管と、掲示物等の保管を行う。
 - 5 会計 1～2名
- 第10条 委員長と副委員長、庶務と書記は年度毎に体育系のクラブ・サークルと文化系クラブ・サークルとの1年の交代制とする。
- 委員長及び副委員長は、学友会代表委員会委員となる。会計は、クラブの会計担当者の中から選出する。

第5章 顧問及びコーチ

- 第11条 クラブ・サークル活動の円滑な推進と発展のためには、顧問の助言と援助を必要とするので、各クラブ・サークルはそれぞれ顧問を本学の専任教員から依頼しなければならない。
- 1 部の顧問は部の運営に対して助言を行い、部会に出席して発言することができる。
 - 2 顧問の任期は1年間とし、4月1日から翌年3月末日までとする。ただし、部の要請があればこの限りではない。
- 第12条 クラブ・サークルが外部からコーチを委嘱したい時は、顧問の承認を受け、履歴書、技術経歴、写真を添え、指導者依頼願を提出し、許可を得て、かつクラブ連合委員会に登録しなければならない。

第6章 活動

- 第13条 クラブ・サークルがその目的達成のために合宿・強化練習・試合他を行う場合は、その計画を予めクラブ連合委員会に連絡し、教育支援センターに願書を提出し、学生部長の許可を受ける。また、外部者の入校が伴う場合は、その手続きも同様とする。
- 第14条 クラブ・サークルが学外団体に加入し、協賛活動をする場合は、部長は顧問連署のうえ、教育支援センター学生担当に願出をし、学生部長の許可を受ける。
- 第15条 クラブ・サークルがその目的を逸脱して、特定の団体の政治活動、営利活動、宗教活動に加担したり、または利用されたりしてはならない。

第7章 新設・昇格・廃部

- 第16条 10名以上の同行者があった時はサークルを新設することができる。
- 第17条 サークルを新設する時は、学内団体設立願に次の事項を列記して顧問と発起人代表者2名の連署をもってクラブ連合委員、学生部長を通して学長に提出し許可を受けなければならない。
1. 目的 2. 趣旨 3. 部の規約 4. 年度活動計画表 5. 財政計画 6. 発起人及び加入者の所属と氏名
- 許可を受けたのならば、ただちに上記の書類を添えてクラブ連合委員会に登録する。
- 第18条 サークル設立から3年以上活発な活動を続け、その業績が認められた場合、願出によりクラブに昇格することができる。
- 第19条 クラブ昇格願は活動の実績を示す資料を添え、顧問と代表2名の連署をもって教育支援センターとクラブ連合委員会に提出し、許可された後、学友会代表委員会の承認を得なければならない。
- 第20条 第6章第15条に該当する事実が認められた場合、クラブ連合委員会は警告を与え是正をはかるとともに、実情に応じ、教育支援センター及び学友会代表委員会に解散処置を要求するものとする。
- 第21条 クラブが2年連続して基準の成員を割り9名以下になったり、活動状況が著しく停滞している場合、クラブ連合委員会の要求要請により、学友会代表委員会の議を経てサークルに格下げするものとする。
- 第22条 サークルが年度当初から、または年度の途中で成員に不足を生じ、次年度においても充足の見込みがない時、クラブ連合委員会は廃部願を学生部長を経由して学長宛に提出させ承認を受けた後、学友会代表委員会によって解散を求めるものとする。

第8章 会計

- 第23条 クラブ・サークルの活動費は、一定の基準によって学友会費から援助される。
- 第24条 クラブ・サークルは部員の合意と顧問の助言のもとに適正と思われる額を決めて、部費を徴収することができる。ただしその額はクラブ連合委員会に登録しなければならない。
- 第25条 クラブ・サークルがその目的達成のために会を開催し、入場料または一般参加者から会費を徴収する場合は、その計画書を予めクラブ連合委員会を経由して学長に提出し許可を受け、学友会代表委員会の承認を得なければならない。
- なお、終了後10日以内に結果の概況と、収支の明細についてクラブ連合委員会に報告しなければならない。

第9章 提出書類

- 第26条 各クラブ・サークルは年度ごとに次の書類をクラブ連合委員会に提出しなければならない。
- イ. 5月頃に提出期限とするもの。
 1. 部員登録名簿
 2. 本年度予算計画書
 - ロ. 3月頃に提出期限とするもの。
 1. 本年度活動報告書
 2. 本年度会計報告書
 3. 来年度部室使用願
- 第27条 各クラブ・サークルは必ず次の書類を揃えておくものとする。
1. クラブ連合委員会に登録した事項の控
 2. クラブ連合委員会に報告した書類の控
 3. 部員現住所録、同帰省先住所録
 4. 活動記録簿

5. 会計簿及び領収書、見積書、納入書等の会計証拠書類

第10章 その他

第28条 以上のほか、クラブまたはサークルの全般にわたる運営の細目については、「クラブ・サークル諸規定」を別に定める。

附 則 この規約は平成21年4月1日から施行する。

27. 個人情報保護に関する取り組みについて（大学部門）

本学では建学の理念に基づく教育事業を展開するため、学生個人情報データベースを構築し、教育研究、学生指導及び業務に必要な範囲で活用しております。個人情報の保護に関して、法律や政令を遵守することはもとより、「個人情報の保護に関する規程」を制定し、全学的な体制で保護対策を講じております。

1. 学生個人情報データベースで管理する学生個人情報の保護について

(1) 「学生個人情報」とは

本学において教育を受け、又は受けようとした者に関する情報であって、当該情報に含まれる氏名、生年月日、顔写真その他の記述により特定の個人を識別することができるものをいいます。

(2) 「学生個人情報データベース」とは

学生個人情報を含む情報の集合体であり、特定の学生個人情報をコンピュータを用いて検索することができるように体系的に構成したものをいいます。

(3) 「学生個人データ」とは

学生個人情報のうちデータベースで管理する情報及びデータベースから引き出された情報をいいます。

(4) 利用目的の特定

学生個人情報は、教育研究、学生指導及び業務に必要な範囲に限定して利用します。

(5) 適正な取得

学生個人情報を取得するときは、適正な手段により行います。なお、思想、信条及び宗教に関する事項並びに社会的差別の原因となる事項については、特段の配慮をします。

(6) 利用目的の通知等

学生本人から直接書面等（電子媒体の様式を含む）により当該本人の学生個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対しその利用目的を明示します。利用目的を変更した場合は、変更された利用目的について、本人に通知又は公表します。

(7) 管理措置

- ・ 学生個人データは、利用目的の達成に必要な範囲内において、正確かつ最新の内容に保ちます。
- ・ 漏洩、滅失又は毀損の防止その他学生個人データの安全管理のために必要かつ適切な措置を講じます。
- ・ 学生個人データの取扱いの全部又は一部を企業等に委託する場合は、安全管理が図られるよう、委託先と機密保持に関する契約を結ぶと共に、委託先の選定にあたってはサービスの有効性はもとより個人情報保護システムが確立していることを条件とします。

(8) 開示

学生本人から当該本人が識別される学生個人データの開示を求められたときは、本人に対し遅滞なく当該個人データを開示します。ただし、開示しないことが相当であると本学が判断したときは、学生個人データの全部又は一部について開示しないことがあります。その際は、本人に対し理由を付してその旨を通知します。開示請求手続きについては、本学ホームページ上で確認するか教育支援センター又はキャリア支援センター、アドミッションセンター窓口にご確認ください。

(9) 訂正等

学生本人から、当該本人が識別される学生個人データの内容が事実でないという理由によって、当該学生個人データの訂正、追加又は削除を求められたときは、利用目的の達成に必要な範囲内において、遅滞なく必要な調査を行い、その結果に基づき、当該学生個人データの訂正等を行います。なお、学生個人データの内容の全部もしくは一部について訂正等を行わない旨の決定をしたときは、本人に対し、遅滞なく理由を付してその旨を通知します。訂正等の手続きについては、本学ホームページ上で確認するか教育支援センター又はキャリア支援センター、アドミッションセンター窓口にご確認ください。

2. 個人情報の利用目的について

学生及び保証人（ご父母等）の個人情報は、以下のとおり本学の教育研究及び学生支援に必要な業務を遂行するために利用します。利用目的を変更したときは、本人に通知又は公表します。

(1) 学生の個人情報

入学関係	入学志願者に対する選抜試験運営。入学手続（編入学、再入学を含む）。学生証交付。
教務関係	履修登録。履修相談・修学指導。研究活動支援。教職等諸資格課程登録。授業・試験運営。成績処理。単位認定。学長賞・恪勤賞・その他の賞の決定。進級・卒業判定。諸資格判定。学位記授与。単位互換協定。昭和ボストン留学。その他海外留学。短期海外研修。国際交流。休学・復学・退学手続。転部・転科手続。
学生生活関係	学生生活全般に関わる支援・助言。奨学生選考。奨学金交付・償還。定期健康診断。日常的な健康相談。課外活動支援。弔慰、災害見舞。
進路関係	進路支援（卒業生を含む）。求職登録。就職斡旋。卒業後の進路。資格取得のための課外講座運営。インターンシップ等の実習活動。
その他	各種連絡・通知。学納金納入状況の確認。各種証明書発行。用具・備品等の貸与。同窓会名簿の管理。キャンパスライフを紹介するための広報活動。

※卒業後も、学籍・成績関係情報を在籍記録保存、各種証明書作成・発行のために、利用します。

(2) 保証人の個人情報

学生の修学指導等 に必要な連絡	各種送付物（学業成績通知書、学納金納付書、大学行事案内等）の発送。 大学関係団体（「同窓会」）の要請による保証人（ご父母等）宛送付物の発送業務
--------------------	--

3. 個人情報の第三者提供について

本学では、教育研究の観点から学生の個人情報を以下のとおり第三者に提供することがあります。なお、これ以外に提供の必要性が生じたときには、都度、本人への意思確認の手続きをとります。

(1) 学生の学業成績を保証人に提供する

本学では、保証人（ご父母等）と連携した修学指導を教育上有用な取り組みと考えており、セメスターごとに成績が確定した段階で保証人宛に「学業成績通知書」を送付し、修学状況に関する問い合わせや相談等に応じています。学業成績を保証人に通知することは「Ⅱ教育課程 — 4. 試験・単位認定・成績」に記載してあります。外国人留学生については別途意思確認を行います。

(2) 学生の個人情報をボストン昭和女子大学に提供する

ボストン昭和女子大学への留学の機会は学部・学科の全学生に用意されており、当該学生の修学措置及び安全管理のために、学生の氏名・住所・電話番号及び保証人の氏名・住所・電話番号についてボストン昭和女子大学へ提供をします。

(3) 実習（教育実習、介護等体験、博物館実習、図書館実習等）参加を希望する学生に関しては、実習先や教育委員会に個人情報（所属学科、学生の氏名・住所・電話番号、成績等）を提供します。

(4) 学生生活の利便性向上を目的として、昭和女子大学が100%出資で設立した株式会社カリヨンへ個人情報（所属学科、学生の氏名・住所・電話番号、保証人の氏名・住所・電話番号）を提供します。

ただし、情報の提供を希望しない場合は、教育支援センター窓口にご旨申し出てください。株式会社カリヨンに個人情報削除を依頼し、学生生活利便関係情報の提供サービスを停止します。

(5) 卒業後の本学に関わる情報提供を目的として、昭和女子大学光葉同窓会へ個人情報（所属学科、卒業年月、学生の氏名・住所・電話番号・生年月日・メールアドレス）を提供します。

ただし、情報の提供を希望しない場合は、教育支援センター窓口にご旨申し出てください。昭和女子大学光葉同窓会に個人情報の削除を依頼します。

(6) 法令に基づく場合及び、人の生命、身体又は財産の保護のために必要な場合には、例外的に本人の個人情報を第三者に提供することがあります。あらかじめご了承ください。

附 則 この取り組みについては、平成17年4月1日から施行する。

Memo

昭和女子大学

〒154-8533 東京都世田谷区太子堂1-7-57 <http://www.swu.ac.jp>